令和2年度（2020年度）

講義概要

医学部看護学科

SHIGA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

国立大学法人
滋賀医科大学
SHIGA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

目　　次

《講義概要》

一般教養科目Ⅰ

生物学 …… 1
生命活動の物理学 …… 3
生命活動の化学 …… 5
ランダム現象の数理 …… 7
生涯発達論 …… 8
情報科学 …… 10
アカデミック・スキル …… 13
臨床心理学 …… 14

一般教養科目Ⅱ

現代社会と科学 …… 16
社会学 …… 18
医療社会学 …… 19
教育学 …… 20
法学 …… 22
芸術学 …… 24
歴史学 …… 25
心理学 …… 26
文化人類学 …… 28
家族社会学 …… 30
哲学 …… 31
地域文化論 …… 33
地域論 …… 35
スポーツ科学実践 …… 37
運動科学実践 …… 38
基礎科学研究 …… 39
人間科学研究 …… 41
医療イノベーションの基礎 …… 43

人間と環境Ⅱ

国際看護活動論 …… 45

外国語科目

英語Ⅰa …… 47
英語Ⅰb …… 49
英語実習Ⅰa …… 51
英語実習Ⅰb …… 53
ドイツ語a …… 55
ドイツ語b …… 57
フランス語a …… 59
フランス語b …… 61
中国語a …… 63
中国語b …… 64

人間と人間の関係Ⅱ・Ⅳ

英語実習Ⅱ …… 65
臨床コミュニケーション学 …… 66

専門基礎科目Ⅰ・Ⅱ

解剖生理学Ⅰ …… 68
解剖生理学Ⅱ …… 69
病理学 …… 71
感染症学・免疫学 …… 72
生化学・栄養学 …… 74
薬物治療学 …… 76
診断と治療Ⅰ …… 77
診断と治療Ⅱ …… 79
病態生理学特論 …… 81
医学概論 …… 82
保健医療行政論 …… 84
社会福祉・社会保障論 …… 85
地域保健看護学 …… 87
地域ケアシステム論（第2学年） …… 88
疫学 …… 89
保健統計学 …… 90
環境保健学 …… 91

専門看護科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

フィジカルアセスメント …… 92
看護学概論Ⅰ …… 94
看護学概論Ⅱ …… 96
看護過程演習Ⅰ …… 98

看護過程演習Ⅱ …… 100
基礎看護技術演習Ⅰ …… 102
基礎看護技術演習Ⅱ …… 104
基礎看護技術演習Ⅲ …… 106
成人保健看護学概論 …… 108
成人保健看護学各論 …… 110
老年保健看護学概論 …… 112
老年保健看護学各論 …… 113
小児保健看護学概論 …… 114
小児保健看護学各論 …… 116
ウィメンズヘルス学 …… 117
母性看護学概論 …… 119
母性看護学演習 …… 121
精神保健看護学概論 …… 123
精神保健看護学各論 …… 124
在宅看護学概論 …… 125
在宅看護学各論 …… 126
医療の倫理Ⅰ …… 127
医療の倫理Ⅱ …… 128
看護学研究方法論 …… 129

専門看護Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

看護倫理 …… 130
看護管理論 …… 131
育成期小児看護学 …… 132
成人保健看護学Ⅰ …… 134
成人保健看護学Ⅱ …… 136
高齢者看護学 …… 138
精神看護学 …… 141
学校保健 …… 143
在宅看護学 …… 144
看護の統合と実践 …… 146
外国文献 …… 147
日本語表現法 …… 148
看護研究方法論 …… 149
看護研究 …… 150

専門看護科目（実習）／専門看護（実習）

人間発達実習 …… 151
基礎看護学実習Ⅰ …… 154
基礎看護学実習Ⅱ …… 156
育成期母性看護学実習 …… 157
育成期小児看護学実習 …… 158
成人保健看護学実習 …… 159
高齢者看護学実習Ⅰ …… 160
高齢者看護学実習Ⅱ …… 161
精神看護学実習 …… 162
在宅看護学実習 …… 163
統合看護学実習 …… 164

保健師課程

家族看護学 …… 165
公衆衛生看護学方法論Ⅰ …… 167
公衆衛生看護学方法論Ⅱ …… 168
公衆衛生看護活動プロセス …… 169
産業保健 …… 170
公衆衛生看護活動展開論Ⅰ …… 171
公衆衛生看護活動展開論Ⅱ …… 173
地域ケアシステム論（第3学年） …… 175
公衆衛生看護活動展開論実習 …… 176
地域ケアマネジメント実習 …… 177

助産師課程

助産学概論 …… 178
助産診断・技術学Ⅰ …… 180
助産診断・技術学Ⅱ …… 182
ウィメンズヘルス演習 …… 184
周産期病態学Ⅰ …… 186
周産期病態学Ⅱ …… 187
助産マネジメント学 …… 189
助産学実習 …… 191
マタニティサイクル支援実習 …… 192
ウィメンズヘルス実習 …… 193

一 般 教 養 科 目 Ⅰ

生　物　学

1　担当教員名

助　　教　藤堂景史（生命科学講座　生物学）

2　配当学年等

第１学年・編入第３学年　前期　２単位

3　学習目標

ヒトを含め多くの生物は、１つの細胞から成長、分裂を繰り返してできた細胞の共同体である。「生命とは何か」、「生物としてのヒトとは何か」を考えるために、生命の基本単位である「細胞」を理解することから始め、生命活動の設計図である遺伝情報の維持や発現のしくみについて学習する。そして、組織、器官、個体、集団といった視点からも生物を捉える。これらの学習を通して、個々の生物を特徴づける多様性とすべての生物に共通する恒常性を対照させながら、生命体を統一的に理解し、「生物としてのヒト」の理解につなげることを目標とする。授業の目標項目を以下に示す。

1）細胞の基本構造と機能を概説できる。
2）生物を構成する物質の種類と機能を説明できる。
3）栄養の摂取と代謝の過程、酵素の機能と調節を説明できる。
4）遺伝様式、ゲノムと染色体、DNAの複製と修復を概説できる。
5）転写と翻訳の過程を説明できる。
6）細胞周期と細胞分裂の過程を説明できる。
7）生物の増殖様式と動物の発生過程を概説できる。
8）動物の組織の種類、その構造と機能を説明できる。
9）器官と器官系を概説できる。
10）ホルモンによる生体調節機構を説明できる。
11）神経系の構成、神経の伝導と伝達を説明できる。
12）自然免疫と獲得免疫の機構を説明できる。
13）微生物の種類とその感染症を概説できる。
14）癌の特徴と原因、老化の過程を概説できる。
15）生物学を応用した技術・医療について概説できる。

4　授業概要

生命の基本単位である細胞について、その構造と機能を学習し、生命体を構成する物質や物質代謝の基本を学ぶ。次に、遺伝の法則について学習し、生命の設計図である遺伝子の複製、発現やその調節について学ぶ。さらに、組織・器官といった生物の構成単位についても学び、それをふまえて、ホルモン、神経系による調節や恒常性維持といった個体レベルでの調節や生体防御機構の基本を学習する。また、癌や老化のメカニズムおよび生物学を応用した技術や医療についても学習する。

5　授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月14日(火)	1	藤　堂	イントロダクション 生物学の基礎	講義の概要 生物とは	看３
４月21日(火)	1	〃	細胞	細胞の構造、細胞小器官、細胞の運動	看３
４月28日(火)	1	〃	生物を構成する物質	水、生体物質の構成単位、生体高分子	看３
５月12日(火)	1	〃	栄養と代謝	酵素、栄養の摂取、エネルギー代謝、様々な代謝経路	看３
５月19日(火)	1	〃	遺伝とDNA	遺伝現象、ゲノムと染色体、DNAの複製と修復	看３
５月26日(火)	1	〃	遺伝情報の発現	転写とRNA、転写調節、タンパク質合成	看３
６月２日(火)	1	〃	細胞の増殖と死	細胞周期、体細胞分裂、減数分裂、細胞の死	看３
６月９日(火)	1	〃	生殖、発生、分化	生物の増殖様式、動物の発生、分化・再生	看３
６月16日(火)	1	〃	動物の組織と器官	筋肉、血液、器官系（消化系、循環系、呼吸系、排出系、感覚系）	看３
６月23日(火)	1	〃	内分泌系と神経系による生体調節	内分泌器官とホルモン、細胞内情報伝達、神経伝達メカニズム	看３
６月30日(火)	1	〃	免疫系による生体防御	自然免疫、獲得免疫、医療における免疫	看３
７月７日(火)	1	〃	微生物と感染症	微生物の種類、細菌、真核微生物、ウイルス	看３

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
７月14日(火)	1	藤　堂	癌と老化	癌の特徴・原因・生成と進展、老化と寿命	看３
７月21日(火)	1	〃	生物学の医療への応用	バイオテクノロジー、再生医療	看３
７月28日(火)	1	〃	復習	復習	看３

6　授業形式・視聴覚機器の活用

授業は講義形式をとる。プロジェクターを使い、教科書に沿って進める。資料としてプリントを配付する。

7　評　価　方　法

目標項目の全範囲を対象とした筆記試験を学期末に行う。筆記試験を85％、出席を15％として評価し、合計が60％以上を合格とする。

8　教科書・参考文献

教科書：「医療・看護系のための生物学　改訂版」田村隆明 著　裳華房　　テキストISBN番号　978-4-7853-5233-2
参考書：「Essential 細胞生物学　原書第４版」中村桂子・松原謙一 監訳　南江堂

9　オフィスアワー（授業相談）

質問や相談があれば、随時受け付けます。一般教養棟２階生物学実習準備室（204号室）に来室するかメール等で連絡してください。

10　学生へのメッセージ

生物学は専門課程で履修するすべての科目の基本となる科目です。授業を通して生物学の基本概念と大局観を身につけ、自分自身でしっかりした生物学の基盤を作ってください。「生物としてのヒト」についてじっくり考えてみましょう。

11　授業用E-mail

kftodo@belle.shiga-med.ac.jp

生命活動の物理学

1　担当教員名

教　　授　目良　　裕（生命科学講座　物理学）
准教授　成瀬延康（生命科学講座　物理学）

2　配当学年等

第１学年・編入第３学年　前期　２単位

3　学習目標

人体には重力が働いている。それだけではなく、内部にテコを備えていてこれを利用して効果的な動きを可能にしている。このような人体に働く力について理解を深め、負担の少ない身体の動かし方を考える。また、血液の流れ、熱、音や光の感覚器官など、人体に関わる物理現象を理解する。

医療の場では、様々な計測機器や治療用機器が使用される。計測機器に関しては、何（どのような物理量）を、どのような測定原理で計測しているのかを理解する。治療用機器に対しても同様の理解を深めることを目標とする。

・項目別学習目標

（１）運動の法則、および運動方程式を理解し、応用できる。
（２）様々な運動を記述できる。
（３）回転運動を記述できる。
（４）エネルギーと運動量を説明でき、応用できる。
（５）摩擦がある運動を説明できる。
（６）圧力を理解し、説明できる。
（７）ベルヌーイの定理を理解し、応用できる。
（８）熱、仕事の概念を理解し、説明できる。
（９）体温調節に関係する熱的現象を説明できる。
(10) 音の三要素、超音波、ドップラー効果を説明できる。
(11) 光の反射、屈折、結像公式を説明できる。
(12) 光の干渉・回折現象を説明できる。
(13) クーロンの法則を説明できる。
(14) 電場、電位の概念を説明できる。
(15) オームの法則を説明できる。
(16) コンデンサーの原理、性質を説明できる。
(17) ビオ・サバールの公式を説明できる。
(18) 電磁誘導、ファラデーの法則を理解し、説明できる。

4　授業概要

医療の場にある物理現象を理解することを目的として、力学（圧力を含む）、熱、音・光、電磁気の基礎を学ぶ。また、授業の最後に行う小テストで実際に問題を解くことにより、更に理解を深める。

5　授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月13日(月)	3	目　良	力と運動（１）	力、力のつり合い、運動方程式	看１
４月20日(月)	3	〃	力と運動（２）	速度、加速度、等速直線運動、落下運動、円運動	看１
４月27日(月)	3	〃	回転運動	回転運動とトルク、テコの原理	看１
５月11日(月)	3	〃	エネルギーと運動量（１）	エネルギー、運動量	看１
５月18日(月)	3	〃	エネルギーと運動量（２）	摩擦力、牽引	看１
５月25日(月)	3	〃	圧力（１）	気体の圧力、大気圧、陰圧、陽圧、静水圧	看１
６月１日(月)	3	〃	圧力（２）	ベルヌーイの定理、血圧	看１
６月８日(月)	3	〃	熱エネルギーと温度	仕事と熱、熱機関、温度計、比熱、融解、蒸発	看１
６月15日(月)	3	〃	体温調節	熱産生、放熱、平衡温、体温計	看１
６月22日(月)	3	〃	波動（１）	波動、可聴音、超音波	看１
６月29日(月)	3	〃	波動（２）	光（反射、屈折、レンズ、医療への応用）	看１

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
７月６日(月)	3	目　良	波動（３）	光（干渉、回折）	看１
７月13日(月)	3	〃	電磁気（１）	静電気、電流、オームの法則、電力	看１
７月20日(月)	3	〃	電磁気（２）	コンデンサー、生体の電気現象	看１
７月27日(月)	3	〃	電磁気（３）	磁気、電磁誘導、コイル	看１

6　授業形式・視聴覚機器の活用

授業は、板書およびプロジェクターによる説明を主とし、必要に応じてプリントを配布する。講義中に簡単な演習を行う。

7　評　価　方　法

学期末に行う筆記試験を80％、演習を20％として評価する。場合に応じてレポートを課すこともある。

8　教科書・参考文献

教科書：

教科書は指定しない。

参考書：

ベッドサイドを科学する－看護に生かす物理学－　平田雅子著　学研

医療系のための物理　佐藤幸一・藤城敏幸著　東京教学社

9　オフィスアワー（授業相談）

一般教養棟４階物理実習室前のホワイトボードに掲示する。掲示された日程以外を希望する場合及び掲示が無い場合は、口頭かメール（mera@belle.shiga-med.ac.jp）で相談すること。

10　授業用E-mail

mera@belle.shiga-med.ac.jp

生命活動の化学

1　担当教員名

教　　授　古荘義雄（生命科学講座　化学）
講師(学内)　宗宮　創（生命科学講座　化学）
非常勤講師
高橋知子

2　配当学年等

第１学年・編入第３学年　前期　２単位

3　学習目標

医療の世界は、人体を構成する物質をはじめとして、取り扱う薬品や素材などの無数の化学物質に取り囲まれています。さらに日進月歩の医療分野では、医療者が自ら新たな知識を取り入れて消化し、専門分野で役立てていく力が求められています。本講義では、基礎的な化学知識を生命活動や生体成分、薬品、栄養、環境などの分野と密に関連させて理解を進めていくことにより、化学への興味を喚起し、自ら継続して学んでいくための土台を作ることを目標としています。

4　授業概要

本講義では、医療分野に必要となる基礎的な化学知識を厳選して学習し、さらに様々な話題を取り入れながら生命活動や医療、身のまわりの事象との繋がりを重視して授業を進めます。また、演示実験による実物の提示や分子模型、画像などを活用して、多面的な理解を深めることで講義内容の定着を図ります。

5　授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月10日(金)	2	高橋	ガイダンス 空気の化学１	この授業の目標・進め方 空気の構成成分を考える－窒素、不活性ガスの話	看４
４月17日(金)	2	〃	空気の化学２	なぜ、息をするのか？－酸素、二酸化炭素の話	看４
４月24日(金)	2	〃	水の化学１	水の変化－化学反応とは？化学反応式　モルの考え方	看４
５月１日(金)	2	〃	水の化学２	水分子を知る －構造、化学結合、溶解の化学	看４
５月８日(金)	2	〃	水の化学３	体液の調節機能 －浸透圧　溶液の濃度　単位	看４
５月22日(金)	2	〃	酸と塩基	体液の調節機能 －中和　pH　強弱　緩衝溶液	看４
５月29日(金)	2	〃	酸化と還元	体内の酸化還元反応　電池の仕組み	看４
６月５日(金)	2	〃	中間試験		看４
６月12日(金)	2	宗宮	有機化合物とはなにか	有機化合物の構造と性質	看４
６月19日(金)	2	〃	有機化合物とその反応　その１	有機化合物の分類と官能基 アルコール、エーテル、カルボン酸	看４
６月26日(金)	2	〃	有機化合物とその反応　その２	硫黄その他の元素を含む有機化合物 カルボン酸とその誘導体	看４
７月３日(金)	2	〃	有機化合物とその反応　その３	芳香族、脂環式化合物、テルペン類	看４
７月10日(金)	2	〃	有機化合物とその反応　その４ 重要な生体分子とその高分子・集合体　その１	複素環化合物、アルカロイド、糖質	看４
７月17日(金)	2	〃	重要な生体分子とその高分子・集合体　その２	糖類、アミノ酸、タンパク質の基礎	看４
７月31日(金)	2	〃	重要な生体分子とその高分子・集合体　その３	ペプチドとタンパク質	看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

資料映像を交えたスライドを使い授業を進行する。各自、内容をノートに記録する。

7　評　価　方　法

前半（第１回〜第８回）
　基本的に中間試験＋出席点の総合点数で評価する。
　ただし、特別な理由のない欠席が授業回数の半分を超える場合には、
　試験の受験資格を与えない。
　また、授業中に出席確認を兼ねた小テストをを実施し、成績評価の参考にする。
後半（第９回〜第15回）
　定期試験＋出席点の総合点数で評価する。
　前半と後半の成績を50：50で合算して最終評価とする。

8　教科書・参考文献

教科書：
　前半（第１回〜第８回）
　　コ・メディカル化学－医療・看護系のための基礎化学－
　　齋藤勝裕・荒井貞夫・久保勘二 共著
　後半（第９回〜第15回）
　　指定しない
参考文献：
　前半（第１回〜第８回）
　　看護系で役立つ化学の基本，有本淳一・西沢いづみ著，化学同人
　　系統看護学講座「化学」，杉田良樹著，医学書院
　後半（第９回〜第15回）
　　特に紹介しないが、授業内容に不安がある場合は、高校化学の教科書で予習、もしくは読み返すことを推奨する。

9　学生へのメッセージ

前半（第１回〜第８回）
　　化学は今後学んでいく様々な専門科目の理解の土台となるものですが，既習の化学で苦手意識を持っているという声も多く聞かれます。今後の専門分野の学習との橋渡しとなるよう、分野横断的な話題を広く取り入れて進めますので、ぜひ興味を持って取り組んで欲しいと思います。
後半（第９回〜第15回）
　　医療は多くの化学物質に支えられており、その意味で本講義は将来必ず役に立つでしょう。

ランダム現象の数理

1　担　当　教　員　名

准　教　授　　川　北　素　子（生命科学講座　数学）

2　配　当　学　年　等

第１学年・編入第３学年　前期　２単位

3　学　習　目　標

1．論理的思考・数学的方法に慣れるようにする。
2．実験・観測・アンケートなどで得られた資料を、分かり易く使い勝手が良いように整理できるようにする。
3．多分正しい・正しいかも知れない、などの不完全な情報に基づいて、もっとも合理的な意思決定が出来るための数学的基礎を作る。同時に、からだの生化学・栄養学・環境論等を理解する基礎を整えることを目的とする。

4　授　業　概　要

統計資料の効果的な整理法からはじめ、確率空間、確率変数の定義と基本的性質や、二項分布、正規分布等の種々の分布の性質、計算法などにを経て、推測統計の基礎理論へと進む。講述と演習を行う。

5　授　業　内　容

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月10日(金)	1	川　北	授業計画	授業計画	看３
４月17日(金)	1	〃	確率	確率	看３
４月24日(金)	1	〃	確率分布１	離散確率分布	看３
５月１日(金)	1	〃	確率分布２	連続確率分布	看３
５月８日(金)	1	〃	確率分布３	演習	看３
５月22日(金)	1	〃	確率分布４	平均と分散	看３
５月29日(金)	1	〃	確率分布５	二項分布	看３
６月５日(金)	1	〃	確率分布６	正規分布	看３
６月12日(金)	1	〃	確率分布７	演習	看３
６月19日(金)	1	〃	統計１	標本分布	看３
６月26日(金)	1	〃	統計２	標本抽出	看３
７月３日(金)	1	〃	統計３	演習	看３
７月10日(金)	1	〃	統計４	推定	看３
７月17日(金)	1	〃	統計５	仮説検定	看３
７月31日(金)	1	〃	復習	復習	看３

6　授業形式・視聴覚機器の活用

黒板書による講義形式、適宜演習を行う。

7　評　価　方　法

学期末に定期試験を行う。定期試験70％、演習30％の合計が60％以上を合格とする。

8　教科書・参考文献

「確率・統計序論」 氏家・道家・土井・鳥越共著　東海大学出版会　　テキストISBN番号　978-4-486-01745-5

9　オフィスアワー（授業相談）

随時相談に応じます。

10　学生へのメッセージ

理解を深めるため、また考える習慣をつけるために、演習問題を自分の力で解いて下さい。

11　授業用URL

http://www.shiga-med.ac.jp/~kawakita ／ lectures.html

生 涯 発 達 論

1 担 当 教 員 名

准 教 授　小 島 隆 次（医療文化学講座　心理学）

2 配 当 学 年 等

第１学年　前期　２単位

3 学 習 目 標

本授業は、乳幼児期から高齢期までの人の発達過程や変化の諸相に関する発達心理学における基礎知識を習得することを第一義とします。また、受講生が本授業で課される様々な課題を適切にこなすことで、論理的に考え、批判する能力が養われ、習得した知識を日常生活でどのように応用していくのかを考えられるようになることも目指します。

そして、上記目標の達成に伴い、結果的に受講生が以下の目標を達成できるようになることを学習目標とします。

１．発達心理学諸分野の基礎知識を身に着けること
２．発達心理学諸分野の基礎知識を様々な日常の場面で活用する態度を身に着けること
３．様々な事象に対して、批判的・発展的に考える態度を身に着けること

4 授 業 概 要

本授業は、人の生涯発達という視点を加味して、発達心理学において扱われる主要なトピック（個々のテーマなどについては授業スケジュールを参照してください）を幅広く教授します。また、授業を受講することで、受講生が論理的に考え、批判する能力を養いつつ、論理的・批判的思考と日常における人の思考・行動特性との関係性について考察する契機を得られるようにしたいと思います。

5 授 業 内 容

授業内容は以下の授業計画表の各授業における内容を参照してください。基本的には、一般的な生涯発達論や発達心理学分野で扱われることの多いトピックを紹介する内容になります。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月15日(水)	2	小　島	初回ガイダンス	本授業の受講方法や基本方針などを説明。	看３
４月22日(水)	2	〃	発達理論概説	心理学における発達概念と代表的な発達理論を概説。	看３
５月７日(木)	2	〃	遺伝と環境	心理学や行動科学分野における遺伝や環境の扱いについて概説。	看３
５月13日(水)	2	〃	乳児期の認知能力	胎児期を含め、乳児期の認知能力の発達的変化について概説。	看３
５月20日(水)	2	〃	幼児期・児童期の認知能力	幼児期・児童期の認知能力の発達的変化について概説。	看３
５月27日(水)	2	〃	まとめ１	第２～５回までの講義内容のまとめと、適宜受講生へのフィードバックを行う。	看３
６月３日(水)	2	〃	乳幼児期の社会性	乳幼児期の他者との関わり方の発達的変化について概説。	看３
６月10日(水)	2	〃	児童期の社会性	児童期の他者との関わり方の発達的変化について概説。	看３
６月17日(水)	2	〃	中高年期の認知能力	中高年期における認知能力の変化について概説。	看３
６月24日(水)	2	〃	中高年期の社会性	中高年期における他者との関わり方の変化について概説。	看３
７月１日(水)	2	〃	青年期の諸問題	青年期において見られる自我同一性の問題や他者・社会との関わりに関する心理的問題について概説。	看３
７月８日(水)	2	〃	発達障害	発達障害について概説。	看３
７月15日(水)	2	〃	死生観	生死の意味づけの意味について考える。	看３
７月22日(水)	2	〃	まとめ２	第７～13回までの講義内容のまとめと、適宜受講生へのフィードバックを行う。	看３
７月29日(水)	2	〃	全体の振り返り	授業で扱った内容全般を振り返りつつ、適宜受講生へのフィードバックを行う。	看３

6　授業形式・視聴覚機器の活用

授業は基本的にパワーポイントを利用したプレゼンテーション形式です。但し、テーマによっては画像・音声・動画による資料の視聴、デモや問題解決課題を授業内課題として行っていただくことがあります。また、webシステムを利用した課外課題も適宜出します。授業中のデモ、問題解決、質疑応答等の授業内課題や、課外課題等への取り組みについては、単位の認定及び評価時の資料とします。

本学学生の多様な知的背景や自主学習の便宜なども考慮して、本授業の受講形態には講義型とweb型の二種類が用意されており、受講生はいずれの方法も自由に選択できます。無論、どちらか一方の型を常に選択する必要はなく、個々人の裁量において自由に適宜選択できます。もちろん、両方の形式で受講することも可能であり、授業担当者としては両方の形式での受講を勧めます。また、授業に必要な情報は全てwebで提供しますので、受講予定の学生は、必ず授業用webサイトのIDとパスワードを取得して下さい（IDとパスワードは初回ガイダンス時に知らせます）。

いずれの受講形態を選択しても単位認定に際して不利益が生じることはありません。受講形態に関する詳細などは、初回ガイダンスで説明しますが、授業webサイトで配布される授業ガイドも参照して下さい。

7　評　価　方　法

評価は、単位認定と単位評価の二段階で行います。

まず、単位認定に際しては、第２～14回の各授業で必要に応じて課される課外課題に対する得点（合計100点満点）で判断をします。60点以上で単位認定とします。

次に、認定された単位に対して相対評価を行い、これを最終評価とします。認定された単位に対する評価については、授業内課題への参加状況なども考慮します。

課外課題の内容・回数・配点など、評価方法の詳細等については、初回授業（ガイダンス）及び授業用webサイトで配布する授業ガイドでより詳細に説明しますので、受講予定の方は、初回授業に参加するか、授業ガイドを必ず手に入れてください。

8　教科書・参考文献

教科書：特に指定しない。修学に必要な資料は全てwebで配布します。
参考文献：配布資料やwebにて適宜示します。

9　オフィスアワー（授業相談）

オフィスアワー情報は授業時に通知します。もちろん、個別にメール等でアポイントメントを取っていただければ、適宜対応します。

10　学生へのメッセージ

教授活動の迅速かつ適切な形成的改善のために、単位認定と評価の方法を含めた本授業における様々な規則等は、原則としてシラバス記載の内容よりも、授業webサイトを通じて配布される様々な文書に記される規定を最優先としますので、必ず授業webサイトを定期的に確認するようにしてください。また、本授業の単位認定に関しては、いわゆる救済策の類は一切存在しませんので、この点も注意して下さい。

11　授業用URL

http://kojima-lab.net ／ lecture_etc ／ index.html

情　報　科　学

1　担　当　教　員　名

教　　授　芦　原　貴　司（情報総合センター）
准　教　授　本　山　一　隆（情報総合センター）
助　　教　重　歳　憲　治（マルチメディアセンター）

2　配　当　学　年　等

第１学年・編入第３学年　前期　２単位

3　学　習　目　標

・一般学習目標
　医学学習に必要となる情報リテラシーおよび研究や臨床での活用につながる情報技術の習得、ならびにそれらの基礎となる概念の理解。
・個別学習目標
（１）コンピュータの構造と動作の概要を理解し、基本的な操作が行える
（２）オペレーティングシステムの役割とファイルの概念を理解し、操作できる
（３）ネットワークの基本動作とインターネットの成り立ちを理解し、情報通信に必要な基本操作が行える
（４）インターネット上で最も活用されているWeb（ホームページ）や電子メールの仕組みを理解し、情報の収集と発信、コミュニケーションの手段として活用できる
（５）情報活用に際して起こりうるセキュリティ面での危険性を理解して対応し、日常だけでなく、医療情報管理や個人情報保護の観点から発生しうる問題がわかる
（６）文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトウェアなどの日常作業に用いるアプリケーションが活用できる
（７）これらのアプリケーションに共通する「オブジェクト」の概念を理解し、各局面で応用できる
（８）コンピュータにおける静止画、動画データの基本構造と処理過程を理解し、基本的なデータ操作が行える
（９）情報を処理する際のフロー（流れ）の考え方、表現法を理解し、小規模なプログラミングの経験を持つ
（10）医療における情報技術の活用状況を把握し、習得した知識との関連付けができる

4　授　業　概　要

医学分野における情報化の進展は、臨床現場においては電子カルテを始めとして業務の効率化や医療ミスを防ぐための有効な手段となっており、診療支援に欠くことのできないものになっている。また、研究分野でも、遺伝子、タンパク質を扱う分野にとどまらず情報技術は不可欠なものになっている。看護学を目指すものも、否応なくこうした領域のコンピューターシステムを扱わなければならなくなる。その際に、基本となる情報技術、情報科学の基礎を持っているか否かで、習得効率や有効活用のレベルが大きく異なる。勉学の面でも、爆発的な医学知識の増大は今後も続き、こうした医学知識の習得や、実践のための取捨選択を限られた時間に全うするには、情報を扱う技術が重要な役割を果たすことになる。

本講義「情報科学」では、臨床や医学研究、学習に用いられる情報技術の共通かつ必須の部分、いわゆるコンピュータリテラシーを一通り習得する。現在では、学校授業や日常生活でこれらを習得している可能性が高いので、早期に最低限のスキルに到達することを目的とする。講義では各人１台のコンピュータが割り当てられる。講義内容は毎回のトピックスの解説と実習で構成され、実践技術の実習を通して情報科学の基礎知識の理解を目的としている。また、単なるコンピュータ利用技術の習得にとどまらぬよう、実習課題などには医学医療を意識した題材を用いている。また、道具としてのコンピュータをより理解するため、プログラミングの学習も行う。ブラウザ上で動作し、簡易にプログラム作成ができるPythonを用いる。

5　授　業　内　容

下記の「授業計画表」の内容に沿って講義、演習を行うが、進捗状況次第で順序や内容を変更することがある。
講義とは別にマルチメディアセンターが主催している講習会もあるので活用してほしい。

年月日（曜）	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
４月６日（月）	2	芦原・本山・重歳・図書館、マルチメディアセンター職員	図書館・マルチメディアセンター合同ガイダンス ４月６日（月） 10：40～12：30	学内でのネットワーク、コンピュータの利用に必要な最低限の手続きを行い、利用方法を学ぶ。（メールアドレス、パスワード設定、メール利用、学内PC利用など） 臨床講義室３に集合すること。	臨３・MMC
４月14日（火）	2	芦原・本山・重歳	Introduction	学内の情報環境と利用方法、ルールを確認する。ファイルの概念や印刷方法などコンピュータ操作の基本を学ぶ。	MMC

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
４月21日(火)	2	本山・重歳	文書作成とプレゼンテーションと表計算(基礎編)	学生生活の中で多用される文書作成とプレゼンテーションと表計算の基本技術を学習する。その中で図形をはじめとする様々なオブジェクトの概念と操作法を学ぶ。	MMC
４月28日(火)	2	本山・図書館職員	図書検索システム入門	ネットワークを駆使して文献(図書や論文など)を手早く見つけ出す。図書館の効率的な利用方法やオンラインジャーナル、電子ブックについても解説する。	MMC
５月12日(火)	2	本山・重歳	文書作成とプレゼンテーション(応用編)	文書作成とスライド作成での応用技術。PDF作成や文字コードなどについても触れる。	MMC
５月19日(火)	2	〃	表計算ソフトウェア(応用編)	集計データを扱う際の前処理(文字列加工)と初歩的な統計処理を試みる。	MMC
５月26日(火)	2	〃	画像処理	画像データの基本知識を学習する。画像の回転縮小や写真合成など簡単な画像処理を、医療画像を題材に実習する。	MMC
６月２日(火)	2	〃	動画処理の仕組みと加工	日常扱うことが多くなった動画データの基本知識と加工技術を習得する。	MMC
６月９日(火)	2	〃	インターネットの仕組み	インターネットが機能するための仕組み、メール、webの挙動と特性を学ぶ。	MMC
６月16日(火)	2	芦　原	保健医療情報1	病院情報システムと看護のあり方について学ぶ。	MMC
６月23日(火)	2	本山・重歳	情報セキュリティ1	コンピュータウイルスやネットワーク・サーバーへの不正侵入、フィッシングなど、現実に目の前にあるインターネット上の「脅威」について学習する。	MMC
６月30日(火)	2	〃	情報セキュリティ2	IPAが提供するビデオ教材による学習および擬似ウィルス感染による体験学習ほかを学ぶ。	MMC
７月７日(火)	2	芦　原	保健医療情報2	個人情報保護について学ぶ。	MMC
７月14日(火)	2	本山・重歳	web(ホームページ)による情報発信	webの仕組みを理解し、ホームページを形作るHTMLを学習する。自己紹介のホームページ作成を通して、webの基本を学ぶ。	MMC
７月21日(火)	2				

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義はマルチメディアセンター(MMC)演習室において、口述と実習を交えて進める。講義資料は全てeLearningサーバ(授業用URLを参照)に掲載されており、紙による講義資料は基本的に配布しない。資料は講義中に参照するほか、講義時間外でも参照し、予復習することができる。紙での資料を希望するものは、各自がプリンタで印刷すること。講義中はプロジェクタ映像と共に、机上のサブモニター上にも映像が提示され、スライドや実際の操作画面等が必要に応じて映し出される。

講義時間中に行う演習は、１人１台のコンピュータが割り当てられており、受講者自身による操作演習が課せられる。大部分の演習時間で講師以外に実習を補助する教員がつく。

各自のデータのためにファイルサーバ上に３GBの保存領域が割り当てられている。実習課題でもあるホームページなどは、ここに作成する。保管容量が不足する場合は、クラウドに各自のデータを退避させれば、自宅のコンピュータで利用することも可能である。なお、センター内ではプリンター印刷が一定量まで自由に利用できるよう用意されている。

7　評　価　方　法

各テーマ毎に、演習課題の提出、または小テストへの回答をeLearningシステム上で行う。回答に時間を要する課題については、宿題として課する場合がある。また、学期末には試験を行う。成績評価は、出席、小テスト、宿題、期末試験(eLearningによる試験もしくは課題レポート)、学習態度等を統合して行う。

8　教科書・参考文献

講義はスライドを基に進められる。講義レジメとしてスライド内容を毎回eLearningシステムに掲載する。必ずノートを用意し、スライドに書かれていない内容や不明点など書き残しながら、聴講すること。

特定の教科書は用いない。以下に参考文献をあげるので、必要に応じて参照されたい。これらを含めた参考図書は、図書館の開架書庫や演習室内の書架、センター事務室に置かれているので、利用すると良い。図書以外に参考になるホームページも多数あり、講義中に紹介する。

・コンピュータやその上で動く個々のプログラムの使い方については、巷にたくさんの本が出ているので、参考にすると良い。講義中の演習に用いるコンピュータ環境は、OSにWindows10、ワープロ、表計算、プレゼンテーション作成にMicrosoft

Office2016、画像加工にAdobe Photoshop Elements15、動画加工にムービーメーカー、WebブラウザにInternet Explorer11などからなっている。

これらについての参考書籍が図書館や演習室書架に置かれているので、必要に応じて読むと良い。

参考文献：

・基礎的な情報科学の参考書

情報理論や計算機の構造などの情報科学の基礎については以下の 2 冊を紹介しておく。これらは情報科学の基礎を広く扱ってるが、医学部基礎教養としてはやや高度な内容なので、講義内容以上に学習したい場合に参考にすると良い。

八村広三郎：計算機科学の基礎（近代科学社）

上林弥彦：情報科学の基礎理論（昭晃堂）

・コンピュータリテラシーに関する参考書

海野　敏、田村恭久：情報リテラシー（オーム社出版局）

コンピュータリテラシー全般がコンパクトにまとめて書かれている。講義では、この内容の半数程度をカバーしているので、不足部分を参照すると良い。

久保田裕、佐藤英雄：知っておきたい情報モラルQ&A（岩波書店）

情報モラルは、ネットワークを利用し始めると身近に起こる問題であるが、合法であるか否か、マナーに反しているか否かの判断は非常に難しい。実例が挙げられており、一読の価値がある。

9　オフィスアワー（授業相談）

授業に関連した質問、相談は、マルチメディアセンター教員室で随時可能である。不在の場合があるので、予めメールで問い合わせる方が良い。メールでの質問も受付ける。また、コンピュータ操作等基本的な質問は、マルチメディアセンターのサービスとして図書館カウンターでも受け付けている。

10　学生へのメッセージ

医学、医療への情報技術の浸透は急速に進んでおり、これらに携わる人は情報機器の利用を避けて通ることはできなくなっている。一方では、情報技術そのものの発達も速く、時代と共に使わなければならない機器の姿も変わり続けている。講義で学んだコンピュータの使い方も、将来仕事で使う時には形が変わっているいるに違いない。

講義で用いるコンピュータは2017年 3 月に新たに設置されたもの（CPUにCorei5、OSにWindows10を装備したノートPC）である。将来、臨床の場等で活用するであろう機器は上記のものとは違ったものになる。しかし、これらを使って学んでゆく「情報を扱う」技術や考え方は変わらないので、それらの基本をしっかり理解していれば、どの時代にも対応してゆける。「コンピュータに使われる」ことなく、その恩恵を享受するために、情報機器を使いこなす「センス」をこの講義を通じて習得されることを期待する。

ほとんどの学生が、コンピュータの一種であるスマートフォンを日常的に利用しており、既にネットワークとコンピュータの環境の中に暮らしているといえる。講義では、スマートフォンにはできない（使いにくい）利用法やスマートフォンにも共通する情報の仕組みについて学んでゆく。

講義で学ぶ基本的なリテラシーは高校などで既に習得している部分もある。レポートや発表など、他の科目ですぐに実用しなければならなくなるので、復習すると同時に、利用経験の少ない同級生がいれば、教えてあげることで自己確認するといった積極的な態度で受講してほしい。

学内で学生が自由に利用できるコンピュータは、マルチメディアセンター以外にも、食堂、一般教養棟 3 階第 5 講義室、看護学科棟ピロティーなどにもある。授業休憩時間等に必要に応じて活用してほしい。自身の所有しているノートPC、タブレット、スマートフォンは、登録をすれば学内でのネットワークが利用可能となる。教室を始め学内主要箇所には無線LAN（WiFiスポット）が設置されている。他の講義でも、それぞれの情報機器の使用ルールに従って、活用すると良い。

11　授業用URL

http://latte.shiga-med.ac.jp/

アカデミック・スキル

1　担　当　教　員　名

教　　授　室　寺　義　仁（医療文化学講座　哲学）
教　　授　兼　重　　努（医療文化学講座　文化人類学）
教　　授　宮　松　直　美（臨床看護学講座）
准 教 授　小　島　隆　次（医療文化学講座　心理学）

2　配　当　学　年　等

第１学年　後期後半　１単位

3　学　習　目　標

大学の各授業において課せられるレポートを作成するに当たり、大学生として相応しいレポートを完成できるように、受講生の皆さんが「学士力」を身に付けることを目指します。

4　授　業　概　要

アカデミック・ライティング（学術的な記述）のためにはスキル（技法）を習得する必要があります。そこで、まず第一に、そのスキルが、対社会的に、あるいは、同業者集団内、例えば、医療人の仲間内において、なぜ必要とされるのか、看護学分野の研究倫理の初歩から学びます。そして、具体的に、分かり易い文章の書き方から始め、文献引用の際の決まりごとや著作権などについて理解を深めます。その上で、プロトコール（臨床研究／実験計画手順書）などの作成についての基礎知識を学習します。

5　授　業　内　容

「学士力」を身に付けるために、レポート課題への取り組み方の姿勢、課題内容についての関連文献の検索の仕方、並びに、先行研究文献を引用するときの標準的な規則などについての理解を深めます。研究倫理の初歩についても学習します。

年月日（曜）	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
12月２日（水）	4	宮　松	専門職に求められる学術的記述とは（１）	学識を有する専門職者に求められる論述能力について	看１
12月２日（水）	5	〃	専門職に求められる学術的記述とは（２）	学識を有する専門職者に求められる研究倫理について	看１
12月９日（水）	1	室　寺	分かり易い文章の書き方（１）	看護師を目指す者として、受講生各自が大切にしている言葉を題材として	看１
12月23日（水）	1	〃	分かり易い文章の書き方（２）	（同上）	看１
令和３年					
１月６日（水）	1	兼重・附属図書館職員	学術的引用の作法（１）	文献資料を用いて論ずるときの引用の仕方などについて	看１
１月13日（水）	1	兼　重	学術的引用の作法（２）	（同上）	看１
１月20日（水）	1	小　島	実験・調査の方法（１）	実験計画の立て方、アンケートなどにおける質問の作り方について	看１
１月27日（水）	1	〃	実験・調査の方法（２）	（同上）	看１

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式。

7　評　価　方　法

授業担当の各教員から提示される課題レポート、あるいは、小テストやコメントシートの提出をもって評価します。授業実数の３分の２を超える出席回数が認められることを前提とします。その上で、各教員の評価点数を合算して100点満点評価します。

8　教科書・参考文献

指定テキストはありません。それぞれの授業の中で参考図書などについて紹介する予定です。

臨 床 心 理 学

1 担 当 教 員 名

准 教 授　小 島 隆 次（医療文化学講座　心理学）

2 配 当 学 年 等

第２学年・編入第３学年　前期後半　１単位

3 学 習 目 標

本授業は、臨床場面でも重要となる、パーソナリティ、感情、コミュニケーションの３つの分野の心理学の基礎知識と臨床心理学分野で用いられる主要な心理的支援法の基礎知識を習得することを第一義とします。また、受講生が本講義で課される様々な課題を適切にこなすことで、論理的に考え、批判する能力が養われ、習得した知識を日常生活でどのように応用していくのかを考えられるようになることも目指します。

そして、上記目標の達成に伴い、結果的に受講生が以下の目標を達成できるようになることを学習目標とします。

１．上記心理学３分野と心理的支援法の基礎知識を身に着けること
２．上記心理学３分野と心理的支援法の基礎知識を様々な日常の場面で活用する態度を身に着けること
３．様々な事象に対して、批判的・発展的に考える態度を身に着けること

4 授 業 概 要

本授業は、パーソナリティ、感情、コミュニケーション、心理的支援の方法についての主要なトピック（個々の テーマなどについては授業スケジュールを参照してください）を中心に教授します。また、講義を受講することで、受講生が論理的に考え、批判する能力を養いつつ、論理的・批判的思考と日常における人の思考・行動特性との関係性について考察する契機を得られるようにしたいと思います。

5 授 業 内 容

授業内容は以下の授業計画表の各授業における内容を参照してください。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
６月12日(金)	5	小　島	初回ガイダンス	本授業の受講方法や基本方針などを説明。	看１
６月19日(金)	5	〃	パーソナリティ１	類型論と特性論を中心に代表的なパーソナリティ理論を概説。	看１
６月26日(金)	5	〃	パーソナリティ２	パーソナリティの測定方法などについて概説。	看１
７月３日(金)	5	〃	感情・ストレス	感情・情動及びストレスに関する基本事項を概説。	看１
７月10日(金)	5	〃	コミュニケーション１	コミュニケーション全般に関する基礎事項と言語コミュニケーションの諸特性を概説。	看１
７月17日(金)	5	〃	コミュニケーション２	非言語情報の特性と非言語コミュニケーションの諸特性を概説。	看１
７月29日(水)	3	〃	心理的支援法	認知療法、行動療法、認知行動療法などを中心に、心理的支援の方法を概説。	看１
７月31日(金)	5	〃	全体の振り返り	授業で扱った内容全般を振り返りつつ、適宜受講生へのフィードバックを行う。	看１

6 授業形式・視聴覚機器の活用

授業は基本的にパワーポイントを利用したプレゼンテーション形式です。但し、テーマによっては画像・音声・動画による資料の視聴、デモや問題解決課題を授業内課題として行っていただくことがあります。また、第２～７回の授業後には、各回の授業内容に応じた課外課題を必要に応じて課します。授業中のデモ、問題解決、質疑応答等の授業内課題や、課外課題等への取り組みについては、単位の認定及び評価時の資料とします。

本学学生の多様な知的背景や自主学習の便宜なども考慮して、本授業の受講形態には講義型とweb型の二種類が用意されており、受講生はいずれの方法も自由に選択できます。無論、どちらか一方の型を常に選択する必要はなく、個々人の裁量において自由に適宜選択できます。もちろん、両方の形式で受講することも可能であり、授業担当者としては両方の形式での受講を勧めます。また、授業に必要な情報は全てwebで提供しますので、受講予定の学生は、必ず授業用webサイトのIDとパスワードを取得して下さい（IDとパスワードは初回ガイダンス時に知らせます）。

いずれの受講形態を選択しても単位認定に際して不利益が生じることはありません。受講形態に関する詳細などは、初回ガイダンスで説明しますが、授業webサイトで配布される授業ガイドも参照して下さい。

7　評　価　方　法

評価は、単位認定と単位評価の二段階で行います。

まず、単位認定に際しては、第２～８回の各授業で必要に応じて課される課外課題に対する得点（合計100点満点）で判断をします。60点以上で単位認定とします。

次に、認定された単位に対して相対評価を行い、これを最終評価とします。認定された単位に対する評価については、授業内課題への参加状況なども考慮します。

課外課題の内容・回数・配点など、評価方法の詳細等については、初回授業（ガイダンス）及び授業用webサイトで配布する授業ガイドでより詳細に説明しますので、受講予定の方は、初回授業に参加するか、授業ガイドを必ず手に入れてください。

8　教科書・参考文献

教科書：特に指定しない。修学に必要な資料は全てwebで配布します。
参考文献：配布資料やwebにて適宜示します。

9　オフィスアワー（授業相談）

オフィスアワー情報は授業時に通知します。もちろん、個別にメール等でアポイントメントを取っていただければ、適宜対応します。

10　学生へのメッセージ

教授活動の迅速かつ適切な形成的改善のために、単位認定と評価の方法を含めた本授業における様々な規則等は、原則としてシラバス記載の内容よりも、授業webサイトを通じて配布される様々な文書に記される規定を最優先としますので、必ず授業webサイトを定期的に確認するようにしてください。また、本授業の単位認定に関しては、いわゆる救済措置の類は一切存在しませんので、この点も注意して下さい。

11　授業用URL

http://kojima-lab.net/lecture_etc/index.html

一 般 教 養 科 目 Ⅱ

現代社会と科学

1　担当教員名

教　　授　目良　　裕（生命科学講座　物理学）
教　　授　久津見　　弘（臨床研究開発センター）
教　　授　古荘義雄（生命科学講座　化学）
教　　授　平田多佳子（生命科学講座　生物学）
教　　授　宇田川　　潤（解剖学講座　生体機能形態学部門）
教　　授　縣　　保年（生化学・分子生物学講座　分子生理化学部門）
教　　授　扇田久和（生化学・分子生物学講座　分子病態生化学部門）
教　　授　小島秀人（生化学・分子生物学講座　再生・修復医学部門）
教　　授　伊藤　　靖（病理学講座　疾患制御病理学部門）
教　　授　後藤　　敏（病理学講座　微生物感染症学部門）
教　　授　一杉正仁（社会医学講座　法医学部門）
教　　授　相見良成（基礎看護学講座）
教　　授　宮松直美（臨床看護学講座）
准教授　尾松万里子（生理学講座　細胞機能生理学部門）
准教授　本山一隆（情報総合センター）

2　配当学年等

第1学年・編入第3学年　前期　2単位

3　学習目標

科学と技術が人類の生き方に大きな影響力をもつ現代において、科学や技術の成果を享受するだけでなく、責任ある市民としてまた医療人として現代社会に関与するための科学知識と素養を備えること、すなわち科学的な思考方法を社会的目的のために用いる能力が求められる。本講義では、科学的な思考方法、その有効さと限界の一端を知ることを学習目標とする。

以下に各回の目標を列挙する。

1）ナノスケールの物質が持つ特異な性質と、その応用について学ぶ。
2）医療製品の有効性・安全性を科学するレギュラトリーサイエンスの重要性を理解する。
3）化学反応と分子間相互作用を巧みに利用した新しい材料のつくり方について理解する。
4）スーパーコンピュータが自然現象の解明、災害の予測、製品開発等の様々な分野で利用され、人々の生活に変化をもたらすことを理解する。
5）がんの免疫療法について理解する。
6）生体における3つの重要なホメオスタシスシステムについて学ぶと同時にそれだけでは説明できない新たな現象について考察する。
7）妊娠中のストレスと子どもの生後の疾患発症リスクとの関係を科学的に説明できる。
8）遺伝子組換え技術を概観し、その技術の現代社会に及ぼす影響を考察する。
9）我が国における外因死の現状を理解し効果的予防対策の重要性を理解する。
10）文明化に伴い現代社会で増えている病気について、生命進化の視点からその原因を考える。
11）インフルエンザウイルスの生物学的特徴を理解し、感染制御方法を考察する。
12）血管病変の発症について、基礎的な事項を理解できる。
13）脂肪細胞の生理的意義に対する考え方が文明の進歩に従って変化してきたことを理解する。
14）組織化学法を例にあげ、形態学的研究法の意義と限界について考える。
15）公衆衛生の実践や臨床判断に不可欠である疫学の基本的な概念および方法論を理解する。

4　授業概要

新聞・雑誌・テレビなどマスコミにも登場する身の回りの科学事象を通して、「サイエンスとは」を理解しようとする総合的授業である。

5　授　業　内　容

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月15日(水)	1	目　良	ガイダンス 講義	ナノテクノロジー	臨３
４月22日(水)	1	古　荘	講義	ナノケミストリー	臨３
５月７日(木)	1	久津見	講義	レギュラトリーサイエンス	臨３
５月13日(水)	1	本　山	講義	スーパーコンピュータの発達と社会への貢献	臨３
５月20日(水)	1	縣	講義	がんの免疫療法 － PD-1抗体療法とT-iPS細胞	臨３
５月27日(水)	1	小　島	講義	第四のホメオスタシスシステム	臨３
６月３日(水)	1	宇田川	講義	妊婦のストレスと子どもの健康	臨３
６月10日(水)	1	後　藤	講義	ウイルス作製技術と人工生物	臨３
６月17日(水)	1	一　杉	講義	社会を守る－エビデンスに基づく事故予防対策－	臨３
６月24日(水)	1	平　田	講義	ヒトへの進化と文明の病	臨３
７月１日(水)	1	伊　藤	講義	新型インフルエンザは流行するのか？	臨３
７月８日(水)	1	扇　田	講義	血管は年齢と共に老いる－動脈硬化にまつわる話－	臨３
７月15日(水)	1	尾　松	講義	脂肪細胞と文明の進歩	臨３
７月22日(水)	1	相　見	講義	研究方法をブラックボックスにしないで！	臨３
７月29日(水)	1	宮　松	講義	Evidence based medicine時代の科学：疫学ことはじめ	臨３

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式で行う。必要に応じて、視聴覚機器を使用する。

7　評　価　方　法

各講義毎の試験あるいはレポート等の評価により総合的に評価する。全回出席を前提とする。

8　教科書・参考文献

教科書は使用しない。必要に応じて資料プリントを配布し、参考図書等を紹介する。

9　学生へのメッセージ

医学科・看護学科教員による医学科・看護学科の合同講義です。広い分野にわたる話題をオムニバス形式で提供しますが、統一テーマ「サイエンスとは」、「テクノロジーとは」および「科学的思考法とは」を、各講師の話から考えてもらえればと思っています。

社　会　学

1　担当教員名

非常勤講師　　LADMIRAL　Guillaume　Andre Jean Rene

2　配当学年等

第１学年・編入第３学年　前期　２単位

3　学習目標

現代社会学の主な項目を取り上げ、それぞれについての基本的な考え方を理解し、習得します。現在日本社会がどのような変化の結果として存在しているのかを理解することを通じて、社会問題について知識に基づいた見方を身につけます。同時に情報の扱い方やレポート・論文の書き方についても習得します。

4　授業概要

「近代化」（産業化、都市化など）にともなって生じる様々な社会変化や社会問題を理解するのが社会学の目標の一つです。教育、労働、結婚、家族、老いなどのいくつかのトピックを取り上げ、社会学的な視点から解説をしていきます。

5　授業内容

毎回、次回授業に関する部分の資料を読んだ上での要約と、関連する専門用語の定義の記述を小課題とします。各授業の冒頭で前回授業に関する質疑応答および受講生が提出した小課題に関するコメントを行った後、その日の項目の説明を行います。

年月日（曜）	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月10日（金）	4	LADMIRAL	１．イントロダクション	授業の全貌掲示 方法論：レポートの書き方について説明と指導	看１
４月17日（金）	4	〃	２．人口学入門	人口転換、少子化高齢化の原因	看１
４月24日（金）	4	〃	３．病気、医療、死因の小史	伝染病から悪性新生物へ、予防から医療へ	看１
５月１日（金）	4	〃	４．産業化・都市化と社会構造	産業化、都市化、地域社会	看１
５月８日（金）	4	〃	５．社会分化と社会成層	社会階級と階層	看１
５月22日（金）	4	〃	６．権力関係	権力と支配とは何か？権力と制度	看１
５月29日（金）	4	〃	７．生活構造	生活水準、生活の質、ライフスタイル	看１
６月５日（金）	4	〃	８．家族の歴史社会学	家族の類型と家族の変容過程。「近代家族」の成立と現代の「家族」の有様	看１
６月12日（金）	4	〃	９．結婚と離婚	結婚と離婚の歴史変動と現状、家族と法律	看１
６月19日（金）	4	〃	10．就業と家族	男女で異なる働き方、性別役割分業の実態	看１
６月26日（金）	4	〃	11．貧困と福祉－１	貧困と高齢化	看１
７月３日（金）	4	〃	12．貧困と福祉－２	日本の社会保障システム	看１
７月10日（金）	4	〃	13．社会問題と社会病理性	病気の社会的原因、精神病、自殺	看１
７月17日（金）	4	〃	14．まとめ レポートの書き方について個人相談・指導（１）	受講者の個々人がレポートの課題とレポートの構成を説明した上で、教員と受講者がコメントをする	看１
７月31日（金）	4	〃	15．レポートの書き方について個人相談・指導（２）	受講者の個々人がレポートの課題とレポートの構成を説明した上で、教員と受講者がコメントをする	看１

6　授業形式・視聴覚機器の活用

・授業形式：講義
・視聴覚機器の活用：プロジェクターで講義を行います。

7　評価方法

出席50％、末期レポート50％で評価をします。出席は、基本的に各授業で行う小課題で確認をします。末期レポートは、参考文献を参照しながら、授業で取り扱った項目について、書いてもらいます。

8　教科書・参考文献

毎回資料を配布します。

9　オフィスアワー（授業相談）

該当せず

医 療 社 会 学

1 担 当 教 員 名

非常勤講師　　馬　込　武　志（学校法人湊川相野学園　湊川短期大学　教授）

2 配 当 学 年 等

第１学年・編入第３学年　後期　２単位

3 学 習 目 標

医療社会学の基本的な考え方について理解する。

4 授 業 概 要

わが国では、21世紀になってから医療制度や医療者-患者関係が急速に変化してきている。どのような変化が見られるのか、なぜ変化してきているのかを、様々なトピックを通して社会学の視点から明らかにしていくことを授業の狙いとしている。

5 授 業 内 容

現代医療における言説や現象をとりあげ、現実に起こっている問題を示しながら、その問題の原因と解決方法について共に考える。

年月日（曜）	時限	担当教員	項　　目	教室
令和２年				
10月２日（金）	2	馬　込	オリエンテーション …授業の進め方について	看４
10月９日（金）	2	〃	病人役割	看４
10月16日（金）	2	〃	医療はマジックだ！	看４
10月30日（金）	2	〃	提供される情報、されない情報	看４
11月６日（金）	2	〃	カルテ開示について	看４
11月13日（金）	2	〃	自己決定と求助権	看４
11月20日（金）	2	〃	犠牲者（患者）非難について	看４
11月27日（金）	2	〃	看護師について考えました	看４
12月４日（金）	2	〃	医療と差別	看４
12月11日（金）	2	〃	医療過誤について	看４
12月25日（金）	2	〃	健康の多様性	看４
令和３年				
１月８日（金）	2	〃	「正当な」文化としての健康	看４
１月22日（金）	2	〃	調査はなぜ捏造されたのか？	看４
１月29日（金）	2	〃	メタボリックの失敗	看４
２月５日（金）	2	〃	看護師という仕事	看４

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式

7 評 価 方 法

試験を行ないます。また、平常点も加味したいと思います。

8 教科書・参考文献

特にありません。参考文献などは適宜お示しいたします。

9 学生へのメッセージ

みなさんと一緒に授業を作り上げて行きたいと思います。

教　育　学

1　担当教員名

非常勤講師　　中　島　千　恵（京都文教大学　教授）

2　配当学年等

第２学年・編入第３学年　前期　２単位

3　学習目標

（１）健康と教育との関わりについて認識を深め、子育てや教育について医療関係者に求められる法的責務や社会的責任を考え、遵守することができる。
（２）多様な子どもの教育的ニーズについて考え、教育における公正や平等に対して意識を高める。
（３）教育事象を多面的視点から考える力や洞察力を養う。
（４）教育問題を通して自己や他者について考え、自己の行動を見極める姿勢を培う。

4　授業概要

乳幼児期は人間としての基礎として重要な時期であり、その後の成長にとっても重要な時期である。また、義務教育は生きていく上で基礎的な学力を身につける時期である。それ故に、乳幼児期から義務教育段階はすべての子どもの学習権が保障され、ふさわしい環境が整備されなければならない。このような認識から、本講義では、乳幼児期から義務教育段階の保育・教育の本質と現代的課題について学ぶ。授業全体を通して目指すのは、これらの知識を基礎として、子どもの教育問題に対する洞察力を高め、広い意味での教育における医療者の役割を考えられるようにすることである。

5　授業内容

Ⅰ．教育の動向と現代的課題（１）
　１．オリエンテーション（医療者の立場から教育の必要性を考える）
　２．健康と教育：教育者としての医療関係者の使命を考える
　３．格差・貧困・教育：子どもと保護者の状況を考える
　４．グローバル化する社会に生きる：外国にルーツを持つの子どもの教育
　５．教育制度改革の動向
Ⅱ．教育の基本原理
　６．教育活動の本質と社会的機能
　７．知識・技術の伝達、心：伝達するとはいかなることなのか
　８．教育における権利と義務：病児の教育を受ける権利と義務を考える
　９．公教育の基本原理：国家と教育の関係を考える
　10．日本における幼児期の保育・教育の基本：幼児期の理解を深める
Ⅲ．教育の動向と現代的課題（２）
　11．特別支援教育：変化する障害者支援の考え方を学ぶ
　12．AI時代の教育：求められる能力の資質を考える
　13．学校・保護者・地域との連携と相互支援：エンパワーメントを考える
　14．ディベート
　15．まとめ

6　授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月14日(火)	3	中　島	Ⅰ．教育の動向と現代的課題（１）	１．オリエンテーション（医療者の立場から教育の必要性を考える）	臨３
４月21日(火)	3	〃	Ⅰ．教育の動向と現代的課題（１）	２．健康と教育：教育者としての医療関係者の使命を考える	臨３
４月28日(火)	3	〃	Ⅰ．教育の動向と現代的課題（１）	３．格差・貧困・教育：子どもと保護者の状況を考える	臨３
５月12日(火)	3	〃	Ⅰ．教育の動向と現代的課題（１）	４．グローバル化する社会に生きる：外国にルーツを持つ子どもの教育	臨３
５月19日(火)	3	〃	Ⅰ．教育の動向と現代的課題（１）	５．教育制度改革の動向	臨３
５月26日(火)	3	〃	Ⅱ．教育の基本原理	６．教育活動の本質と社会的機能	臨３

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
６月２日(火)	3	中　島	Ⅱ．教育の基本原理	7．知識・技術の伝達、価値、心：伝達するとはいかなることなのか	臨３
６月９日(火)	3	〃	Ⅱ．教育の基本原理	8．教育における権利と義務：病児の教育を受ける権利と義務を考える	臨３
６月16日(火)	3	〃	Ⅱ．教育の基本原理	9．公教育の基本原理：国家と教育の関係を考える	臨３
６月23日(火)	3	〃	Ⅱ.教育の基本原理	10．日本における幼児期の保育・教育の基本：幼児期の理解を深める	臨３
６月30日(火)	3	〃	Ⅱ.教育の基本原理	11．特別支援教育：変化する障害者支援の考え方を学ぶ	臨３
７月７日(火)	3	〃	Ⅲ．教育の動向と現代的課題（２）	12．AI時代の教育：求められる能力の資質を考える	臨３
７月14日(火)	3	〃	Ⅲ．教育の動向と現代的課題（２）	13．学校・保護者・地域との連携と相互支援：エンパワーメントを考える	臨３
７月21日(火)	3	〃	Ⅲ．総合的考察（１）	14．ディベート	臨３
７月28日(火)	3	〃	Ⅲ．総合的考察（２）	15．まとめ	臨３

7　授業形式・視聴覚機器の活用

１）授業形式　講義とディスカッション、ディベートも入れる（受講者数に応じて柔軟に考える)。授業中に感想や意見を書いて提出してもらう。

２）視聴覚機器　ビデオ、OHC、パワーポイント使用

8　評　価　方　法

宿題・授業中の提出物（70%）

ディベートまたは研究レポート（30%）

なお、授業に出席することを前提とするが、出席点などない。

提出物の評価基準

①基礎的内容の理解

②教育に対する意識の高さ、理解の深さ、多面的思考

③論理の明瞭性

④誠実で丁寧な取り組みであること

⑤学習目標に照らして自己の学びについて適切に記述している。

9　教科書・参考文献

教科書：

授業中に紹介する。

参考文献：

田中、越後、中島編著 『改訂　未来に生きる教育学』あいり出版、2018年

阿部　彩『子どもの貧困－日本の不公平を考える』岩波書店、2003年

山野良一『子どもの最貧国・日本：学力・心身・社会に及ぶ諸影響』光文社新書、2008年。

その他、授業で紹介する。

10　オフィスアワー（授業相談）

授業終了後か時間がかかる場合は、相談の上、別に時間を取る。

11　学生へのメッセージ

教育について語り合いながら授業を進めたいと思っています。

なお、教育改革の進展や重大な教育問題の発生、また特別学生諸氏から要望などがあった場合、シラバスを一部、変更するなど柔軟に対応します。

法　　学

1　担　当　教　員　名

非常勤講師　　須　永　知　彦（滋賀大学　経済学部　講師）

2　配　当　学　年　等

第２学年・編入第３学年　前期　２単位

3　学　習　目　標

現代社会における様々な法律問題について、特に財産・取引や家族生活といった私法の分野を中心に、身近な素材例にして考えます。ごく初歩的な法律知識の習得も目標としますが、それよりも、法律の世界でのものの考え方や問題解決の仕方を理解してもらうことや、法律の世界の全般の見取り図（どのような問題がどのような法律で扱われるか等）を頭に描けるようになることに重点をおきます。その際に、情報社会や生命倫理といった現代的課題について、現行の法制度や法的思考方法が有する限界を確認することが重要と考えます。

4　授　業　概　要

１回の授業について２つほどのテーマを設定して、教科書やその他の資料を参考にしながらそのテーマに関する法的な考え方を解説します。その上で、そうした考え方や導かれる結論が「妥当」かどうか、妥当かどうかを判別する基準は何かを考えていきます。

時間の関係から、様々な法分野を網羅的に解説することはできません。そこで、扱うテーマは、社会生活にとって身近でありまた医療従事者としても触れる機会の多いであろう民法等の分野が中心になりますが、主要な法分野全般については触れるように努め、またそれらの法分野の相互関係も解説します。

5　授　業　内　容

法と憲法の目指す価値、法的思考の特色について簡単に触れた上で、それをもとに刑法と民法の基礎、裁判制度の概要について説明します。それらの応用として、医療と法（患者の地位、医療事故、生殖医療、終末期医療等）について、裁判例にも触れながら検討していきます。具体的には、以下の授業計画のようになります。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
４月13日(月)	1	須　永	法の世界	（１）法の世界の見取り図 （２）法的思考の特色、法と裁判	臨３
４月20日(月)	1	〃	憲法と法律	（１）最高法規としての憲法（２）憲法と法的問題の解決	臨３
４月27日(月)	1	〃	犯罪と刑罰	（１）刑法と罪刑法定主義 （２）刑罰の機能	臨３
５月11日(月)	1	〃	民法と事故処理	（１）不法行為の基本枠組み（２）共同不法行為と使用者責	臨３
５月18日(月)	1	〃	民法と財産関係	（１）財産の帰属と移転・利用（２）契約の履行と不履行	臨３
５月25日(月)	1	〃	民法と家族関係	（１）婚姻と親子 （２）私的扶養と公的扶養	臨３
６月１日(月)	1	〃	個人と団体	（１）成年後見制度 （２）法人	臨３
６月８日(月)	1	〃	法と情報	（１）個人情報の保護 （２）知的財産権制度の意味	臨３
６月15日(月)	1	〃	医療と法１	（１）医療を巡る法 （２）契約としての医療	臨３
６月22日(月)	1	〃	医療と法２	（１）自己決定権とＱｏＬ （２）説明と同意の法的意味	臨３
６月29日(月)	1	〃	医療と法３	（１）医療事故 （２）医療事故の民事処理１	臨３
７月６日(月)	1	〃	医療と法４	（１）医療事故の民事処理２ （２）事故予防と法の役割	臨３
７月13日(月)	1	〃	医療と法５	（１）生殖医療と法 （２）代理出産の扱い	臨３
７月20日(月)	1	〃	医療と法６	（１）終末期医療と法 （２）安楽死・尊厳死	臨３
７月27日(月)	1	〃	まとめ	法と日常生活、法と医療、法と裁判の限界	臨３

6　授業形式・視聴覚機器の活用

レジュメに基づく解説と質疑応答により授業を進めます。問題の確認のために、ビデオ等を補助的に用いることがあります。板書の代替としてスライドを用います。

7　評　価　方　法

定期試験（7割）と小レポート（3割）により評価します。

・小レポートは、毎回の授業内容と関連する2～3の問題について、授業を進める中で考えてもらい、授業終了時に提出、次回授業時に返却します。（2点×15回＝30点）

・定期試験では、授業内容の理解度、すなわち、基本的な概念の意味の理解、それを応用した思考方法、授業中に触れた事例や判例の意義を、多岐選択問題や事例問題などによりはかります。(70点)

定期試験と小レポートあわせて、成績評価は概ね以下のような基準になります。

可：授業で触れた重要な用語・概念について意味を把握している。

良：それらの用語・概念について、相互に関連でづけて理解している。
　　また、それらから導かれる論理的な帰結について理解している。

優：医療関係の重要判例について、位置づけや内容を理解している。

秀：様々な問題の背景や経緯等について説明できる。

8　教科書・参考文献

教科書：レジュメ及び雑誌・新聞記事の抜粋その他の資料を適宜配布します。

参考文献：授業で紹介します。

9　オフィスアワー（授業相談）

授業の前後にお願いします。教室には8時40分頃からいます。

10　学生へのメッセージ

・授業に出席し、メモをとるように願います。

・大幅に遅刻してくる方には、小レポートの提出資格はないものとします。「大幅に」の定義については授業時に説明します。

・参考用に過去問を配布しますが、年度ごとに授業内容、重点は異なりますので、過去問どおりの問題が出るとは思わないでください。

芸　術　学

1　担当教員名

非常勤講師　　秋　丸　知　貴（株式会社オリジナルボックスかもがわ）

2　配当学年等

第１学年・編入第３学年　前期　２単位

3　学習目標

本講義は、これまで人類が生み出した代表的な芸術作品を通じて、人間の芸術的創造力を様々な角度から分析する。それにより、芸術に関する一般的な基礎知識や美的感受性を身に付けると共に、伝統的・国際的な文化理解を深めることを目標とする。毎回、芸術鑑賞を楽しみつつ、将来の医療人（医学科・看護学科共に）として一生役立つ、芸術を通じて人間の心をより深く考察する機会としたい。

4　授業概要

主に、西洋と日本の美術史を古代から現代まで概観する。特に、それらの芸術作品が誕生する背景となったそれぞれの個人と時代・社会の関係を理解する。順序は下記の通りだが、内容によっては回をまたがることがある。

5　授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月15日(水)	1	秋　丸	1）イントロダクション	芸術とは何か?－原始美術と現代美術	②
４月22日(水)	1	〃	2）西洋美術史①	古代エジプト・古代ギリシャの美術	②
５月７日(木)	1	〃	3）西洋美術史②	中世・ルネサンスの美術	②
５月13日(水)	1	〃	4）西洋美術史③	マニエリスム・北方ルネサンスの美術	②
５月20日(水)	1	〃	5）西洋美術史④	バロック・ロココの美術	②
５月27日(水)	1	〃	6）西洋美術史⑤	新古典主義・ロマン主義の美術	②
６月３日(水)	1	〃	7）西洋美術史⑥	印象主義・象徴主義の美術	②
６月10日(水)	1	〃	8）西洋美術史⑦	フォーヴィズム・キュビズム・ダダイズム・シュールレアリズム・20世紀の美術	②
６月17日(水)	1	〃	9）日本美術史①	縄文時代・弥生時代・古墳時代の美術	②
６月24日(水)	1	〃	10）日本美術史②	飛鳥時代・白鳳時代・奈良時代の美術	②
７月１日(水)	1	〃	11）日本美術史③	平安時代・鎌倉時代の美術	②
７月８日(水)	1	〃	12）日本美術史④	室町時代・安土桃山時代の美術	②
７月15日(水)	1	〃	13）日本美術史⑤	江戸時代の美術	②
７月22日(水)	1	〃	14）日本美術史⑥	幕末・明治時代の美術	②
７月29日(水)	1	〃	15）日本美術史⑦	大正時代・昭和時代・平成時代の美術・アウトサイダーアート	②

6　授業形式・視聴覚機器の活用

パワーポイントを用いた講義を行う。ただし、講義中に質問に対する回答を求める場合がある。毎回、受講者は授業後に講義内容に関する小レポート（出席票に自らの考えを記述）を提出する。

7　評価方法

毎回の小レポートを60%、期末レポート（論述式）を40%として総合評価する。受講態度に問題がある場合は、程度に応じて10～40点減点する。特別な理由のない限り、５回欠席者は不可とする。

8　教科書・参考文献

教科書は指定しない。参考文献は下記の２冊の他、適宜講義中に紹介する。

高階秀爾監修『増補新装　カラー版　西洋美術史』美術出版社、2002年

辻惟雄監修『増補新装　カラー版　日本美術史』美術出版社、2002年

歴　史　学

1　担当教員名

非常勤講師　　目　黒　杏　子

2　配当学年等

第１学年・編入第３学年　前期　２単位

3　学習目標

中国宋代（13世紀）の法医学文献の講読を通じて、東アジアにおける法医学の起源に関する基礎的知識を習得する。

4　授業概要

本講義では、中国南宋時代（1127 ～ 1276年）に編纂された『洗冤集録』の講読を中心として、当該期における法医学の到達点や、その背景にある社会の諸相を考える。『洗冤集録』は、当時の司法官僚の手になる検視マニュアルであり、世界最初の法医学書ともいわれ、前近代の日本の医学にも大きな影響を与えた。この文献に記された、当時の検視の手順や当事者の守るべき心得を知ることで、法医学の黎明期における具体的な状況に関する知識を身につけ、法医学の歴史について考える基礎を築くのが、本講義の目的である。同時に、漢文で書かれた歴史史料を読みこなす作業を体験し、教養としての歴史学と漢文訓読の基礎を学ぶ。

5　授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月15日(水)	3	目　黒	第１講	授業の概要と中国宋代の歴史と社会の説明	看１
４月22日(水)	3	〃	第２講	前近代中国における検視と関連法規の概説	看１
５月７日(木)	3	〃	第３講	漢文史料とその訓読、翻訳について	看１
５月13日(水)	3	〃	第４講	『洗冤集録』の講読、解説と討論①	看１
５月20日(水)	3	〃	第５講	『洗冤集録』の講読、解説と討論②	看１
５月27日(水)	3	〃	第６講	『洗冤集録』の講読、解説と討論③	看１
６月３日(水)	3	〃	第７講	『洗冤集録』の講読、解説と討論④	看１
６月10日(水)	3	〃	第８講	『洗冤集録』の講読、解説と討論⑤	看１
６月17日(水)	3	〃	第９講	『洗冤集録』の講読、解説と討論⑥	看１
６月24日(水)	3	〃	第10講	『洗冤集録』の講読、解説と討論⑦	看１
７月１日(水)	3	〃	第11講	『洗冤集録』の講読、解説と討論⑧	看１
７月８日(水)	3	〃	第12講	『洗冤集録』の講読、解説と討論⑨	看１
７月15日(水)	3	〃	第13講	『洗冤集録』の講読、解説と討論⑩	看１
７月22日(水)	3	〃	第14講	『洗冤集録』の講読、解説と討論⑪	看１
７月29日(水)	3	〃	第15講	講読内容の総括と全体の討論	看１

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式が中心となるが、受講生が参加する簡単な会読や討論も随時行う。

7　評価方法

討論などでの積極性を平常点（50%）として評価する他、期末にレポートを課す（50%）。

8　教科書・参考文献

教科書は指定しない。講読に必要な史料類を印刷して配布する他、参考文献も適宜紹介する。

9　学生へのメッセージ

この講義では、中国宋代の検視マニュアルを実際に読みながら、その内容について、現代の医学知識との比較や、社会や文化の違いといった様々な観点から討論したいと考えていますので、皆さんの積極的な参加を望みます。

心　理　学

1　担当教員名

准教授　小島隆次（医療文化学講座　心理学）

2　配当学年等

第１学年　後期前半　１単位

3　学習目標

本授業では、実験・認知心理学を中心として、代表的な心理学諸分野の基礎知識を習得することを第一義とします。また、受講生が本授業で課される様々な課題を適切にこなすことで、論理的に考え、批判する能力が養われ、習得した知識を日常生活でどのように応用していくのかを考えられるようになることも目指します。

そして、上記目標の達成に伴い、結果的に受講生が以下の目標を達成できるようになることを学習目標とします。

１．心理学諸分野の基礎知識を身に着けること
２．心理学諸分野の基礎知識を日常の様々な場面で活用する態度を身に着けること
３．様々な事象に対して、批判的・発展的に考える態度を身に着けること

4　授業概要

本授業は、心理学で扱われる主要なトピック（個々のテーマなどについては授業スケジュールを参照してください）を幅広く教授します。また、授業を受講することで、受講生が論理的に考え、批判する能力を養いつつ、論理的・批判的思考と日常における人の思考・行動特性との関係性について考察する契機を得られるようにしたいと思います。

5　授業内容

授業内容は以下の授業計画表の各授業における内容を参照してください。基本的には、一般的な心理学諸分野で扱われることの多いトピックを紹介する内容になりますが、主として、実験心理学、認知心理学分野のトピックが中心になります。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
10月７日(水)	1	小　島	初回ガイダンス	本授業の受講方法や基本方針などを説明。	看１
10月14日(水)	1	〃	感覚・知覚	感覚・知覚情報の処理特性について概説。	看１
10月21日(水)	1	〃	注意	視覚的注意を中心として、注意の機構と役割について概説。	看１
10月28日(水)	1	〃	学習・動機づけ	学習概念の定義と様々な学習研究の応用について、古典的学習理論と動機付けを中心に概説。	看１
11月４日(水)	1	〃	記憶	記憶の種類とそれらの機能について概観した上で、人の記憶特性について概説。	看１
11月11日(水)	1	〃	思考・推論	人の思考特性について概説。	看１
11月18日(水)	1	〃	社会性と認知	他者との関わり方や集団に対する認識が、人の認知過程にどのような影響をもたらすのかについて概説。	看１
12月２日(水)	1	〃	全体の振り返り	授業で扱った内容全般を振り返りつつ、適宜受講生へのフィードバックを行う。	看１

6　授業形式・視聴覚機器の活用

授業は基本的にパワーポイントを利用したプレゼンテーション形式です。但し、テーマによっては画像・音声・動画による資料の視聴、デモや問題解決課題を授業内課題として行っていただくことがあります。また、webシステムを利用した課外課題も適宜出します。授業中のデモ、問題解決、質疑応答等の授業内課題や、課外課題等への取り組みについては、単位の認定及び評価時の資料とします。

本学学生の多様な知的背景や自主学習の便宜なども考慮して、本授業の受講形態には講義型とweb型の二種類が用意されており、受講生はいずれの方法も自由に選択できます。無論、どちらか一方の型を常に選択する必要はなく、個々人の裁量において自由に適宜選択できます。もちろん、両方の形式で受講することも可能であり、授業担当者としては両方の形式での受講を勧めます。また、授業に必要な情報は全てwebで提供しますので、受講予定の学生は、必ず授業用webサイトのIDとパスワードを取得して下さい（IDとパスワードは初回ガイダンス時に知らせます）。

いずれの受講形態を選択しても単位認定に際して不利益が生じることはありません。受講形態に関する詳細などは、初回ガイダンスで説明しますが、授業webサイトで配布される授業ガイドも参照して下さい。

7　評　価　方　法

評価は、単位認定と単位評価の二段階で行います。

まず、単位認定に際しては、第２～７回の各授業で必要に応じて課される課外課題に対する得点（合計100点満点）で判断をします。60点以上で単位認定とします。

次に、認定された単位に対して相対評価を行い、これを最終評価とします。認定された単位に対する評価については、授業内課題への参加状況なども考慮します。

課外課題の内容・回数・配点など、評価方法の詳細等については、初回授業（ガイダンス）及び授業用webサイトで配布する授業ガイドでより詳細に説明しますので、受講予定の方は、初回授業に参加するか、授業ガイドを必ず手に入れてください。

8　教科書・参考文献

教科書：特に指定しない。修学に必要な資料は全てwebで配布します。

参考文献：配布資料やwebにて適宜示します。

9　オフィスアワー（授業相談）

オフィスアワー情報は授業時に通知します。もちろん、個別にメール等でアポイントメントを取っていただければ、適宜対応します。

10　学生へのメッセージ

教授活動の迅速かつ適切な形成的改善のために、単位認定と評価の方法を含めた本授業における様々な規則等は、原則としてシラバス記載の内容よりも、授業webサイトを通じて配布される様々な文書に記される規定を最優先としますので、必ず授業webサイトを定期的に確認するようにしてください。また、本授業の単位認定に関しては、再試験も含め、いわゆる救済策の類は一切存在しませんので、この点も注意して下さい。

文 化 人 類 学

1 担 当 教 員 名

教　　授　兼 重　　努（医療文化学講座　文化人類学）

2 配 当 学 年 等

第１学年・編入第３学年　前期　２単位

3 学 習 目 標

文化人類学とは、人類の文化・社会の多様性と普遍性について研究する総合的学問です。文化人類学における文化の捉え方、視点、考え方、研究方法に関する学習をとおして、他者理解、自己理解、他者の尊重につながる以下の事項を身につけることを目標とします。

①世界の諸文化の多様性を理解しようとする姿勢
②異文化を生きる人々の目を通して人生や世界を見る為の方法論の基礎
　また近い将来、医療人となる皆さんに有用な、文化人類学に関わる基礎知識の習得も目指します。
③病気・健康・医療・死をめぐる文化的な多様性を説明できる。
④自身が所属する文化を相対化する事ができる。
⑤人々の暮らしの現場において病気・健康がどのように捉えられているかに気を配る事ができる。
⑥文化と医療の関係を考える事ができる。

4 授 業 概 要

まず、①文化人類学の考え方や研究方法、研究対象などの事項について解説し、異文化理解のための基礎的な枠組みを提供します。

次に、②文化人類学の研究テーマのうち医療に関するものも取り上げ、皆さんが将来、医療の現場で文化人類学を役立てる為のヒントについても具体的に紹介します。

5 授 業 内 容

1．文化人類学とはどんな学問？
2．異文化理解の基礎知識
3．文化人類学の方法：フィールドワーク
4．実は身近にある異文化
5．民族誌を読む
6．医療の現場で文化人類学を役立てる

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月10日(金)	3	兼　重	文化人類学の目的	①文化人類学では何を学ぶのか？その目的は？ ②何故医大生が文化人類学を学ばなければならないのか?	看１
４月17日(金)	3	〃	文化人類学における「文化」の捉え方	①文化人類学における「文化」の捉え方の特徴は？ ②文化人類学における「異文化」の捉え方の特徴は？	看１
４月24日(金)	3	〃	文化の多様性	世界中で同一、普遍的の様に見える事象を文化人類学の視点から捉え直す	看１
５月１日(金)	3	〃	異文化データ収集方法	文化人類学ではどうやってデータを集めるのか？	看１
５月８日(金)	3	〃	文化人類学におけるフィールドワーク（1）	フィールドワークはどのようにやるのか？	看１
５月22日(金)	3	〃	文化人類学におけるフィールドワーク（2）	文化人類学のフィールドワークの具体例：福井勝義「東アフリカ・色と模様の世界－無文字社会の豊かな創造力－」	看１
５月29日(金)	3	〃	民族誌	①民族誌とは何か？ ②課題レポート作成に関する注意事項	看１
６月５日(金)	3	〃	サブ･カルチャー：実は身近にある異文化	①サブ・カルチャーとは？ ②サブ・カルチャーとしての医療	看１
６月12日(金)	3	〃	民族誌を読む（１）	マリノフスキー著『西太平洋の遠洋航海者』	看１
６月19日(金)	3	〃	民族誌を読む（２）	同上	看１
６月26日(金)	3	〃	民族誌を読む（３）	同上 ロバート・F・マーフィー著 『ボディ・サイレント－病いと障害の人類学－』	看１

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
７月３日(金)	3	兼　重	民族誌を読む（４）	ロバート・F・マーフィー著 『ボディ・サイレント－病いと障害の人類学－』	看１
７月10日(金)	3	〃	医療現場での文化摩擦	医療人と患者さんの間の文化摩擦－「エホバの証人」信者の輸血拒否の事例－	看１
７月17日(金)	3	〃	文化人類学を役立てる	①応用人類学とは何か ②応用人類学の実例	看１
７月31日(金)	3	〃	医療の現場で文化人類学を役立てる	①医療人と患者さんの間のプチ異文化－アンケートの結果より－ ②医療人類学 ③看護人類学	看１

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式の授業を基本としますが、適宜、視聴覚教材（ビデオ）も活用します。
数回小課題を出します。

7　評　価　方　法

期末の課題レポート（100点満点)。ただし、小課題の提出状況・出席状況・受講態度などに問題がある場合は程度に応じて、課題レポートの点数から10 ～ 40点減点します。

なお、課題レポートに剽窃（盗用）その他不正行為があった場合は単位を認定しません。詳細は授業で説明します。

8　教科書・参考文献

教科書：使用しません。毎時間プリントを配布します。
参考文献：参考文献は授業の中で適宜紹介します。

9　オフィスアワー（授業相談）

随時。ただし、事前にメールでアポをとって下さい。

10　学生へのメッセージ

文化人類学を学ぶことは医大生にとって非常に重要です。皆さんは近い将来、医療の専門家として患者さんと接します。「患者さんの立場に立った医療人になる」－よく耳にする言葉です。だが、「言うは易し、行なうは難し」ではないでしょうか。

それは何故でしょうか。文化人類学の視点から見ると、同じく日本で生まれ育っていても、患者の方々は、医療の専門家とは「異なる文化」に属しています。「異なる文化」は我々の身近にありますが、「異なる文化」に属する人々を理解するためにはちょっとした知識や技術が必要なのです。

異文化に生きる人びとの多様な思考や行動様式を尊重、理解しようとする態度、そしてそれらを理解するための技術や方法論を身につける事は、近い将来医療人となる皆さんにとって非常に大切です。その際、大いに役立つのが文化人類学の素養なのです。

「抽象的すぎてよくわからない」って？　授業の中で具体例を示しつつわかりやすく説明します。

11　授業用E-mail

kanesige@belle.shiga-med.ac.jp

家 族 社 会 学

1 担 当 教 員 名

非常勤講師　　LADMIRAL　Guillaume　Andre Jean Rene

2 配 当 学 年 等

第２学年・編入第３学年　前期前半　１単位

3 学 習 目 標

家族社会学の主な項目ごとに、家族についての社会学的な見方の基本を身につけることが目標です。歴史的に見て、また他の国との比較から、現代日本の家族あるいは現代日本における家族がどのような特徴をもっているかを理解します。

4 授 業 概 要

授業では、古代社会から中世社会、そして近代における家族のかたちを概観し、また現代の他国の多様な家族の形にも触れながら、家族が実際には社会的体系の一要素であり、社会全貌と変容を共にすることを明らかにします。

5 授 業 内 容

毎回、次回授業に関する部分の資料を読んだ上での要約と、関連する専門用語の定義の記述を小課題とします。各授業の冒頭で前回授業に関する質疑応答および受講生が提出した小課題に対するコメントを行った後、その日の項目の説明を行います。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月10日(金)	5	LADMIRAL	１．イントロダクション	授業の全貌掲示 方法論：レポートの書き方について説明と指導	看１
４月17日(金)	5	〃	２．家族の歴史社会学入門－１	家族の類型と家族の変容過程。家族と法律	看１
４月24日(金)	5	〃	３．家族の歴史社会学入門－２	「近代家族」と現代の家族の有様	看１
５月１日(金)	5	〃	４．同棲、結婚、離婚	配偶者選択、結婚と離婚の歴史変動と現状	看１
５月８日(金)	5	〃	５．就職と家族	男女で異なる働き方、性別役割分業の実態	看１
５月22日(金)	5	〃	６．子育てと親－成人子関係	現代日本で子どもをもつ、親－成人子関係の変化	看１
５月29日(金)	5	〃	７．家族と福祉	家族と貧困、福祉レジームと家族	看１
６月５日(金)	5	〃	８．家族と親密性のゆくえ	「親密性」とその変容、多様化する家族	看１

6 授業形式・視聴覚機器の活用

・授業形式：講義
・視聴覚機器の活用：プロジェクターで講義を行います。

7 評 価 方 法

出席50％、末期レポート50％で評価します。出席は、基本的に各授業で行う小課題で確認します。末期レポートについては、参考文献を参照しながら、授業で取り扱った項目について、書いてもらいます。

8 教科書・参考文献

毎回資料を配布します。

9 オフィスアワー（授業相談）

該当せず

哲　　学

1　担　当　教　員　名

教　　授　　室　寺　義　仁（医療文化学講座　哲学）

2　配　当　学　年　等

第２学年・編入第３学年　前期　２単位

3　学　習　目　標

世界の哲学史の観点から、特に東洋の古典に伝わる諸思想を取り上げる。この授業を受講する中で、受講生は、例えば、それぞれに自分自身の存在を見つめ直す古典の中の言葉に出会い、そして、

（１）東洋の古典に伝わる諸思想、すなわち、南アジア（古典インド語圏）・東アジア（漢字文化圏）の主たる思想の基本的な考え方が理解できるようになる。

（２）特に日本的な精神文化、並びに、その背景にある仏教の思想や人間観について、自ら感じ・考えた内容を、他者に分かる言葉で伝える能力が身につき向上している。

これら２点を主たる目標とする。

4　授　業　概　要

世界の哲学史の中、まず欧米の哲学の出発点にある古代ギリシャ哲学の基本を紹介する。まず、アリストテレスの説く「愛の三つの形」について概説する。そして、この流れ汲む形での、近代における現象学的な人間観察の基本や、エーリッヒ・フロムの「愛の技術」について紹介する。

次いで、世界史的に見れば、古代ギリシャとほぼ時を同じくして現れる、南アジア・東アジアにおける諸思想について、それぞれの思想を代表する古えの哲人・賢者たちの言葉を紹介して行く。そして、比較分析を加えながら、古典テキストに伝わるそれぞれの哲学・思想の中でも、特に「仁とは人を愛す」と語られるときの人間の観方に注目して、現代の私たちの日常生活の中で、意識するとしないとに関わらず、影響を与え続けている人間観・人生観について考察する。

このような学びの過程で、受講生各自が、様々な「愛」の形、そして、日本の精神文化における「悲しみ」の形について、思索を繰り返す習慣性を身に付けることを目指す。

5　授　業　内　容

１．古代ギリシャ哲学における自然万物の生成についての考え方、その観方を背景とする医療に係る養育治療の捉え方、並びに、アリストテレスの語る「友愛」について、そして、「愛の技術」について

２．古代インドの神秘思想における世界の創造についての考え方、その観方を背景とする自己自身の捉え方、そして、究極的な「自己愛」について

３．古代中国における無為なる自然と人為とに二分する考え方、その観方を背景とする道と徳との思想、あるいは、人倫の道としての仁と義の思想、そして、儒家の語る「仁愛」について

４．仏教における人間存在そのものの捉え方、心のあり様の捉え方、そして、ブッダが抱いた「大悲」について

こうした思想それぞれの潮流を概説しながら、身近な日本語の意味、例えば、かわいいの語を挙げると、可愛いと見えたものを（いつしか）悲しむ（対象として観る）という行為が起こるとき、その愛（いとお）しくも悲しくもある思想感情にはどのような意味合いがあるのかなど、受講生とともに思索を深めて行く。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
４月８日(水)	２	室　寺	ガイダンス	医療の原点としての「人を愛する」ことについて	看４
４月15日(水)	２	〃	ギリシャの自然哲学	アリストテレスの思想 － 愛の三つの形について	看４
４月22日(水)	２	〃	キリスト教の思想	キリストの教え －「神愛」について	看４
５月７日(木)	２	〃	近代の西洋思想	メルロ・ポンティの思想 エーリッヒ・フロムの思想 － 愛することの4つの技術	看４
５月13日(水)	２	〃	インドの神秘思想（１）	ヤージュニャヴァルキャの思想 － 究極的な「自己愛」	看４
５月20日(水)	２	〃	インドのバクティ思想（２）	『バガヴァット・ギーター』の思想 － インド的な神への「信愛」	看４
５月27日(水)	２	〃	中国の儒教思想（１）	孔子の教え －「仁愛」	看４

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
６月３日(水)	2	室　寺	中国の儒教思想（２）	孔子・孟子の教え －「仁愛」	看４
６月10日(水)	2	〃	中国の諸子百家の思想（３）	墨子の教え －「兼愛」	看４
６月17日(水)	2	〃	仏教の思想（１）	ブッダ（釈迦）の教え －「慈愛」「大悲」	看４
６月24日(水)	2	〃	仏教の思想（２）	最澄・空海の教え	看４
７月１日(水)	2	〃	日本の精神文化（１）	『万葉集』（巻５）の憶良の歌 から学ぶ「子を愛（うつく）しむ心」	看４
７月８日(水)	2	〃	日本の精神文化（２）	「愛」という漢字と和訓 － かなしむ、いとおしむ	看４
７月15日(水)	2	〃	日本の精神文化（３）	現代日本の詩人・大岡信の「死生観」から学ぶ	看４
７月22日(水)	2	〃	まとめ	まとめとしての「人を愛する」ことについて	看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式。
必要に応じてビデオなどの視聴覚機器を使用することもある。

7　評　価　方　法

講義で取り上げた主要テーマごとに、基本、毎時間、コメント（出席票に、自らの考えや意見を述べるという仕方で）の提出を求めます（３点満点評価)。このコメントについて、40%評価。出席も毎回取ります（コメントの提出で出席を取ります)。
期末試験（論述式レポート）を、60%の評価として、成績評価を行います。

8　教科書・参考文献

適宜、プリント配布する。
講義中に参考図書を紹介する。

9　学生へのメッセージ

今、ここに、こうして生きている「私」への、そして、この「私」が思い願う明日の「私」への問い掛けから、哲学は始まると私は考えます。
自分自身の存在を問い直しながら講義を受講し、自らの考えを深めて下さい。

地 域 文 化 論

1 担 当 教 員 名

教　　授　兼 重　　努（医療文化学講座　文化人類学）　　非常勤講師
横　内　吾　郎
（京都大学大学院文学研究科　文化遺産学・人文知連携センター　羽田記念館　教務補佐員）

2 配 当 学 年 等

第２学年・編入第３学年　前期　２単位

3 学 習 目 標

ここ十数年来の世界情勢の激変に伴い、わが国でも中東情勢あるいはイスラーム教に関するニュース報道が急激に増大しつつある。にもかかわらず、私たちはイスラームについて十分な知識を持ち合わせていない。

この講義では、イスラーム教に関する基礎的な理解から始めて、現代イスラーム社会について基本的な事柄を解説してゆく。加えて、比較文化的な観点から、中国・東南アジア・ヨーロッパの各地域について、イスラーム教徒・イスラーム社会に関するトピックスを取り上げ解説する。

4 授 業 概 要

《イスラーム理解のための基礎知識》

イスラーム文化が現代社会に及ぼしているさまざまな影響について、地域文化比較の観点から総合的に解説する。

（１）イスラーム概論

イスラーム教の基本的教義の理解から始めて、現代イスラーム世界についての基礎的な知識の獲得を目指す。

（２）ヨーロッパとイスラーム

ヨーロッパにおけるイスラーム教徒とその立場

（３）中国・東南アジアとイスラーム

中国におけるイスラーム教徒とその立場、東南アジア大陸部とイスラーム社会

5 授 業 内 容

第１週〜第８週　イスラーム概論（横内講師）
ただし、第１週の最初の10分は成績評価などに関する説明（兼重）
第９週〜第10週　現代ヨーロッパにおけるイスラーム教（横内講師）
第11週〜第15週　中国および東南アジア大陸部におけるイスラーム教（兼重）

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月14日(火)	4	兼重・横内	イスラーム概論	成績評価などに関する10分程度の説明（兼重） ガイダンス－イスラームについて学ぶ意義を考える－	④
４月21日(火)	4	横　内	イスラーム概論	イスラーム教の基本的な教義	④
４月28日(火)	4	〃	イスラーム概論	イスラーム法	④
５月12日(火)	4	〃	イスラーム概論	スーフィズムと聖者信仰	④
５月19日(火)	4	〃	イスラーム概論	シーア派	④
５月26日(火)	4	〃	イスラーム概論	近代以降の思想的展開	④
６月２日(火)	4	〃	イスラーム概論	現代の諸問題	④
６月９日(火)	4	〃	イスラーム概論	イスラーム世界の文化	④
６月16日(火)	4	〃	現代ヨーロッパにおけるイスラーム教	現代ヨーロッパにおけるムスリム移民社会	④
６月23日(火)	4	〃	現代ヨーロッパにおけるイスラーム教	現代ヨーロッパにおけるムスリム移民問題	④
６月30日(火)	4	兼　重	中国および東南アジア大陸部におけるイスラーム教（１）	中国におけるイスラーム教徒－回族の事例（１）－	④
７月７日(火)	4	〃	中国および東南アジア大陸部におけるイスラーム教（２）	中国におけるイスラーム教徒－回族の事例（２）－	④
７月14日(火)	4	〃	中国および東南アジア大陸部におけるイスラーム教（３）	中国におけるイスラーム教徒－ウイグル人の事例－	④
７月21日(火)	4	〃	中国および東南アジア大陸部におけるイスラーム教（４）	東南アジア大陸部におけるイスラーム教徒－雲南系ムスリムの事例（１）－	④
７月28日(火)	4	〃	中国および東南アジア大陸部におけるイスラーム教（５）	東南アジア大陸部におけるイスラーム教徒－雲南系ムスリムの事例（２）－	④

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式をとる。必要に応じて、視聴覚機器を使って映像資料などを紹介する。

7　評　価　方　法

レポート課題の成績を素点（100点満点）とする。出席状況・受講態度などに問題がある場合は程度に応じて素点から10 ～ 40点減点する。期末筆記試験は実施しない。

なお、レポートは、参考文献を全て明示し、引用出典を逐一明記すること。剽窃・盗用は厳禁する。レポート執筆に関する注意事項は授業中に指示する。注意事項を守っていないレポートを提出した場合は単位を認定しないこともある。またその場合レポートの再提出などの救済措置は一切とらない。

8　教科書・参考文献

教科書：使用しない。

参考文献：講義の際に随時紹介する。

9　オフィスアワー（授業相談）

随時。ただし、事前にメールでアポをとって下さい。

10　学生へのメッセージ

将来、医療・看護の現場に身を置く皆さんにとって、自分と異なる文化的背景をもつ人々とかかわる機会は少なくないと思います。なかでもイスラーム文化は、これまで日本の歴史には比較的縁遠い存在であったため、私たちにとって身近なものとは言い難いようです。どうかこの講義を利用して、自分のあまり知らない異国の文化に対して理解を深めて下さい。

11　授業用E-mail

kanesige@belle.shiga-med.ac.jp

地　域　論

1　担当教員名

教　　授　兼重　　努（医療文化学講座　文化人類学）

2　配当学年等

第２学年　後期　２単位

3　学習目標

（１）本学と特に関わりの深い滋賀県、および滋賀県民に関する知識を獲得する。
（２）各自がオリジナルなmy地域論を立ち上げる。
（３）地域の特色を自力で調べる為に必要なスキルを学びとる。
（４）自力で問いを立て答えを出してゆくスキル、プレゼンテーションのスキル、批判的思考のスキル、コメント力を培う。

4　授業概要

自分で問いを立てて、文献資料を調べたり（もし余力があればフィールドワークを行ったり）する事を通して、滋賀県の地域的特色および地元の方々の暮らしや思いについて理解を深める。

5　授業内容

①現在の滋賀県や滋賀県民の暮らし・精神世界、および ②滋賀県あるいは滋賀県民に対する自己・他者イメージなどを対象に、受講者自身がテーマを設定して、調査を進め、各自がオリジナルなmy地域論を構築していく。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
10月８日(木)	4	兼　重	ガイダンス	ガイダンス 地域論の実例紹介	②
10月15日(木)	4	〃	受講生による進捗状況報告１	問いの設定	②
10月22日(木)	4	〃	受講生による進捗状況報告２	問いの設定 参考文献調査	②
10月29日(木)	4	〃	受講生による進捗状況報告３	調査内容の報告と討論	②
11月５日(木)	4	〃	受講生による進捗状況報告４	調査内容の報告と討論	②
11月12日(木)	4	〃	受講生による進捗状況報告５	調査内容の報告と討論	②
11月19日(木)	4	〃	受講生による進捗状況報告６	調査内容の報告と討論	②
11月26日(木)	4	〃	受講生による進捗状況報告７	調査内容の報告と討論	②
12月３日(木)	4	〃	受講生による進捗状況報告８	調査内容の報告と討論	②
12月10日(木)	4	〃	受講生による進捗状況報告９	章立て案の報告と討論	②
12月24日(木)	4	〃	受講生による進捗状況報告10	パワポスライド案の報告と討論	②
令和３年					
１月７日(木)	4	〃	成果発表会の予行練習１	発表会の予行練習（第１回）	②
１月21日(木)	4	〃	成果発表会の予行練習２	発表会の予行練習（第２回）	②
１月28日(木)	4	〃	成果発表会１	成果発表会（第１回）	②
２月４日(木)	4	〃	成果発表会２	成果発表会（第２回）	②

6　授業形式・視聴覚機器の活用

本授業では教員の講義を受身の姿勢で聴くというスタイルはとらず、皆さんの発表と質疑応答を主体とする。自分でテーマを見つけ、具体的な問いを立てる。自ら図書館へ通ったり（余力があればフィールドワークをしたり）して資料を集め、問いの答えを探る。毎回レジュメを作成した上で進捗状況を発表し、受講生同士で質疑応答を繰り返す。

教員は、問いのたて方、資料の探し方、フィールドワークのやり方、分析方法、まとめ方、レジュメの書き方などについて助言する。

年明けに、成果発表会のプレゼンテーションの予行練習を行う。成果発表会では、学習の成果を本学教職員、学生、大学院生の前でパワーポイントを使って披露する。成果発表会で寄せられたコメントや質問を踏まえて、発表内容をバージョンアップさせ期末レポートにまとめる。

7　評　価　方　法

成果発表会のプレゼン…50％
期末課題レポート……50％

受講生には毎回、進捗状況の報告と他の受講生の報告に対するコメントが義務づけられている。そのため、無遅刻・無欠席を前提とする。やむを得ない理由で遅刻・欠席する場合は事前に兼重まで連絡すること。

出席状況・宿題提出状況・受講態度などに問題あれば、程度に応じて減点する。

なお、課題レポートに剽窃（盗用）その他不正行為があった場合は単位を認定しない。詳細は授業で説明する。

8　教科書・参考文献

教科書：

教科書は使用しない。プリントを配布する。

参考文献：

以下の書籍は文献探索、アンケート調査、フィールドワークやプレゼンの際に非常に役に立つので、一読しておくことが望ましい。

＊池上　彰　2010『〈わかりやすさ〉の勉強法』講談社現代新書2054
＊酒井　隆　2012『アンケート調査の進め方』〈第２版〉日経文庫1271
＊宮内泰介　2004『自分で調べる技術　市民のための調査入門』岩波アクティブ新書117
＊吉本哲郎　2008『地元学をはじめよう』岩波ジュニア新書609
＊小笠原喜康　2003『インターネット完全活用編　大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書1677
＊井上真琴　2004『図書館に訊け！』ちくま新書486
＊千野信浩　2005『図書館を使い倒す！ネットではできない資料探しの「技」と「コツ」』新潮新書140
＊岩波書店編集部編　2004『フィールドワークは楽しい』岩波ジュニア新書474
＊今和次郎　1987『考現学入門』ちくま文庫
＊平林　純　2009『論理的にプレゼンする技術　聴き手の記憶に残る話し方の極意』サイエンス・アイ新書103　ソフトバンククリエイティブ

その他の参考文献は随時紹介する。

9　オフィスアワー（授業相談）

随時。ただし、事前にメールでアポをとって下さい。

10　学生へのメッセージ

滋賀医科大学で学ぶ皆さんは近い将来、何らかの形で滋賀県の地域医療に関わる事が期待されています。その際必要になるのは、滋賀県という土地、そしてそこに暮らす人々に関する知識です。地域論の授業に参加すると、こうした知識が得られます。他府県出身の方は勿論、滋賀県内で生まれ育った方にも何らかの新たな発見があるはずです。

滋賀県および、そこに暮らす人々について皆さんが疑問に思っている事、知りたい事を、図書館や野外に赴いて自ら調べる機会が得られます。自分で問いを立て、調べ、考え、答えを導き、プレゼンするという知的体験も得ることができます。テーマの設定のしかた、調べ方、まとめ方、プレゼンの要領、レポートの書き方についても学ぶことができます。

真摯に取り組むならば、卒業後も終生役立つ重要なスキルを獲得することにもつながるでしょう。例えば、自力で問いを立て答えを出してゆくスキル、プレゼンテーションのスキル、批判的思考のスキル、コメント力などです。

以上が本授業から皆さんが得ることができるメリットです。

この授業では受講生同志の対話も重視しています。

11　授業用E-mail

kanesige@belle.shiga-med.ac.jp

スポーツ科学実践

1　担　当　教　員　名

非常勤講師　　河　北　純　子（龍谷大学　非常勤講師）

2　配　当　学　年　等

第１学年　後期　１単位

3　学　習　目　標

運動の合理的実践を通して、心身の健康維持・増進に役立てる方法を体験的に学ぶ。また、トレーニングの基礎的知識や方法を習得し、大学卒業後も自らのスポーツライフを実践できる能力を培うことを目標とする。より理解を深めるため、２年次「健康科学実践」と共に受講することが望ましい。

4　授　業　概　要

＜実施種目＞ピラティス，バドミントン，バスケットボール，ニュースポーツ等（進度により適宜変更有）
＜講義内容＞体力トレーニング論，運動処方論

5　授　業　内　容

※初回講義は着替えずに体育館へ集合。

年月日(曜)	時限	担当教員	内　　容
令和２年			
10月８日(木)	２／３	河　北	ガイダンス・ピラティスの基本理解
10月15日(木)	２／３	〃	バドミントン（ネット型）①　基本技術・ルールの理解①
10月29日(木)	２／３	〃	バドミントン②　基本技術・ルールの理解②
11月５日(木)	２／３	〃	バドミントン③　応用技術①
11月12日(木)	２／３	〃	バドミントン④　応用技術②
11月19日(木)	２／３	〃	バドミントン⑤　チーム戦術①・振り返り
11月26日(木)	２／３	〃	バドミントン⑥　チーム戦術②・振り返り
12月３日(木)	２／３	〃	体力測定①
12月10日(木)	２／３	〃	体力測定②
12月24日(木)	２／３	〃	バスケットボール（ゴール型）①　基本技術・ルールの理解①
令和３年			
１月７日(木)	２／３	〃	バスケットボール②　基本技術・ルールの理解②
１月21日(木)	２／３	〃	バスケットボール③　応用技術①
１月28日(木)	２／３	〃	バスケットボール④　応用技術②
２月４日(木)	２／３	〃	バスケットボール⑤　チーム戦術①・振り返り
未定			※日程は別途通知する。

6　授業形式・視聴覚機器の活用

実技による演習形式

7　評　価　方　法

出席参加度70%、レポート30%　但し、11/15時間に満たない場合は不可

8　オフィスアワー（授業相談）

授業日の12：00 ～ 13：00

運動科学実践

1　担当教員名

非常勤講師　　河　北　純　子（龍谷大学　非常勤講師）

2　配当学年等

第２学年　前期　１単位

3　学習目標

運動の合理的実践を通して、心身の健康維持・増進に役立てる方法を体験的に学ぶ。また、自ら健康維持・増進の基礎的知識や方法を習得し、大学卒業後も自らの身体的健康を維持できる能力を培うことを目標とする。より理解を深めるため「スポーツ科学実践」と共に受講することが望ましい。

4　授業概要

＜実施種目＞ピラティス，バレーボール，アルティメット，ニュースポーツ等（進度により適宜変更有）
＜講義内容＞体力トレーニング論，運動処方論

5　授業内容

※初回講義は着替えずに体育館へ集合。

年月日(曜)	時限	担当教員	内　容
令和２年			
４月９日(木)	２／３	河　北	ガイダンス・ピラティスの基本理解
４月16日(木)	２／３	〃	バレーボール（ネット型）①　基本技術・ルールの理解①
４月23日(木)	２／３	〃	バレーボール②　基本技術・ルールの理解②
４月30日(木)	２／３	〃	バレーボール③　応用技術①
５月14日(木)	２／３	〃	バレーボール④　応用技術②
５月21日(木)	２／３	〃	バレーボール⑤　チーム戦術①・振り返り
５月28日(木)	２／３	〃	バレーボール⑥　チーム戦術②・振り返り
６月４日(木)	２／３	〃	体力測定①
６月11日(木)	２／３	〃	体力測定②
６月18日(木)	２／３	〃	アルティメット（ゴール型）①　基本技術・ルールの理解①
６月25日(木)	２／３	〃	アルティメット②　基本技術・ルールの理解②
７月２日(木)	２／３	〃	アルティメット③　応用技術①
７月９日(木)	２／３	〃	アルティメット④　応用技術②
７月16日(木)	２／３	〃	アルティメット⑤　チーム戦術①・振り返り
７月30日(木)	２／３	〃	アルティメット⑥　チーム戦術②・振り返り

6　授業形式・視聴覚機器の活用

実技による演習形式

7　評価方法

出席参加度70%、レポート30%　但し、11/15時間に満たない場合は不可

8　オフィスアワー（授業相談）

授業日の12：00～13：00

基礎科学研究

1　担当教員名

教　　授　目良　　裕（生命科学講座　物理学）
教　　授　古荘　義雄（生命科学講座　化学）
教　　授　平田　多佳子（生命科学講座　生物学）
教　　授　立岡　弓子（臨床看護学講座）
教　　授　河村　奈美子（臨床看護学講座）
教　　授　伊藤　美樹子（公衆衛生看護学講座）
准教授　成瀬　延康（生命科学講座　物理学）
准教授　川北　素子（生命科学講座　数学）
准教授　本山　一隆（情報総合センター）
講師(学内)　宗宮　　創（生命科学講座　化学）
助　　教　里岡　大樹（生命科学講座　生物学）
助　　教　藤堂　景史（生命科学講座　生物学）
助　　手　中西　章夫（生命科学講座　物理学）

2　配当学年等

第2学年　前期　2単位

3　学習目標

医科学・生命科学を含む自然科学の研究方法および説明能力の習得過程を通じて、科学を総合的な観点から理解することを目的とする。

4　授業概要

下記の実験研究あるいはサイエンスコミュニケーションの2つのコースのうちのいずれかを選択し、一連の作業を自主的に学習していく。必要に応じて教員も研究に参加する。
【実験研究および理論研究】一つのテーマに対して、実験計画あるいは基礎理論から結果報告までの一貫した研究過程を学習する。
【サイエンスコミュニケーション】科学的な話題を取り上げ、それを学習・調査し、一般人にも理解できるよう説明する。
なお、本科目は「人間科学研究」との重複履修はできない。「基礎医学研究入門」履修者の本科目履修は可能である（授業内容の項を参照）。

5　授業内容

主として生命にかかわる現象に関連したテーマを、実験および理論研究とサイエンスコミュニケーションそれぞれについて、生命科学講座の各分野と情報総合センターで準備する。これらのテーマを下記に示すが、これら以外でも、実験機材等の点で可能であれば独自にテーマを設定してもよい。
【実験研究および理論研究】
物理学：生体関連物質及びナノ材料の原子レベルでの観察、および、光に対する性質の評価
生物学：免疫細胞動態の解析
情報学：（天文学）観測結果および理論モデルからの太陽系外惑星の物理量の推定
【サイエンスコミュニケーション】
化　学：看護の化学・身の回りの化学
なお、受講人数制限を行う（物理学4名、化学5名、生物学3名、情報学2名程度）。
「基礎医学研究入門」履修者は、所属研究室のテーマで履修することが可能であるが、その場合、「基礎医学研究入門」での研究活動に加え、木曜3・4時限の研究活動が必要である。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和2年					
4月9日(木)	4・5	目良・古荘・平田・本山	オリエンテーション	物理学、化学、生物学、情報学の各分野の研究テーマの説明と質疑応答	A
4月16日(木)	4・5	各分野担当教員	研究1	各テーマに応じた研究	
4月23日(木)	4・5	〃	研究2	各テーマに応じた研究	
4月30日(木)	4・5	〃	研究3	各テーマに応じた研究	
5月14日(木)	4・5	〃	研究4	各テーマに応じた研究	
5月21日(木)	4・5	〃	研究5	各テーマに応じた研究	

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
５月28日(木)	４・５	各分野担当教員	研究６	各テーマに応じた研究	
６月４日(木)	４・５	〃	研究７	各テーマに応じた研究	
６月11日(木)	４・５	〃	研究８	各テーマに応じた研究	
６月18日(木)	４・５	〃	研究９	各テーマに応じた研究	
６月25日(木)	４・５	〃	研究10	各テーマに応じた研究	
７月２日(木)	４・５	〃	研究11	各テーマに応じた研究	
７月９日(木)	４・５	〃	研究12	各テーマに応じた研究	
７月16日(木)	４・５	〃	研究13	各テーマに応じた研究	
７月30日(木)	４・５	全　員	基礎科学研究発表会１	研究成果の発表	A

6　授業形式・視聴覚機器の活用

初めにオリエンテーションを行い、それぞれのテーマの概略を説明した後、各自コースとテーマを決定する。

実験研究を選択した場合は、選択した研究テーマで扱う現象を理解し、研究計画・実験計画をたて、それに沿って実施する。得られた実験結果をまとめ、分析し考察を加える。これらの経過や結果は研究報告として、視聴覚機器などを利用して学会形式で発表し、論文形式の研究報告書としてまとめる。

サイエンスコミュニケーションを選択した場合は、選択した研究テーマについて理解し、咀嚼して、視聴覚機器などを利用して発表する。

研究テーマの学習過程では、学内外の資料を収集したり、教員・研究者に協力を依頼したりすることもある。発表においては、質問に答えられるよう準備が必要である。

7　評　価　方　法

全過程における取り組みの姿勢、討論の内容、発表の仕方や説得性、報告書の内容などを加味して総合的に評価する。なお、報告書の提出が前期中（９月末まで）に完了しなければ、成績評価はしない。

8　教科書・参考文献

教科書：

オリエンテーション時に各テーマの資料プリントなどを配布する。それ以後は、必要に応じてその都度示す。

参考文献：

e-learning サーバ http://latte.shiga-med.ac.jp/ の「基礎科学研究」に前年度の研究報告書や今年度の資料などを掲載する。

9　オフィスアワー（授業相談）

各教員のオフィスアワーに準じる。

または、事前に担当教員のメールアドレスあてにメールで連絡すること。アドレスが不明な場合は、http://www.shiga-med.ac.jp/mmc/のページで検索できる。

10　学生へのメッセージ

研究過程やプレゼンテーションの組み立てを楽しみながら自主的に取り組んでください。通常の講義や実習とは違い、結果を予測できないテーマに取り組むことによって、自分の思わぬ能力を発見することでしょう。

11　授業用URL

http://latte.shiga-med.ac.jp/

人間科学研究

1　担当教員名

准教授　小島隆次（医療文化学講座　心理学）
教　授　室寺義仁（医療文化学講座　哲学）
教　授　兼重　努（医療文化学講座　文化人類学）
教　授　立岡弓子（臨床看護学講座）
教　授　河村奈美子（臨床看護学講座）
教　授　伊藤美樹子（公衆衛生看護学講座）

2　配当学年等

第２学年　前期　２単位

3　学習目標

「課題探求能力の追求」が本授業の学習目標です。学生が自ら研究テーマを選択・設定し、テーマに応じた資料収集や研究方法・研究の進め方を追求し、さらには研究内容のとりまとめ方・発表や提出する小論文の書き方などの能力を育成します。

4　授業概要

本授業は、人文社会科学で扱われる様々な研究テーマについて、受講生が主体的に研究活動を行う授業です。受講生には、研究テーマの設定、研究計画立案と研究の実施、そして研究活動と成果の取りまとめとしての論文執筆に取り組んでもらいます。

学期中には、研究の進捗状況などを数回プレゼンテーションしてもらい、学期末には学期中に行った研究成果をまとめ、成果発表をしてもらいます。そして、夏期休業中に、各指導担当教員の指導の下で、論文を執筆してもらいます。

本授業を受講することによって、論理的・批判的思考を行う能力やプレゼンテーション能力等が養われるようにしたいと思います。

5　授業内容

1．人文科学・社会科学の分野のうち、文化人類学／地域研究（指導：兼重教授）・哲学（指導：室寺教授）・認知／行動科学（指導：小島准教授）の諸ジャンルから、個々の学生が、教員との相談も交えながら、研究テーマを確定します。
2．毎回、受講生は研究進捗状況について報告発表し、教員からアドバイスを受けることになります。
3．おおよそ次のようなスケジュールを予定しています。
　４月：指導教員や研究テーマなどを決定し、研究に取りかかる。
　５月／６月：資料を収集し、教員のアドバイスを受けながら研究を進める。
　７月：研究成果をとりまとめ、口頭での最終発表をする。
　８～９月：発表内容を小論文形式にまとめる。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	教室
令和２年				
４月９日(木)	４・５	各分野担当教員	ガイダンス	②
４月16日(木)	４・５	〃	受講生による進捗状況報告１	②
４月23日(木)	４・５	〃	受講生による進捗状況報告２	②
４月30日(木)	４・５	〃	受講生による進捗状況報告３	②
５月14日(木)	４・５	〃	受講生による進捗状況報告４	②
５月21日(木)	４・５	〃	受講生による進捗状況報告５	②
５月28日(木)	４・５	〃	受講生による進捗状況報告６	②
６月４日(木)	４・５	〃	受講生による進捗状況報告７	②
６月11日(木)	４・５	〃	受講生による進捗状況報告８	②
６月18日(木)	４・５	〃	受講生による進捗状況報告９	②
６月25日(木)	４・５	〃	受講生による進捗状況報告10	②
７月２日(木)	４・５	〃	受講生による進捗状況報告11	②
７月９日(木)	４・５	〃	受講生による進捗状況報告12	②
７月16日(木)	４・５	〃	受講生による進捗状況報告13	②
７月30日(木)	４・５	〃	受講生による進捗状況報告14	②

6　授業形式・視聴覚機器の活用

「授業内容」を参照して下さい。

7　評　価　方　法

授業時間内での口頭発表と学期末の成果発表、そして研究成果をまとめた論文とを総合的に評価します。
定期試験は行いません。

8　教科書・参考文献

教科書は使用しません。
参考文献などは必要に応じて各自で調査収集して下さい。

9　オフィスアワー（授業相談）

受講生には指導教員がつきます。小論文作成の際、指導教員から指導を受けることができますので、気軽に相談に来てください。

10　学生へのメッセージ

受講生が研究したいテーマを自由に選択・決定することから、この授業はスタートします。主体的・意欲的にテーマに取り組む学生の参加を期待しています。

受講希望者が多数の場合、受講人数を10名程度に制限しています。受講者選抜の方法等については、初回授業時に通知します。また、「人間科学研究」を受講すると「基礎科学研究」を受講することはできませんので御注意ください。同じく、「基礎科学研究」を受講する場合には「人間科学研究」は受講できません。

なお、小論文作成はこの授業の最終目的ですので、途中の放棄は認められません。研究成果を小冊子『人間科学研究論集』にまとめて公表するほかに、本学のホームページにおいても電子媒体で公開する予定です。ただし、ホームページにおける学外者への公開については、受講者の許諾を経るものとします。

医療イノベーションの基礎

1　担　当　教　員　名

特任教授　　松　浦　昌　宏（研究活動統括本部研究戦略推進室産学連携推進部門）

2　配　当　学　年　等

第１学年　前期　２単位

3　学　習　目　標

医学の発展はめざましく、それに対応するように医薬品や医療機器の分野でのイノベーション（革新的な製品やサービス等）が創出されてきており、医師や医療従事者の医療知識・技術と共に最先端の医療を支える両輪として働いている。この授業では、自らが医療人となった際に広い視野で物事が捉えられる視点や異分野の人とコミュニケーション力や発表能力を養うことを目標とする。具体的な授業の到達目標を以下に示す。

1）医療を取り巻く環境について調査することができる。
2）イノベーション、オープンイノベーションとは何かを説明できる。
3）バイオデザイン手法について説明できる。
4）異分野の人とコミュニケーションについて注意すべき点を説明できる。
5）産業界における製品開発の進め方を説明できる。
6）知的財産権についての基本事項について説明できる。
7）薬事規制についての基本事項について説明できる。
8）広告医学についての基本事項について説明できる。
9）テーマに応じた適切な発表方法について注意すべき点を説明できる。
10）金融に関する基本事項について説明できる。
11）研究と開発の違いについて説明できる。
12）自分自身の（医療人としての）将来像を他者に理解できるように説明できる。

4　授　業　概　要

この授業では、16回にわたって医療人としての専門教育だけでは学べない医療を支える外的な要因（産業界の考え方、コミュニケーションの取り方、製品開発の進め方、それらに関連する知的財産権や薬事規制など）を学習する。更に、自身の考えをまとめて他の人の伝える発表の仕方を学習し、実習する。

この一連の学習は、文部科学省の「次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXTプログラム）」の一環として実施する。一般的な経済活動の仕組みや視点を理解し、医療分野に限らず新しい「コト」にチャレンジし、自らの志を実現できる医療人の育成を目的とする。

5　授　業　内　容

医療イノベーションに関連する各分野の講師を外部から招聘し、オムニバス形式で授業を行う。（全体としての授業内容に変更はないが、外部講師の都合等により各回の担当教員や項目・内容が変更になることもある。）

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月15日(水)	4	松　浦	授業科目オリエンテーション 医療イノベーション	本科目の概要とオリエンテーション 医療イノベーションの本質と実例	②
４月22日(水)	4	松浦・藤岡	金融経済教育	金融リテラシーとライフデザイン ～人生、お金、金融知識～	②
５月７日(木)	4	松浦・新名	異分野とのコミュニケーション①	他者の行動を変える手法（プレゼンテーション）	②
５月13日(水)	4	松浦・田上	異分野とのコミュニケーション②	他者の本音を引き出す質問の手法（コーチング）	②
５月20日(水)	4	松浦・祇園	デザイン思考	新しいことを発送する手法、 それを実現するための手段	②
５月27日(水)	4	松浦・前田	バイオデザイン総論（医療現場のニーズ発の医療機器開発）	医療現場の新しい課題を発見し、解決策を考え、実現する手法	②
６月３日(水)	4	松浦・山本	進化型医療（ヘルスケア）	予防医療や医療経済の基礎、最近の医療動向	②
６月10日(水)	4	松浦・西井	広告医学概論	医療×クリエイティブの可能性、 新概念Street Medical、Creative Hospitalの意義	②

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
６月17日(水)	4	松浦・谷	革新的医療機器システム研究開発講座の紹介－医師の研究目的は何か？－	製品となった研究成果の紹介－トレミキシン（敗血症治療カラム)、アクロサージ（マイクロ波手術機器）－（受講前にインターネットを見ておいてください。）	②
６月24日(水)	4	松浦・山田	革新的医療機器・システム研究開発	革新的医療機器・システム研究開発の内容紹介	②
７月１日(水)	4	松浦・久津見	薬事規制	医療に使われる製品（薬や医療機器）についての法的規制	②
７月８日(水)	4	松浦・能見	リーダーシップ論	リーダーの資質・必要性、新しいことを実現するチームづくり	②
７月15日(水)	4	松　浦	研究開発と知的財産概論	研究、製品開発の流れ、企業の考え方、知的財産の基礎	②
７月22日(水)	4	〃	グループワーク（４～５名／グループ）	医療および医療人の将来像について	②・⑤
７月29日(水)	4	〃	プレゼンテーション①	「医療および医療人の将来像」発表（５分／グループ）	②
７月29日(水)	5	〃	プレゼンテーション②	「医療および医療人の将来像」発表（５分／グループ）	②

6　授業形式・視聴覚機器の活用

授業は、講義、グループでの作業、発表からなる。講義はプロジェクターを使い、パワーポイントで進める。資料としてパワーポイントの抜粋等をプリントとして配付する。グループでの作業は担当教員の指示に従って進め、積極的かつ建設的な発言を求める。発表実習はグループでの作業の成果をパワーポイントで発表する。

7　評　価　方　法

最終の３回は出席を必須とし、出席回数が11回以上（出席率70％以上）の場合は、期末レポート課題の提出資格を認める。なお、最終成績は期末レポート課題の評価（60％）に発表（内容、発表資料の分かりやすさ、発表の仕方）の評価（40％）を加味して評価する。

8　教科書・参考文献

参考文献：

１．医療イノベーションの本質－破壊的創造の処方箋（碩学舎ビジネス双書）著：クレイトン・M・クリステンセン他、訳：山本雄士他
（原著）The Innovator's Prescription: A Disruptive Solution for Health Care, Clayton M. Christensen et al.

２．BIODESIGN バイオデザイン日本語版（薬事日報社）著：ステファノス・ゼニオス他、【監修】一般社団法人日本医療機器産業連合会他
（原著）Biodesign: The Process of Innovating Medical Technologies, Paul G. Yock et al.

３．リーン・スタートアップ　ムダのない起業プロセスでイノベーションを生みだす（日経BP社）著：エリック・リース 訳：井口耕二
（原著）The Lean Startup: How Today's Entrepreneurs Use Continuous Innovation to Create Radically Successful Businesses, Rric Ries

9　オフィスアワー（授業相談）

質問や相談があれば、随時受け付けます。産学連携推進部門（病院D棟）に来室するかメール等で連絡してください。

10　学生へのメッセージ

医療人を目指す学生にとっても医学・看護学以外の学問や医療以外の社会活動に対する理解は必要であり、その理解が更に医学・看護学・医療への理解を深め、社会人としての全人的な能力を養う基礎となります。一見、医学・看護学や医療とは無関係のように思える学問や社会・産業界の仕組みを学習し、社会とのつながりを認識していく過程で、医療人を目指した自分自身の原点をあらためて見つめ直し、自分自身が志す医療人、研究者として成長する基盤の考え方を養ってほしいと思います。

11　授業用URL

http://ikode-sums.com/

12　授業用E-mail

ikode@belle.shiga-med.ac.jp

人 間 と 環 境 Ⅱ

国際看護活動論

1　担　当　教　員　名

講　　師　　輿　水　めぐみ（公衆衛生看護学講座）　　非常勤講師
角　野　文　彦（滋賀県健康医療福祉部　次長）
杉　浦　康　夫（国立国際医療研究センター
国立国際医療研究センター病院・国際医療部　部長）
水　谷　真由美（三重大学大学院医学系研究科看護学専攻　助教）

2　配　当　学　年　等

第４学年　後期前半　２単位

3　学　習　目　標

地球規模での健康課題、特に開発途上国の保健医療問題に対する国際協力のあり方を学ぶと同時に、看護職として国際的な支援活動を行なう必要性と支援の具体的な方法、および異文化看護について理解する。

4　授　業　概　要

本講義は国際保健・国際協力と国際看護活動の２部構成とする。まず、国際保健・国際協力に携わる専門家により開発途上国での国際協力の支援の実際について講義をうける。その内容をもとに、グループにて演習を行い、国際保健・国際協力についての理解を深める。続く国際看護活動では、JICAにおける国際協力の実践活動をとおし、国際看護のあり方を理解するとともに、グローバル化に伴う日本での看護のあり方をも考察する。

5　授　業　内　容

集中講義

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
10月９日(金)	2	水　谷	国際看護学とは		看２
10月９日(金)	3	〃	世界の健康課題		看２
10月９日(金)	4	〃	国際保健・看護の目標 国際協力のしくみ		看２
10月12日(月)	3	角　野	国際保健・国際協力	日本の国際協力の理念 開発途上国の課題	看２
10月12日(月)	4	〃	国際保健・国際協力	健康課題の抽出と課題解決の検討	看２
10月14日(水)	1・2	杉　浦	国際保健・国際協力	国際協力活動の実際	看２
10月16日(金)	2	水　谷	海外における国際看護活動		看２
10月16日(金)	3	〃	海外における国際看護協働研究		看２
10月16日(金)	4	〃	日本における国際看護：文化を考慮した看護		看２
10月27日(火)	1・2	杉　浦	国際看護活動論	海外の文化・価値観の多様性に基づいた国際看護活動の展開	看２
10月30日(金)	1	輿　水	日本における国際看護：文化を考慮した看護①		看２
10月30日(金)	2	〃	日本における国際看護：文化を考慮した看護②		看２
10月30日(金)	3	〃	日本における国際看護：文化を考慮した看護③		看２

6　授業形式・視聴覚機器の活用

１．講義（DVD視聴含む）
２．グループワーク

7　評　価　方　法

講義への参加度、レポート（テーマは講義の際に提示します）。
全講義数の３分の２以上の出席を評価の要件とします。

8　教科書・参考文献

参考文献：講義の際に適宜紹介します。

9　オフィスアワー（授業相談）

外部講師の集中講義になります。質問は授業中あるいは講義の終了後に直接各先生方へ尋ねるようにして下さい。

外 国 語 科 目

英　語　Ⅰ　a

1　担　当　教　員　名

非常勤講師　　浅　井　雅　志（京都橘大学　名誉教授）

2　配　当　学　年　等

第１学年・編入第３学年　前期　１単位

3　学　習　目　標

言語には、文化の表現されたものという側面と、コミュニケーションの手段としての側面がある。入学までに少なくとも６年間は学んできた英語について、客観的に見て、どのような言語であるのかを把握する。

人と人がコミュニケーションをとるということ、異文化の担い手としての外国語を学ぶということによって、将来、医療人になったときに、異なる文化をもつ相手を理解する態度も身につけたい。英語という言語の背景にある文化を知ることにより、異文化への理解を深め、また英文中に出てくるさまざまな問題を考える過程で思考力を養い、語彙を増やす。実際にTOEFL-ITPを受験して、自らの実力を知り、今後の勉学の励みとしたい。

4　授　業　概　要

英文のテキストを読むことにより、語彙力の構築をはかると共に、異文化にふれて自文化との相違点を学ぶ。音声に触れる機会を設け、リスニングの力もつける。詳細は授業開始時に述べる。

5　授　業　内　容

テキストの英文を熟読、精読していく。毎回の予習は欠かせない。文化の背景を知るためにビデオ／DVD教材を随所に用いる。Pre-TOEFL-ITPをクラスで受験し、自己の英語力を知り、今後の学習計画を立てる上での基本とする。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月13日(月)	１／２	浅　井	イントロダクション	世界語としての英語。英語学習の目的、有効な方法。	看４
４月20日(月)	１／２	〃	Pre-TOIFL（ITP）実施	実力を知る	看４
４月27日(月)	１／２	〃	Unit 1: Fine Arts（１）	The West and the East	看４
５月11日(月)	１／２	〃	Unit 3: World History（１）	The Protestant Reformation	看４
５月18日(月)	１／２	〃	Unit 4: Language Arts（１）	Literal and Figurative Language	看４
５月25日(月)	１／２	〃	Unit 5: Natural Sciences（１）	The Immune System and Disease	看４
６月１日(月)	１／２	〃	Unit 6: Fine Arts（２）	Monet and Van Gogh	看４
６月８日(月)	１／２	〃	Unit 8:World History（２）	America in the 1920s	看４
６月15日(月)	１／２	〃	Unit 9: World History（３）	Lindbergh and Chaplin	看４
６月22日(月)	１／２	〃	Unit 10: Natural Sciences（２）	AIDS and the Prevention of Disease	看４
６月29日(月)	１／２	〃	Unit 12: Sayings and Phrases	Let the Cat out of the Bag	看４
７月６日(月)	１／２	〃	Unit 13: Fine Arts（３）	Abstractionism and Sand Painting	看４
７月13日(月)	１／２	〃	Unit 17: Natural Sciences（３）	White Light and the Spectrum	看４
７月20日(月)	１／２	〃	Unit 18: Language and Arts（４）	Orpheus and Eurydice	看４
７月27日(月)	１／２	〃	Unit 20: Geography	Where on Earth Are You?	看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

先ず教員が全体を通読するので、その時に大意を把握する。次に学生に発表してもらい、それに教員がコメントする、そしてそれについて全員でディカッションする、という形で進めたい。

7　評　価　方　法

平常点（出席、他）　10%
授業での発表、貢献度　20%
期末試験　60%
TOEFL（ITP）　10%

8　教科書・参考文献

教科書：Fundamentals, Edited with Notes by Kaoru Murata，鶴見書店　2015年
参考文献：授業時に適宜指示する。

9　オフィスアワー（授業相談）

授業終了時

10　学生へのメッセージ

急激に変化している現代を読み解くために必要な基礎知識を，実はわれわれのほとんどはよく知らない。これを一回英語でしっかりと押さえておこう。内容的には西洋の文化や歴史が中心になるので，グローバル化という名で進行している「英語化」にも対応できる力が身に着くのではないかと思う。またこれを通して，西洋文化圏の根底にある価値観・世界観を知る一助にもなると思う。

英　語　Ⅰ　b

1　担　当　教　員　名

未定

2　配　当　学　年　等

第１学年・編入第３学年　後期　１単位

3　学　習　目　標

言語には、文化の表現されたものという側面と、コミュニケーションの手段としての側面がある。入学までに少なくとも６年間は学んできた英語について、客観的に見て、どのような言語であるのかを把握する。

人と人がコミュニケーションをとるということ、異文化の担い手としての外国語を学ぶということによって、将来、医療人になったときに、異なる文化をもつ相手を理解する態度も身につけたい。英語という言語の背景にある文化を知ることにより、異文化への理解を深め、また英文中に出てくるさまざまな問題を考える過程で思考力を養い、語彙を増やす。実際にTOEFL-ITPを受験して、自らの実力を知り、今後の勉学の励みとしたい。英語Ⅰａ（必修）で行ったことを、さらに発展させる。

4　授　業　概　要

英文のテキストを読むことにより、語彙力の構築をはかると共に、異文化にふれて自文化との相違点を学ぶ。音声に触れる機会を設け、リスニングの力もつける。詳細は授業開始時に述べる。

5　授　業　内　容

テキストの英文を熟読、精読していく。毎回の予習は欠かせない。文化の背景を知るためにビデオ／DVD教材を随所に用いる。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
10月５日(月)	１／２		Writing In-class essay	自由作文の作法	看４
10月12日(月)	１／２		"Mortmain" Graham Greene	Introduction	看４
10月19日(月)	１／２		"Mortmain" Graham Greene	Background culture	看４
11月２日(月)	１／２		"Mortmain" Graham Greene		看４
11月９日(月)	１／２		"Mortmain" Graham Greene		看４
11月16日(月)	１／２		"Mortmain" Graham Greene		看４
11月25日(水)	１／２		"Mortmain" Graham Greene		看４
11月30日(月)	１／２		"Mortmain" Graham Greene		看４
12月７日(月)	１／２		"The View" Alan Sillitoe		看４
12月21日(月)	１／２		"The View" Alan Sillitoe		看４
令和３年					
１月４日(月)	１／２		"The View" Alan Sillitoe		看４
１月14日(木)	１／２		"The View" Alan Sillitoe	Film："Soldier and Death"	看４
１月18日(月)	１／２		Film (1)	"Shadowlands"	看４
１月25日(月)	１／２		Film (2)	"Shadowlands"	看４
２月１日(月)	１／２				看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

ビデオ／DVDあり。

7　評　価　方　法

平常点・定期試験の成績などからの総合評価

発表を重視する学生参加型の授業を行うので、積極的姿勢で受講することがもっとも重要である。

①全回出席を前提とする。出席は加点の対象とせず、正当な理由（忌引き、病欠、交通機関の遅延など）がない場合の欠席や遅刻は減点の対象とする。かつ、正当な理由のない欠席が授業回数の三分の一を超える場合は、期末試験の受験資格を与えず、単位の認定もしない。

②期末試験の成績が100点満点換算で60点を下回った場合は、出席率に関わらず、単位を認定しない。

8　教科書・参考文献

教科書：プリント教材
参考文献：「看護英語の基本用語と表現」メジカル ビュー社。2016年

9　オフィスアワー（授業相談）

随時（e-mail にてアポイントメントをとること。）

10　学生へのメッセージ

言語環境が異なる中での語学の勉強に近道はありませんが、毎日、少しづつ積み重ねることが大切です。そのことを理解した上で、少しでも楽しく学びましょう。精読用には、電子だけでなく紙の辞書も活用してください。漫然と教室に座っているだけではなく、一回一回の授業に積極的に真剣に取り組んで下さることを期待しています。

英語実習Ⅰa

1 担当教員名

特任准教授　Richard Hodge（医療文化学講座　英語）

2 配当学年等

第1学年・編入第3学年　前期　1単位

3 学習目標

The goals for this course are:
-to develop an ability to communicate with a diverse range of people in English.
-to distinguish between different styles of writing including academic, formal and informal correspondence by letter and email, and narratives.
-to acquire skills for quickly understanding the gist of written and spoken English.
-to be able to respond appropriately to different types of written and spoken English.
-to develop autonomy in language study for life-long learning.

4 授業概要

Students will mainly be engaged in speaking and listening activities, with some reading and writing. Speaking activities will take place in pairs and small groups to increase opportunities for practice and build confidence. Students will also read, write, and listen to English online (e-learning) during class time and as homework.

5 授業内容

Speaking: in-class pair and group practice
Listening: songs, dialogs, narratives, film clips, and online materials (e-learning)
Reading: prints, medical English, and online material
Writing: film response essays and listening reports

年月日(曜)	時限	担当教員	内容	教室
令和2年				
4月9日(木)	3／4	Hodge	Self introductions：speaking in pairs and small groups, followed by written version as homework.	看2
4月16日(木)	3／4	〃	Self introductions：due printed out for peer reading and discussion in class. Vocabulary for body parts and common action verbs.	看2
4月23日(木)	3／4	〃	manythings.org：pronunciation practice, grammar quizzes, and vocabulary matching.	看2・⑤
4月30日(木)	3／4	〃	Definitions：Describing foods “hints” game.	看2
5月14日(木)	3／4	〃	Food hints continued. Hospital admissions vocabulary and dialog.	看2
5月21日(木)	3／4	〃	Hospital admissions vocabulary and dialog, continued.	看2
5月28日(木)	3／4	〃	Accident story：Practice in telling stories in formats of various length. Brainstorming to generate relevant details. Homework：Write one accident story with a moral or other life lesson in the conclusion.	看2
6月4日(木)	3／4	〃	Accident story：Small groups do peer reading and discussion in class.	看2
6月11日(木)	3／4	〃	Giving directions and describing locations.	看2
6月18日(木)	3／4	〃	Directions：Students role-play giving directions to an authentic place.	看2
6月25日(木)	3／4	〃	GATTACA part Ⅰ：Film on biotechnology and reproduction, discussion questions.	看2
7月2日(木)	3／4	〃	GATTACA part Ⅱ：Discussion questions, and writing assignment.	看2
7月9日(木)	3／4	〃	Film essay due printed out for peer-reading, correction, and discussion in small groups.	看2
7月16日(木)	3／4	〃	Dictation practice	看2
	3／4		Review for final exam	
7月30日(木)	3／4	〃	Oral Interview Exam	看2

6　授業形式・視聴覚機器の活用

A student-centered approach will be used to activate students' existing knowledge of English.

7　評　価　方　法

Students will be evaluated according to their attendance and in-class participation (30%), completed assignments and in-class exams (30%), and the final exam (40%). The final exam will consist of writing and listening sections based on content studied during the course. Students who are absent from more than 30% of the classes will be disqualified from taking the final exam. Normally, a score of at least 60 points on the final exam is required to pass the course. However, students who lose points for incomplete or late assignments during the semester may be required to score well above 60 points on the final exam to pass the course.

8　教科書・参考文献

Prints will be supplied by the teacher. Students are required to bring a folder with all course prints and written assignments to each lesson.

9　授業用E-mail

richard@belle.shiga-med.ac.jp

英語実習Ⅰb

1 担当教員名

特任准教授　Richard Hodge（医療文化学講座　英語）

2 配当学年等

第１学年・編入第３学年　後期　１単位

3 学習目標

The goals for this course are:
-to develop an ability to communicate with a diverse range of people in English.
-to distinguish between different styles of writing including academic, formal and informal correspondence by letter and email, and narratives.
-to acquire skills for quickly understanding the gist of written and spoken English.
-to be able to respond appropriately to different types of written and spoken English.
-to develop autonomy in language study for life-long learning.

4 授業概要

Students will mainly be engaged in speaking and listening activities, with some reading and writing. Speaking activities will take place in pairs and small groups to increase opportunities for practice and build confidence. Students will also read, write, and listen to English online (e-learning) during class time and as homework.

5 授業内容

Speaking: in-class pair and group practice
Listening: songs, dialogs, narratives, film clips, and online materials (e-learning)
Reading: prints, medical English, and online material
Writing: film response essays and listening reports

年月日(曜)	時限	担当教員	内容	教室
令和２年				
10月８日(木)	３／４	Hodge	Summer dialogs	看２
10月15日(木)	３／４	〃	Summer report due	看２
10月22日(木)	３／４	〃	Introduction to elllo.org, online language listening practice. Students will receive semester listening report instructions.	看２・⑤
10月29日(木)	３／４	〃	Drama activity：Exploring non-verbal communication	看２
11月５日(木)	３／４	〃	1st elllo.org listening report due printed out for peer reading and discussion in class.	看２
11月12日(木)	３／４	〃	Stanford Research into the impact of Tobacco Advertising Medlineplus.gov：medical vocabulary	⑤・看２
11月19日(木)	３／４	〃	Introduction to TED Talks online. Instructions for semester listening reports.	⑤・看２
11月26日(木)	３／４	〃	Film viewing with discussion questions：SICKO Part Ⅰ	看２
12月３日(木)	３／４	〃	Film viewing with discussion questions and writing assignment：SICKO Part Ⅱ	看２
12月10日(木)	３／４	〃	Healthcare systems essay for peer-reading, correction, and discussion in small groups. Homework：Draft 2	看２
12月24日(木)	３／４	〃	First aid activities 1. Exploring the best practices.	⑤・看２
令和３年				
１月７日(木)	３／４	〃	First aid activities 2. Writing a script for student demonstrations.	看２・⑤
１月21日(木)	３／４	〃	First aid student demonstrations	看２
１月28日(木)	３／４	〃	Dictation practice	看２
２月４日(木)	３／４	〃	Oral interview exam	看２

6　授業形式・視聴覚機器の活用

A student-centered approach will be used to activate students' existing knowledge of English.

7　評　価　方　法

Students will be evaluated according to their attendance and in-class participation (30%), completed assignments and in-class exams (30%), and the final exam (40%). The final exam will consist of writing and listening sections based on content studied during the course. Students who are absent from more than 30% of the classes will be disqualified from taking the final exam. Normally, a score of at least 60 points on the final exam is required to pass the course. However, students who lose points for incomplete or late assignments during the semester may be required to score well above 60 points on the final exam to pass the course.

8　教科書・参考文献

Prints will be supplied by the teacher. Students are required to bring a folder with all course prints and written assignments to each lesson.

9　学生へのメッセージ

richard@belle.shiga-med.ac.jp

ドイツ語 a

1 担当教員名

准教授　森田一平（医療文化学講座　独語）

2 配当学年等

第１学年・編入第３学年　前期　１単位

3 学習目標

・名前、出身地、居住地、年齢、職業などについて尋ねたり答えたりできる。また他者を紹介できる。
・家族について簡単な会話ができる。
・値段を尋ねたり、答えたりできる。
・家具や日用品を描写（色、素材、形など）したり、意見を述べたりできる。
・名前や単語の綴りを言ったり、綴りを聞き取ったりできる。
・持っているものや必要なものを尋ねたり、答えたりできる。
・ドイツ語圏に暮らす人びとの生活や文化について知る。
・後期が終了した時点で「ヨーロッパ言語共通参照枠」Ａ１レベル前半に到達していること。

4 授業概要

日常に身近なテーマで、バランスの良い「読む・書く・聞く・話す」能力を養います。ドイツ語を日本語に翻訳して理解するのではなく、文脈やシチュエーションから意味を読み取る、既存の知識を応用して意味を推測する、文法規則を自分で探すなどの能動的な活動を通して、学びを深めます。

簡単な表現を用いて、他者とコミュニケーションが取れる「使えるドイツ語」の習得を目指します。

またドイツ語圏の社会や文化、暮らしなどに触れながら、多様性への意識を高めます。

5 授業内容

前期の授業では、挨拶、自己・他己紹介、家族、家具と日用品などをテーマに、「読む・書く・聞く・話す」ドイツ語の運用能力を身につけていきます。プロフィール、商品説明、メール、コミック、ショッピングサイトなど、さまざまな種類のテキストに触れ、実践的にドイツ語を学びます。ビデオ教材やゲーム形式の練習も取り入れます。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月９日(木)	1	森　田		授業説明、自己紹介	小
４月16日(木)	1	〃	第１課	挨拶、人と知り合う	小
４月23日(木)	1	〃	第１課	他己紹介、名前を綴る	小
４月30日(木)	1	〃	第２課	職業の表現、共通点を見つける	小
５月14日(木)	1	〃	第２課	年齢、プロフィールを読む・書く	小
５月21日(木)	1	〃	第３課	私の家族とあなたの家族	小
５月28日(木)	1	〃	第３課	家族や友人を紹介する、何語を話しますか？	小
６月４日(木)	1	〃		これまでのまとめと小テスト	小
６月11日(木)	1	〃	第４課	家具店での会話	小
６月18日(木)	1	〃	第４課	値段の表現、家具を描写する	小
６月25日(木)	1	〃	第５課	商品説明、色・素材・形の表現	小
７月２日(木)	1	〃	第５課	ドイツ語で何といいますか？	小
７月９日(木)	1	〃	第６課	メール、電話での会話、オフィス用品	小
７月16日(木)	1	〃	第６課	持ち物について話す	小
７月30日(木)	1	〃		これまでのまとめと口頭試験の練習	小

6 授業形式・視聴覚機器の活用

授業は講義形式ではなく、受講者の活動を中心とする参加型とします。ペアワークや少人数のグループワークを多く取り入れ、相互的に学びます。授業ではできるだけ、色々な人と組むようにしてください。

7　評　価　方　法

平常点（積極的な授業参加、課題への取り組み方、課題の提出状況）40%
定期試験（筆記および口頭試験）60%
毎回の出席が大前提です。また授業では、能動的に授業内活動に参加すること。
欠席日数が 6 日以上の受講者は定期試験の受験を認めず、単位認定もしません。また続けて 3 回以上欠席しないこと。やむを得ず欠席した場合は、他の受講生に授業内容と宿題を尋ねるなどし、遅れをとらないよう努めること。
毎回宿題を出します。必ず取り組むこと。また提出物等の期限は厳守すること。

8　教科書・参考文献

Hueber 社：Menschen.　Deutsch als Fremdsprache Kursbuch. A1.1.（2012）　テキストISBN番号　978-3193019011

9　オフィスアワー（授業相談）

月曜日昼休みおよび14時半から15時まで。そのほかの時間はメールにてアポイントメントを得てから。

10　学生へのメッセージ

授業では間違いを恐れず、ドイツ語をどんどん使いコミュニケーションをとってください。
外国語学習では、予習よりも復習が大切です。授業後は復習を必ず行って、わからない箇所がないか確認すること。あれば次の授業時に質問してください。
一度に長時間学ぶよりも、毎日10分の方が語学力は身につきやすくなります。日々の積み重ねを心がけましょう。自分に興味のある分野で、教材以外のドイツ語に触れる機会を作ると、学習頻度も上がります。
自分に合った学習方法を見つけるために、色々な方法で復習や練習を行ってみてください。

ドイツ語 b

1 担当教員名

准教授　森田一平（医療文化学講座　独語）

2 配当学年等

第１学年・編入第３学年　後期　１単位

3 学習目標

・余暇の過ごし方や趣味・特技について、尋ねたり答えたりできる。
・依頼ができる。
・親しい人と会う約束をする、誘いに応じたり断ったりできる。
・食習慣や食の好みについて会話ができる。
・一日の流れを表現できる。
・駅や車内のアナウンスから重要な情報が理解できる。
・今日何をしたか、尋ねたり答えたりできる。
・体験や経験について、簡単な会話ができる。
・ドイツ語圏に暮らす人びとの生活や文化について知る。
・後期が終了した時点で「ヨーロッパ言語共通参照枠」Ａ１レベル前半に到達していること。

4 授業概要

日常に身近なテーマで、バランスの良い「読む・書く・聞く・話す」能力を養います。ドイツ語を日本語に翻訳して理解するのではなく、文脈やシチュエーションから意味を読み取る、既存の知識を応用して意味を推測する、文法規則を自分で探すなどの能動的な活動を通して、学びを深めます。

簡単な表現を用いて、他者とコミュニケーションが取れる「使えるドイツ語」の習得を目指します。

またドイツ語圏の社会や文化、暮らしなどに触れながら、多様性への意識を高めます。

5 授業内容

後期の授業では、趣味・特技、余暇の過ごし方、食事、スケジュール、ドイツ語圏のお祭りやイベントなどのテーマで、「読む・書く・聞く・話す」ドイツ語の運用能力をさらに伸ばします。チャット、メール、コミック、メニュー、スケジュール帳、情報誌の記事などを扱い、書く練習も行います。ビデオ教材やゲーム形式の練習も取り入れます。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
10月８日(木)	1	森　田	第７課	特技、誰かをほめる	小
10月15日(木)	1	〃	第７課	趣味について話す、依頼の表現	小
10月29日(木)	1	〃	第８課	誘いに応じる・断る	小
11月５日(木)	1	〃	第８課	時刻・曜日の表現、チャットで約束する	小
11月12日(木)	1	〃	第９課	食習慣や食べ物の好みについて話す	小
11月19日(木)	1	〃	第９課	食事に招待する・される、メニュー、ドイツ語圏の料理	小
11月26日(木)	1	〃		これまでのまとめと小テスト	小
12月３日(木)	1	〃	第10課	一日の行動、乗り物での移動	小
12月10日(木)	1	〃	第10課	駅や車内のアナウンス	小
12月24日(木)	1	〃	第11課	スケジュールについて話す	小
令和３年					
１月７日(木)	1	〃	第11課	今日したことを話す	小
１月21日(木)	1	〃	第12課	ドイツ語圏のお祭り・イベント	小
１月28日(木)	1	〃	第12課	体験・経験について話す	小
２月４日(木)	1	〃		聴解練習	小
		〃		これまでのまとめと口頭試験の練習（※日程は別途通知する。）	小

6　授業形式・視聴覚機器の活用

授業は講義形式ではなく、受講者の活動を中心とする参加型とします。ペアワークや少人数のグループワークを多く取り入れ、相互的に学びます。授業ではできるだけ、色々な人と組むようにしてください。

7　評　価　方　法

平常点（積極的な授業参加、課題への取り組み方、課題の提出状況）40%
定期試験（筆記および口頭試験）60%
毎回の出席が大前提です。また授業では、能動的に授業内活動に参加すること。
欠席日数が 3 分の 1 を超えた受講者は定期試験の受験を認めず、単位認定もしません。また続けて 3 回以上欠席しないこと。やむを得ず欠席した場合は、他の受講生に授業内容と宿題を尋ねるなどし、遅れをとらないよう努めること。
毎回、宿題を出します。必ず取り組むこと。また提出物等の期限は厳守すること。

8　教科書・参考文献

Hueber 社：Menschen.　Deutsch als Fremdsprache Kursbuch. A1.1.（2012）　　テキストISBN番号　978-3193019011

9　オフィスアワー（授業相談）

月曜日昼休みおよび14時半から15時まで。そのほかの時間はメールにてアポイントメントを得てから。

10　学生へのメッセージ

授業では間違いを恐れず、ドイツ語をどんどん使いコミュニケーションをとってください。
外国語学習では、予習よりも復習が大切です。授業後は復習を必ず行って、分からない箇所がないか確認すること。あれば次の授業時に質問してください。
一度に長時間学ぶよりも、毎日10分の方が語学力は身につきやすくなります。日々の積み重ねを心がけましょう。自分に興味のある分野で、教材以外のドイツ語に触れる機会を作ると、学習頻度も上がります。
自分に合った学習方法を見つけるため、色々な方法で復習や練習を行ってみてください。

フランス語 a

1 担当教員名

助　川　晃　自（国際交流支援室　主幹）

2 配当学年等

第１学年・編入第３学年　前期　１単位

3 学習目標

ａ、ｂの履修を通じて、フランス語の発音と基本的な文法を習得し、簡単な日常表現を身につけ、仏検５級に合格できるレベルを目指します。

4 授業概要

初級の教科書を用いてフランス語の基礎をひとつずつ丁寧に学びながら、「読み・書き・聞く・話す」の総合的な語学力を養います。フランス語を初めて学ぶ学生が対象です。

5 授業内容

フランス語の基礎を段階的に学習していきます。文法の解説と演習を中心に進めますが、発音や聞き取りなどの音声面も重視し、必要に応じて、ペアワークやグループワークを取り入れ、視聴覚教材（映画や音楽）も用います。予習よりも復習を重んじ、各課ごとに宿題を課し、適宜、小テストを行います。また時間の許すかぎり、フランス語圏の文化や社会についても紹介します。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月９日(木)	1	助　川	イントロダクション	発音と綴り字	看２
４月16日(木)	1	〃	第１課	自己紹介	看２
４月23日(木)	1	〃	第１課	名詞の性と数・冠詞	看２
４月30日(木)	1	〃	第２課	基本動詞①	看２
５月14日(木)	1	〃	第３課	否定形・形容詞	看２
５月21日(木)	1	〃	第４課	規則動詞の活用	看２
５月28日(木)	1	〃	第４課	疑問形	看２
６月４日(木)	1	〃	第５課	所有形容詞	看２
６月11日(木)	1	〃	第５課	指示形容詞・疑問形容詞	看２
６月18日(木)	1	〃	第６課	不規則動詞①	看２
６月25日(木)	1	〃	第６課	不規則動詞②	看２
７月２日(木)	1	〃	第７課	不規則動詞③	看２
７月９日(木)	1	〃	第７課	疑問代名詞	看２
７月16日(木)	1	〃	第７課	疑問副詞・数詞	看２
７月30日(木)	1	〃	総復習	要点のまとめ	看２

6 授業形式・視聴覚機器の活用

文法解説と演習を中心に進めます。

7 評価方法

期末試験の成績70％、小テストの成績30％で総合的に評価します。

①全回出席を前提とします。出席は加点の対象とせず、正当な理由（忌引き、病欠、交通機関の遅延など）がない場合の欠席や遅刻は減点の対象とします。かつ、正当な理由のない欠席が授業回数の三分の一を超える場合は、期末試験の受験資格を与えず、単位の認定もしません。

②期末試験の成績が100点満点換算で60点を下回った場合は、出席率の良し悪しに関わらず、単位を認定しません。

再試験は行いません。

8 教科書・参考文献

『《新版》ル・フランセ・クレール』清岡智比古、白水社　　テキストISBN番号　978-4-560-06119-0

9　オフィスアワー（授業相談）

質問はいつでも受け付けます。以下のアドレスへ連絡してください。

10　学生へのメッセージ

何よりも授業への積極的な参加を求めます。休まない。遅刻しない。復習を怠らない。この 3 点を心に留めて、最後まで意欲をもって取り組んでください。

11　授業用E-mail

sukegawa@belle.shiga-med.ac.jp

フランス語 b

1 担当教員名

助　川　晃　自（国際交流支援室　主幹）

2 配当学年等

第１学年・編入第３学年　後期　１単位

3 学習目標

ａ、ｂの履修を通じて、フランス語の発音と基本的な文法を習得し、簡単な日常表現を身につけ、仏検５級に合格できるレベルを目指します。

4 授業概要

初級の教科書を用いてフランス語の基礎をひとつずつ丁寧に学びながら、「読み・書き・聞く・話す」の総合的な語学力を養います。フランス語を初めて学ぶ学生が対象です。

5 授業内容

フランス語の基礎を段階的に学習していきます。文法の解説と演習を中心に進めますが、発音や聞き取りなどの音声面も重視し、必要に応じて、ペアワークやグループワークを取り入れ、視聴覚教材（映画や音楽）も用います。予習よりも復習を重んじ、各課ごとに宿題を課し、適宜、小テストを行います。また時間の許すかぎり、フランス語圏の文化や社会についても紹介します。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
10月８日(木)	1	助　川	前期の復習	第１課～第７課	看２
10月15日(木)	1	〃	第８課	不規則動詞④	看２
10月29日(木)	1	〃	第８課	不規則動詞④	看２
11月５日(木)	1	〃	第８課	最上級	看２
11月12日(木)	1	〃	第９課	不規則動詞⑤	看２
11月19日(木)	1	〃	第９課	命令形	看２
11月26日(木)	1	〃	第９課	非人称構文	看２
12月３日(木)	1	〃	第10課	目的語人称代名詞	看２
12月10日(木)	1	〃	第11課	複合過去①	看２
12月24日(木)	1	〃	第11課	複合過去②	看２
令和３年					
１月７日(木)	1	〃	第12課	関係代名詞	看２
１月21日(木)	1	〃	第12課	強調構文	看２
１月28日(木)	1	〃	演習	会話表現①	看２
２月４日(木)	1	〃	演習	会話表現②	看２
未定		〃		※日程は別途通知する。	

6 授業形式・視聴覚機器の活用

文法解説と演習を中心に進めます。

7 評価方法

期末試験の成績70％、小テストの成績30％で総合的に評価します。

①全回出席を前提とします。出席は加点の対象とせず、正当な理由（忌引き、病欠、交通機関の遅延など）がない場合の欠席や遅刻は減点の対象とします。かつ、正当な理由のない欠席が授業回数の三分の一を超える場合は、期末試験の受験資格を与えず、単位の認定もしません。

②期末試験の成績が100点満点換算で60点を下回った場合は、出席率の良し悪しに関わらず、単位を認定しません。

再試験は行いません。

8 教科書・参考文献

『《新版》ル・フランセ・クレール』清岡智比古、白水社　　テキストISBN番号　978-4-560-06119-0

9　オフィスアワー（授業相談）

質問はいつでも受け付けます。以下のアドレスへ連絡してください。

10　学生へのメッセージ

何よりも授業への積極的な参加を求めます。休まない。遅刻しない。復習を怠らない。この 3 点を心に留めて、最後まで意欲をもって取り組んでください。

11　授業用E-mail

sukegawa@belle.shiga-med.ac.jp

中　国　語　a

1　担　当　教　員　名

非常勤講師　　前　田　尚　香（京都大学　非常勤講師）

2　配　当　学　年　等

第１学年・編入第３学年　前期　１単位

3　学　習　目　標

中国語の正しい発音を身につけ、基本的な語法を理解したうえで、簡単な事柄を中国語で表現でき、聞きとれるようになる。

4　授　業　概　要

基本的な語法をしっかり学んだ上で語彙を増やし、コミュニケーション能力をつける。中国の人々の現代文化や生活習慣などに対する理解を深める。

5　授　業　内　容

授業はテキストに基づいて行い、随時プリント等を配布予定。最初の１か月で基礎としての発音を習得し、その後基礎的な文法から順に学ぶ。また、ヒアリングやスピーキングの練習なども行う。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月９日(木)	1	前　田	ガイダンス・発音	ガイダンスと発音の基礎。声調・単母音など。	看３
４月16日(木)	1	〃	発音	子音、変調など。	看３
４月23日(木)	1	〃	発音	子音、軽声など。練習。	看３
４月30日(木)	1	〃	発音まとめ	発声練習、総復習。小テストなど。	看３
５月14日(木)	1	〃	第１課	第１課文法事項の理解	看３
５月21日(木)	1	〃	第１課	第１課文法事項のまとめ・練習	看３
５月28日(木)	1	〃	第２課	第２課文法事項の理解	看３
６月４日(木)	1	〃	第２課	第２課文法事項のまとめ・練習	看３
６月11日(木)	1	〃	第３課	第３課文法事項の理解	看３
６月18日(木)	1	〃	第３課	第３課文法事項のまとめ・練習	看３
６月25日(木)	1	〃	第４課	第４課文法事項の理解	看３
７月２日(木)	1	〃	第４課	第４課文法事項のまとめ・練習	看３
７月９日(木)	1	〃	第５課	第５課文法事項の理解	看３
７月16日(木)	1	〃	第５課	第５課文法事項のまとめ・練習	看３
７月30日(木)	1	〃	前期総復習	前期のまとめ・総復習	看３

6　授業形式・視聴覚機器の活用

最初の一ケ月は発音の習得を中心とする。文法事項の講義内容はテキストに沿って行い、授業中は中国語を話す機会をできるだけ多く持てるようにする。適宜小テスト等を行う。課題も必ず提出すること。

7　評　価　方　法

①全回出席を前提とする。出席は加点の対象とせず、正当な理由（忌引き、病欠、交通機関の遅延など）がない場合の欠席や遅刻は減点の対象とする。かつ、正当な理由のない欠席が授業回数の三分の一を超える場合は、期末試験の受験資格を与えず、単位の認定もしない。

②期末試験の成績が100点満点換算で60点を下回った場合は、出席率の良し悪しに関わらず、単位を認定しない。

以上の原則のもと、期末試験の成績70％、授業中の評価30％とする。なお、再試験は行わない。

8　教科書・参考文献

教科書：『行ってみよう！中国語への旅・初級』山下輝彦ほか著／朝日出版社　　テキストISBN番号　978-4-255-45332-3

参考文献：特に準備する必要はなし。適宜プリントを配布予定。

9　学生へのメッセージ

同じ漢字文化圏の人々が話している言葉を通じて、私たちの将来のさまざまな可能性を想像していただければと思います。

中　国　語　b

1　担　当　教　員　名

非常勤講師　　前　田　尚　香（京都大学　非常勤講師）

2　配　当　学　年　等

第１学年・編入第３学年　後期　１単位

3　学　習　目　標

中国語の正しい発音を身につけ、基本的な語法を理解したうえで、簡単な事柄を中国語で表現でき、聞きとれるようになる。

4　授　業　概　要

基本的な語法をしっかり学んだ上で語彙を増やし、コミュニケーション能力をつける。中国の人々の現代文化や生活習慣などに対する理解を深める。

5　授　業　内　容

授業はテキストに基づいて行い、随時プリント等を配布予定。基礎的な文法を復習しつつ、さらに複雑な文の形式と多くの単語を身につけて表現力を高める。また、ヒアリングやスピーキングの練習なども引き続き行い、さらなるレベルアップを目指す。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
10月８日(木)	1	前　田	ガイダンス・復習	前期の範囲の復習など	看３
10月15日(木)	1	〃	第６課	第６課文法事項の理解	看３
10月29日(木)	1	〃	第６課	第６課文法事項のまとめ・練習	看３
11月５日(木)	1	〃	第７課	第７課文法事項の理解	看３
11月12日(木)	1	〃	第７課	第７課文法事項のまとめ・練習	看３
11月19日(木)	1	〃	第６～７課の復習	第６～７課の総復習	看３
11月26日(木)	1	〃	第８課	第８課文法事項の理解	看３
12月３日(木)	1	〃	第８課	第８課文法事項のまとめ・練習	看３
12月10日(木)	1	〃	第９課	第９課文法事項の理解	看３
12月24日(木)	1	〃	第９課	第９課文法事項のまとめ・練習	看３
令和３年					
１月７日(木)	1	〃	第８～９課の復習	第８～９課の総復習	看３
１月21日(木)	1	〃	演習	文法事項の理解・練習	看３
１月28日(木)	1	〃	演習	スピーキング・ヒアリング演習など	看３
２月４日(木)	1	〃	後期総復習	後期のまとめ・総復習	看３
未定				※日程は別途通知する。	

6　授業形式・視聴覚機器の活用

文法事項の講義内容はテキストに沿って行い、授業中は中国語を話す機会をできるだけ多く持てるようにする。適宜テストや発表等を行う。課題も必ず提出すること。

7　評　価　方　法

①全回出席を前提とする。出席は加点の対象とせず、正当な理由（忌引き、病欠、交通機関の遅延など）がない場合の欠席や遅刻は減点の対象とする。かつ、正当な理由のない欠席が授業回数の三分の一を超える場合は、期末試験の受験資格を与えず、単位の認定もしない。

②期末試験の成績が100点満点換算で60点を下回った場合は、出席率の良し悪しに関わらず、単位を認定しない。

以上の原則のもと、期末試験の成績70％、授業中の評価30％とする。なお、再試験は行わない。

8　教科書・参考文献

教科書：『行ってみよう！中国語への旅・初級』山下輝彦ほか著／朝日出版社　　テキストISBN番号　978-4-255-45332-3

参考文献：特に準備する必要はなし。適宜プリントを配布予定。

9　学生へのメッセージ

同じ漢字文化圏の人々が話している言葉を通して、私たちの将来のさまざまな可能性を想像していただければと思います。

人間と人間の関係Ⅱ・Ⅳ

英 語 実 習 Ⅱ

1 担 当 教 員 名

特任准教授　　Richard Hodge（医療文化学講座　英語）

2 配 当 学 年 等

第３学年・編入第３学年　前期　１単位

3 学 習 目 標

This elective course is open to 3rd year students interested in further developing their communicative English skills.

4 授 業 概 要

Practical communicative English themes will include the following:

1．speaking practice in pairs and in small groups
2．listening practice: songs and movie clips
3．role-plays including nurse-patient situations and "daily" English
4．reading and writing practice related to medical care situations
5．exploring English study on the internet, and email communication

5 授 業 内 容

年月日(曜)	時限	担当教員	内　容	教室
令和２年				
４月６日(月)	3	Hodge	Self introductions：speaking in pairs and small groups, followed by written version as homework.	看３
４月13日(月)	3	〃	Vocabulary acquisition through environmental stimulation	看３
４月20日(月)	3	〃	Journal article：Nursing in the USA	看３
４月27日(月)	3	〃	Introduction to Worldmapper online	⑤
５月11日(月)	3	〃	Charades role play：Nonverbal communication and intended meanings	看３
５月18日(月)	3	〃	Dictation practice Ⅰ	看３
５月25日(月)	3	〃	Drama role play：Writing and acting out a script：Part Ⅰ	看３
６月１日(月)	3	〃	Drama role play：Writing and acting out a script：Part Ⅱ	看３
６月８日(月)	3	〃	Nurse-patient role play	看３
６月15日(月)	3	〃	Nursing terminology hints activity	看３
６月22日(月)	3	〃	Dictation practice Ⅱ	看３
６月29日(月)	3	〃	Online study：Gapminder, a fact-based world	⑤
７月６日(月)	3	〃	Short presentation preparation and practice	看３
７月13日(月)	3	〃	Short presentations and peer evaluations	看３
７月20日(月)	3	〃	Oral interview exam	看３

6 授業形式・視聴覚機器の活用

A student-centered approach will be used such that students will have many opportunities to speak and occasionally write interact in English.

7 評 価 方 法

The basis for evaluating each student's performance will be as follows:
-class participation and attendance 50%
-assignments 30%
-oral interview exam 20%

8 教科書・参考文献

No textbook is required for this course. Prints and websites will be supplied by the teacher.

9 オフィスアワー（授業相談）

Students of all levels of English ability are welcome.

10 授業用E-mail

richard@belle.shiga-med.ac.jp

臨床コミュニケーション学

1　担　当　教　員　名

教授・看護師　　河　村　奈美子（臨床看護学講座）
講師(学内)　　藤　本　智　美（臨床看護学講座）
特任助教　　山　木　照　子（臨床看護学講座）
助　　手　　上　西　祐　輝（精神医学講座）

2　配　当　学　年　等

第３学年・編入第３学年　前期　２単位

3　学　習　目　標

コミュニケーションの意義や手段について基本的な知識を理解した上で、対人関係の奥深さを実感しながら対人援助職として相手とコミュニケートすることができる。また、治療的場面におけるコミュニケーションについて考えることができる。

4　授　業　概　要

コミュニケーションは幅広い概念であるが、本講義では個人と個人の間で繰り広げられる対人コミュニケーション、援助場面のコミュニケーションについて教授する。日常生活や実習場面に当てはめてコミュニケーションを検討・考察できるよう受講者の気づきを高めることを目的とする。

5　授　業　内　容

以下の計画表に基づくが、進捗状況や受講者の希望等で順序や内容を変更することがある。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月10日(金)	3	河　村	コミュニケーションとは 非言語的コミュニケーション	コミュニケーションの定義、文脈や言葉の機能について 声音や身体的表現から伝わることと空間や距離が意味することについて	看３
４月17日(金)	3	〃	自分を知る 他者との交流を分析する アサーショントレーニング	コミュニケーションの主体となる自分の傾向について知る 他者との言葉によるやり取りを交流分析の理論を用いて理解する	看３
４月24日(金)	3	〃	共感と傾聴 治療時コミュニケーション	カウンセリングの基本的な考え方を来談者中心療法から学ぶ 人にとっての感情の意味と共感のための工夫について	看３
５月１日(金)	3	藤　本	コーチング	コーチングの理論とスキルを学び看護の応用を考える	看３
５月８日(金)	3	河　村	子どもとのコミュニケーションとペアレンティング 集団的思考	言葉の発達と関わりの工夫について 集団の特徴と圧力や思考について	看３
５月11日(月)	2	上西・河村	臨床心理学に基づくアセスメント	医療領域で主に用いられる心理検査の使用目的と選択（知的能力、発達特性、パーソナリティ、認知機能、精神症状）を理解する 心理検査を受けるクライエントを疑似体験する	看１
５月18日(月)	2	〃	臨床心理学に基づくコミュニケーション	クライエントやその家族とのコミュニケーションにおける基本的な態度を理解する クライエントと看護師の関係において態度や言葉がもたらす相互作用を理解する（ロールプレイを含む）	看１
５月25日(月)	2	〃	臨床心理学に基づく治療	認知行動療法を中心に心理療法の背景理論、技法、効果について理解する	看１
６月12日(金)	3	山木・河村	終末期の場面におけるコミュニケーション	エンドオブライフディスカッション	看３
６月19日(金)	3	〃	終末期の場面におけるコミュニケーション	エンドオブライフディスカッション	看３
６月26日(金)	5	河村・藤本・山木	看護場面におけるコミュニケーション	臨床場面における看護師と患者とのコミュニケーションについて事例の作成とロールプレイ	看３
７月３日(金)	3	〃	看護場面におけるコミュニケーション	臨床場面における看護師と患者とのコミュニケーションについて事例の作成とロールプレイ	看３

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
７月10日(金)	3	河村・藤本・山木	看護場面におけるコミュニケーション	臨床場面における看護師と患者とのコミュニケーションについて事例の作成とロールプレイ	看３
７月17日(金)	3	〃	看護場面におけるコミュニケーション	臨床場面における看護師と患者とのコミュニケーションについて事例の作成とロールプレイ	看３
７月31日(金)	3	〃	看護場面におけるコミュニケーション	臨床場面における看護師と患者とのコミュニケーションについて事例の作成とロールプレイ	看３

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義および演習を並行して進める。講義はパワーポイントで行い、具体的な理解をしてもらうために視聴覚教材を活用することもある。また、演習では学習効果を高めるために感想をできるだけ聞いていく。

7　評　価　方　法

出席は2/3以上を求めます。欠席が1/3を上回る場合やレポート等の課題提出がなされない場合は評価しない。
授業の評価は学習態度、課題への取り組みの様子、感想レポートの内容を総合して評価する。
課題等の詳細は、講義内で担当教員から指示がある。

8　教科書・参考文献

講義に用いるパワーポイントのスライドを配布する予定である。
参考文献は必要に応じて紹介する。

9　オフィスアワー（授業相談）

質問等あれば、精神看護学領域の教員まで直接連絡をしてください。メールでも構いません。

10　学生へのメッセージ

己との真のコミュニケーション、他者への援助的なコミュニケーションには、自分がその場で何を感じているかに正直である必要があります。自分の体験に開かれているということは実は非常に覚悟がいることです。何もうまくできる必要はありません。真摯な態度で臨んでください。

専門基礎科目Ⅰ・Ⅱ

解剖生理学Ⅰ

1　担当教員名

教授・医師　　相　見　良　成（基礎看護学講座）

2　配当学年等

第１学年　前期　２単位

3　学習目標

人を対象とする看護の実践にあたっては、人体のあらゆる側面について学び、深く理解することが重要である。このための学修領域のひとつである解剖生理学は、人体の「構造」と「機能」を学ぶ学問であり、看護学教育において最重要の基礎となるものである。この解剖生理学を単なる知識ではなく、看護の現場で自由自在に応用可能な実践的な知識として定着させることを目標とする。

4　授業概要

解剖生理学Ⅰでは、人体の構造と機能について、はじめに総論として解剖生理学の基礎を学び、引き続き器官系ごとに系統的に学ぶ。循環器系、呼吸器系、消化器系、組織学の順に学修し、さらにはより深く理解するために解剖見学実習を行う。

5　授業内容

器官系ごとの講義は、はじめに解剖学的側面、すなわち「構造」について学び、その後に生理学的側面、すなわち「機能」について学ぶというスタイルを基本とし、これに生化学、病理学、病態生理学など周辺の学修領域についての解説を適宜加える。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月13日(月)	4	相　見	解剖生理学概論	講義シリーズ全体のイントロダクション	看２
４月20日(月)	4	〃	循環器系１	心臓の構造	看３
４月27日(月)	4	〃	循環器系２	心臓の機能	看２
５月12日(火)	5	〃	循環器系３	血管の構造	看２
５月18日(月)	4	〃	循環器系４	血管の機能	看２
５月25日(月)	4	〃	呼吸器系１	呼吸器の構造	看２
６月８日(月)	4	〃	呼吸器系２	呼吸器の機能	看２
６月15日(月)	4	〃	消化器系１	消化器の構造	看２
６月15日(月)	5	〃	消化器系２	消化器の機能	看２
６月23日(火)	3	〃	解剖見学実習１	上肢、胸腹部の観察	C
６月23日(火)	4	〃	解剖見学実習２	骨盤臓器、下肢、神経系の観察	C
６月29日(月)	3	〃	消化器系３	消化管付属器の構造と機能	看２
６月29日(月)	4	〃	消化器系４	消化吸収と代謝	看２
７月13日(月)	4	〃	組織学１	細胞の構造と機能	看２
７月20日(月)	4	〃	組織学２	上皮組織、支持組織	看２
７月27日(月)	4	〃	組織学３	筋組織、神経組織	看２

6　授業形式・視聴覚機器の活用

指定教科書を基本に、スライド、ハンドアウトを用いて講義を展開する。

7　評価方法

筆記試験に加え、受講態度、レポート、小テストなどにより総合的に評価する。

8　教科書・参考文献

系統看護学講座・人体の構造と機能［１］　解剖生理学　（第10版）　医学書院
テキストISBN番号　ISBN978-4-260-03171-4

9　オフィスアワー（授業相談）

まずはaimi@belle.shiga-med.ac.jpへメールで。

解 剖 生 理 学 Ⅱ

1 担 当 教 員 名

教授・医師　　相　見　良　成（基礎看護学講座）

2 配 当 学 年 等

第１学年　後期　２単位

3 学 習 目 標

人を対象とする看護の実践にあたっては、人体のあらゆる側面について学び、深く理解することが重要である。このための学修領域のひとつである解剖生理学は、人体の「構造」と「機能」を学ぶ学問であり、看護学教育において最重要の基礎となるものである。この解剖生理学を単なる知識ではなく、看護の現場で自由自在に応用可能な実践的な知識として定着させることを目標とする。

4 授 業 概 要

解剖生理学Ⅱでは、講義・演習を通じて、解剖生理学Ⅰと同様に器官系ごとに、分子から個体のレベルについて系統的に学ぶ。筋骨格系、泌尿器系、生殖器系、神経系、内分泌系、免疫系、外皮系について学び、さらに成体の正常構造機能のみならず、妊娠、個体の発生、成熟、生殖に関連する解剖生理も学ぶ。

5 授 業 内 容

講義では、まず解剖学的側面、その後に生理学的側面を学ぶというスタイルを基本とし、これに生化学、病理学、病態生理学など周辺の学修領域についての解説を適宜加える。演習では骨標本の観察や顕微鏡実習などを通じて、講義で学んだ知識のより一層の定着を図る。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教　室
令和２年					
10月６日(火)	1	相　見	骨格系１	骨格の肉眼解剖と機能	看3・D
10月６日(火)	2	〃	骨格系２	骨、軟骨の顕微解剖と機能	看3・D
10月13日(火)	2	〃	骨格系３	四肢骨の観察	看3・D
10月20日(火)	1	〃	骨格系４	体幹骨の観察	看3・D
10月20日(火)	2	〃	筋系１	筋系の肉眼解剖と機能	看3・D
10月27日(火)	1	〃	筋系２	筋の顕微解剖と機能	看3・D
10月27日(火)	2	〃	神経系１	神経系総論	看3・C・D
11月10日(火)	1	〃	神経系２	体性神経と自律神経	看3・C・D
11月10日(火)	2	〃	神経系３	末梢神経系	看3・C・D
11月16日(月)	3	〃	神経系４	中枢神経系	看3・C・D
11月17日(火)	1	〃	神経系５	高次脳機能	看3・C・D
11月17日(火)	2	〃	神経系６	感覚器の構造と機能	看3・C・D
11月24日(火)	1	〃	泌尿器系１	泌尿器の構造	看3・C・D
11月24日(火)	2	〃	泌尿器系２	泌尿器の機能	看3・C・D
12月１日(火)	1	〃	生体観察法	体表解剖	看3・C・D
12月１日(火)	2	〃	外皮系	皮膚の構造と機能	看3・C・D
12月８日(火)	1	〃	血液	血液の構造と機能	看3・D
12月８日(火)	2	〃	顕微鏡法１	骨組織、筋組織、泌尿器の観察	看3・D
12月22日(火)	1	〃	顕微鏡法２	循環器、呼吸器、消化器の観察	看3・D
12月22日(火)	2	〃	生殖器系１	男性生殖器の構造と機能	看3・C・D
令和３年					
１月５日(火)	1	〃	生殖器系２	女性生殖器の構造と機能	看3・C・D
１月５日(火)	2	〃	生殖器系３	胎児の成長と発達	看3・C・D
１月12日(火)	1	〃	生殖器系４	妊娠時の母体の解剖と生理	看3・C・D
１月12日(火)	2	〃	内分泌系１	内分泌器の構造	看3・C・D
１月19日(火)	1	〃	内分泌系２	内分泌器の機能	看3・C・D
１月19日(火)	2	〃	免疫系１	免疫系の構造と機能	看3・C・D

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教　室
令和３年					
１月26日(火)	1	相　見	免疫系２	免疫	看3・C・D
１月26日(火)	2	〃	顕微鏡法３	血液の観察	看3・C・D
２月２日(火)	1	〃	顕微鏡法４	神経系、内分泌、感覚器の観察	看3・C・D
２月２日(火)	2	〃	総合問題演習	問題形式による総復習	看3・C・D

6　授業形式・視聴覚機器の活用

指定教科書を基本に、スライド、ハンドアウトを用いて講義を展開する。演習では標本や模型の観察を行う。

7　評　価　方　法

筆記試験に加え、受講態度、レポート、小テストなどにより総合的に評価する。

8　教科書・参考文献

系統看護学講座・人体の構造と機能［１］　解剖生理学　（第10版）　医学書院
テキストISBN番号　ISBN978-4-260-03171-4

9　オフィスアワー（授業相談）

まずはaimi@belle.shiga-med.ac.jpへメールで。

病　理　学

1　担当教員名

教授・医師　相見良成（基礎看護学講座）
教　　授　伊藤　靖（病理学講座　疾患制御病理学部門）
講師(学内)　石垣宏仁（病理学講座　疾患制御病理学部門）
講師(学内)　仲山貴永（病理学講座　人体病理学部門）

2　配当学年等

第１学年　後期前半　１単位

3　学習目標

疾病の成立の経緯、臓器機能・組織の変化について学び、疾病に対する理解を深めることを目的とする。

4　授業概要

疾病の予防や治療を実践するためには、疾病の成因を知る必要がある。病理学は疾病の成因を知る上で最も重要な学問分野の一つであり、基礎医学及び臨床医学の発展に必須である。因みに疾病の確定診断は、通常、病理的検査で行われる。本講義を通して病理学の基礎を学ぶ。

5　授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
10月２日(金)	4	伊　藤	病因論	病因論	看１
10月９日(金)	4	〃	先天性疾患	先天性疾患	看１
10月16日(金)	4	〃	炎症	炎症	看１
10月30日(金)	4	石　垣	循環障害（１）	循環障害（１）	看１
11月６日(金)	4	〃	循環障害（２）	循環障害（２）	看１
11月13日(金)	4	仲　山	進行性病変・退行性病変	進行性病変・退行性病変	看１
11月20日(金)	4	〃	腫瘍（１）	腫瘍（１）	看１
11月27日(金)	4	〃	腫瘍（２）	腫瘍（２）	看１

6　評価方法

最終的な合否の判定は定期試験80％、出席率20％の比率で合算して判定する。出席5回未満の場合は定期試験の受験資格はないものとする

7　教科書・参考文献

「病理学－疾病のなりたちと回復の促進〈１〉」（系統看護学講座 専門基礎分野　医学書院）

感染症学・免疫学

1　担当教員名

教授・医師　　遠　藤　善　裕（臨床看護学講座）
講師(学内)　　北　川　善　紀（病理学講座　微生物感染症学部門）
講師(学内)　　旦　部　幸　博（病理学講座　微生物感染症学部門）

2　配当学年等

第１学年　後期前半　１単位

3　学習目標

人間に危害を及ぼす微生物とはどのようなものか、またこれらの微生物からの攻撃に対する生体の防御システムについて学び、感染症に対する理解を深める。
原核細胞と真核細胞、およびウイルスの特徴を説明できる。
微生物が病気を引き起こす機序を説明できる。
微生物の感染経路を分類し説明できる。
生体の防御機構について非特異的、特異的に分けて説明できる。
感染症の予防、治療について説明できる。

4　授業概要

感染症とは微生物が寄生することによっておこる疾患である。我々の身辺には夥しい数の微生物が棲息しているがヒトに寄生する病原微生物（寄生体）の数はごくわずかであり、殆どの微生物はヒトに無害である。しかし、平素は無害な微生物の中には宿主であるヒトの免疫系の機能が低下すると寄生体に変身するものがあり、いわゆる日和見感染をおこす。感染症とは宿主と寄生体の相互関係において寄生体が優位に立った状態と考えることもできる。さまざまな医療行為により生体防御機能が低下したヒトが集まる場所である病院では、通常の生活環境ではみられない集団的宿主寄生体関係が成立してしばしば院内感染が発生する。抗生物質が発見されワクチンが開発されたことから宿主が圧倒的に優位となる状況となり、少なくとも日本を含む先進国では、感染症はもう恐くないと考えられた一時期がある。しかし、細菌感染症の特効薬と考えられた抗生物質に対しては次々と耐性菌が出現し、また、昔ならば一地方病にとどまったようなウイルス感染症もまたたく間に世界中に広まる時世になった。地球規模で進行する熱帯雨林の伐採では、森の動物たちの間で棲息していた微生物がヒトに感染する機会を得て、新たなしかも重篤な疾患をひきおこしている。このように近年変貌しつつある感染症を概説し、これに対する対策について考察する。

5　授業内容

授業計画表の内容項目を参照してください。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
10月８日(木)	5	遠藤・旦部	微生物とはどのようなものか（１）	細菌・真菌	看１
10月15日(木)	5	北　川	微生物とはどのようなものか（２）	ウイルス・原虫	看１
10月22日(木)	5	旦　部	感染の成立と宿主の関係	感染と発病 感染源と感染経路 常在細菌	看１
10月29日(木)	5	〃	感染症の予防と治療	感染症法 滅菌・消毒 化学療法薬	看１
11月５日(木)	5	北　川	生体防御機構（１）	免疫のしくみ（１）	看１
11月12日(木)	5	〃	生体防御機構（２）	免疫のしくみ（２） ワクチン	看１
11月19日(木)	5	旦　部	微生物各論（１）	細菌・真菌	看１
12月３日(木)	5	北　川	微生物各論（２）	ウイルス・原虫	看１

6　授業形式・視聴覚機器の活用

液晶プロジェクターによるスライドと資料プリントを中心に授業を行う。

7　評価方法

評価は学習目標にあげた項目の全範囲を対象としたマークシート式の筆記試験によって行う。60点を合格点とする。再試験は１回のみとする。

8　教科書・参考文献

教科書：

教科書は特に用いない。資料プリントを中心に授業を行う。

参考文献：

参考文献（教科書的なもの）

系統看護学講座　専門基礎６　疾病のなりたちと回復の促進［３］　微生物学　医学書院

はじめの一歩のイラスト感染症・微生物学　本田武司／編　羊土社

スタンダード微生物学　土肥義胤、山本容正、宇賀昭二 著　文光堂

絵でわかる感染症　岩田健太郎著　講談社

新書

「感染症とたたかう」 岡田晴恵、田代眞人 著　岩波新書

「感染症の時代」 井上栄 著　講談社現代新書

「感染症と文明」 山本太郎 著　岩波新書

「寄生虫の話」 小島荘明 著　中公新書

「細菌の逆襲」 吉川昌之介 著　中公新書

「現代免疫物語」 岸本忠三、中嶋彰 著　講談社ブルーバックス

「新しい免疫学」 審良静男・黒崎知博 著　講談社ブルーバックス

「99.9%が誤用の抗生物質」 岩田健太郎 著　光文社新書

「予防接種は効くのか？」 岩田健太郎 著　光文社新書

「エボラVS人類　終わりなき戦い」岡田晴恵 著　PHP新書

「ワクチンは怖くない」岩田健太郎 著　光文社新書

「感染症医が教える性の話」岩田健太郎 著　ちくまプリマー新書

「知っておきたい感染症」岡田晴恵 著　ちくま新書

「ウイルスは生きている」中屋敷均 著　講談社現代新書

単行本

「あなたを狙う感染症」 本田武司、飯島義雄 著　小学館

「感染症とどう闘うか」 清水文七 著　東京化学同人

「エボラ出血熱とエマージングウイルス」 山内一也 著　岩波書店

「免疫・「自己」と「非自己」の科学」 多田富雄 著　NHKブックス

「麻疹が流行する国で新型インフルエンザは防げるのか」 岩田健太郎 著　亜紀書房

「新疫病流行記」 濱田篤郎 著　バジリコ（株）

「細菌と人類」 ハンセン＆フレネ 著　渡辺格 訳　中央公論新社

「ウイルスの反乱」 R.M.ヘニッグ 著　長野敬、赤松真紀 訳　青土社

「人類と感染症の歴史」 加藤茂孝 著　丸善出版

9　オフィスアワー（授業相談）

授業に関する疑問点、質問などは授業中、授業後いつでも受け付けます。また、基礎研究棟４階の微生物感染症学部門の研究室はいつでもオープンにしているので、授業に関する質問、相談などに来ていただいても結構です。

10　学生へのメッセージ

新型インフルエンザやエボラ熱などの出現や、肉生食による食中毒、効果の怪しい抗菌グッズ……社会的な関心が高い反面、それだけにいろいろな風説やデマも広まっている分野です。微生物や感染症についての基本的な考え方を身に付けることは、医療人として必要なだけでなく、皆さんが将来の生活を送る上でもきっと役に立つでしょう。

生化学・栄養学

1　担当教員名

教授・医師　　佐々木　雅　也（基礎看護学講座）
教　　授　　扇　田　久　和（生化学・分子生物学講座　分子病態生化学部門）

2　配当学年等

第２学年　前期　２単位

3　学習目標

１．人間の生命維持過程に必要な代謝と栄養について理解することができる。２．人間の生命の連続性を保つ生殖と栄養代謝について理解することができる。３．人間の生活と代謝・栄養との関連を考えることができる。４．疾患による栄養代謝病態の特徴と、その特徴に応じた栄養管理の基本について考えることができる。５．上記の理解をふまえ、代謝・栄養と基本的看護との関連を考えることができる。

4　授業概要

生命現象を化学の知識で理解する生化学と、栄養素の生体内における吸収、代謝、生理的役割を学ぶ。また、科学的な看護実践を導き出すために必要な代謝学・栄養学を学び、基本的医療である栄養管理に関する知識を習得する。

5　授業内容

【単元】

※コースガイダンス：基礎看護学と代謝学・栄養学　学習目的・目標の理解

１．人間の生命維持過程に必要な代謝と栄養
　１－１．生命を維持する過程に必要な栄養素
　１－２．生命を維持する過程に必要な代謝
　１－３．生命を維持する過程に必要な栄養
２．人間の生命の連続性を保つ生殖
３．人間の生活と代謝・栄養との関連
　３－１．生活習慣を獲得し発展維持する過程と代謝・栄養
　３－２．社会関係を結び発展維持する過程と代謝・栄養
４．代謝・栄養と基本的看護との関連

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月７日(火)	2	扇　田	糖質の生化学（１）		看４
４月14日(火)	2	〃	糖質の生化学（２）		看４
４月21日(火)	2	〃	脂質の生化学（１）		看４
４月28日(火)	2	〃	脂質の生化学（２）		看４
５月12日(火)	2	〃	タンパク質の生化学（１）		看４
５月19日(火)	2	〃	タンパク質の生化学（２）		看４
５月26日(火)	2	〃	ビタミンの生化学		看４
６月２日(火)	2	〃	ミネラルの生化学		看４
６月９日(火)	2	佐々木	栄養不良と栄養評価		看４
６月23日(火)	1	植　田	摂食嚥下Ⅰ		看４
６月23日(火)	2	〃	摂食嚥下Ⅱ		看４
６月30日(火)	2	佐々木	経腸栄養法		看４
７月20日(月)	4	栗　原	母性看護と栄養	妊娠期・分娩期・授乳期の栄養など	看４
７月21日(火)	2	佐々木	病態別栄養管理Ⅰ	消化器疾患など	看４
７月27日(月)	4	中　西	栄養所要量と病院給食		看４
７月28日(火)	2	佐々木	病態別栄養管理Ⅱ	がん、高齢者など	看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式で、座席は指定でおこなう。前席を希望する場合は、佐々木宛にメールで連絡して下さい。なお、テキストは購入して講義の際に持参して下さい。

7　評　価　方　法

出席評価と筆記試験により総合的に評価する。出席における不正行為は試験における不正行為と同様に対応する。
15分以上の遅刻は、出席にカウントしない。

8　教科書・参考文献

教科書：
生化学…「生化学－人体の構造と機能〈２〉」系統看護学講座 専門基礎分野 医学書院　第13版
栄養学…「栄養学－人体の構造と機能〈３〉」系統看護学講座 専門基礎分野 医学書院　第13版
参考書籍：
栄養学…『臨床栄養学』ナーシング・グラフィカ
静脈経腸栄養テキストブック　南江堂
ハーパー生化学 原書25版，丸善
イラストレイテッド生化学 原書３版，丸善

9　オフィスアワー（授業相談）

この授業についてのご質問やご相談は随時可能です。
不在の場合は、メールで連絡して下さい。
佐々木雅也 sasaki@belle.shiga-med.ac.jp

10　学生へのメッセージ

個々の患者に適した栄養管理をおこなうことは基本的医療です。そのためには、栄養代謝病態を理解することが必須であり、それには生化学、栄養学の知識が重要です。積極的に学んで下さい。

薬 物 治 療 学

1 担 当 教 員 名

教授・医師　佐々木　雅　也（基礎看護学講座）
教　　授　西　　英一郎（薬理学講座）
教　　授　寺　田　智　祐（薬剤部）
准 教 授　森　田　真　也（薬剤部）
講師(学内)　園　田　文　乃（消化器内科）
助　　教　大　澤　　真（感染制御部）

2 配 当 学 年 等

第２学年　前期後半　１単位

3 学 習 目 標

薬物治療には、医師、看護師、薬剤師の連携が必要であるが、実際に患者とコミュニケーションをとりながら投薬するのは看護師である。誤薬を防止するだけでなく、服薬指導や治療内容の説明を行うと共に治療効果の確認や副作用の発見や防止にも努めなければならない。そのためにも、薬理学的な知識を身につけて薬のはたらきについて説明できるようになる。

4 授 業 概 要

看護師として必要な薬物の体内動態・代謝を学び、薬理学の基本的な知識を習得する。また、循環器作用薬、中枢神経・末梢神経作用薬、化学療法薬、抗炎症薬など、薬剤の作用機序や臨床応用、副作用などについて理解する。（看護師として薬物治療に関する基礎的知識は必要である。薬物の体内動態や代謝経路など、薬理学の基本的な知識を習得するとともに、循環器作用薬、神経作用薬、化学療法薬、抗炎症薬などについて個別に薬剤の作用機序や臨床応用を理解する。）

5 授 業 内 容

授業形式は、講義となる。
講義では、出来る限り資料配付を行う。
なお、本シリーズの講義は座席指定でおこなう。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
６月９日(火)	1	西	総論　薬物療法・薬理学の基本		看４
６月18日(木)	1	寺　田	薬物の代謝動態	妊娠と薬、授乳と薬に関する内容を含む	看４
６月25日(木)	1	森　田	薬効と有害事象	妊娠と薬、授乳と薬に関する内容を含む	看４
６月30日(火)	1	西	末梢神経作用薬		看４
７月２日(木)	1	大　澤	抗感染症薬		看４
７月７日(火)	1	西	循環器作用薬		
７月９日(木)	1	園　田	抗がん剤	妊娠と薬、授乳と薬に関する内容を含む	看４
７月14日(火)	1	佐々木	抗炎症薬・抗アレルギー薬		看４
７月21日(火)	1	〃	消化器作用薬・呼吸器作用薬		
７月30日(木)	1	上西 幸治（副薬剤部長）	中枢神経作用薬		看４

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式 ８．に記載した教科書を中心に行う。補助的に適宜プリントを配付する。なお、本シリーズの講義は座席指定でおこなう。テキストは各自で購入し、講義に持参して下さい。

7 評 価 方 法

出席評価と筆記試験により総合的に評価する。出席における不正行為は試験における不正行為と同様に対応する。
15分以上の遅刻は、出席にカウントしない。

8 教科書・参考文献

系統看護学講座　専門基礎分野 『薬理学－疾病のなりたちと回復の促進［３］』医学書院　第14版

9 学生へのメッセージ

看護師として必要な薬物治療の知識を修得して欲しい。

診断と治療 Ⅰ

1 担当教員名

教授・医師　佐々木　雅　也（基礎看護学講座）
教　　授　中　川　義　久（内科学講座　循環器内科）
教　　授　中　野　恭　幸（内科学講座　呼吸器内科）
教　　授　漆　谷　　真（内科学講座　脳神経内科）
教　　授　前　川　　聡（内科学講座　糖尿病内分泌内科）
教　　授　丸　尾　良　浩（小児科学講座）
教　　授　芦　原　貴　司（情報総合センター）
准 教 授　木　藤　克　之（内科学講座　血液内科）
准 教 授　多　賀　　崇（小児科学講座）
講　　師　山　本　　孝（循環器内科）
講　　師　長　尾　大　志（呼吸器内科）
講　　師　稲　富　　理（消化器内科）
講　　師　真　田　　充（脳神経内科）
講　　師　卯　木　　智（糖尿病内分泌内科）
講　　師　松　井　克　之（小児科）
講　　師　馬　場　重　樹（栄養治療部）
講師(学内)　久　米　真　司（内科学講座　腎臓内科）
講師(学内)　金　　一　暁（内科学講座　脳神経内科）
講師(学内)　森　野　勝太郎（糖尿病内分泌内科）
助　　教　山　川　　勇（内科学講座　脳神経内科）
助　　教　眞　田　　陸（精神医学講座）
助　　教　星　野　真　介（小児科）
助　　教　川　口　民　郎（リハビリテーション科）

非常勤講師
西　村　貴　士（兵庫医科大学　肝胆膵内科
超音波センター　講師）

2 配当学年等

第２学年　前期　２単位

3 学習目標

本講義は、専門看護の学習に向けて必要な基礎的、また最新の医学的知識を提供し、学習していただくことで専門知識と技術を習得し、実地学習を効率よく円滑に履修し看護師としての資質を向上させることを目標としている。特に内科系の講義が主体で構成されている。

4 授業概要

専門看護の講義及び実習の履修に当たって必要な医学的知識を包括的に学習して実地学習を円滑に実施できるようにすることを目的とする。

5 授業内容

臨床医学の各分野にわたって基礎的な内容のみだけではなく、今日的も内容を含む。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月６日(月)	4	佐々木	内科学入門	輸液と静脈栄養	看４
４月６日(月)	5	中　川	循環器疾患（１）	循環器病総論	看４
４月13日(月)	4	芦　原	循環器疾患（２）	不整脈・心不全	看４
４月13日(月)	5	山　本	循環器疾患（３）	虚血性心疾患	看４
４月20日(月)	4	川　口	循環器疾患（４）	心臓リハビリ	看４
４月20日(月)	5	森　野	生活習慣病（肥満－脂質異常症）	生活習慣病（肥満－脂質異常症）	看４
４月27日(月)	5	馬　場	消化器疾患（１）	消化管（１）	看４
５月11日(月)	4	長　尾	呼吸器疾患（２）	呼吸不全と酸素	看４
５月11日(月)	5	〃	呼吸器疾患（３）	気管支喘息と気胸	看４
５月18日(月)	5	稲　富	消化器疾患（２）	膵・胆道疾患	看４

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
５月25日(月)	5	馬　場	消化器疾患（３）	消化管（３）	看４
５月26日(火)	5	中　野	呼吸器疾患（１）	COPD	看４
６月８日(月)	4	久　米	腎疾患（１）	腎疾患（１）	看４
６月８日(月)	5	〃	腎疾患（２）	腎疾患（２）	看４
６月９日(火)	5	眞　田	精神疾患（１）	精神疾患（１）	看４
６月15日(月)	4	木　藤	血液疾患（１）	血液疾患（１）	看４
６月15日(月)	5	〃	血液疾患（２）	血液疾患（２）	看４
６月16日(火)	2	漆　谷	神経疾患（１）	運動障害を来す疾患	看４
６月16日(火)	5	眞　田	精神疾患（２）	精神疾患（２）	看４
６月22日(月)	5	星　野	小児循環器疾患	小児循環器疾患	看４
６月29日(月)	4	西　村	消化器疾患（４）	肝疾患	看４
６月29日(月)	5	松　井	小児感染症	小児感染症	看４
７月１日(水)	4	金	認知症	認知症	看４
７月６日(月)	4	多　賀	小児血液疾患	小児血液疾患	看４
７月８日(水)	4	山　川	脳血管障害	脳血管障害	看４
７月13日(月)	5	木　藤	HIV疾患	HIV疾患	看４
７月16日(木)	1	卯　木	内分泌疾患	内分泌疾患	看４
７月20日(月)	5	丸　尾	小児の成長、発達、栄養	小児の成長、発達、栄養	看４
７月27日(月)	5	真　田	神経疾患（２）	神経免疫疾患	看４
７月29日(水)	2	前　川	糖尿病	糖尿病	看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

授業形式は講義形式でおこなう。
講義では、出来る限り資料配付を行う。
なお、本シリーズの講義は座席指定でおこなう。

7　評　価　方　法

出席評価と筆記試験により総合的に評価する。したがって、出席における不正行為は試験の不正行為と同様に対応する。
15分以上の遅刻は、出席にカウントしない。

8　オフィスアワー（授業相談）

質問や相談は随時可能です。
不在の場合は、メールで連絡して下さい。
佐々木雅也 sasaki@belle.shiga-med.ac.jp

9　学生へのメッセージ

本講義は滋賀医科大学の特徴を生かし、本学の臨床の場で活躍されている臨床医学及び研究に励まれている諸先生方に御協力いただき、臨床医学に直結した講義になるように心掛けている。そのために講義毎に教員が入れ替わり、講義のスタイルも変わる。テキストブックは無いが、配付資料に講義内容をメモ書きし、テキストとして使用していただきたい。

診断と治療Ⅱ

1 担当教員名

教授・医師　遠藤善裕（臨床看護学講座）
教　　授　喜多伸幸（臨床看護学講座）
准教授　梅田朋子（地域医療教育研究拠点）
准教授　大脇成広（耳鼻咽喉科学講座）
准教授　花岡　淳（呼吸器外科）
講　　師　飯田洋也（消化器外科）
講　　師　澤田　修（眼科）
講　　師　中西健史（皮膚科）
講　　師　家森正志（歯科口腔外科）
講　　師　田畑貴久（救急集中治療医学講座）
助　　教　坂井智行（小児科）
助　　教　高島範之（心臓血管外科）
助　　教　熊谷康佑（整形外科学講座）
助　　教　永澤誠之（泌尿器科）

非常勤講師
髙橋健太郎

2 配当学年等

第２学年　前期　２単位

3 学習目標

外科系を中心とした診療分野の診断法と、その治療および予後について適切な看護を提供する知識、手法、能力を養うことを目的とする。消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・泌尿器科・眼科・産婦人科・歯科口腔外科・耳鼻咽喉科・皮膚科・救急医学における主な病態の理解、診断、介入方法を習得する。

4 授業概要

最近の臨床医学の発展に触れ、医療の現状を包括的に学ぶことで、看護の実践に必要な臨床的知識を段階的に学び活用できるように配慮した。各論では一年時に総論で学習した分野や、「診断と治療Ⅰ」と重複しないように講義内容が組まれている。

5 授業内容

年月日（曜）	時限	担当教員	項　目	教室
令和２年				
４月10日（金）	2	遠藤	腹部外科	看３
４月24日（金）	2	飯田	肝胆膵外科	看３
４月28日（火）	1	澤田	視機能の評価	看２
５月１日（金）	2	梅田	乳腺・内分泌疾患のアセスメント	看３
５月８日（金）	2	坂井	小児外科	看３
５月22日（金）	2	高島	心臓血管外科	看３
５月22日（金）	4	熊谷	整形外科関節疾患	看３
６月５日（金）	2	永澤	泌尿器疾患	看３
６月12日（金）	2	喜多	妊娠分娩産褥	看３
６月19日（金）	2	髙橋	婦人科疾患	看３
６月19日（金）	4	花岡	呼吸器外科	看３
６月26日（金）	2	中西	皮膚疾患とアレルギーの評価	看３
７月３日（金）	2	大脇	平衡・聴覚・味覚機能評価	看３
７月17日（金）	2	家森	歯科の基礎知識	看３
７月31日（金）	2	田畑	クリティカル期におけるフィジカルアセスメント	看３

6 授業形式・視聴覚機器の活用

授業は、各分野からの専門の先生によるオムニバス形式の講義となる。
講義では、出来る限り資料配付を行う。
視聴覚機器：スライド、ビデオなどを活用する。

7　評　価　方　法

学習目標に掲げた項目の全範囲を対象とした筆記試験を行い、成績下位約30％の者には、出席評価を加味して、再試験の要否を判定する。最終的に、筆記試験60％以上の得点を修了の認定要件とする。

8　オフィスアワー（授業相談）

随時可能、ただし、不在時には、メール等で連絡してください。
遠藤善裕　yendo@belle.shiga-med.ac.jp
看護学科棟 6 階605室　電話：077-548-2440

9　学生へのメッセージ

本講義は滋賀医科大学の特徴を生かし、現在、本学の臨床の場で活躍されている臨床医学及び研究に励まれている諸先生方に御協力を仰ぎ、臨床医学に直結した講義になるように心掛けています。そのために講義毎に教員が入れ替わり又講義のスタイルも変わります。また、講義日程等に変更が出る場合があります。

講義用資料は、出来るだけe-Learningに掲載を予定しています。

また、講義内容等への質問への回答は、出来るだけ学生連絡用メールで配信を予定しています。

病態生理学特論

1　担　当　教　員　名

教授・医師　　喜　多　伸　幸（臨床看護学講座）

2　配　当　学　年　等

第２学年　後期　２単位

3　学　習　目　標

病態生理学は人体の正常な機能に異常を来たす、あるいはその調節機能に破綻が生じた場合、我々の身体がどのような状態を呈するのか、またそれはどの様な原因により引き起こされるのかを解き明かす学問であり、病態診断のﾌﾟﾛｾｽを生理学的に理解することを目的とする。

4　授　業　概　要

病態生理学は、およそ代謝、呼吸、循環、脳、環境病態生理学に大別されるが、代表的な疾患に対する疾患への理解を目的とする。

その際、必要に応じて専門分野の教員による講義を行う。

5　授　業　内　容

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	教室
令和２年				
10月６日(火)	3	喜　多	生理学の基礎的知識１	看３
10月13日(火)	3	〃	生理学の基礎的知識２	看３
10月20日(火)	3	〃	体温調節の病態生理	看２
10月27日(火)	3	〃	免疫反応の病態生理	看３
11月10日(火)	3	〃	体液調節の病態生理	看３
11月17日(火)	3	〃	血液の病態生理	看３
11月24日(火)	3	〃	循環調節の病態生理	看３
12月１日(火)	3	〃	呼吸調節の病態生理	看３
12月８日(火)	3	〃	消化・吸収の病態生理	看３
12月15日(火)	3	〃	腎・泌尿器の病態生理	看３
12月22日(火)	3	〃	内分泌・代謝の病態生理	看３
令和３年				
１月５日(火)	3	〃	生殖器の病態生理	看３
１月12日(火)	3	〃	脳神経の病態生理	看３
１月19日(火)	3	〃	筋肉の病態生理	看３
１月26日(火)	3	〃	感覚器の病態生理	看３

6　授業形式・視聴覚機器の活用

授業は、代謝、呼吸、循環、脳、環境等各分野別のｵﾑﾆﾊﾞｽ形式の講義となる。

講義では、出来る限り資料配付を行う。

担当教員は必要に応じて専門分野の医師に依頼する。

視聴覚機器：スライド、ビデオなどを活用する。

7　評　価　方　法

学習目標に掲げた項目の全範囲を対象とした筆記試験を行い、成績下位約30％の者には、出席評価を加味して、再試験の要否を判定する。最終的に、筆記試験60％以上の得点を修了の認定要件とする。

8　教科書・参考文献

系統看護学講座　専門基礎分野　病態生理学（医学書院）

医　学　概　論

1　担　当　教　員　名

教授・医師　佐々木　雅　也（基礎看護学講座）
教　　授　室　寺　義　仁（医療文化学講座　哲学）
准　教　授　垰　田　和　史（社会医学講座　衛生学部門）
准　教　授　荻　田　美穂子（臨床看護学講座）

非常勤講師
藤　田　　保（特定医療法人明和会琵琶湖病院　医師）
口分田　政　夫（びわこ学園医療福祉センター草津　施設長）
長　倉　伯　博（龍谷大学、京都光華女子大学　非常勤講師）
花　戸　貴　司（東近江市永源寺診療所　所長）

2　配　当　学　年　等

第１学年　前期　１単位

3　学　習　目　標

今日の科学技術の目覚ましい発展は、それ自身を生み出した社会に大きな影響を及ぼし、人々の生活様式やものの考え方を変えてきた。医学や看護学もまたその科学の一分野であるが、直接、人間の生命現象に深い関わりをもつ点で、他領域とはかなり異なった性格をもっている。諸君は将来、こうした科学技術（医学や看護学）を身につけた専門家として、現に生きている人々、あるいはこれから生まれてくる人々にそれを適用し、人々の健康と福祉の実現に寄与するという仕事に携わることになる。人々は、性や年齢、所属する集団、生活する地域や健康状態などの違いに応じて、健康や福祉に関わる多様な課題を抱えながら生活を営んでいることから、諸君に求められている専門家としてのありようも多様であり、自らがこれからの大学生活を通じて追求していかなければならない。

医学概論の授業では、医療や福祉のさまざまな実践活動に触れることを通じて、医学・看護学を身につけた専門家として相応しい人間性と今後の能動的な学習の契機を形成することを目標とする。

4　授　業　概　要

多くの授業は、医療や福祉の第一線で活躍されている講師を招いておこなう。それぞれの領域における医療や福祉活動の特徴を知るとともに、現在直面している課題について考察する。とくに、授業を通じて「人権」や「医の倫理」について考えを深めること求める。授業は、医学科と看護学科の合同授業としてすすめる。

5　授　業　内　容

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　　容	教室
令和２年					
４月９日(木)	2	室寺・垰田・佐々木・荻田	合同	オリエンテーション	臨3
４月16日(木)	2	花　戸	合同	地域の人たちとともに生きる医療	臨3
４月23日(木)	2	長　倉	合同	人の死と向き合う医療	臨3
４月30日(木)	2	口分田	合同	障害のある人への医療－びわこ学園の実践	臨3
５月14日(木)	2	藤　田	合同	聴覚障害と医療	臨3
５月21日(木)	2	菊　井	合同	がん患者の視点から、将来の医師・看護師に望むこと	臨3
６月11日(木)	2	垰田・室寺・佐々木・荻田	合同	小グループ討論（患者の立場・家族の立場）／早期体験学習・人間発達実習　受入施設説明	臨3
７月９日(木)	2	〃	合同	早期体験学習・人間発達実習　訪問施設別グループワーク	看2・看3・A・③

6　授業形式・視聴覚機器の活用

授業は、講義形式、小グループによる討論会形式、ロールプレー形式などによる。いずれの授業においても、随時、学生に意見や質問を求めるので積極的に参加してほしい。

教材としては、スライド提示の他、TVの録画番組なども利用する。

7　評　価　方　法

毎回の授業ごとに、テーマを示し、レポートの提出を求める。レポートでは、授業を契機に、課題に関連して生じた問題意識や調べた事項などについて論考することを求める。提出されたレポートについて、医学生・看護学生として真摯に課題に対峙する姿勢および記述の論理性について、４段階で評価する。受理に値しないと判断されたレポートは再提出を求める。

受理されたレポート数が、全授業数の2/3未満の場合は不合格とする。

8　教科書・参考文献

滋賀医科大学：医学・保健・医療・看護と人権
その他は、授業の際に随時示す。

9　学生へのメッセージ

1）医学・看護学を学ぶ者としてふさわしい「態度」で授業に参加することを求める。
2）他人の考えに耳を傾けることを求める。
3）自分の頭で考えることを求める。
4）自分の意見を率直に表明することを求める。

保健医療行政論

1　担　当　教　員　名

教　　授　伊　藤　美樹子（公衆衛生看護学講座）　　非常勤講師
田　中　逸　郎（特定非営利活動法人　NPO政策研究所
理事（主任研究員））

2　配　当　学　年　等

第２学年　前期前半　１単位

3　授　業　概　要

日本の社会経済全体、保健医療、グローバルヘルスの課題に対応するための課題に対応する保健・医療行政・制度の法的基盤と関係法令、行政の仕組みと機能についての基本的な知識を修得する。

また、薬害被害者による薬害被害経験の特別講義を通して、被害の回復と再発予防に向けた保健医療行政と専門職の役割について考えることができる。

4　授　業　内　容

保健・医療の関係法規制定の趣旨や理念、ならびにそれらの変遷と特徴や、計画、評価などの仕組みについて教授する。

また保健医療の営みに関わって生じる倫理的課題や人権の問題を薬害を通じて取り上げる。

5　授　業　内　容

年月日（曜）	時限	担当教員	内　　容	教室
令和２年				
４月９日（木）	1	田　中	ガイダンス・国・自治体の行政の仕組み、保健医療行政の概要＜基盤形成＞	看４
４月16日（木）	1	〃	保健医療行政の概要＜新たな課題と政策の発展・転換＞	看４
４月23日（木）	1	〃	公衆衛生に関する国際的な活動、社会の現状から学ぶ	看４
４月30日（木）	1	〃	地域保健の体系、医療制度、介護保険制度	看４
５月14日（木）	1	田中・伊藤	実際の仕事の現場から （ゲストスピーカーによる講話）	看４
５月21日（木）	1	田　中	自治体の保健医療（福祉）計画、授業の振り返り・まとめ	看４
未定	未定	伊藤・全国B型肝炎訴訟弁護団	特別講義：集団予防接種等によるＢ型肝炎	
未定	未定	伊藤・ 花井十伍（大阪HIV薬害訴訟原告団代表）	特別講義：HIV汚染血液凝固因子製剤による血友病患者のHIV感染被害	

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式

7　評　価　方　法

期末レポートと各授業内容に関するレポート課題によって評価する。最終評価には、授業時の意見や発言を加味する。

なお、出席回数が2/3未満の場合は、定期試験の受験資格はないものとする。

8　教科書・参考文献

最新 保健学講座７「保健医療福祉行政論」メヂカルフレンド社

9　学生へのメッセージ

第７回と第８回の日時・場所は未定です。

社会福祉・社会保障論

1　担当教員名

講　　師　輿水　めぐみ（公衆衛生看護学講座）　　非常勤講師
蘭　　由岐子（追手門学院大学　社会学部　教授）
田　中　逸　郎（特定非営利活動法人　NPO政策研究所　理事（主任研究員））
清　水　由　香（大阪市立大学　大学院生活科学研究科　助教）

2　配当学年等

第２学年　後期　２単位

3　学習目標

1．日本の社会保障と社会福祉の概要を体系的に理解できる。
2．国民が直面する諸問題に関連した社会保障および社会福祉の動向が理解できる。
3．各種制度の沿革と現在の制度の内容、今度の動向について理解できる。
4．社会福祉実践の基盤となる援助方法について理解できる。

4　授業概要

国民の生活の安定化をはかるとともに最低限の生活を保障する公的な制度である社会保障制度について概説する。また、障がい者や要介護高齢者など社会的な援護を要する者が自立した生活を送れるように支援する社会福祉の制度についても概説する。

5　授業内容

社会保障および社会福祉の制度の仕組みについて全体像をつかみ、各制度の内容およびサービスの特徴と関連職種の役割について学習する。

年月日（曜）	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
10月２日（金）	2	田　中	ガイダンス （授業計画、評価方法）	社会福祉の歩み 行政（国・自治体）の仕組みと公共政策	看１
10月９日（金）	2	〃	社会保障制度と社会福祉①	体系、法制度、財政、組織ほか	看１
10月23日（金）	2	〃	社会保障制度と社会福祉②	保健・医療との関係（医療保障制度、健康保険等）	看４
10月30日（金）	2	〃	社会変化と社会保障・社会福祉の動向①	人口や地域社会、経済状況等の変化と市民生活の課題	看１
11月６日（金）	2	〃	社会変化と社会保障・社会福祉の動向②	社会変化による社会保障・社会福祉・保健医療の動向と課題	看１
11月13日（金）	2	〃	これからの社会保障・社会福祉のあり方①	持続可能な仕組みづくりに向けて（地域共生社会づくり）	看１
11月20日（金）	2	〃	これからの社会保障・社会福祉のあり方②	社会保障制度の再構築に向けて（国・自治体・市民の役割）	看１
12月11日（金）	2	清　水	所得保障	日本における年金、社会手当、労働保険制度の理解	看１
12月18日（金）	2	〃	公的扶助	セーフティーネットとしての生活保護、生活困窮と自立支援のあり方	看１
12月21日（月）	4・5	蘭	医療と差別①・②	ハンセン病	看４
12月25日（金）	2	清　水	社会福祉の支援実践① 高齢者支援と介護保険制度	介護保険制度の理解と高齢者支援の特徴	看１
令和３年					
１月８日（金）	2	〃	社会福祉の支援実践② 障害者総合支援法と障害者福祉	精神障害者の地域生活支援を事例に学ぶ	看１
１月22日（金）	2	〃	社会福祉の支援実践③ 児童福祉法・児童虐待防止法と子ども家庭福祉	児童虐待と社会的養護のあり方	看１
１月29日（金）	2	〃	社会福祉援助体系と実践の価値と技術	ソーシャルワークの考え方、関連援助技術、チーム医療、多職種連携について	看１

6　授業形式・視聴覚機器の活用

授業計画に沿って講義形式で行うが、日程は一部変更なる場合がある。
基本的には教科書に沿って授業を進めながら、適宜、事例等をもとに意見交換を行う。

7　評　価　方　法

評価は期末試験に授業時の発言・意見等を加味する。詳細は、講義の際に説明する。
全講義の2/3以上（２回の遅刻および早退は１回の欠席とみなす）の出席をもって評価の対象とする。

8　教科書・参考文献

教科書：系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度［３］社会保障・社会福祉　医学書院
参考文献：講義の際に適宜提示します。

地域保健看護学

1　担当教員名

教　　授　伊　藤　美樹子（公衆衛生看護学講座）

2　配当学年等

第２学年　後期前半　１単位

3　学習目標

コミュニティレベルの健康水準を高めることを目的とした公衆衛生看護学の基礎となる理念・概念および活動を展開するための基本的な知識を学ぶ。健康に影響を及ぼす社会・環境要因の把握、対象特性別の健康増進、疾病予防をはじめ、人々の健康で文化的な生活を営む権利を保障するための、個人・家族、集団、組織の支援のあり方、住民主体の地域活動や地域組織化活動など、主要な公衆衛生看護活動の方法について学ぶ。

4　授業概要

（１）公衆衛生看護学の定義、対象、機能が説明できる。
（２）人々の健康が社会経済文化的な影響を受けていることがわかる。
（３）個人・家族、集団、組織の支援における考え方や方法がわかる。
（４）住民の主体的な活動を育成する意義や方法がわかる。

5　授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	内　容	教室
令和２年				
10月６日(火)	2	伊　藤	公衆衛生看護の定義、対象、機能	看４
10月13日(火)	2	〃	プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション	看４
10月20日(火)	2	〃	健康の社会的決定要因 健康の環境的決定要因	看４
10月27日(火)	2	〃	地域住民・集団を対象とした看護活動：活動根拠と活動基盤	看４
11月10日(火)	2	〃	地域住民・集団を対象とした看護活動：個人・家族	看４
11月17日(火)	2	〃	地域住民・集団を対象とした看護活動：特定集団	看４
11月24日(火)	2	〃	地域住民・集団を対象とした看護活動：住民参加と主体化	看４
12月１日(火)	2	〃	地域住民・集団を対象とした看護活動：地域組織化活動とソーシャルキャピタル	看４

6　教科書・参考文献

教科書：最新 保健学講座１「公衆衛生看護学概論」メヂカルフレンド社
参考文献：最新 保健学講座２「公衆衛生看護支援技術」メヂカルフレンド社

地域ケアシステム論（第2学年）

1　担　当　教　員　名

講　　師　　輿　水　めぐみ（公衆衛生看護学講座）

2　配　当　学　年　等

第2学年　後期後半　1単位

3　学　習　目　標

1．健康に問題や課題のある人々の地域での暮らしを支えるケアシステムについて理解を深める。
2．多職種連携、役割分担、家族やインフォーマルな支援者との関係、行政への働きかけ方といった、地域ケアシステムに必要となる連携や協働の方法を理解する。

4　授　業　概　要

健康に問題や課題のある人々を支えるケアシステムとそのケアに関わる専門職によるチームアプローチを事例を通して学ぶ。

5　授　業　内　容

授業は講義と演習を組み合わせて展開する。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和2年					
12月8日(火)	2	輿　水	ガイダンス 地域ケアシステムの概要	地域ケアシステムの目的と意義 社会資源および関係機関の種類、多職種連携・協働	看4
12月15日(火)	2	〃	地域づくりの実際	地域ケアシステムを必要とする健康問題：高齢者	看4
12月22日(火)	2	〃	地域づくりの実際	健康な暮らしを支えるシステム：高齢者の地域包括ケアに関する事例検討	看4
令和3年					
1月5日(火)	2	〃	地域づくりの実際	地域ケアシステムを必要とする健康問題：子育て世代	看4
1月12日(火)	2	〃	地域づくりの実際	健康な暮らしを支えるシステム：子育て世代包括ケアに関する事例検討	看4
1月19日(火)	2	〃	地域づくりの実際	地域ケアシステムを必要とする健康問題：精神障害	看4
1月26日(火)	2	〃	地域づくりの実際	健康な暮らしを支えるシステム：精神障害者の地域包括ケアに関する事例検討	看4
2月2日(火)	2	〃	地域づくりの実際	行政計画への反映 住民への啓発 まとめ	看4

6　授業形式・視聴覚機器の活用

適宜、視聴覚教材や副読本を使用する。

7　評　価　方　法

詳細な評価方法は、講義の際に説明を行う。

疫　　学

1　担　当　教　員　名

非常勤講師　　本　多　智　佳（大阪大学　大学院医学系研究科附属ツインリサーチセンター　特任准教授）

2　配　当　学　年　等

第２学年　後期前半　２単位

3　学　習　目　標

１．疫学の基本となる概念や用語を正しく理解できる。
２．疫学における調査手法を理解し、調査結果までの一連のプロセスを正しく理解できる。
３．科学的な思考法を身につけ、疫学研究の知見の限界や課題について批判的に考えることができる。

4　授　業　概　要

疾病の罹患率をはじめ、健康に関する事象の頻度や分布、およびその要因について明らかにする手法を説明する。また、疫学が人々の生活や健康の維持・増進にどのような役割を果たすかについて理解を促す。保健・看護分野に直結する疫学の調査方法の基本を教授する。

5　授　業　内　容

年月日(曜)	時限	担当教員	内　　容	教室
令和２年				
10月２日(金)	3	本　多	疫学の概念	看４
10月２日(金)	4	〃	集団の健康状態の把握①	看４
10月９日(金)	3	〃	集団の健康状態の把握②	看４
10月９日(金)	4	〃	集団の健康状態の把握③	看４
10月16日(金)	3	〃	集団の健康状態の把握④	看４
10月16日(金)	4	〃	感染症の疫学（積極的疫学調査）	看４
10月30日(金)	3	〃	主要疾患の疫学①	看４
10月30日(金)	4	〃	主要疾患の疫学②	看４
11月６日(金)	3	〃	疫学の研究方法①	MMC
11月６日(金)	4	〃	疫学の研究方法②	MMC
11月13日(金)	3	〃	疫学の研究方法③	MMC
11月13日(金)	4	〃	疫学の研究方法④	MMC
11月20日(金)	3	〃	疫学と公衆衛生看護①	MMC
11月20日(金)	4	〃	疫学と公衆衛生看護②	MMC
11月27日(金)	3	〃	まとめ	看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義とマルチメディアセンターでの演習

7　評　価　方　法

期末試験によって評価する。

8　教科書・参考文献

教科書：大木秀一 著「基本からわかる 看護疫学入門 第３版」医歯薬出版株式会社
参考文献：国民衛生の動向

保 健 統 計 学

1 担 当 教 員 名

教　　授　伊　藤　美樹子（公衆衛生看護学講座）
助　　教　田　渕　紗也香（公衆衛生看護学講座）

2 配 当 学 年 等

第２学年　前期　２単位

3 学 習 目 標

１．保健医療情報の取り扱いを理解し、説明できる。
２．保健統計指標の意味と意義を理解し、保健統計調査の結果を適切に解釈・説明できる。
３．基礎的な統計解析の方法を習得し、統計解析演習において実践できる。
４．統計解析の結果を適切に表し、説明できる。

4 授 業 概 要

科学的思考としての疫学とそれに基づいた保健統計の見方、研究に不可欠な統計処理・統計解析の方法、ならびに保健医療情報管理と活用の基礎について教授する。後半ではそれらの知識をもとにICT資源や環境を利用して、データを用いた統計解析の演習を通して根拠に基づいた看護実践を行うための基本的な能力を養う。

5 授 業 内 容

集団における健康現象の観察や統計処理の基礎となる統計学の主要概念、基礎理論、解析方法について学習する。

年月日(曜)	時限	担当教員	内　　容	教室
令和２年				
４月６日(月)	2	伊　藤	統計資料の見方１	看４
４月13日(月)	2	〃	統計資料の見方２	看３
４月20日(月)	2	〃	人口動態統計１	MMC
４月27日(月)	2	〃	人口動態統計２	MMC
５月11日(月)	2	伊藤・田渕	保健統計調査１	MMC
５月18日(月)	2	〃	保健統計調査２	MMC
５月25日(月)	2	〃	保健統計調査３	MMC
６月１日(月)	2	〃	統計調査の計画と実施	MMC
６月８日(月)	2	〃	保健医療情報の管理と活用の基礎	MMC
６月15日(月)	2	〃	保健統計演習１：記述統計	MMC
６月22日(月)	2	〃	保健統計演習２：記述統計	MMC
６月29日(月)	2	〃	保健統計演習３：母集団と標本集団	MMC
７月６日(月)	2	〃	保健統計演習４：相関分析・回帰分析	MMC
７月13日(月)	2	〃	保健統計演習５：クロス集計表の検定	MMC
７月20日(月)	2	〃	保健統計演習６：平均値の差の検定	MMC

6 評 価 方 法

期末試験（70％）と適宜課すミニレポート（30％）によって評価する。最終評価には、授業時の意見や発言を加味する。
なお、出席回数が2/3未満の場合は、期末試験の受験資格はないものとする。

7 教科書・参考文献

教科書：
福富和夫、橋本修二 著「保健統計・疫学」南山堂
国民衛生の動向　2019/2020（第66巻第９号）

環境保健学

1 担当教員名

教　　授　伊藤　美樹子（公衆衛生看護学講座）
准教授　多川　晴　美（看護臨床教育センター）
助　　教　田渕　紗也香（公衆衛生看護学講座）

2 配当学年等

第２学年　後期後半　１単位

3 学習目標

・環境要因が健康に与える影響についての基本的知識を習得する。
・国連の持続可能な開発目標の枠組みとその背景を理解する。
・気候変動や自然災害のみならず、人々の社会的移動、抗生物質の不適切使用など、社会経済的な背景要因と深く関わる感染症（パンデミックを含む）の発生動向と、それへの対応について理解する。
・環境保全と集団保健行動について理解する。

4 授業概要

地球環境問題ならびに生活環境が人間のみならず動物を含めた生態系へ与える影響、並びに人間の生活環境と健康との関係を俯瞰的に捉える視点と現状について教授する。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	内　容	教室
令和２年				
12月４日(金)	3	伊　藤	環境と健康：空気環境	看４
12月11日(金)	3	伊藤・田渕	環境と健康：温熱環境	看４
12月18日(金)	3	伊藤・金城真一（看護部：感染管理認定看護師）	感染制御１：院内感染	看４
12月25日(金)	3	伊　藤	（ゲストスピーカー）感染症の発生動向	看４
令和３年				
１月８日(金)	3	伊藤・金城真一（看護部：感染管理認定看護師）	感染制御２：災害時の感染対策	看４
１月22日(金)	3	多　川	廃棄物処理とリサイクル	看４
１月29日(金)	3	伊　藤	（ゲストスピーカー）新興感染症のパンデミック発生時の対応	看４
２月５日(金)	3	〃	環境保健行動：水環境を守る市民活動	看４

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式

7 評価方法

授業ごとのミニレポートによって評価する。なお2/3以上の出席を評価の要件とし、最終評価には、授業中の意見や発言を加味する。

専門看護科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

フィジカルアセスメント

1　担　当　教　員　名

教授・医師　相　見　良　成（基礎看護学講座）
准　教　授　中　西　京　子（基礎看護学講座）
助　　教　山　下　　敬（基礎看護学講座）
助　　手　岡　　美登里（基礎看護学講座）

2　配　当　学　年　等

第１学年　後期　１単位

3　学　習　目　標

1．人体の構造と機能について、生体の観察、人体標本の観察などを通じて多面的、実践的に理解し、フィジカルアセスメントに活用できる。（知識・理解）
2．的確なフィジカルイグザミネーションを行い、正確な情報を取得・分析することができる。（技能）
3．得られた情報より、対象者についてアセスメントができる。（思考・判断・表現）
4．看護を学ぶ者としてルール・規範を守り、主体的に学習することができる。（関心・意欲・態度）

4　授　業　概　要

1．看護の対象の身体の状態を客観的に評価するための基本となる、フィジカルイグザミネーションの基礎的な知識・技術をを習得し、正確な情報を取得することができる。
2．看護の対象について総合的にアセスメントし、判断するために必要な観察力を養い、情報を的確に分析することができる。

5　授　業　内　容

実技試験練習日：11月９日（月）（４・５限）
実技再試験の補講予定日：12月７日（月）（４・５限）

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
10月５日(月)	4	相見・山下・岡	ガイダンス フィジカルイグザミネーションの基礎 バイタルサイン	ガイダンス バイタルサイン 総論看護におけるフィジカルアセスメントの意義 基本的なフィジカルイグザミネーションの技術 予習：シラバスを読んでおく 復習：課題レポート作成	看1・看実
10月６日(火)	3・4	〃	体温・呼吸の評価	体温　罨法 呼吸　酸素療法 予習： 復習：課題レポート作成	看実
10月12日(月)	4・5	〃	呼吸・循環の評価①	３グループに分かれて演習を行う （１：循環器、２：呼吸器、３：スキルスラボ） 予習：各項目（循環器・呼吸器）のフィジカルアセスメントについて学習しておく 復習：課題レポート作成	看3・看実
10月13日(火)	3・4	〃	呼吸・循環の評価②	３グループに分かれて演習を行う （１：循環器、２：呼吸器、３：スキルスラボ） 予習：各項目（循環器・呼吸器）のフィジカルアセスメントについて学習しておく 復習：課題レポート作成	看3・看実
10月20日(火)	3・4	〃	呼吸・循環の評価③	３グループに分かれて演習を行う （１：循環器、２：呼吸器、３：スキルスラボ） 予習：各項目（循環器・呼吸器）のフィジカルアセスメントについて学習しておく 復習：課題レポート作成	看3・看実
10月21日(水)	2・3	〃	腹部の評価	腹部（消化器系・泌尿器系）のフィジカルアセスメント 予習：消化器系のフィジカルアセスメントについて学習しておく 復習：課題レポート作成	看3・看実

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年 10月27日(火)	3・4	相見・山下・岡	頭頚部・筋骨格系の評価	筋骨格系（神経反射も含む）のフィジカルアセスメント 感覚器系（頭頚部、神経系、感覚器系）のフィジカルアセスメント 予習：関連項目について学習しておく 復習：課題レポート作成	看3
11月２日(月)	4・5	〃	生命兆候に関するアセスメント	フィジカルアセスメント各論のまとめ バイタルサイン測定の技術を統合する 予習：グループ実習の内容を整理しておく 復習：課題レポート作成	看実
12月１日(火)	3・4・5	山下・岡・中西	【実技試験】	対象把握の手段としての情報収集手技	看実
12月８日(火)	3・4・5	〃	【実技（再試験)】	対象把握の手段としての情報収集手技	看実

6　授業形式・視聴覚機器の活用

授業は講義・演習より構成され、適宜グループワークなども行う。
授業に際しては関連項目に関する予習を課し、講義の中ではシミュレーター教材やWeb素材なども使用する。
グループ実習では、20人程度の小グループに分かれて講義・演習を行う。(教室は変更の可能性あり)
実技試験に向けての練習で、動画などの参考資料は別途提示する。

7　評　価　方　法

・筆記試験：40%（到達目標１・２)、実技試験：40%（到達目標３)、事前事後のレポート提出：20%（到達目標１・２・４)、期限を過ぎたレポートについては－２点、未提出の場合－５点とする。
・無断欠席：－５点（到達目標４)、不適切な態度・行動（不要な携帯電話・スマートフォン等の使用など）および他者への迷惑行為：－５点（到達目標４)
・記述試験、実技試験それぞれに60%未満の評価となった場合、それぞれにおいて再試験を受験する。なお、実技試験60点～70点未満の場合は補講を行う。合計で60%以上の評価を得ることで単位習得要件とする。

8　教科書・参考文献

教科書：ナーシンググラフィカ　基礎看護学②ヘルスアセスメント：メディカ出版
参考文献：看護がみえる　vol.3 フィジカルアセスメント　第１版，メディックメディア，2019．その他適宜紹介・配布する

9　オフィスアワー（授業相談）

まずはメールで連絡してください。

10　学生へのメッセージ

演習は体験することが重要です。体調を整えて欠席しないようにしてください。

看護学概論Ⅰ

1 担当教員名

准教授　中西京子（基礎看護学講座）

非常勤講師
本田　可奈子（滋賀県立大学　教授）

2 配当学年等

第１学年　前期前半　１単位

3 学習目標

1．看護の基本的概念を理解できる。
2．看護（理論も含む）の歴史的変遷ならびに医療や福祉全般を概観して現代における看護の位置づけと今後の発展を理解できる。
3．看護の対象を理解できる
4．看護の役割と機能について説明できる。
5．看看護専門職と看護倫理について理解でき、態度としても自覚ができる。
6．看護とは何か、自己の考えを表現できる。

4 授業概要

看護学の基本概念、役割等看護学の基本を学習し、看護学初学者としての自己の看護に対する考えがもて、自らの看護観を培う基盤を養う。

5 授業内容

講義とグループワークによって、看護学の導入として専門職看護の機能や役割について学びをすすめていく。予習をもとに授業をすすめるため、指定した教科書の範囲は予習をしてくる。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
令和２年					
４月14日(火)	3	本田	オリエンテーション 看護の基本	看護の定義・基本概念・健康の概念 看護に対するイメージ 社会の出来事を用いてグループ討議（iPad ロイロノート）	看２
４月14日(火)	4	〃	看護の歴史的変遷	看護の歴史的変遷 （予習）テキスト第１部－４を読んでくる （復習）看護の歴史を概観し、また健康の定義の変遷をふまえ看護に対しての自分の考えをまとめる。	看２
４月21日(火)	3	〃	看護理論①	看護理論とは何か、看護理論と変遷（ナイチンゲール・ヘンダーソン・オレム） （予習）テキスト第２部－５を読んでくる	看２
４月21日(火)	4	〃	看護理論②	看護理論とは何か、看護理論と変遷（ロイ・ペプロウ・ニューマン・ワトソン） （復習）看護の理論を概観して看護に対する自分の考えをまとめる。	看２
４月28日(火)	3	〃	看護の対象／ライフサイクルと健康	生活者としての人間（健康と人、地域社会と人、健康障害のある人の理解） （予習）テキスト第１部－４を読んでくる	看２
４月28日(火)	4	〃	看護の対象／ライフサイクルと健康	人間の成長発達の概念、小児・成人・老年各期の概念 （復習）自分や、周囲の人がいる発達段階における①発達課題または②健康障害について考察する。	看２
５月12日(火)	3	〃	看護の役割と機能	看護が機能する場、看護の組織とその役割 （予習）テキスト第１部－１（１．２．３．５）を読んでく （復習）自分や、周囲の人がいる発達段階における①発達課題または②健康障害について考察する。	看２
５月12日(火)	4	〃	看護における倫理と価値	看護実践の倫理 （予習）テキスト第１部‐３を読んでくる（復習）看護に対しての自分の考えをまとめる。	看２

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義は、予習してきたことをもとに学生に質問しながらすすめていく。グループワークでは、６人前後のグループにわかれ、プレゼンテーションはロイロノートアプリを使用して、iPadでプレゼンテーションを行う。

7　評　価　方　法

・毎時間の課題レポート（40%　目標１－４）
・まとめのレポート（60%　目標５）
・無断欠席－５点、また授業開始後20分をこえた出席で理由なきものは無断欠席扱いとする（目標４）。
・不適切な行為（不要な携帯電話・スマートホン等の使用など）または他者への迷惑行為－５点（目標４）
・なお全講義数の３分の２以上の出席をもって授業評価を受ける資格要件とする。無断早退は出席に含めない。３回の遅刻で１回の欠席とみなす。

8　教科書・参考文献

教科書：
志々岐康子ら「ナーシンググラフィカ基礎看護学１看護学概論」メディカ出版
参考文献：
・ヴァージニア・ヘンダーソン著／湯槇ます・小玉香津子訳：看護の基本となるもの，日本看護協会出版会
・フロレンス ナイチンゲール著／湯槇ます訳：看護覚え書－看護であること看護でないこと，現代社，第７版，2011.
・筒井 真優美編：看護理論－看護理論20の理解と実践への応用，看護学テキストNiCE，南江堂，2008.

9　オフィスアワー（授業相談）

事前にメール等で時間調整いただくことが望ましい。

10　学生へのメッセージ

看護を学ぶ第一歩です。人に看護に関心をもってみましょう。

看護学概論Ⅱ

1　担当教員名

准教授　中西京子（基礎看護学講座）

2　配当学年等

第１学年　後期後半　１単位

3　学習目標

1．保健医療福祉活動における看護の特徴と課題について説明できる。
2．看護の法的責務について説明できる。
3．看護の思考の展開の基礎についてわかる。
4．これからの看護の課題と展望について自己の考えを整理できる。

4　授業概要

看護学概論Ⅱでは、保健・医療・福祉の中の看護のあり方を概観し、専門職看護として、社会の中で看護のあり方を考察する。ロールプレイ、映像を多用し現在の社会問題を材料に、個人またはグループディスカッションを行いながらすすめていく。

5　授業内容

以下授業内容のとおり

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
令和２年					
12月２日(水)	2	中西	・ガイダンス ・保健・医療サービスと看護の機能	保健・地域包括ケア・医療サービス提供システムにおける看護の機能や他職種との連携（予習）テキスト第３部－10（１．２．３まで）を読んでくる （復習）2035年にむけた看護のあり方について自分の意見をまとめてみる	看１
12月９日(水)	2	〃	看護活動の思考の展開方法	看護活動の思考の展開方法 （予習）テキスト第２部－８を読んでくる （復習）ヘンダーソンの理論を用いた情報の整理	看１
12月23日(水)	2	〃	看護活動の思考の展開方法	看護活動の思考の展開方法 （予習）ヘンダーソンの理論を用いたアセスメントの実践	看１
令和３年					
１月６日(水)	2	〃	看護活動の思考の展開方法	看護活動の思考の展開方法 （復習）ヘンダーソンの理論を用いたアセスメントを整理する	看１
１月13日(水)	2	〃	看護の法的側面	看護と法のかかわり、看護実践における法的基盤 （予習）テキスト第３部－９を読んでくる （復習）保健師助産師看護師法に何が規定されているか歴史的変遷をふまえて記述する。	看１
１月20日(水)	2	〃	看護の展開と継続性	看護のチーム、継続性、協働 （予習）テキスト第４部－11を読んでくる （復習）継続看護の必要性について記述する。	看１
１月27日(水)	2	〃	看護とキャリア	これから看護に求められる役割について （予習）テキスト序章２を読んでくる （復習）今の自分が考える看護職としてのキャリア発達についてまとめてみる	看１
２月３日(水)	2	〃	まとめ	社会における看護専門職の存在意義	看１

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義は、予習してきたことをもとに学生に質問しながらすすめていく。グループワークでは、６人前後のグループにわかれ、プレゼンテーションはロイロノートアプリを使用して、iPadでプレゼンテーションを行う。

7　評　価　方　法

・課題の提出：40％（目標１－４）、個人レポート60％（目標４）
・また授業開始後20分をこえた出席で理由なきものは無断欠席扱いとする（目標４）。
・全体評価で60％未満の場合は再課題を行う。
・提出期限を過ぎた課題レポートは－２点、未提出は－５点とする。無断欠席は－５点とする。
・なお全講義数の３分の２以上の出席をもって成績評価の資格要件とする。無断早退は出席に含めない。３回の遅刻で１回の欠席とみなす。

8　教科書・参考文献

教科書：志々岐康子らナーシンググラフィカ「基礎看護学①看護学概論」メディカ出版
参考文献：適宜紹介、または配付する

9　オフィスアワー（授業相談）

時間を確保するため、事前にメール等で連絡をしてくれるのが望ましい。

10　学生へのメッセージ

専門科目も増えてきました。病院実習もはさみますので、学内授業に実習体験をいかしてみてください。

看護過程演習Ⅰ

1　担当教員名

准教授　中西京子（基礎看護学講座）
助教　山下　敬（基礎看護学講座）
助教　岡　美登里（基礎看護学講座）

2　配当学年等

第２学年　前期　１単位

3　学習目標

看護を系統的に実践するための思考過程について理解し、事例学習を用いて問題解決思考を習得する。

1．アセスメントについて説明することができる。
2．看護問題を構成する要素を述べることができる。
3．看護計画に必要な要素を述べることができる。
4．看護過程における評価の視点を述べることができる。
5．主体的および計画的な学習姿勢を身につけることができる。

4　授業概要

対象者の健康上の問題や生活上のニーズを明らかにし、適切な援助を提供する方法論である看護過程を理解し、具体的な問題解決のプロセスを学習する。

この授業は、基礎看護学実習Ⅱの基盤となる科目である。

5　授業内容

授業では、紙上事例を用いてアセスメントから具体的な看護介入方法の立案、評価までを行う。

年月日（曜）	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月10日（金）	1	中西・山下・岡	授業ガイダンス アセスメントの概念枠組み	ゴードンの機能的健康パターン 事例提示	看４
４月17日（金）	1	〃	アセスメント	パターン別アセスメント①	看４
４月24日（金）	1	〃	アセスメント	パターン別アセスメント②	看４
５月１日（金）	1	〃	アセスメント	パターン別アセスメント③	看４
５月８日（金）	1	〃	アセスメント	パターン別アセスメント④	看４
５月22日（金）	1	〃	アセスメント	パターン別アセスメント⑤	看４
５月29日（金）	1	〃	アセスメント	パターン別アセスメント⑥	看４
６月５日（金）	1	〃	関連図	病態相互の関連図	看４
６月12日（金）	1	〃	看護診断	統合・看護問題の明確化 看護診断①	看４
６月19日（金）	1	〃	看護診断	看護診断②	看４
６月26日（金）	1	〃	問題の優先度	目標設定	看４
７月３日（金）	1	〃	計画立案	計画立案①	看４
７月10日（金）	1	〃	計画立案	計画立案②	看４
７月17日（金）	1	〃	実施・評価	看護計画の実施と評価①	看４
７月31日（金）	1	〃	まとめ	看護計画の実施と評価② 看護過程のまとめ	看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

授業は、講義・個人ワーク・グループワーク・発表などの方法を用いて実施する。

7　評価方法

全講義数の2/3以上の出席を満たすことを評価の要件とする。

【評価基準】

1．定期試験（50%）筆記試験は、点数が６割に満たない場合は再試験の対象となる（再試験は１回のみ）。

2．グループワークへの貢献度・発表（20%）
3．課題（30%）

8　教科書・参考文献

教科書：
1．ナーシング・グラフィカ「基礎看護学②ヘルスアセスメント」メディカ出版.
2．リンダ J. カルペニート＝モイエ『看護診断ハンドブック』医学書院.

参考文献：
渡邊トシ子編：ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント　第3版　ヌーベルヒロカワ.

9　オフィスアワー（授業相談）

質問は随時受け付けます。

10　学生へのメッセージ

1．効果的なグループワークを行うために、事前に提示された課題はかならず各自で事前学習をして臨むこと。課題は、適宜提出を求める。
2．学生が主体的・計画的な学習を進めること。

看護過程演習Ⅱ

1　担　当　教　員　名

准　教　授　　中　西　京　子（基礎看護学講座）

2　配　当　学　年　等

第２学年　後期　１単位

3　学　習　目　標

1．事例を通して、日常生活上の問題とその原因・誘因を見出すことができる。
2．対象者の健康にかかわる日常生活上の問題解決に向けた目標を立案できる。
3．対象者の持つ機能をいかした看護計画の立案ができる。
4．立案した看護計画の評価の視点が説明できる。

4　授　業　概　要

看護実践において対象の日常生活に関わるニーズを判断し、対象の個別性に応じて、さまざまな看護技術を統合・応用・創造し、最善の看護を実践する意義と方法を学習する。

対象者に必要な看護介入方法を思考しながらシミュレーション演習を行う。

5　授　業　内　容

授業では、紙上事例を用いてアセスメントから具体的な看護介入方法の立案、実施、評価までを行う。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
10月５日(月)	4	中西・山下・岡	授業ガイダンス アセスメント	事例提示	看４
10月５日(月)	5	〃	アセスメント	人間発達理論 ストレス・危機理論等の理論を用いた分析	看４
10月12日(月)	4・5	〃	アセスメント 関連図		看４
10月19日(月)	4	〃	関連図	関連図の発表	看４
10月19日(月)	5	〃	看護問題の明確化		看４
11月２日(月)	4	〃	看護問題の明確化		看４
11月２日(月)	5	〃	計画立案	ケアリング理論 セルフケア理論等に基づき援助計画を立案	看４
11月９日(月)	4・5	〃	計画立案	看護計画の発表	看４
11月16日(月)	4・5	〃	看護実践と評価（発表）	シミュレーション演習	看４
11月30日(月)	4・5	〃	看護実践と評価（発表）	シミュレーション演習	看４
12月７日(月)	4	〃	まとめ		看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

授業は、講義とシミュレーション演習によって行う。

学習の進度状況などに応じて内容および開講時間を変更する場合がある。

変更となった場合は掲示する。

7　評　価　方　法

全講義数の2/3以上の出席を満たすことを評価の要件とする。

【評価基準】

1．課題学習シート提出と内容（30%）
2．グループワーク・発表とレポート（10%）
3．最終課題レポート提出と内容（60%）

8　教科書・参考文献

教科書：

1．ナーシング・グラフィカ「基礎看護学②ヘルスアセスメント」メディカ出版.
2．リンダ J. カルペニート＝モイエ『看護診断ハンドブック』医学書院.

参考文献：
授業の進行に応じて順次紹介する。

9　オフィスアワー（授業相談）

質問は随時受け付けます。

10　学生へのメッセージ

1．本科目は既習技術を修得していることを前提とする。
2．また、今後の各領域実習につながる学習である。そのため既習している学習を活用すること。
3．本科目は、連続した知識の積み重ねが必要であため、欠席をしないようにすること。やむなく欠席した場合は、その部分の自己学習を行い、次の授業に臨むこと。

基礎看護技術演習Ⅰ

1　担当教員名

准教授　中西京子（基礎看護学講座）
助教　山下　敬（基礎看護学講座）
助手　岡　美登里（基礎看護学講座）

2　配当学年等

第1学年　前期後半　1単位

3　学習目標

1．看護技術の意義について理解する。
2．援助者として人々に関わるための基本的なコミュニケーションの技術を習得する。
3．無意識に過ごしている「日常生活」「生活行動」について概念化ができる。
4．人々をとりまく環境・健康・生活の関連について理解することができる。
5．看護技術の対象となる「生活」の意味について理解できる。
6．援助者として人々に関わるために必要な環境整備の技術を習得する。
7．グループでひとつの課題を明らかにし、プレゼンテーションができる。
8．看護職者として必要な協調的態度を身に付ける。

4　授業概要

自分の日常生活を通して今まで無意識に営んできた生活と生活行動について、生活を構成している基本的な要素について考察する。とくに人々が営む生活行動をとりあげ、その意味や行動の成り立ちについてグループワークとプレゼンテーションによって探求する。そこから看護の対象である人間を生活者としてとらえ、人にとっての日常生活行動の意味を理解し、看護の視点について学ぶ。（この授業は基礎看護学実習Ⅰの基盤となる科目のひとつである）

5　授業内容

詳細は以下のとおり
7月7日4時間目から5時間目は技術試験の自己練習として実習室を開放する。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
令和2年 5月11日(月)	4	中西・山下・岡	看護技術とは 人間関係を発展させる技術（コミュニケーション）	・看護技術とは ・コミュニケーションの概念と基本原理 ①（予習）自分のコミュニケーションの傾向を振り返る	看2
5月11日(月)	5	〃	人間関係を発展させる技術（コミュニケーション）	・効果的なコミュニケーションと演習	看実
5月19日(火)	3	〃	人々の生活を支える生活行動	・生活の構造 ・生活全体の理解 ・生活の過ごし方から対象の理解 ・6つの生活行動の理解	看2
5月19日(火)	4	〃	グループワーク	無意識で行っていた健康な6つの生活行動（食べる、眠る、身だしなみを整える、からだを清潔にする、排泄する、移動する）を意識化、概念化する。	看2
5月26日(火)	3	〃	グループワーク	グループで無意識で行っていた健康な6つの生活行動（食べる、眠る、身だしなみを整える、からだを清潔にする、排泄する、移動する）のうちひとつを取り上げ、意識化、概念化する作業をする。	看2
5月26日(火)	4	〃	グループワークの報告会	各グループが取り組んだ生活行動の意識下、概念化について報告し、全体で共有する。 ②（復習）グループワーク評価	看2
6月2日(火)	3	〃	グループワークの報告会 「生活」「生活行動」まとめ	各グループが取り組んだ生活行動の意識下、概念化について報告し、全体で共有する。 ②（復習）グループワーク評価	看2

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
６月２日(火)	4	中西・山下・岡	健康な生活と環境	・看護における生活の捉え方の整理 ・環境の意義 ・環境のアセスメント（(光・温度・換気・採光・騒音・プライバシー：照度・騒音・臭度を測定する） ・人の生活と環境 ③（予習）自分のいる環境を振り返る	看２
６月９日(火)	3	〃	看護における感染管理（ユニフォーム着用）	・衛生学的手洗い法の習得 ・防護具の取り扱い	看実
６月９日(火)	4	〃	看護における感染管理（ユニフォーム着用）	・衛生学的手洗い法の習得 ・防護具の取り扱い ④復習）自分の手洗い方法の評価	看実
６月16日(火)	3	〃	環境を整える基本的な技術の理解（ユニフォーム着用）	.ポジショニング（体圧計） ⑤復習）ポジショニングの評価	看実
６月16日(火)	4	〃	環境を整える基本的な技術の理解（ユニフォーム着用）	・ベットメーキング	看実
６月30日(火)	3	〃	環境を整える基本的な技術の理解（ユニフォーム着用）	・シーツ交換	看実
６月30日(火)	4	〃	環境を整える基本的な技術の理解（ユニフォーム着用）	援助の視点（安全性・安楽性・自立/自律性）をもとに整理する。	看実
７月７日(火)	3	〃	まとめ		看２
７月21日(火)	3・4・5	〃	ベッドメーキング技術試験		看２・看実
７月28日(火)	3	〃	再試験	看実	

6　授業形式・視聴覚機器の活用

上記授業の順序などは、授業の進行状況によっては一部変更する場合がある。授業は、講義・グループワーク・演習を取り入れてすすめていく。とくにグループワークでは資料として動画、画像をiPadとアプリ（ロイロノート）を用いて作成し、プレゼンテーションを行う。評価には教員評価とピア評価も受ける。

7　評　価　方　法

記述試験30％（目標１－５）、ベッドメーキング技術試験30％（目標６）、グループの成果物20％（目標3457)、課題15％（①～⑤目標１－８)、ピア評価５％（目標７)、無断欠席－５点（目標８）　不適切な行為（不要な携帯電話・スマートホンの使用など）または他者への迷惑行為－５点（目標８）提出期限を過ぎた課題レポートは－２点、未提出は－５点とする。

・単位修得の条件として記述試験、技術試験おのおので60％以上の得点を得ること（60％にみたない場合は再試験を受験する。なお再試験は１回限りとする)。
・全体評価で60％未満の場合は単位修得ができない場合がある。
・なお全講義数の３分の２以上の出席をもって筆記試験・技術試験の受験資格要件とする。無断早退は出席に含めない。３回の遅刻で１回の欠席とみなす。20分以上の遅刻は欠席扱いとする。

8　教科書・参考文献

教科書：ナーシング・グラフィカ：基礎看護学③基礎看護技術　メディカ出版
参考文献：深井喜代子他編：基礎看護学テキスト-EBN志向の看護実践，南江堂

9　オフィスアワー（授業相談）

時間確保のため事前に連絡をいただけることが望ましい。

10　学生へのメッセージ

日々なにげなくおこなってきた生活の営みをあらためて知ることから自分のめざす看護を探究してみましょう。

基礎看護技術演習Ⅱ

1 担当教員名

准教授　中西京子（基礎看護学講座）
助教　山下　敬（基礎看護学講座）
助手　岡　美登里（基礎看護学講座）

2 配当学年等

第１学年　後期　１単位

3 学習目標

1．対象者の日常生活を援助する看護技術の根拠・原理を理解する。
2．日常生活を援助するための安全性・安楽性・自立／自律性を守った基本技術を修得する。
3．看護技術の実践を通して人間の尊厳を護ることが理解できる。
4．看護職者としてふさわしい態度を身につける。

4 授業概要

・看護基本技術のうち、人間の生理的・行動的な基本的ニードである日常生活（活動と休息・衣生活・食生活・清潔）を援助する技術を中心に習得する。授業は個人及びグループでの主体的学習による技術の修得を目指す。具体的にはTBL（Team Based Learning）の形式を一部取り入れる。演習では、患者・看護師のロールプレイングを通して、援助的対人関係のあり方を理解し、人間の尊厳を守った安全性・安楽性・自立／自律性を考慮した援助方法を習得する。
・時間内に演習ができなかったグループメンバーについては、5時間目に自由参加で教員がファシリテーターとなって演習を行う。

5 授業内容

詳細は以下のとおり
11月３日５時間目、11月24日５時間目、12月21日５時間目、12月22日５時間目、１月４日５時間目は、授業時間内に演習体験ができなかった学生に対して教員がついて自己学習ができる時間として提供する。
１月４日に技術試験の種目・ペアのくじを行い、結果は１月６日に発表する。
また、１月５日３時間目４時間目、１月19日３時間目４時間目は、技術試験の自己練習時間として実習室を開放する。
１月18日は技術試験再試験者、また他に必要とみなされた学生の補講日とする。

年月日（曜）	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
11月4日（水）	3	中西・岡・山下	オリエンテーション 移動・活動に関わる技術	・ポジショニングの復習 ・移動と移送（車いす乗車、スライディングシート） （予習）教科書の該当箇所	看実
11月4日（水）	4	〃	移動・活動に関わる技術	・移動と移送（車いす乗車・移送、ストレッチャーへの移動・移送） （復習）移動と移送について看護師役・患者役それぞれの立場から安全・安楽・自立の考察を行う。	看実
11月10日（火）	3	〃	臥床患者の寝衣交換（和式寝衣）	健康と環境・清潔に関わる技術 ・寝衣交換 （予習）教科書の該当箇所	看実
11月10日（火）	4・5	〃	臥床患者の寝衣交換（和式寝衣）とシーツ交換	健康と環境・清潔に関わる技術 ・寝衣交換＋シーツ交換 （復習）寝衣交換について看護師役・患者役それぞれの立場から安全・安楽・自立の考察を行う。	看実
11月17日（火）	3	〃	清潔に関わる技術①	・清拭 （予習）教科書の該当箇所	看実
11月17日（火）	4	〃	清潔に関わる技術①	・清拭 （復習）清拭について看護師役・患者役それぞれの立場から安全・安楽・自立の考察を行う。	看実
11月24日（火）	3	〃	清潔に関わる技術②	・洗髪 （予習）教科書の該当箇所	看実
11月24日（火）	4	〃	清潔に関わる技術②	・洗髪 （復習）洗髪について看護師役・患者役それぞれの立場から安全・安楽・自立の考察を行う。	看実

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
12月21日(月)	3	中西・岡・山下	清潔とリラクゼーションに関わる技術	・足浴 （予習）教科書の該当箇所	看実
12月21日(月)	4	〃	清潔とリラクゼーションに関わる技術	・足浴 （復習）足浴について看護師役・患者役それぞれの立場から安全・安楽・自立の考察を行う。	看実
12月22日(火)	3	〃	栄養摂取のケア技術	・食事介助 （予習）教科書の該当箇所	看実
12月22日(火)	4	〃	栄養摂取のケア技術	・食事介助 （復習）食事の援助について看護師役・患者役それぞれの立場から安全・安楽・自立の考察を行う。	看実
令和３年					
１月４日(月)	3	中西・山下・岡	口腔衛生の技術	・口腔ケア （予習）教科書の該当箇所	看実
１月４日(月)	4	〃	口腔衛生の技術	・口腔ケア （復習）口腔ケアについて看護師役・患者役それぞれの立場から安全・安楽・自立の考察を行う。	看実
１月12日(火)	3・4・5	中西・岡・山下	技術試験		看２・看実
１月25日(月)	3・4・5	〃	技術試験【再試験】		看２・看実
１月18日(月)	3・4		補講日		看実
１月26日(火)	3・4		補講日		看実

6　授業形式・視聴覚機器の活用

授業は個人及び３人から４人のグループでの主体的学習による技術の修得を目指す。具体的にはTBL（Team Based Learning）の形式を一部取り入れる。事前に伝えた学習範囲を個別学習をして授業にのぞむ。予習成果を確かめるために、授業のはじめに学生が予習してきたことの確認テストを行い、これを採点し個人評価として記録する。ここで学習が不完全なところや、強調点を示す。演習では、患者・看護師のロールプレイングを通して行う。講義の最後に学習が不完全なところをグループで議論し、グループ単位で解答・説明をして解決し、チーム間でテストを行う。まとめとして教員が学生の解答に対するフォローを行う。

7　評　価　方　法

・記述試験40%（目標１・２）、技術試験40%　課題（事前・事後のレポート）20%（目標２・３・４）。
・不適切な行為（身だしなみ・不要な携帯電話の使用など）または他者への迷惑行為－５点（目標４）　提出期限を過ぎた課題レポートは－２点、未提出は－５点とする。
・記述試験、技術試験それぞれに60%以上の評価を得ることを修得要件とする。60%未満の場合はそれぞれにおいて再試験を受験する。なお、技術試験60点～70点未満は原則補習を行う。
・なお全講義数の３分の２以上の出席をもって筆記試験・技術試験の受験資格要件とする。無断早退は出席に含めない（－５点）。３回の遅刻で１回の欠席とみなす。授業開始後20分をこえた出席で理由なきものは無断欠席扱いとする（目標４）。

8　教科書・参考文献

教科書：
　ナーシング・グラフィカ：基礎看護学③基礎看護技術，メディカ出版，2017.
参考文献：
　深井喜代子他編：基礎看護学テキスト-EBN志向の看護実践，南江堂，2015.
　適宜紹介、または配付する

基礎看護技術演習Ⅲ

1 担当教員名

准教授　中西京子（基礎看護学講座）
助教　山下　敬（基礎看護学講座）
助手　岡　美登里（基礎看護学講座）

非常勤講師
二宮早苗（大阪歯科大学　講師）

2 配当学年等

第2学年　前期　1単位

3 学習目標

1．基礎看護技術演習Ⅰ・Ⅱで学修した内容を踏まえ、診療の補助業務を行う上で必要な基本的知識を身につけることができる。（知識・理解）
2．対象の安全・安楽・自立（自律）を考慮した看護技術が実施できる。（技能）
3．対象の状態をアセスメントし、適切な援助について考えられる。（思考・判断・表現）
4．看護を学ぶ者としてルール・規範を守り、主体的に学習することができる。（関心・意欲・態度）

4 授業概要

・診療および治療に伴う看護技術として、対象への援助方法の目的・方法・留意事項を根拠とともに理解する。身体侵襲を伴う援助技術や医学的検査及び治療時の苦痛や不安をできるだけ軽減し、目的が達成され、治療の効果が最大限に発揮達成されるように支援する技術を習得する。
・時間内に演習ができなかったグループメンバーについては、5時間目に自由参加で教員がファシリテーターとなって演習を行う。

5 授業内容

詳細は以下のとおり
ただし、4月8日5時間目、4月15日5時間目、4月22日5時間目、5月7日5時間目、5月13日5時間目、5月20日5時間目、5月27日5時間目は、授業時間内に演習体験ができなかった学生に対し、教員が指導について自己学習ができる時間として提供する。また、6月3日の4・5時間目は実習室を開放し、自己練習ができる時間とする。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
令和2年					
4月8日(水)	3・4	山下・中西・岡・二宮	ガイダンス 排泄を促す技術	・排尿・排便の意義 ・床上排泄の援助、陰部洗浄 予習）陰部洗浄について	看実
4月15日(水)	3・4	山下・中西・岡	排泄を促す技術	・排便障害について ・浣腸法に必要な基礎知識、浣腸法の実際 予習）浣腸法について	看実
4月22日(水)	3・4	山下・中西・岡・二宮	感染予防の技術 排泄を促す技術	・無菌操作に必要な基礎知識、無菌操作の実際 ・排尿障害について ・導尿法に必要な基礎知識 予習）導尿法について	看実
5月7日(木)	3	山下・中西・岡	薬物療法の管理	・与薬の基本 予習）教科書の該当箇所	看4・看実
5月7日(木)	4	〃	呼吸を安楽にする技術	・吸入療法 ・吸引（口腔内・鼻腔内） 予習）吸入・吸引について	看実
5月13日(水)	3・4	〃	検査時の看護	・採血に必要な基礎知識 ・採血の実際 予習）採血について	看実
5月20日(水)	3	〃	診療の補助技術	点滴静脈内注射の基礎知識 予習）清潔操作の復習	看実
5月20日(水)	4	〃	診療の補助技術	点滴静脈内注射の実際	看実
5月27日(水)	3・4	〃	注射法	・筋肉注射 ・皮下注射 予習）清潔操作の復習	看実
6月3日(水)	3	〃	教育指導技術 まとめ	・指導の進め方 ・指導の実際 予習）教科書の該当箇所を読んでくる	看4

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
６月10日(水)	3・4・5	山下・中西・岡	技術試験	技術試験	看実
６月17日(水)	3・4	〃	技術試験　補講		看実
６月24日(水)	3・4	〃	技術試験　再試験		看実

6　授業形式・視聴覚機器の活用

授業は講義・演習より構成され、適宜グループワークなども行う。
授業に際しては関連項目に関する予習を課し、講義の中ではシミュレーター教材やWeb素材なども使用する。
実技試験に向けての練習で、動画などの参考資料は別途提示する。

7　評　価　方　法

・筆記試験：40％（到達目標１・２)、実技試験：40％（到達目標３)、事前事後のレポート提出：10％（到達目標１・２・４)、授業への参加状況：10％（到達目標１・２・４)。期限を過ぎたレポートについては－２点、未提出の場合－５点とする。
・無断欠席：－５点（到達目標４)、不適切な態度・行動（不要な携帯電話・スマートフォン等の使用など）および他者への迷惑行為：－５点（到達目標４)、早退は出席に含めない。
・記述試験、実技試験それぞれに60％未満の評価となった場合、それぞれにおいて再試験を受験する。なお、技術試験60点～70点未満の場合は補講を行う。合計で60％以上の評価を得ることで単位修得要件とする。

8　教科書・参考文献

教科書：
ナーシンググラフィカ　基礎看護学③基礎看護技術：メディカ出版
参考文献：
医療情報科学研究所,看護技術がみえる　vol.２　臨床看護技術，メディックメディア，2018
村中洋子ら：学ぶ・試す・調べる看護ケアの根拠と技術（第３版)，医歯薬出版株式会社，2013

9　オフィスアワー（授業相談）

まずメールで連絡をください。

10　学生へのメッセージ

演習は体験することが重要です。体調を整えて欠席しないようにしてください。

成人保健看護学概論

1　担当教員名

教授・看護師　宮松直美（臨床看護学講座）
助教　東　さおり（臨床看護学講座）
助教　炭本佑佳（臨床看護学講座）
助教　市川瑞希（臨床看護学講座）

非常勤講師
田中英夫（大阪府藤井寺保健所　所長）
志摩　梓（株式会社平和堂
教育人事部健康サポートセンター）
岡村智教（慶應義塾大学
医学部衛生学公衆衛生学教室　教授）

2　配当学年等

第２学年　前期　２単位

3　学習目標

成人期の保健学的課題とそれに対する国の保健医療政策や個人の対処のあり方を、国内外の知見を踏まえて理解する。

4　授業概要

成人保健看護学で重要な成人期の発達課題や役割、疾病動向や人口静態・動態統計について学び、さらに健康段階に応じた看護実践能力の基礎を養う。

5　授業内容

成人期および成人保健看護の特徴、成人期の健康障害の要因と健康管理、成人への指導・相談・援助のあり方、職域での健康管理などについて、講義、討論、演習を通じて学ぶ。

年月日（曜）	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月10日（金）	4	宮　松	成人期にある人の理解①	成人期の特徴	看４
４月17日（金）	4	〃	成人期にある人の理解②	成人期の生活と健康観	看４
４月24日（金）	4	〃	成人期の健康障害①	人口統計	看４
５月１日（金）	4	〃	成人期の健康障害②	生活習慣に関連する健康障害：脳卒中・心疾患	看４
５月７日（木）	5	〃	成人期の健康障害③	生活習慣に関連する健康障害：高血圧	看４
５月８日（金）	4	〃	成人期の健康障害④	生活習慣に関連する健康障害：糖尿病	看４
５月29日（金）	4	田　中	成人期の健康障害⑤	生活習慣に関連する健康障害：悪性新生物（がん）	看４
６月５日（金）	4	岡　村	成人期の健康障害⑥	成人期の保健政策の動向と課題	看４
６月12日（金）	4	志　摩	成人期の健康障害⑦	職業・ストレスに関連する健康障害	看４
６月25日（木）	5	宮　松	成人期にある人への看護①	成人看護学の理論・モデル	看４
６月26日（金）	4	〃	成人期にある人への看護②	成人期の特徴と看護過程	看４
７月３日（金）	4	〃	成人期にある人への看護③	成人期にある人の自己管理行動支援	看４
７月10日（金）	4	市　川	成人期にある人への看護④	自己管理行動：減塩	看４
７月17日（金）	4	東	成人期にある人への看護⑤	自己管理行動：禁煙	看４
７月31日（金）	4	宮松・炭本・東・市川	成人看護学概論総括	成人看護学概論まとめ	看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義
パワーポイントやビデオ等の視聴覚教材を用いることもある

7　評価方法

筆記試験（70％）およびレポート（20％）、演習（10％）の評価によって行う。
ただし、筆記試験60％以上の得点を修了の認定要件とする。

8　教科書・参考文献

参考文献：
１）標準保健師講座　疫学・保険統計学　医学書院
２）国民衛生の動向2019／2020　厚生統計協会

3）成人看護学概論　大西和子・岡部聰子編集　ヌーヴェルヒロカワ
4）成人看護学原論　氏家幸子監修　廣川書店
5）明解看護学双書５　成人看護学　山崎智子監修　岡部聰子他編　金芳堂
6）成人看護学　小島操子他著　医学書院
7）ナーシング・グラフィカ22　成人看護学概論　メディカ出版

9　オフィスアワー（授業相談）

office hour：毎日12時～ 13時　509号室、516号室（看護学科棟５階）（教室全体で対応）

10　学生へのメッセージ

レポートは指定された提出期限内に、看護学科事務室前の所定のBOXもしくはe-mail〈hqahn@belle.shiga-med.ac.jp〉へ提出してください（提出方法は指示に従うこと）。

11　参考URL

http://www.shiga-med.ac.jp/~hqahn/

12　授業用E-mail

hqahn@belle.shiga-med.ac.jp

成人保健看護学各論

1　担当教員名

教授・看護師　宮松直美（臨床看護学講座）
助教　東　さおり（臨床看護学講座）
助教　炭本佑佳（臨床看護学講座）
助教　市川瑞希（臨床看護学講座）

非常勤講師
伊波早苗（草津総合病院　看護部看護部長）
横田恵子（神戸女学院大学　文学部　教授）

2　配当学年等

第２学年　後期　２単位

3　学習目標

１．ライフステージにおける発達課題を踏まえ、成人期の健康の概念について理解する。
２．成人保健看護学の様々な領域について、その対象者の特徴を理解し、援助に必要な基本的な知識と技術を習得する。

4　授業概要

成人保健看護学の各領域の特徴や対象、慢性期・急性期看護学総論について学び、さらに健康段階に応じた看護実践能力の基礎を養う。

5　授業内容

成人期および成人保健看護の特徴、慢性期・急性期看護学総論、災害・救急場面での看護、周手術期看護の基本、終末期看護およびがん看護の基本等について、講義、討論、演習、レポート作成を通じて学ぶ。

年月日（曜）	時限	担当教員	項目	内容	教室
令和２年					
10月８日（木）	2	宮松	成人看護学各論	成人看護学の様々な領域と対象	看４
10月15日（木）	1	伊波	慢性期看護学	慢性期看護の対象となる人の特徴と看護活動	看４
10月15日（木）	2	〃	慢性期看護学	病みの軌跡	看４
10月22日（木）	1	宮松・木村（看護部）	がん看護学	がん患者の特徴と主な治療法、看護の役割	看４
10月22日（木）	2	横田	がん看護学	がん包括医療・チーム医療	看４
10月29日（木）	2	宮松	がん看護学	がん患者としての体験	看４
11月５日（木）	2	〃	急性期看護学	急性期看護の対象となる人の特徴と看護活動	看４
11月12日（木）	2	〃	急性期看護学	周手術期看護（術前看護）	看４
11月19日（木）	1	宮松・河田（看護部）	急性期看護学	周手術期看護（術中看護）	看４
11月19日（木）	2	宮松	急性期看護学	周手術期看護（術後看護）	看４
11月26日（木）	1	藤居	救急看護	救命救急における看護判断の重要性と看護活動	看４
11月26日（木）	2	宮松	災害看護	災害発生時の環境的特徴と看護活動	看４
12月17日（木）	1	宮松・炭本・東・市川	周手術期看護：演習	術前の準備と患者オリエンテーション	看実
12月17日（木）	2	〃	周手術期看護：演習	術後の患者の受け入れ準備と観察	看実
令和３年					
１月21日（木）	2	〃	成人看護学各論総括	成人看護学各論まとめ	看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義および演習
パワーポイントやビデオ等の視聴覚教材を用いることもある

7　評価方法

筆記試験（70％）およびレポート（20％）、演習（10％）の評価によって行う。
ただし、筆記試験60％以上の得点を修了の認定要件とする。

8　教科書・参考文献

参考文献：

1）慢性期看護論　鈴木志津江・藤田佐和編集　ヌーヴェルヒロカワ
2）急性期看護論　鈴木志津江・藤田佐和編集　ヌーヴェルヒロカワ
3）成人看護学原論　氏家幸子監修　廣川書店
4）明解看護学双書５　成人看護学　山崎智子監修　岡部聰子他編　金芳堂
5）成人看護学　小島操子他著　医学書院
6）周手術期看護　中村美知子監修　インターメディカ

9　オフィスアワー（授業相談）

office hour：毎日12時～ 13時　509号室、516号室（看護学科棟５階）（教室全体で対応）

10　学生へのメッセージ

・演習の日は白衣で３階演習室へ集合して下さい。開始時間以降の入室は認めないことがあります。
　演習の持参物については、別途連絡しますので指示に従ってください。
・レポートは指定された提出期限内に、看護学科事務室前の所定のBOXもしくはe-mail〈hqahn@belle.shiga-med.ac.jp〉へ提出してください（提出方法は指示に従うこと）。

11　参考URL

http://www.shiga-med.ac.jp/~hqahn/

12　授業用E-mail

hqahn@belle.shiga-med.ac.jp

老年保健看護学概論

1　担当教員名

准教授　荻田　美穂子（臨床看護学講座）
助教　片寄　亮（臨床看護学講座）

2　配当学年等

第２学年　前期後半　１単位

3　学習目標

人間の生涯における老年期についての理解を深める。学習目標は以下の４点である。
1．長い人生を歩んできた人としての高齢者の理解ができる。
2．高齢者の発達課題および成熟と衰退が理解できる。
3．加齢に伴う心身の変化とそれが日常生活に及ぼす影響が理解できる。
4．高齢者看護学の基盤となる理論が理解できる。

4　授業概要

講義や疑似体験、グループデスカッションを通して、高齢者の身体面、心理・精神面、社会及び霊的側面を考える。

5　授業内容

講義・討議・演習・レポート課題を通じて学びを深める。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
令和２年					
６月10日(水)	1	荻　田	高齢者のライフステージ	高齢者の生きてきた時代	看４
６月17日(水)	1	〃	高齢者を取り巻く環境	高齢社会の統計的輪郭	看４
６月24日(水)	1	片寄・荻田	高齢者体験演習	高齢者疑似体験用の装具を装着し日常生活を体験	看実
７月１日(水)	1	〃	同上	同上	看実
７月８日(水)	1	秋口・荻田	加齢と老化 加齢に伴う身体的変化 高齢者に多い疾患	エイジングと老化・生理的老化と病的老化 人間の身体のしくみと加齢による変化 老年症候群（歩行障害・転倒・認知障害など）	看４
７月15日(水)	1	荻　田	老年期の理解 老年看護学とは	老年期の定義・老年期の発達課題 老年看護の成り立ちと役割 老年看護を支える看護理論	看４
７月22日(水)	1	〃	高齢者に対するアセスメント	身体の加齢変化とアセスメント 高齢者の日常生活動作と環境のアセスメント	看４
７月29日(水)	1	〃	全体の振り返り	まとめと確認問題	看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

上記授業の順序などは、都合により、一部変更する場合がある。
授業は基本的にパワーポイントを利用した講義形式で行う。
事例等を使用して高齢者のイメージをつける。また、グループワークや体験学習を通して理解を深める。

7　評価方法

総授業時間の３分の１を超えて欠席した場合は、本試験を受験することはできない。
本試験70％、授業の取り組み状況（レポート・グループワーク・発表など）30％で評価を行う。
ただし、本試験は100点満点中60点以上あることが単位認定の必須要件とする。

8　教科書・参考文献

教科書：授業でその日の資料を配布する。
参考文献：老年看護学概論・老年保健、メヂカルフレンド社
厚生の指標「国民衛生の動向」、厚生統計協会
健康長寿診療ハンドブック、老年医学会編集／発刊

9　学生へのメッセージ

我が国は世界でも類を見ない速さで超高齢社会に突入しています。新聞やニュースでは高齢者に関する話題が頻繁に報道され、公共の中で高齢者に出会わない日はないと思います。日頃から高齢者の生活に関心を向け、我が国の高齢者が抱える問題について考えてみましょう。

老年保健看護学各論

1　担　当　教　員　名

准　教　授　　荻　田　美穂子（臨床看護学講座）
助　　教　　片　寄　　亮（臨床看護学講座）

2　配　当　学　年　等

第２学年　後期前半　１単位

3　学　習　目　標

人間の生涯における老年期の人々を取り巻く環境や健康問題についての理解を深める。学習目標は以下の5点である。
1．我が国及び諸外国の保健・医療・福祉政策や制度の変遷や課題を理解し、将来が展望できる。
2．高齢者に対する倫理的問題を概観し、問題点や課題について自身の考えを述べることができる。
3．高齢者の健康とヘルスプロモーションを理解することができる。
4．加齢およびフレイル予防の考え方について理解できる。
5．高齢者における終末期の考え方や特徴を理解することができる。

4　授　業　概　要

1．身近な高齢者との交流を通して、高齢者を取り巻く環境や考え方、健康状態などについて学習する。
2．講義や疑似体験、グループデスカッションを通して、高齢者の諸問題について考える。
3．最近の研究動向を交え、加齢およびフレイル予防の考え方を学ぶ。

5　授　業　内　容

講義・討議・演習・レポート課題を通じて学ぶ。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
10月８日(木)	1	荻　田	高齢者の健康問題	高齢者の健康とヘルスプロモーション 経過別にみた老年看護	看４
10月29日(木)	1	〃	老年期の人々を取り巻く社会制度	高齢社会における保健医療福祉の動向	看４
11月５日(木)	1	〃	同上	高齢社会における権利擁護	看４
11月12日(木)	1	徳川・荻田	老いと死 尊厳ある見取り	エンド・オブ・ライフ エンド・オブ・デス	看４
12月４日(金)	4	荒井・荻田	高齢者のフレイル	フレイルの定義と予防介入	看４
12月４日(金)	5	〃	同上	フレイルに関する研究動向	看４
令和３年					
１月７日(木)	1	荻田・片寄	高齢者観の共有	高齢者へのインタビュー内容をグループで共有 (グループワーク)	看４
１月21日(木)	1	〃	同上	高齢者へのインタビュー内容をグループで共有 (発表会)	看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

上記授業の順序などは、都合により、一部変更する場合がある。
授業は基本的にパワーポイントを利用した講義形式で行う。
事例等を使用して高齢者のイメージをつける。また、グループワークや体験学習および高齢者とのコミュニケーションを通して理解を深める。

7　評　価　方　法

総授業時間の３分の１を超えて欠席した場合は、本試験を受験することはできない。
本試験70％、授業の取り組み状況（レポート・グループワーク・発表など）30％で評価を行う。
ただし、本試験は100点満点中60点以上あることが単位認定の必須要件とする。

8　教科書・参考文献

教科書：授業でその日の資料を配布する。
参考文献：老年看護学概論・老年保健、亀井智子編集、メヂカルフレンド社
　　健康長寿診療ハンドブック、老年医学会編集／発行

小児保健看護学概論

1　担　当　教　員　名

教授・看護師　　桑　田　弘　美（臨床看護学講座）
講師(学内)　　白　坂　真　紀（臨床看護学講座）

2　配　当　学　年　等

第２学年　前期後半　１単位

3　学　習　目　標

子どもの健やかな発育には環境の影響は大きく、その国の政策や文化にも左右される。平和な日本において、子どもが健康に発育する環境としては理想的ではあるが、現代の社会や家族の状況は常に変化し、子どもや家族が様々な悩むや不安を抱えることがあるため、小児看護が果たす役割は大きい。子どもがどのように成熟過程を歩むのか、小児看護の対象である子どもについて理解を深める必要がある。

小児の発達課題や心理社会的発達の特徴を踏まえ、小児期それぞれのライフステージにおける身体的成長及び発達と看護、さらに小児期における親子関係についても習得する。

4　授　業　概　要

子どもは未来を担う存在である。少子高齢社会に伴い、政治、経済、文化、医療など、小児を取り巻く環境は急激に変化しており、子どもを育てる家族の悩みはつきない。小児看護は子どもと家族を中心とする看護である。現代の子どもと家族の特徴を捉えながら、小児看護の理念、役割を理解し、発達段階別の子どもの成長・発達、健康、家族、看護について学ぶ。

5　授　業　内　容

子どもへの関わり方を含め、できるだけ具体的な事例を提示して講義する。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
６月１日(月)	3	桑　田	子どもと家族	子どもにとっての家族 現代の家族の特徴 家族アセスメント 子どものしつけ	看４
６月８日(月)	3	桑田・白坂	子どもと家族	子育ての現状 子育てにまつわる問題	看４
６月15日(月)	3	桑　田	小児看護の特徴と理念	小児看護の目ざすところ 小児と家族の諸統計 小児看護の変遷 小児看護における倫理 小児看護の課題	看４
６月29日(月)	3	〃	小児の成長と発達	成長・発達とは 成長・発達に影響する因子 成長の評価 発達の評価	看４
７月６日(月)	3	桑田・白坂	新生児・乳児	新生児・乳児の形態的・身体生理の特徴 新生児・乳児の養育及び看護	看４
７月13日(月)	3	〃	幼児	形態的特徴 身体生理の特徴 感覚・運動・知的機能 コミュニケーション機能 情緒・社会的機能 幼児の養育及び看護	看４
７月20日(月)	3	〃	学童	形態的特徴 身体生理の特徴 感覚・運動・知的・情緒機能 社会的機能 学童を取り巻く環境 学童の養育及び看護	看４
７月27日(月)	3	〃	思春期・青年期	形態的特徴 身体生理の特徴 知的・情緒・社会的機能 生活の特徴・社会的問題 性に関する健康問題 思春期の看護	看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義・演習
毎回の授業で、ミニテストを行う。
パワーポイント、DVD教材など使用

7　評　価　方　法

最終的に筆記試験を行い、6割以上の得点で合格とする。
出席回数が全講義数の2/3以上の出席（遅刻3回あるいは早退3回は1日の欠席、30分以上の遅刻は欠席とみなすこともある）をもって、筆記試験の受験資格要件とする。
毎回の授業中に行われるミニテストの提出をもって出席とみなす。

8　教科書・参考文献

教科書：
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　小児看護学①　小児看護学概論　小児看護学総論　医学書院
テキストISBN番号　978-4-260-02002-2
参考文献：
小児看護学　オーム社

9　学生へのメッセージ

理解を深めてもらうため、資料も配布しますが、教科書を毎回必ずお持ちください。

小児保健看護学各論

1　担　当　教　員　名

教授･看護師　　桑　田　弘　美（臨床看護学講座）
講師(学内)　　白　坂　真　紀（臨床看護学講座）

2　配　当　学　年　等

第２学年　後期前半　１単位

3　学　習　目　標

子どもの健やかな発育には環境の影響は大きく、その国の政策や文化にも左右される。平和な日本において、子どもが健康に発育する環境としては理想的ではあるが、現代の社会や家族の状況は常に変化し、子どもや家族が様々な悩むや不安を抱えることがあるため、小児看護が果たす役割は大きい。

小児保健看護学概論で習得した小児期それぞれの特徴を踏まえ、子どもの栄養、子どもの遊びや学習の必要性、子どもの環境やその課題について習得する。

4　授　業　概　要

子どもは未来を担う存在である。少子高齢社会に伴い、政治、経済、文化、医療など、小児を取り巻く環境は急激に変化しており、子どもを育てる家族の悩みはつきない。子どもの育ちに必要な環境を整えるために必要な事や子どもをめぐる問題について学ぶ。

5　授　業　内　容

子どもへの関わり方を含め、できるだけ具体的な事例を提示して講義する。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
10月６日(火)	4	桑　田	小児の栄養	子どもにとっての栄養の意義 発達段階別の子どもの栄養と特徴	看４
10月13日(火)	4	桑田・白坂	子どもの遊びの特徴	子どもの遊びにみる成長・発達 大人の役割	看４
10月20日(火)	4	桑　田	子どもと家族を取り巻く社会	児童福祉 母子保健 医療費の支援 学校保健 特別支援教育	看４
10月27日(火)	4	〃	子どもの虐待と看護	子どもの虐待とは 求められるケア	看４
11月10日(火)	4	〃	小児看護に用いられる理論	セルフケア理論 エリクソンの自我発達理論 ピアジェの認知発達理論 親子関係論	看４
11月17日(火)	4	桑田・白坂	子どもの遊び１	生活制限がある子どもの遊び１	看４
11月24日(火)	4	〃	子どもの遊び２	生活制限がある子どもの遊び２	看４
12月１日(火)	4	〃	子どもの遊び３	生活制限がある子どもの遊び３	看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義・演習
毎回の授業で、ミニテストを行う。
パワーポイント、DVD教材など使用

7　評　価　方　法

最終的に筆記試験を行い、６割以上の得点で合格とする。

出席回数が全講義数の2/3以上の出席（遅刻３回あるいは早退３回は１日の欠席、30分以上の遅刻は欠席とみなすこともある）をもって、筆記試験の受験資格要件とする。

毎回の授業で行われるミニテストの提出をもって出席とみなす。

8　教科書・参考文献

教科書：系統看護学講座　専門分野Ⅱ　小児看護学①　小児看護学概論　小児臨床看護総論
　　テキストISBN番号　978-4-260-02002-2
参考文献：小児看護学　オーム社

9　学生へのメッセージ

理解を深めるために資料も配布しますが、教科書を必ず持参してください。

ウィメンズヘルス学

1　担当教員名

教　　授　立岡弓子（臨床看護学講座）

2　配当学年等

第2学年　前期前半　1単位

3　学習目標

女性の生涯における健康についての理解を深める
①女性の健康を生涯発達として理解する概念について理解できる
②女性のヘルスケアの概念とヘルスプロモーションの考え方が理解できる
③女性に関する性差・ライフサイクルの視点からみた健康課題が理解できる
④女性に関連する生命倫理について理解できる
⑤女性の健康に関連する法律について理解できる

4　授業概要

①女性を取り巻く環境と性差に関する影響について、歴史的変遷から学習する
②女性の健康について、身体的・精神的・社会的視点から包括的に学習する
③女性の生涯発達における健康障害について、性差をふまえた視点から学習する
④女性の自己決定とリプロダクティブヘルス／ライツについて、国際的視野をふまえて学習する
⑤ライフサイクル各期にある女性への社会的支援と看護の役割について学習する

5　授業内容

女性の健康の概念をもとに、ライフサイクル各期にある健康問題を性差の視点から理解でき、女性を取り巻く環境や社会的施策について教授する

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和2年					
4月10日(金)	3	立　岡	女性と健康	女性の健康の概念と生涯発達 リプロダクティブヘルス／ライツとヘルスプロモーション プレコンセプションケア	看4
4月17日(金)	3	〃	女性と生命倫理	女性と妊孕 出産を取り巻く医療と倫理	看4
4月24日(金)	3	〃	女性と社会	就労 経済 教育 薬物	看4
5月1日(金)	3	〃	女性と栄養	やせと肥満 ドハード説 葉酸摂取と胎児奇形 栄養素と妊孕への影響	看4
5月8日(金)	3	〃	女性への暴力	身体的・精神的・経済的暴力 性暴力 暴力の女性の自尊心への影響 暴力とメンタルヘルス	看4
5月22日(金)	3	〃	思春期女性と健康	思春期女性の性周期 性に関する健康問題 メンタルヘルス	看4
5月29日(金)	3	〃	性成熟期女性と健康	性成熟期女性の性周期 性に関する健康問題	看4
6月5日(金)	3	〃	更年期・老年期女性と健康	低エストロゲンと健康課題 メンタルヘルス	看4

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式
アクティブラーニングを取り入れたり、画像や動画を活用する

7　評　価　方　法

総授業時間のうち、３分の１を超えて欠席した場合は本試験を受験できない
評価基準：出席20%　筆記試験80%

8　教科書・参考文献

立岡弓子編著；女性の健康と看護，サイオ出版，2017.　テキストISBN番号　978-4-907176-49-5

9　学生へのメッセージ

女性を取り巻く環境や社会問題、健康問題について、潜在的な性差から理解できると、看護の役割がさらに明確化してくる、ウイメンズヘルス学がいよいよ始まります。新カリで新しくなった講義です。
一緒にウイメンズヘルスについて考えていきましょう！

母性看護学概論

1　担当教員名

教　　授　立岡弓子（臨床看護学講座）

2　配当学年等

第２学年　前期後半　１単位

3　学習目標

①母性、父性、親性を認識し、自己の概念を発達させる
②母性看護学の概念と機能について理解する
③母性を取り巻く社会の現状と家庭を理解し、母性看護学の意義について理解する
④母性看護の場とその特徴について理解する
⑤母性看護学に活用する理論と概念、倫理
⑥母子関係における家族の機能と変化　家族発達
⑦母子保健に関わる法律と統計
⑧母子保健施策とその課題

4　授業概要

母性看護の対象の特性を理解し、身体的、精神的、社会的、経済的に統合された存在として理解でき、その対象が健康な生活を送るために必要な看護職としての役割について、学問的、実践的、倫理的に理解できることを目的とする。

また、併せて女性とその家族の性と生殖の機能を理解し、健康な生殖機能を維持できる看護実践について教授する。

5　授業内容

母性の概念と母性看護の対象の概念の理解を統合し、子産み子育て世代を中心とした家族への看護に必要な理論や法律、施策について、広く教授した内容とする

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
６月12日(金)	3	立　岡	母性とは 母性とその役割機能	母性の定義、父性、親性の自己概念 母性概念の変遷 親役割の獲得（母親役割、父親役割）	看４
６月19日(金)	3	〃	母性看護学の概念	母性看護の対象 母性看護学の目的と視点 母性看護の歴史	看４
６月26日(金)	3	〃	母性看護の活躍の場と特徴	母性看護、周産期の医療体制	看４
７月１日(水)	3	〃	母性看護における主要な理論と概念	母性論 ウエルネス理論 オレム理論 親子の結びつき理論 親子相互作用モデル	看４
７月３日(金)	3	〃	母子と家族の発達	家族の機能 母子関係と家族の変化	看４
７月10日(金)	3	〃	母性と社会	少子化 貧困 各家族化 マタニティハラスメント	看４
７月17日(金)	3	〃	母子保健統計と法律	母子保健統計の指標 母子保健に関わる法律	看４
７月31日(金)	3	〃	母子保健施策とその課題	健やか親子21 地域母子保健 （健康診査　訪問指導　療養援護　医療対策）	看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式
画像、動画を使用して、よりリアルな講義内容とする

7　評　価　方　法

総授業時間のうち、３分の１を超えて欠席した場合は本試験を受験できない
評価基準：出席20%　筆記試験80%

8　教科書・参考文献

立岡弓子編著；女性の健康と看護，サイオ出版，2017.　　テキストISBN番号　978-4-907176-49-5

9　学生へのメッセージ

母子保健をめぐる状況は、刻一刻と目まぐるしく変化します。テキストに掲載されていない最新の情報について、リアルタイムに講義資料にて提示していきます。
きっと、講義資料が国家試験に役立つものとなります！

母性看護学演習

1 担当教員名

教　　授　立岡弓子（臨床看護学講座）
教　　授　喜多伸幸（臨床看護学講座）
講　　師　土川　　祥（臨床看護学講座）
助　　教　中井抄子（臨床看護学講座）
助　　教　花原恭子（臨床看護学講座）
助　　教　吉川芙雪（臨床看護学講座）

2 配当学年等

第2学年　後期　2単位

3 学習目標

女性のライフサイクルにおける成熟期のリプロダクションの意義を理解する。
妊娠・分娩・産褥期の女性と新生児、それを取り巻く家族や環境の特徴を学び、この時期の健康問題を評価するとともに具体的援助技術を習得する。

4 授業概要

妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期における生理的経過、心理社会的変化、および看護について教授する。
事例検討、ロールプレイ、技術演習を通して周産期に必要な援助技術を教授する。

5 授業内容

妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期にある対象の特徴と看護についての講義を行う。また講義を踏まえて、妊娠期・産褥期・新生児期の事例演習、妊産褥婦・新生児に対する看護技術演習、分娩期の看護のロールプレイを行う。
アクティブラーニングを取り入れた能動的学修を行う。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和2年					
10月7日(水)	2	立岡・喜多・土川	妊娠期の看護	妊娠経過と必要な検査 胎児発育 妊娠に伴う生理的変化	看4
10月7日(水)	3	立岡・吉川	妊娠期の看護	妊娠に伴う生理的変化のアセスメント マイナートラブルへの看護	看4
10月7日(水)	4	立岡・土川	ハイリスク妊娠の看護	妊娠高血圧症候群への看護ケア 前期破水への看護ケア 妊娠糖尿病への看護ケア	看4
10月14日(水)	2	立岡・花原	ハイリスク妊婦の看護	妊娠期事例とアセスメント	看4
10月14日(水)	3	立岡・土川	分娩期の看護	分娩の生理 分娩の三要素	看4
10月14日(水)	4	〃	分娩期の看護	分娩経過とアセスメント	看4
10月21日(水)	2	立　岡	母性看護学の看護過程 妊娠期～分娩期にある対象の理解	オレム理論とウエルネス理論 妊婦、産婦の心理・社会的特性と看護の役割	看4
10月21日(水)	3	立岡・土川・中井・花原・吉川・喜多・附属病院助産師	技術演習 妊娠期～分娩期のケア	レオポルド触診法 CTGの装着と判読 産痛緩和と呼吸	看4
10月21日(水)	4	〃	技術演習 妊娠期～分娩期のケア	レオポルド触診法 CTGの装着と判読 産痛緩和と呼吸	看4
10月28日(水)	2	立岡・中井	新生児の看護	新生児の生理とケア	看4
10月28日(水)	3	〃	新生児の看護	新生児の異常とケア	看4
10月28日(水)	4	立　岡	産褥期の看護	産褥期の身体的・心理的変化とケア 母子関係 父子関係 家族の機能	看4

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
11月４日(水)	2	立　岡	産褥期の看護	乳房の変化とケア	看4
11月４日(水)	3	立岡・中井	産褥期の看護	産褥期事例のアセスメント	看4
11月４日(水)	4	立岡・花原	帝王切開と看護	帝王切開術の適応と産婦の理解 術前、術中、術後の管理 母子関係への理解	看4
11月11日(水)	2・3・4	立岡・土川・中井・花原・吉川・喜多	技術演習 産褥期・新生児期	子宮復古の観察 悪露交換 母乳支援 沐浴 新生児の観察	看4
11月18日(水)	2	立岡・土川	産褥期・新生児期の事例発表準備	事例のアセスメントの視点 記録の書き方	看4
11月18日(水)	3・4	立岡・土川・中井・花原・吉川	産褥期・新生児期の事例	グループワーク	看4
12月２日(水)	2	立岡・附属病院助産師・花原	周産期の看護の実際 子育て支援の実際	総合周産期医療センターでの母性看護の役割 地域での子育て支援と看護の役割	看4
12月２日(水)	3・4	立岡・土川・中井・花原・吉川	産褥期・新生児期の事例	発表準備	看実・看4
12月９日(水)	2	立岡・土川	母性看護における保健指導	母性看護と健康教育 保健指導とは 指導案の思考過程と記録	看4
12月９日(水)	3・4	立岡・土川・中井・花原・吉川・喜多・附属病院助産師	分娩期ケアのロールプレイ 保健指導案の作成	正常分娩症例でのケアの実際 沐浴指導案の作成	看4
12月16日(水)	2	立岡・土川	早産・低出生体重児・先天異常児への看護	早産児と低出生体重児の生理的特徴と看護 先天異常児の生理的特徴と看護	看4
12月16日(水)	3・4	立岡・土川・中井・花原・吉川	産褥期・新生児期の事例	事例発表	看4

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式、演習形式、グループワークと発表の形式を取る。
アクティブラーニングを取り入れた能動的学修を行う。
スライド、DVDなど適宜使用する。

7　評　価　方　法

出席状況10%、グループワーク・プレゼンテーション・討論10%、保健指導案10%、定期試験70%により評価する。
全回出席を前提とする。
グループワークのまとめを発表資料として提出してもらう。
学習目標に掲げた項目の全範囲を対象とした筆記試験を行う。
定期試験で60%以上をとる必要がある。

8　教科書・参考文献

小林康江他編：母性看護の実践，メディカ出版，第１版，2019.
立岡弓子編著：『新訂版　周産期ケア・マニュアル』第２版．サイオ出版．2014.

9　学生へのメッセージ

講義、学内演習を通じて母性看護に関する知識・技術の統合に努めて欲しい。
講義には指定のテキスト（今年度よりテキストを変更）を準備して臨むこと。

精神保健看護学概論

1　担　当　教　員　名

教授･看護師　　河　村　奈美子（臨床看護学講座）

2　配　当　学　年　等

第２学年　前期前半　１単位

3　学　習　目　標

精神看護の対象の理解や精神保健医療の変遷、現代社会における心の問題を学び、精神保健の保持増進および予防と回復を援助する精神看護の役割と課題について考えることができる。

4　授　業　概　要

（１）精神看護の枠組みと対象について理解することができる。
（２）精神医療と看護の歴史的変遷を学ぶことにより現在の精神障がい者を取り巻く環境を理解することができる。
（３）ライフサイクル各期における心の問題を理解することができる。
（４）精神看護の役割や課題について考えることができる。

5　授　業　内　容

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月８日(水)	1	河　村	心のしくみと精神保健	オリエンテーション、心の健康と精神看護	看４
４月15日(水)	1	〃	心のしくみと精神保健	心の構造と機能、精神力動的考え方、精神分析、心の発達論	看４
４月22日(水)	1	〃	ストレスと心の健康	ストレス、危機と対処、ソーシャルサポートと家族	看４
５月11日(月)	3	〃	ライフサイクルと精神保健	乳幼児期から老年期の各期における心理的特徴と危機	看４
５月13日(水)	1	〃	ライフサイクルと精神保健	乳幼児期から老年期の各期における心理的特徴と危機	看４
５月18日(月)	4	〃	精神保健医療と福祉の歴史的変遷	精神医療と看護の歴史的変遷、精神保健福祉法、	看４
５月27日(水)	1	〃	現代社会と精神の健康１	現代社会特有の精神保健上の問題（DV・ひきこもりなど）	看４
５月28日(木)	1	〃	現代社会と精神の健康２	グループワーク（関心のあるテーマに関する情報共有）	看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

グループワークを含めた講義形式

7　評　価　方　法

期末試験（80%），レポート等参加度（20%）により総合的に評価します。
出席が2/3に満たない場合は、評価の対象にならない。

8　教科書・参考文献

教科書：
新体系看護学全書　精神看護学①概論／精神保健
新体系看護学全書　精神看護学②精神障害を持つ人の看護
テキストISBN番号　978-4-8392-3363-1，978-4-8392-3364-8
参考文献：
講義の中で随時紹介します。

9　オフィスアワー（授業相談）

随時対応しますが、不在の事もありますので、メールなどで事前に連絡を頂けると確実と思います。namy@belle.shiga-med.ac.jp

10　学生へのメッセージ

グループワークもありますので、積極的に参加してください。

精神保健看護学各論

1　担　当　教　員　名

教授･看護師　　河　村　奈美子（臨床看護学講座）

2　配　当　学　年　等

第２学年　後期後半　１単位

3　学　習　目　標

精神保健の保持増進および疾病予防と回復の援助に必要な基礎的知識と技術を習得する。

4　授　業　概　要

（１）精神看護に関連する理論を理解する。
（２）精神障がいの診断や治療について理解する。
（３）地域の精神保健活動について理解する。

5　授　業　内　容

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
12月７日(月)	3	河　村	精神看護に関連する心理・発達理論	ボウルビー、マーラー、ウィニコット、エリクソン	看４
12月14日(月)	3	〃	予防に関する理論	危機理論、ストレス、コーピング、感情の対処	看４
12月21日(月)	3	〃	精神看護に関連する看護理論	ペプロー、トラベルビー	看４
令和３年					
１月４日(月)	3	〃	精神疾患を持つ対象者の看護①	統合失調症急性期の看護	看４
１月14日(木)	3	〃	精神疾患を持つ対象者の看護②	統合失調症回復期の看護	看４
１月18日(月)	3	〃	精神障がい児（者）の地域医療・福祉と支援	発達障がい児（者）の地域医療・福祉 入院生活環境と患者の権利	看４
１月25日(月)	3	〃	精神疾患に対する治療と看護	急性期から回復期までの治療と看護、リハビリテーション、地域における支援	看４
２月１日(月)	3	〃	地域で生活する患者と家族の支援	地域で生活する患者と家族の支援の実際	看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

グループワークを含めた講義形式

7　評　価　方　法

期末試験（80%），レポート等参加度（20%）により総合的に評価します。
出席が2/3に満たない場合は、評価の対象にならない。

8　教科書・参考文献

教科書：
新体系看護学全書　精神看護学①概論／精神保健
新体系看護学全書　精神看護学②精神障害を持つ人の看護
テキストISBN番号　978-4-8392-3363-1，978-4-8392-3364-8
参考文献：
随時講義の中で紹介します。

9　オフィスアワー（授業相談）

随時対応しますが、不在の事もありますので、事前にメールなどで連絡を頂けると確実かと思います。
namy@belle.shiga-med.ac.jp

10　学生へのメッセージ

グループワークもありますので、積極的に参加してください。

在宅看護学概論

1　担当教員名

教　　授　伊藤　美樹子（公衆衛生看護学講座）
講　　師　輿水　めぐみ（公衆衛生看護学講座）

2　配当学年等

第２学年　後期前半　１単位

3　学習目標

1．在宅看護の歴史的背景を理解する。
2．在宅看護の特性と役割を理解する。
3．療養生活を支援する看護職の連携や協働について理解する。
4．療養生活を支援する保健・医療・福祉のネットワークシステムと諸制度を理解する。

4　授業概要

高齢化の進展や家族機能の変化といった社会背景から、病気や障がいのある人を住み慣れた地域で支え、その人らしく生活できるように支援する看護活動への期待は大きい。本科目では、地域での看護活動の理解を促し、暮らしを支える看護への興味関心の涵養をめざす。特に訪問看護活動の特性と役割、保健・医療・福祉のネットワークシステムと諸制度の理解を基盤にしながら、療養者とその家族を支える看護の基礎的知識を習得する。

5　授業内容

授業は講義形式にて行う。講義のうち１回については、訪問看護の実践家を特別講師に招聘する。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
10月８日(木)	3	伊藤・輿水	在宅看護の概要	在宅看護の背景、目的と特徴	看４
10月15日(木)	3	〃	在宅看護の対象者	療養者の特性 家族の特性	看４
10月22日(木)	3	〃	在宅看護の制度	訪問看護の歴史	看４
10月29日(木)	3	〃	在宅看護の制度	訪問看護制度	看４
11月５日(木)	3	〃	在宅看護の制度	医療保険 介護保険	看４
11月12日(木)	3	〃	在宅看護の制度	在宅ケアシステム 多（他）職種との連携	看４
11月19日(木)	3	〃	在宅看護の制度	入退院時における医療機関との連携 継続看護	看４
11月26日(木)	3	〃	在宅看護の実践	（特別講義）訪問看護ステーションの実際	看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

上記授業の順序などは、一部変更する場合がある。

7　評価方法

詳細は授業中に説明する。

8　教科書・参考文献

適宜提示する。

在宅看護学各論

1　担　当　教　員　名

教　　授　　伊　藤　美樹子（公衆衛生看護学講座）
講　　師　　輿　水　めぐみ（公衆衛生看護学講座）

2　配　当　学　年　等

第２学年　後期後半　１単位

3　学　習　目　標

1．療養生活の時期別の特性とニーズを理解する。
2．療養者とその家族の意思決定と療養生活を支えるシステムについて理解する。
3．在宅療養を支援する保健・医療・福祉の諸制度について理解を深める。
4．在宅療養を支援する看看連携および多職種連携について理解を深める。

4　授　業　概　要

高齢化の進展や家族機能の変化といった社会背景から、病気や障がいのある人を住み慣れた地域で支え、その人らしく生活できるように支援する看護活動への期待は大きい。本科目では、在宅看護学概論で学修した内容をもとにして、模擬事例を展開することを通して、療養者とその家族を支える在宅看護の基礎的知識の理解を深める。

5　授　業　内　容

授業は講義と演習を組み合わせて展開する。演習では、療養生活の支援に必要な基本的技術を取り上げる。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
12月３日(木)	3	伊藤・輿水	ガイダンス	在宅療養が求められる背景 療養生活の時期別の特性を捉えた看護活動	看４
12月10日(木)	3	〃	在宅療養準備期（退院支援）	意思決定支援 健康管理に必要な知識や技術 在宅療養を支える社会資源	看４
12月17日(木)	3	〃	在宅療養準備期（退院調整）	在宅療養を開始するための準備 在宅ケアチーム	看４
12月24日(木)	3	〃	在宅療養移行期	療養環境の変化により生じる新たな問題等へのアプローチ 治療の継続支援	看４
令和３年					
１月７日(木)	3	〃	在宅療養安定期	療養生活の安定を阻害する問題等へのアプローチ 治療の継続支援 介護負担感へのアプローチ	看４
１月21日(木)	3	〃	急性増悪期	医療機関との連携 在宅療養再開に向けた準備と支援	看４
１月28日(木)	3	〃	終末（看取り）期	終末期（看取り）期を支える環境 医療機関との連携 意思決定支援	看４
２月４日(木)	3	〃	終末（看取り）期	グリーフワーク	看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

上記授業の順序などは、一部変更する場合がある。

7　評　価　方　法

詳細な評価方法は、講義の際に説明する。

医療の倫理Ⅰ

1 担当教員名

教授・医師　相見良成（基礎看護学講座）
教　　授　室寺義仁（医療文化学講座　哲学）

非常勤講師
早島　理（医療文化学講座）
浅井　篤（医療文化学講座　哲学）
長倉伯博（医療文化学講座　哲学）

2 配当学年等

第１学年　後期　１単位

3 学習目標

「医療の倫理Ⅰ」の授業では、倫理学についての基礎を学んだ上で、臨床倫理を主に学習する。はじめに受講生は、日々臨床現場で遭遇するであろう事例に含まれる様々な倫理的な問題に気づくための想像力を養う。次いでグループ学習を通して、個々の問題をどのように考え、どのように対応・対処すれば良いのかという手法・心得について学び、看護実践に必要な倫理観を涵養することを目的とする。

4 授業概要

倫理学および臨床倫理について概説を受けた後に、緩和医療の現場での諸事例について講義を受ける。その後にグループに分かれて討論を行う。そして検討結果についての各グループからの発表と全体での討議を行った上で、事例考察のまとめを行う。このような形で授業を進める。10月19日（月）３～４時限、11月９日（月）３～５時限目の講義は医学科４年生との合同講義である。また、11月９日は学外から多職種のボランティアが講義に参加する予定であり、この意味で学外者との合同講義でもある。およそ200人を超える受講生との間での討論の場となる予定である。10月19日の講義では、動画を用いた医療倫理を考える授業を展開する。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
10月12日(月)	3	室寺・相見	倫理の基礎	道徳と倫理の基礎知識を学ぶ	看1
10月13日(火)	1	〃	臨床倫理の基礎	臨床倫理の基礎を学ぶ	看1
10月19日(月)	3・4	浅井・相見・室寺	臨床倫理の現状と課題	生命医療倫理（biomedical ethics）の総論と、映画を通して考える医療倫理	臨3
10月27日(火)	1	相　見	献体のこころ	解剖見学実習での経験をふまえた上で、献体にまつわる倫理について考える	看3
11月９日(月)	3	早島・室寺・相見	臨床倫理	緩和医療の現場から学ぶ	臨1・臨2・臨3
11月９日(月)	4	長倉・室寺・相見	臨床倫理	事例についての講義とグループ討議	臨1・臨2・臨3
11月９日(月)	5	〃	臨床倫理	グループ発表と全体討議	臨1・臨2・臨3

6 授業形式・視聴覚機器の活用

基本は講義形式。授業によっては、医療現場における個々の事例を紹介しながら、それぞれの事例についての意見交換を行うために、全体討議と小グループでの討論とに分けて授業を行う。また、現代の医療問題をテーマに取り上げている動画を教材に用いながら、共に考えるような授業も行う。

7 評価方法

試験は行わない。講義ごとに、授業担当者が与える課題に対して、レポートの提出を求める（レポート受理期間は、各講義終了１週間後の同一曜日午後１時まで）。

（１）レポートは各10点満点で評価し、全レポートの総合点で合否を判定する。
　なお、レポート用紙は出席者のみに配布する。レポートの提出期限は厳守すること。提出期限を過ぎたレポートは、原則、受理しない（当該授業の評価は、０点とする）。

（２）病気その他緊急の事態でやむを得ず欠席する場合は、授業終了時までに学生課に連絡すること。学生課への連絡がある場合のみ、後日、学科事務室でレポート用紙を本人に手渡す。

8 教科書・参考文献

特に定めない。必要に応じて講義の中で紹介する。

9 学生へのメッセージ

グループワークを取り入れた授業では、積極的に議論に参加して能動的に学ぶことを期待します。

医療の倫理Ⅱ

1　担当教員名

教授・医師　喜多伸幸（臨床看護学講座）
教　　授　室寺義仁（医療文化学講座　哲学）
教　　授　村上　節（産科学婦人科学講座　母子）
教　　授　相見良成（基礎看護学講座）
准教授　垰田和史（社会医学講座　衛生学部門）

非常勤講師
木澤義之（神戸大学　大学院医学部附属病院　緩和支持治療科　特命教授）
荻田謙司（医療法人恒仁会　近江温泉病院　精神科　医師）

2　配当学年等

第２学年　前期前半　１単位

3　学習目標

「医療の倫理もⅡ」の授業では、倫理学についての基礎を学んだ上で、臨床倫理を主に学習する。はじめに受講生は、日々臨床現場で遭遇するであろう事例に含まれる様々な倫理的な問題に気づくための想像力を養う。次いでグループ学習を通して、個々の問題をどのように考え、どのように対応・対処すれば良いのかという手法・心得について学び、看護実践に必要な倫理観を涵養することを目的とする。

4　授業概要

倫理学および臨床倫理について概説を受けた後に、緩和医療の現場での諸事例について講義を受ける。その後にグループに分かれて討論を行う。そして検討結果についての各グループからの発表と全体での討議を行った上で、事例考察のまとめを行う。このような形で授業を進める。４月13日（月）３時限、５月25日（月）３～４時限目、６月22日（月）３～４時限目の講義は医学科４年生との合同講義である。

5　授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	教室
令和２年				
４月６日(月)	3	喜　多	看護における医療の倫理①	看４
４月13日(月)	3	村　上	生命倫理－生殖医療と生命倫理	臨３
４月20日(月)	3	喜　多	看護における医療の倫理②	看４
４月27日(月)	3	〃	看護における医療の倫理③	看４
５月25日(月)	3	木　澤	臨床推論－臨床倫理の基本原理（Ⅰ）	臨３
５月25日(月)	4	〃	臨床推論－臨床倫理の基本原理（Ⅱ）	臨３
６月22日(月)	3	荻　田	医師・患者・家族との関係と医の倫理	臨３
６月22日(月)	4	垰　田	社会医学と医の倫理	臨３

6　授業形式・視聴覚機器の活用

基本は講義形式。授業によっては、医療現場における個々の事例を紹介しながら、それぞれの事例についての意見交換を行うために、全体討議と小グループでの討論とに分けて授業を行う。また、現代の医療問題をテーマに取り上げている動画を教材に用いながら、共に考えるような授業も行う。

7　評価方法

試験は行わない。講義ごとに、授業担当者が与える課題に対して、レポートの提出を求める（レポート受理期間は、各講義終了１週間後の同一曜日午後１時まで）。

（１）レポートは各10点満点で評価し、全レポートの総合点で合否を判定する。
　なお、レポート用紙は出席者のみに配布する。レポートの提出期限は厳守すること。提出期限を過ぎたレポートは、原則、受理しない（当該授業の評価は、０点とする）。

（２）病気その他緊急の事態でやむを得ず欠席する場合は、授業終了時までに学生課に連絡すること。学生課への連絡がある場合のみ、後日、学科事務室でレポート用紙を本人に手渡す。

8　教科書・参考文献

特に定めない。必要に応じて講義の中で紹介する。

看護学研究方法論

1　担当教員名

教授・看護師　桑田弘美（臨床看護学講座）
教　　授　宮松直美（臨床看護学講座）
教　　授　立岡弓子（臨床看護学講座）
教　　授　河村奈美子（臨床看護学講座）
教　　授　伊藤美樹子（公衆衛生看護学講座）
准 教 授　荻田美穂子（臨床看護学講座）

非常勤講師
本田可奈子（滋賀県立大学　教授）

2　配当学年等

第２学年　後期前半　１単位

3　学習目標

看護専門職者は、患者様などケアをさせて頂く対象となる方々に、常に最高のケアができるよう日々研鑽を重ねている。ケアの質向上を図るために、様々な努力をしているが、特に日々の看護実践の中で生じる疑問を明確にし、解決していく能力が必要となる。看護研究は、この看護実践の基礎となる科学的知識体系を発展させていくために必要なものである。研究の必要性を理解して、卒業研究に取り組むために、看護研究についての基礎知識を習得することを目標としている。

4　授業概要

卒業研究にスムーズに取り組めるよう、研究の導入部分を具体的に教授する。看護研究の特徴等を踏まえ、実際にどのような研究がなされており、どのように研究に取り組んでいくのかを解説し、最終的に研究計画書が書けることを目指す。

5　授業内容

講義

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	教室
令和２年				
10月５日(月)	3	桑　田	看護研究とは	看４
10月12日(月)	3	伊　藤	看護研究の概観	看４
10月19日(月)	3	荻　田	研究における倫理・文献検討	看４
11月２日(月)	3	立　岡	概念枠組みと仮設	看４
11月９日(月)	3	河　村	質的研究	看４
11月16日(月)	3	宮　松	量的研究	看４
11月25日(水)	3	本　田	研究計画書の書き方	看４
11月30日(月)	3	桑　田	研究の責務	看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

パワーポイント等を使用して教授する。

7　評価方法

看護研究は人に関わる研究が多く、どんな状況においても、研究をしようとする人の倫理性は重要である。学生であっても、倫理的配慮を無視して研究はできない。各講義には必ず倫理的課題を含んでいる。

基本的には３分の２以上の出席と、レポート課題の提出をもって評価するが、欠席した授業の内容によっては、看護研究を許可できない場合がある。その際には、他の講演等を受講するように連絡をするので、必ず看護研究担当教員に相談して、受講をすること。

レポート課題は、最終日に提示する。

8　教科書・参考文献

教科書：特に指定しない。
参考文献：南　裕子編集：看護における研究　日本看護協会出版会他

専門看護Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

看　護　倫　理

1　担　当　教　員　名

准　教　授　　中　西　京　子（基礎看護学講座）

非常勤講師
本　田　可奈子（滋賀県立大学　教授）

2　配　当　学　年　等

第３学年・編入第３学年　前期前半　１単位

3　学　習　目　標

1．医療倫理と看護倫理について説明できる。
2．倫理的判断能力について説明できる。
3．倫理的意思決定について説明できる。
4．倫理的問題の分析方法を実践できる。

4　授　業　概　要

近年、価値の多様化に伴い様々な倫理問題が生じている。医療においても、看護職は日常的に倫理問題に直面し、専門職としての対応を求められるようになってきた。本科目では、倫理問題に対処するための基礎的知識と看護職に求められる役割や行動について学習し、倫理的問題にアプローチできる力を培う。

5　授　業　内　容

授業計画参照

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
５月21日(木)	5	中西・本田	ガイダンス 倫理学の基本的な考え方	ガイダンス 倫理とは何か　生命倫理 医療をめぐる倫理的課題（安楽死と尊厳死、脳死と臓器移植、生殖に関する問題等）	看１
５月28日(木)	5	本　田	看護倫理	講義：看護専門職の倫理　倫理的感受性、倫理的意思決定	看１
６月４日(木)	5	〃	倫理的問題へのアプローチ	事例分析の方法 グループ分けの発表とテーマの決定	看１
６月11日(木)	5	〃	グループワーク	事例検討とプレゼンの準備	看１
６月18日(木)	5	〃	事例検討	小児・精神・母性・終末期・先端医療・老年期等の事例について検討する。	看１
６月25日(木)	5	〃	事例検討	小児・精神・母性・終末期・先端医療・老年期等の事例について検討する。	看１
７月２日(木)	5	〃	事例検討	小児・精神・母性・終末期・先端医療・老年期等の事例について検討する。	看１
７月９日(木)	5	本田・中西	まとめ	看護師の倫理的責務	看１

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義、グループワークですすめていく。とくにグループワークでは、５人から６人のグループとなり、Jonsenらの症例検討シートをもとに事例分析を行い、倫理的問題へのアプローチの方法を身につけることをめざす。

7　評　価　方　法

・ディベートに関連するレポート（40%）、まとめのレポート（60%）
・提出期限をすぎたレポートは－５点とする。
・まとめのレポートが提出されない場合は評価はできない。
・３分の２以上の出席をもって成績評価の資格要件とする。無断早退は出席と認めない。３回の遅刻で１回の欠席とみなす。無断欠席は－５点とする。
・全体評価で60%未満の場合は再レポートを提示することがある。

8　教科書・参考文献

教科書：資料配布
参考文献：宮坂道夫：系統看護学講座 別巻 看護倫理　医学書院

看 護 管 理 論

1 担 当 教 員 名

准 教 授　中 西 京 子（基礎看護学講座）

非常勤講師
竹 内 芳 子（京都山城総合医療センター
看護部人材確保担当部長）

2 配 当 学 年 等

第４学年・編入第４学年　後期前半　１単位

3 学 習 目 標

1．看護管理の基礎となる理論を理解する。
2．看護の提供システムの理解をする。
3．人材育成の実態や制度を学び、将来看護職として自己の能力を向上させる必要性を理解する。
4．看護における組織改革および政策の必要性と政策決定過程を理解する。

4 授 業 概 要

看護管理の概念と原則を学び、質の高い看護サービスを提供するために看護職者個人および看護組織が担う役割を学ぶ。医療・看護をめぐる法律や社会の仕組み、変遷について学び、看護専門職としての役割を学ぶ。

5 授 業 内 容

授業計画参照。

年月日（曜）	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
10月８日（木）	3	中　西	ガイダンス 看護管理プロセス	・看護管理の歴史 ・看護管理の定義 ・看護管理のプロセスと対象	看３
10月８日（木）	4	〃	看護の組織化・組織改革	・看護の組織化 ・組織改革 ・リーダーシップ	看３
10月15日（木）	3	〃	看護サービスのマネージメント	・人事労務管理 ・物的資源管理	看３
10月15日（木）	4	〃	安全なケアの提供と質保証	・安全管理とリスクマネージメント ・ケアの質管理 ・看護技術の経済的評価	看３
10月22日（木）	3	〃	キャリアマネジメント	・専門職の基準 ・看護学における専門職の基準 ・スペシャリストとジェネラリスト ・キャリアアンカーとキャリアプラン	看３
10月22日（木）	4	竹　内	看護管理者のコンピテンシーについて	・コンピテンシーとは何か ・看護管理者のコンピテンシー	看３
10月29日（木）	3	西村（附属病院看護部長）・中西	トップマネジメントと経営	・組織変革とリーダーシップ ・看護政策の意思決定	看３
10月29日（木）	4	中　西	まとめ		看３

6 授業形式・視聴覚機器の活用

講義・グループワーク

7 評 価 方 法

・課題レポートにより評価する。
・全講義数の2/3以上の出席（早退は出席に含めない。２回の遅刻で１回の欠席とみなす）を評価の要件とする。

8 教科書・参考文献

教科書：なし
参考文献：上泉和子「系統看護学講座　統合分野　看護管理　看護の統合と実践①」医学書院

9 学生へのメッセージ

主体的な参加を期待しています。

育成期小児看護学

1 担当教員名

教授・看護師　桑田弘美（臨床看護学講座）
講師(学内)　白坂真紀（臨床看護学講座）

2 配当学年等

第3学年　前期　2単位

3 学習目標

ライフステージと健康Ⅱで学んだことをベースに、健康障害をもつ子どもと家族の実際を理解し、さまざまな状況にある子どもと家族の特徴と看護を習得する。

4 授業概要

子どもは常に成長・発達している存在であるが、健康障害によってその成長・発達が妨げられるおそれがある。また、子どもの家族は、子どもの生活を規定する存在であり、家族の関わり方によって、子どものQOLは大きく影響を受ける。ライフステージと健康Ⅱで、子どもと家族の関係について、繰り返し学習してきた。この授業では、健康障害をもつ子どもと家族の実際を理解し、看護師としてどのようにケアをしていくとよいのか、考察し演習で実践する。

5 授業内容

できるだけ健康障害をもつ子どものイメージがつきやすいように、DVDなども使用して具体的に学習し、演習で実際に行い、ケアの工夫を考える。

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
令和2年					
4月8日(水)	1	桑田	健康問題をもつ子どもと家族の看護	子どもの疾病・障がいへの理解 疾病・治療に伴うストレス 子どもの疾病・障がいに対する家族の反応	看1
4月8日(水)	2	〃	入院している子どもと家族の看護	入院している子どもと家族 入院環境	看1
4月15日(水)	1・2	白坂	子どものアセスメントに必要な技術1・2	アセスメントに必要な技術 身体的アセスメントの方法	看1
4月22日(水)	1・2	〃	症状を示す子どもの看護1・2	一般状態、痛み、呼吸・循環器系の症状、発熱、消化器系の症状、水分・電解質異常など	看1
5月7日(木)		〃	検査や処置を受ける子どもの看護	検査・処置（与薬、輸液管理、抑制、検体採取、罨法、清潔、排泄など）	看1
5月13日(水)	1	桑田・白坂・武村 佳奈子（看護部・救急看護認定看護師）	急性期にある子どもと家族の看護 周手術期の子どもと家族の看護	急性期の特徴 急性期にある子どもと家族の特徴と看護 周手術期の特徴 術前・術後の子どもと家族の看護	看1
5月13日(水)	2	〃	外来における子どもと家族の看護 小児期感染症と看護 救急処置が必要な子どもと家族の看護	外来の機能と看護 継続看護 小児のトリアージ 小児期感染症と予防接種 子どもに多い事故の種類 救急処置	看1
5月20日(水)	1	桑田・白坂	活動制限が必要な子どもと家族の看護	活動制限の目的・種類 身体的・心理的な影響 ストレスとコーピング	看1
5月20日(水)	2	〃	プレパレーション	プレパレーションの意義と現状 プレパレーションの演習	看1
5月27日(水)	1	〃	プレパレーションの実際1	プレパレーションの演習	看1
5月27日(水)	2	〃	プレパレーションの実際2	プレパレーションの演習 まとめ 発表会	看1
6月3日(水)	1	桑田	慢性期にある子どもと家族の看護	慢性期の特徴 小児慢性特定疾患治療研究事業 慢性期にある子どもと家族の特徴と看護	看1

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
６月３日(水)	2	桑　田	先天的な問題をもつ子どもと家族の看護	先天異常の種類と特徴 先天的な問題をもつ子どもと家族の看護	看1
６月10日(水)	1	〃	心身障がいをもつ子どもと家族の看護	心身障がいの定義・分類・特徴 障がいをもつ子どもと家族の看護	看1
６月10日(水)	2	〃	重症心身障がいをもつ子どもと家族の看護	重症心身障がいの定義 重症児の原因疾患 二次障害とケア	看1
６月17日(水)	1	〃	難病をもつ子どもと家族の看護 感覚障害をもつ子どもと家族の看護	希少難病をもつ子どもと家族の看護 地域における患者会活動 視覚障害、聴覚・言語障害をもつ子どもと家族の看護	看1
６月17日(水)	2	白　坂	NICUに入院している子どもと家族の看護	NICUの特徴 NICUに入院している子どもと家族の看護	看1
６月24日(水)	1	桑田・白坂	在宅療養をする子どもと家族の看護	在宅療養をする子どもと家族の特徴と看護 社会資源の利用方法 学校生活	看1・看実
６月24日(水)	2	桑　田	終末期にある子どもと家族の看護	子どもの死の概念 デス・エデュケーション 子どもに特徴的な悲嘆反応 子どものターミナルケア	看1・看実
７月１日(水)	1	桑田・白坂・臨床教育看護師	小児看護技術演習１	病児の沐浴	看1・看実
７月１日(水)	2	〃	看護過程演習１	看護過程グループワーク (患児の全体像)	看1・看実
７月８日(水)	1	〃	小児看護技術演習２	検査介助・呼吸管理・保育器管理	看1・看実
７月８日(水)	2	〃	看護過程演習２	看護過程グループワーク (患児のアセスメント)	看1・看実
７月15日(水)	1	〃	小児看護技術演習３	子どもの採血・輸液管理	看1・看実
７月15日(水)	2	〃	看護過程演習３	看護過程グループワーク (看護計画立案)	看1・看実
７月22日(水)	1	〃	小児看護技術演習４	調乳・離乳食 包帯法	看1・看実
７月22日(水)	2	〃	看護過程演習４	看護過程発表会・討議	看1・看実

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義と演習

講義ではミニテスト、演習では課題レポートを毎回行う。

パワーポイント、DVD教材使用。

7　評　価　方　法

筆記試験及びレポートの評価を含めて６割以上の得点で合格とする。

出席回数が全講義数の2/3以上の出席（遅刻３回あるいは早退３回は１日の欠席、30分以上の遅刻は欠席とみなすこともある）をもって、筆記試験の受験資格要件とする。ミニテストの提出と演習時の出席確認で出席とみなす。

8　教科書・参考文献

教科書：

特に指定しない

参考文献：

系統看護学講座　専門分野Ⅱ　小児看護学１　医学書院

看護系標準教科書　小児看護学　オーム社

成人保健看護学Ⅰ

1 担当教員名

教授・看護師　宮松直美（臨床看護学講座）
助教　東　さおり（臨床看護学講座）
助教　炭本佑佳（臨床看護学講座）
助教　市川瑞希（臨床看護学講座）

非常勤講師
伊波早苗（草津総合病院　看護部看護部長）
森本朱実
呉代華容

2 配当学年等

第3学年　前期前半　2単位

3 学習目標

成人期にある人々が抱える健康障害とそれに対する看護過程の展開、看護実践の方法を学習する。

4 授業概要

1．呼吸機能障害、循環機能障害、生殖機能障害、栄養代謝障害など成人期に発症・進展する様々な機能障害をもつ人の対象理解を深める。
2．上記の障害を有する成人への看護実践の原理を理解し、必要とされる知識を習得する。
3．上記の障害を有する成人への看護実践に必要な技術を習得する。
4．上記の障害を有する成人への看護実践について、事例を用いて看護過程の展開を学ぶ。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	教室
令和2年				
4月9日(木)	3・4	呉代	呼吸機能障害を有する成人の看護①②	看1
4月10日(金)	1	〃	呼吸機能障害を有する成人の看護③：周手術期看護	看1
4月10日(金)	2	宮松・岩井(リハビリテーション部)	呼吸機能障害を有する成人の看護④：呼吸リハビリテーション	看1
4月16日(木)	3・4	宮松	循環機能障害を有する成人の看護①②	看1
4月17日(金)	1	〃	循環機能障害を有する成人の看護③：周手術期看護	看1
4月17日(金)	2	宮松・平岩(リハビリテーション部)	循環機能障害を有する成人の看護④：心臓リハビリテーション	看1
4月23日(木)	3・4	宮松・炭本・東・市川・臨床教育看護師(看護部)	循環機能障害を有する成人の看護⑤⑥：演習（心電図、モニター）	看実
4月24日(金)	1・2	森本	呼吸・循環機能障害を有する成人の看護：演習（アセスメントと問題抽出）	看1
4月30日(木)	3・4	宮松	性・生殖機能障害を有する成人の看護①②	看1
5月1日(金)	1	宮松・中井(看護部)	性・生殖機能障害を有する成人の看護③：事例演習	看1
5月1日(金)	2	〃	栄養代謝機能障害を有する成人の看護①：肝機能障害	看1
5月8日(金)	1	〃	栄養代謝機能障害を有する成人の看護②：肝機能障害	看1
5月8日(金)	2	〃	栄養代謝機能障害を有する成人の看護③：周手術期看護（胆肝膵）	看1
5月14日(木)	1・2	伊波	栄養代謝機能障害を有する成人の看護④⑤：耐糖能障害	看1
5月21日(木)	3・4	宮松・東・炭本・市川・山口(看護部)	栄養代謝機能障害を有する成人の看護⑥⑦：演習（血糖測定、インスリン自己注射指導）	看実
5月22日(金)	1	炭本	栄養代謝機能障害を有する成人の看護⑧：消化吸収・排泄機能障害	看1
5月22日(金)	2	〃	栄養代謝機能障害を有する成人の看護⑨：周手術期看護（消化管）	看1
5月28日(木)	3・4	宮松・炭本・東・市川・臨床教育看護師(看護部)	栄養代謝機能障害を有する成人の看護⑩⑪：演習（ストーマケア）	看実
5月29日(金)	1・2	宮松・炭本・東・市川	演習：看護過程（消化吸収・排泄機能障害）	看1
6月4日(木)	3	〃	演習：看護過程（消化吸収・排泄機能障害）	看1
6月4日(木)	4	〃	まとめ	看1

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義および演習
パワーポイントやビデオ等の視聴覚教材を用いることもある

7　評　価　方　法

修了の認定は、筆記試験（70%）およびレポート（20%）・演習（10%）の評価によって行う。ただし、筆記試験60%以上の得点を修了の認定要件とする。

8　教科書・参考文献

参考文献：
1）慢性期看護論　鈴木志津枝・藤田佐和編集　ヌーヴェルヒロカワ
2）急性期看護論　鈴木志津枝・藤田佐和編集　ヌーヴェルヒロカワ
3）病気がみえる　vol.1 消化器　メディック・メディア
4）病気がみえる　vol.2 循環器　メディック・メディア
5）病気がみえる　vol.3 糖尿病・代謝・内分泌　メディック・メディア
6）病気がみえる　vol.4 呼吸器　メディック・メディア
7）病気がみえる　vol.9 婦人科・乳腺外科　メディック・メディア

9　オフィスアワー（授業相談）

毎日12 ～ 13時@509号室、516号室（看護学科棟 5 階）（教室全体で対応）

10　学生へのメッセージ

・演習の日は白衣で 3 階演習室へ集合して下さい。開始時間以降の入室は認めないことがあります。
　演習の持参物については、別途連絡しますので指示に従ってください。
・レポートは指定された提出期限内に、看護学科事務室前の所定のBOXもしくはe-mail〈hqahn@belle.shiga-med.ac.jp〉へ提出してください（提出方法は指示に従うこと）。

11　参考URL

http://www.shiga-med.ac.jp/~hqahn/

12　授業用E-mail

hqahn@belle.shiga-med.ac.jp

成人保健看護学Ⅱ

1　担当教員名

教授・看護師　宮松直美（臨床看護学講座）
助教　炭本佑佳（臨床看護学講座）
助教　東　さおり（臨床看護学講座）
助教　市川瑞希（臨床看護学講座）

非常勤講師
横田千晶（国立循環器病研究センター病院　脳血管内科医長）
呉代華容

2　配当学年等

第3学年　前期後半　2単位

3　学習目標

成人期にある人々が抱える健康障害とそれに対する看護過程の展開、看護実践の方法を学習する。

4　授業概要

1．脳神経機能障害、身体防御機能障害、運動機能障害、内部環境調節機能障害を有する成人、生命の危機的状況下にある成人、緩和ケアを必要とする成人の対象理解を深める。
2．上記の障害を有する成人への看護実践の原理を理解し、必要とされる知識を習得する。
3．上記の障害を有する成人への看護実践に必要な技術を習得する。
4．上記の障害を有する成人への看護実践について、事例を用いて看護過程の展開を学ぶ。

5　授業内容

年月日（曜）	時限	担当教員	項　目	教室
令和2年				
6月5日（金）	1	横田	脳神経機能障害を有する成人の看護①：特別講義　SCU	看1
6月5日（金）	2	宮松	脳神経機能障害を有する成人の看護②：特別講義　SCU	看1
6月11日（木）	2	〃	脳神経機能障害を有する成人の看護③	看1
6月11日（木）	3	〃	脳神経機能障害を有する成人の看護④：周手術期看護	看1
6月12日（金）	1・2	宮松・炭本・東・市川	脳神経機能障害を有する成人の看護⑤⑥：演習（点滴・輸液管理）	看実
6月18日（木）	3・4	呉代	生命の危機的状況下にある成人の看護①②：ICU看護	看1
6月19日（金）	1・2	宮松・炭本・東・市川・小越（看護部）	生命の危機的状況下にある成人の看護③④：演習（ACLS）	看1
6月25日（木）	3	宮松・川添（臨床工学部副技士長）	生命の危機的状況下にある成人の看護⑤：人工呼吸器	看1
6月25日（木）	4	宮松・炭本・東・市川	生命の危機的状況下にある成人の看護⑥：演習（人工呼吸器、吸引、吸入）	看実
6月26日（金）	1・2	宮松・西川（看護部）	緩和ケア①：ペインコントロール、緩和ケア②：グリーフケア	看1
7月2日（木）	3・4	宮松	身体防御機能障害を有する成人の看護①②	看1
7月3日（金）	1	〃	身体防御機能障害を有する成人の看護③：化学療法	看1
7月3日（金）	2	宮松・北（看護部）	身体防御機能障害を有する成人の看護④：事例演習	看1
7月9日（木）	3・4	宮松・炭本・東・市川	身体防御機能障害を有する成人の看護⑤⑥：演習（ドレーン・水分出納管理）	看実
7月10日（金）	1・2	宮松	運動機能障害を有する成人の看護①②	看1
7月16日（木）	3	〃	運動機能障害を有する成人の看護③：事例演習	看1
7月16日（木）	4	〃	内部環境調節機能障害を有する成人の看護①：腎機能障害	看1
7月17日（金）	1・2	〃	内部環境調節機能障害を有する成人の看護②③：腎機能障害	看1
7月30日（木）	3・4	宮松・炭本・東・市川	演習：看護過程（腎機能障害）	看1
7月31日（金）	1	〃	演習：看護過程（腎機能障害）	看1
7月31日（金）	2	宮松・東・市川	まとめ	看1

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義および演習
パワーポイントやビデオ等の視聴覚教材を用いることもある

7　評　価　方　法

修了の認定は、筆記試験（70%）およびレポート（20%）・演習（10%）の評価によって行う。ただし、筆記試験60%以上の得点を修了の認定要件とする。

8　教科書・参考文献

参考文献：

1）慢性期看護論　鈴木志津枝・藤田佐和編集　ヌーヴェルヒロカワ
2）急性期看護論　鈴木志津枝・藤田佐和編集　ヌーヴェルヒロカワ
3）病気がみえる　vol.5 血液　メディック・メディア
4）病気がみえる　vol.6 免疫・膠原病・感染症　メディック・メディア
5）病気がみえる　vol.7 脳・神経　メディック・メディア
6）病気がみえる　vol.11 運動器・整形外科　メディック・メディア

9　オフィスアワー（授業相談）

毎日12 ～ 13時@509号室、@516号室（看護学科棟 5 階）（教室全体で対応）

10　学生へのメッセージ

・演習の日は白衣で 3 階演習室へ集合して下さい。開始時間以降の入室は認めないことがあります。
　演習の持参物については、別途連絡をしますので指示に従ってください。
・レポートは指定された提出期限内に、看護学科事務室前の所定のBOXもしくはe-mail〈hqahn@belle.shiga-med.ac.jp〉へ提出してください（提出方法は指示に従うこと）。

11　参考URL

http://www.shiga-med.ac.jp/~hqahn/

12　授業用E-mail

hqahn@belle.shiga-med.ac.jp

高齢者看護学

1 担当教員名

准教授　荻田　美穂子（臨床看護学講座）
助教　片寄　亮（臨床看護学講座）

2 配当学年等

第3学年　前期　2単位

3 学習目標

1．フレイルの状態を理解し、その予防的視点が分かる。
2．高齢者特有の症状や障害を理解し、生活に及ぼす影響についてアセスメントする方法や具体的看護援助の方法を習得する。
3．加齢に伴う身体的・精神的・社会的変化をアセスメントし、看護計画立案、実施、評価するための能力を培う。
4．尊厳を保持し、高齢者個々にとって最適な健康をめざすための目標設定の考え方が分かる。
5．我が国の超高齢社会の動向を理解し、病院・介護施設・地域等での看護職の役割を考えることができる。

4 授業概要

高齢者看護に必要な、知識、技術、態度を学ぶ。

5 授業内容

高齢者特有の症状や障害（フレイル・歩行障害・転倒・骨折・嚥下障害・脱水・感染・失禁・皮膚障害・睡眠障害・せん妄・視覚聴覚障害・認知症・うつ等）と看護援助方法、生活習慣病や脳血管疾患、運動器疾患等を有する高齢者の在宅移行支援方法など

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	教室
令和2年					
4月9日(木)	1	荻田	授業オリエンテーション 高齢者看護学の考え方	授業の進め方 高齢者看護の理念と目的	看1
4月9日(木)	2	〃	対象理解	加齢と生活機能の変化についての振り返り 高齢者のフレイルと予防 高齢者に対するコミュニケーション法	看1
4月16日(木)	1	〃	症状・障害別看護の実際： 嚥下障害（1）	高齢者の摂食動作・口腔の特徴に関する振り返り 口腔・摂食嚥下機能障害のメカニズム 口腔・摂食嚥下機能低下が生活に及ぼす影響	看1
4月16日(木)	2	〃	症状・障害別看護の実際： 嚥下障害（2）	高齢者の口腔・摂食嚥下機能低下予防 口腔・摂食嚥下機能障害を有する高齢者の看護援助 高齢者の低栄養と予防 嚥下障害事例のアセスメントと援助計画をディスカッション	看1
4月23日(木)	1	〃	症状・障害別看護の実際： 歩行障害・転倒（1）	高齢者の歩行の特徴に関する振り返り 歩行障害・転倒のメカニズム 歩行障害・転倒が生活に及ぼす影響	看1
4月23日(木)	2	〃	症状・障害別看護の実際： 歩行障害・転倒（2）	高齢者の転倒予防 歩行障害・転倒を有する高齢者の看護援助 高齢者の廃用性症候群と予防 転倒事例のアセスメントと援助計画をディスカッション	看1
4月30日(木)	1	〃	症状・障害別看護の実際： 排泄障害（1）	高齢者の排泄の特徴に関する振り返り 排尿・排便・排泄動作障害の種類とメカニズム 高齢者の排泄機能低下が生活に及ぼす影響	看1
4月30日(木)	2	〃	症状・障害別看護の実際： 排泄障害（2）	高齢者の排泄機能低下予防 高齢者に対して自然な排泄を促す看護援助 排泄障害事例のアセスメントと援助計画をディスカッション	看1
5月14日(木)	3	〃	症状・障害別看護の実際： 皮膚障害（1）	高齢者の皮膚の特徴に関する振り返り 皮膚真菌症・皮膚掻痒症のメカニズムとスキントラブル 褥瘡のメカニズムと評価法	看1
5月14日(木)	4	〃	症状・障害別看護の実際： 皮膚障害（2）	高齢者の予防的スキンケア 皮膚障害を有する高齢者の看護援助 皮膚障害事例のアセスメントと援助計画をディスカッション	看1

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
５月21日(木)	1	荻　田	症状・障害別看護の実際: 脱水・浮腫	高齢者における脱水の特徴と看護援助 高齢者における浮腫の特徴と看護援助 脱水・浮腫事例のアセスメントと援助計画をディスカッション	看1
５月21日(木)	2	〃	症状・障害別看護の実際: 易感染	高齢者における免疫機能の特徴についての振り返り 高齢者におけるインフルエンザや感染性胃腸炎の特徴と看護援助 感染症事例のアセスメントと援助計画をディスカッション	看1
５月28日(木)	1	〃	症状・障害別看護の実際: 視覚聴覚障害	高齢者における感覚機能の特徴に関する振り返り 高齢者における視覚聴覚障害の特徴と看護援助 視聴覚障害事例のアセスメントと援助計画をディスカッション	看1
５月28日(木)	2	〃	症状・障害別看護の実際: 生活リズムの乱れ	高齢者における生活リズム障害（睡眠障害・せん妄）と原因 高齢者の生活リズムの乱れを最小限にするための看護援助 せん妄事例のアセスメントと援助計画をディスカッション	看1
６月４日(木)	1	〃	症状・障害別看護の実際: 認知機能障害（１）	認知症の定義・認知症治療およびケアの変遷 認知症の原因疾患 認知症の症状と評価法	看1
６月４日(木)	2	〃	症状・障害別看護の実際: 認知機能障害（２）	認知症の症状やその進行が生活に及ぼす影響 認知症の人の心理 認知症予防のための看護援助 BPSDとその看護援助	看1
６月11日(木)	1	〃	慢性疾患を抱える高齢者ケア（１）	高齢者で重視すべき慢性疾患管理 高齢者の薬物療法の問題点とその対処	看1
６月11日(木)	4	荻田・片寄	症状・障害別看護のまとめ 看護過程の展開（１）	症状・障害別看護に関する確認問題を解いて、ポイントの確認 事例演習オリエンテーション（事例演習の進め方、事例紹介）	看1
６月18日(木)	1・2	片寄・荻田・看護部	看護過程の展開（２）・技術演習（１）	グループに分かれて以下の演習 Ａグループ：技術演習（嚥下機能低下を有する患者への食事援助・胃瘻管理など） Ｂグループ：事例演習	看1
６月25日(木)	1・2	〃	看護過程の展開（３）・技術演習（２）	グループに分かれて以下の演習 Ａグループ：事例演習 Ｂグループ：技術演習（嚥下機能低下を有する患者への食事援助・胃瘻管理など）	看1・看実
７月２日(木)	1	荻　田	症状・障害別看護の実際: 認知機能障害（３）	コミュニケーション ユマニチュード	看1・看実
７月２日(木)	2	荻田・看護部	慢性疾患を抱える高齢者ケア（２）	慢性疾患を有する高齢者の看護援助の実際 臨床からの症例提示と意見交換	看1・看実
７月９日(木)	1	片寄・荻田・前川 昭次（リハビリテーション部技士長）	技術演習（３）	技術演習（廃用予防のための援助技術）	看1
７月９日(木)	2	〃	技術演習（４）	同上	看1
７月16日(木)	1	荻　田	高齢者の在宅移行支援の実際（１）	高齢者における継続看護の考え方	看1
７月16日(木)	2	荻田・看護部	高齢者の在宅移行支援の実際（２）	退院支援の実際 臨床からの症例提示と意見交換	看1
７月30日(木)	1	荻田・片寄	看護過程の展開（４）	各事例の分析・看護問題の抽出 ・初期計画の発表 意見交換とまとめ	看1
７月30日(木)	2	〃	看護過程の展開（５）	同上	看1

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義と演習
授業の内容・順序など、一部変更する場合がある。講義と演習の併用で学習を進める。

7　評　価　方　法

総授業時間の３分の１を超えて欠席した場合は、本試験を受験することはできない。
本試験80％、授業の取り組み状況（レポート・グループワーク・発表など）20％で評価を行う。
ただし、本試験は100点満点中60点以上あることが単位認定の必須要件とする。

8　教科書・参考文献

授業でその日の資料を配布する。
教科書：
老年看護学技術、南江堂
参考文献：
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学、医学書院
健康長寿診療ハンドブック、編集／発行　老年医学会
その他、講義中に随時紹介

9　学生へのメッセージ

高齢者看護は加齢変化を捉えることが前提になります。既習の知識を復習して講義にのぞみましょう。また、日頃から高齢者の生活動作や生活環境に関心を向けてみましょう。

精 神 看 護 学

1 担 当 教 員 名

教授・看護師　河　村　奈美子（臨床看護学講座）
講師(学内)　藤　本　智　美（臨床看護学講座）
特任助教　山　木　照　子（臨床看護学講座）

2 配 当 学 年 等

第３学年　前期　２単位

3 学 習 目 標

精神疾患に関する基礎的知識を学び、精神の健康問題に直面している対象とその家族を理解するとともに、彼らに必要な援助方法を習得する。個別的な看護を展開するための基礎的能力を養う。

4 授 業 概 要

以下のような項目について学修し、精神看護技術を修得することをめざす。

1．精神の発達に関する精神疾患とその看護について理解する。
2．主な精神症状、精神科疾患とその看護について理解する。
3．精神看護における治療的患者－看護師関係について理解し、効果的な看護技術を習得する。
4．自我構造をとらえ、オレム・アンダーウッドのセルフケアモデルに基づく看護過程を考えることができる。

5 授 業 内 容

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月６日(月)	1・2	河　村	精神看護における援助技術	精神看護におけるコミュニケーション技術、場面の再構成	看１
４月13日(月)	1・2	〃	同上	CBT、ACT（認知行動療法）、アドヒアランス、SST、心理教育	看１
４月20日(月)	1・2	〃	精神疾患を持つ対象への看護	統合失調症急性期・回復期にある対象の看護	看１
４月27日(月)	1	藤　本	同上	身体疾患を持つ対象の看護	看１
４月27日(月)	2	河　村	同上	気分障害、神経症を持つ対象の看護	看１
５月11日(月)	1	〃	同上	依存症（物質依存、摂食障害）を持つ対象の看護	看１
５月18日(月)	1	〃	精神状態のアセスメント	MSE・オレムアンダーウッドモデルの活用	看１
５月22日(金)	3	河村・藤本	精神科治療と看護①	薬物療法と看護	看３
５月25日(月)	1	〃	精神科治療と看護②	身体療法・精神療法・リハビリテーションと看護	看１
５月26日(火)	1・2	河　村	治療的患者－看護者関係①	治療的かかわり①ロールプレイを通して対象者の理解と看護の方向性について考える	看１
５月29日(金)	3	〃	精神疾患を持つ対象への看護	発達障害をもつ対象者への支援と看護	看３
６月５日(金)	3	〃	精神疾患を持つ対象者の地域生活の支援①	地域における支援の実際を学ぶ（医療機関から地域生活に向けた精神看護の実際）	看３
６月８日(月)	1・2	河村・藤本	家族の支援	ケースマネジメント、家族のアセスメント ジェノグラム・エコマップから家族を捉える	看１
６月15日(月)	1・2	〃	セルフケア理論を用いた看護展開	アセスメントの方法と記録の用い方、事例の展開（アセスメント～看護計画立案）	看１
６月22日(月)	1・2	〃	同上	事例の展開	看１
６月29日(月)	1・2	〃	同上	展開事例の発表、展開事例の説明	看１
７月６日(月)	1・2	〃	精神疾患を持つ対象者の地域生活の支援②	視聴覚教材を活用し精神疾患を持つ対象者と家族・地域のつながり、看護について考える	看１
７月13日(月)	1・2	河村・藤本・山木	治療的患者－看護者関係②	治療的かかわり②シミュレーション演習	看実
７月20日(月)	1・2	河村・藤本	治療的患者－看護者関係③	治療的かかわり③ロールプレイを通して対象者の理解と看護の方向性について考える	看１

6　授業形式・視聴覚機器の活用

グループディスカッションなどを多く含みます。視聴覚教材を適宜活用する予定です。講義では、毎回出席カードにて、学習目標と評価及び、感想を求めます。ワークブックを配布予定ですので、各自の積極的な学びのために有効活用してください。

7　評　価　方　法

総授業時間数の３分の１を超えて欠席している場合は、本試験を受験することができません。期末試験、レポート、学習の取り組み状況等により総合的に評価します。総合評価の60％以上を単位認定の要件とします。（再試験は１回のみ実施）

8　教科書・参考文献

教科書：

新体系看護学全書　精神看護学①　精神看護学概論精神保健，メヂカルフレンド社　　テキストISBN番号　9784839233051

新体系看護学全書　精神看護学②　精神障害をもつ人の看護，メヂカルフレンド社　　テキストISBN番号　9874839233068

参考文献：

これまでの講義資料を活用すること。その他、参考文献・資料等は適宜提示する。

9　オフィスアワー（授業相談）

電話やメールによる事前連絡の上で、時間調整することを前提に随時対応する。

10　学生へのメッセージ

グループの取り組みが多くなります。ディスカッションやプレゼンテーション、グループワークにおける積極的な授業への参加を求めます。

学　校　保　健

1　担　当　教　員　名

講　　師　　輿　水　めぐみ（公衆衛生看護学講座）　　非常勤講師
松　本　訓　枝（岐阜県立看護大学　准教授）

2　配　当　学　年　等

第３学年・編入第３学年　前期前半　１単位

3　学　習　目　標

1．学校保健の概念が理解できる。
2．学校保健活動の目的および特性が理解できる。
3．養護教諭の役割と機能について理解できる。
4．児童・生徒等の健康課題が理解できる。
5．生涯にわたる心身の健康保持増進の手だてについて考えることができる。

4　授　業　概　要

児童・生徒等の心身の健康な発育を保障する学校保健活動の実際とその方法について学習する。

5　授　業　内　容

授業は講義を中心に展開する。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月７日(火)	2	輿　水	学校保健活動とは	学校保健の概念、しくみ、学校保健の目的・特性	看１
４月14日(火)	2	〃	養護教諭の活動	養護教諭の専門性、役割とその歴史的変遷	看１
４月21日(火)	2	〃	保健室の機能と運営		看１
４月28日(火)	2	〃	学校給食、学校感染症		看１
５月12日(火)	1	松　本	学校保健統計からみた学齢期の健康状態		看１
５月12日(火)	2	〃	特別支援教育		看１
５月19日(火)	1	〃	学校の危機管理１		看１
５月19日(火)	2	〃	学校の危機管理２		看１

6　授業形式・視聴覚機器の活用

上記授業の順序などは、一部変更する場合がある。適宜、視聴覚教材や副読本を使用して学校看護のイメージをつける。またグループワーク等を取り入れる。

7　評　価　方　法

授業への参加度、課題レポート50点、期末試験50点を総合して判断する。ただし、全授業の2/3以上（２回の遅刻および早退は１回の欠席とみなす）の出席をもって成績評価の対象とする。

8　教科書・参考文献

教科書：適宜、提示する。
参考文献：適宜、提示する。

9　オフィスアワー（授業相談）

質問や相談は随時受け付けます。時間の確保のため、必ず事前にメールや電話でアポイントを取るようにしてください。

10　学生へのメッセージ

授業内容に関連した文献、新聞記事等に関心を持ち、自ら学びを深める機会としてください。

在 宅 看 護 学

1 担 当 教 員 名

教　　授　伊　藤　美樹子（公衆衛生看護学講座）
講　　師　輿　水　めぐみ（公衆衛生看護学講座）
助　　教　田　渕　紗也香（公衆衛生看護学講座）
特任助教　清　水　奈穂美（公衆衛生看護学講座）

2 配 当 学 年 等

第３学年　前期　２単位

3 学 習 目 標

1．在宅看護の歴史的背景を理解する。
2．在宅看護の特性と役割を理解する。
3．療養者と家族の権利や意思を尊重し、セルフケアを支援する看護過程を展開するための基礎的知識を習得する。
4．療養生活を支援する看護職の連携や協働について理解する。
5．療養生活を支援する保健・医療・福祉のネットワークシステムと諸制度を理解する。

4 授 業 概 要

高齢化の進展や家族機能の変化といった社会背景から、病気や障がいのある人を住み慣れた地域で支え、その人らしく生活できるように支援する看護活動への期待は大きい。本科目では、地域での看護活動の理解を促し、暮らしを支える看護への興味関心の涵養をめざす。特に訪問看護活動の特性と役割、保健・医療・福祉のネットワークシステムと諸制度の理解を基盤にしながら、療養者とその家族を支える看護の基礎的知識を習得する。

5 授 業 内 容

授業は講義と演習を組み合わせて展開する。講義のうち１回については、訪問看護の実践家を特別講師に招聘する。演習では、療養生活の支援に必要な基本的技術を取り上げる。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月６日(月)	4	輿　水	在宅看護の概要	在宅看護の背景、目的と特徴	看1
４月６日(月)	5	〃	在宅看護の対象者	療養者の特性	看1
４月13日(月)	4	〃	在宅看護の対象者	家族の特性	看1
４月13日(月)	5	〃	在宅看護演習	ケース・スタディ：在宅看護の対象者	看1
４月20日(月)	4	〃	在宅看護演習	グループワーク：在宅看護の対象者	看1
４月20日(月)	5	〃	在宅看護演習	グループワーク：在宅看護の対象者（発表）	看1
４月27日(月)	4	〃	在宅看護の実践	（特別講義）訪問看護ステーションの実際	看1
４月27日(月)	5	〃	在宅看護の制度	訪問看護の歴史	看1
５月11日(月)	4	〃	在宅看護の制度	訪問看護制度	看1
５月11日(月)	5	〃	在宅看護の制度	介護保険制度	看1
５月18日(月)	4	〃	在宅看護の制度	療養者とその家族への日常生活上の援助	看1
５月18日(月)	5	〃	在宅看護の制度	医療依存度の高い療養者とその家族への援助	看1
５月25日(月)	4	〃	在宅看護の制度	在宅ケアシステム、他職種との連携	看1
５月25日(月)	5	〃	在宅看護の制度	入退院時における医療機関との連携、継続看護	看1
６月１日(月)	4	伊藤・輿水・清水・田渕	在宅看護演習	ケース・スタディ：看護過程の展開①	看1
６月１日(月)	5	〃	在宅看護演習	ケース・スタディ：看護過程の展開②	看1
６月８日(月)	4・5	輿水・清水・田渕	在宅看護演習	バイタルサインの測定とアセスメント、コミュニケーションの技術	看1
６月15日(月)	4・5	〃	在宅看護演習	バイタルサインの測定とアセスメント、コミュニケーションの技術	看1
６月22日(月)	4・5	〃	在宅看護演習	食事と排泄の技術①	看1・看3
６月29日(月)	4・5	〃	在宅看護演習	食事と排泄の技術①	看1・看3
７月６日(月)	4・5	〃	在宅看護演習	食事と排泄の技術②	看1
７月13日(月)	4・5	〃	在宅看護演習	食事と排泄の技術②	看1
７月20日(月)	4・5	〃	在宅看護演習	地域の特徴と社会資源を把握する情報収集の技術	看1・看3

6　授業形式・視聴覚機器の活用

上記授業の順序などは、一部変更する場合がある。適宜、視聴覚教材や副読本を使用して在宅看護のイメージをつける。

7　評　価　方　法

授業への参加度、演習、課題レポート、期末試験を総合して評価する。
全講義の2/3以上（２回の遅刻および早退は１回の欠席とみなす）の出席をもって評価の対象とする。

8　教科書・参考文献

教科書：
原礼子　プリンシプル 在宅看護学　医歯薬出版株式会社
押川眞喜子　写真でわかる訪問看護　インターメディカ
厚生の指標　臨時増刊 『国民衛生の動向』 厚生統計協会
押川真喜子　在宅で死ぬということ　文春文庫
参考文献：
授業時に、適宜提示する。

9　オフィスアワー（授業相談）

質問や相談は随時受け付けます。時間の確保のため、必ず事前にメールや電話でアポイントを取るようにしてください。

10　学生へのメッセージ

授業内容に関連した文献、新聞記事等に関心を持ち、自ら学びを深める機会としてください。
演習の場所や準備が必要な物は講義の中で説明します。

看護の統合と実践

1　担当教員名

教授・医師　　相　見　良　成（基礎看護学講座）
准　教　授　　荻　田　美穂子（臨床看護学講座）

2　配当学年等

第３学年・編入第３学年　後期　１単位

3　学習目標

これまで学内において講義や演習を通して学習し習得してきた看護学の学びと、看護学実習における看護実践の学びとを統合させ、看護学学習者としての自己の在り方を考える学習の機会とする。

4　授業内容

卒後、医療機関や地域における科学的根拠に基づいた実践活動をリードする人材、あるいは研究者・教育者として看護学の発展に貢献する人材として活躍するには科学的探究心に基づいた研究能力、および実践活動と研究活動とのリンゲージ能力が必要である。

そこで当該科目では、看護師・保健師・助産師としての卒後キャリアの第一歩となる職場環境の特性を理解する。また、自己分析法を学び、自身の価値観や志向性、適性の理解を深める。さらに、臨床で活躍する看護職者の活動や研究者の活動の実際を聞き、学生自身が実践家あるいは研究者・教育者としての将来像を考える契機とする。講義後にグループワークや授業内での共有を行い、卒業後のキャリア形成についてより具体的に考える機会を提供する。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和３年					
２月１日(月)	1・2	相見・荻田	看護職者が活躍する環境①	講義・個人ワーク・グループワーク	看１
２月１日(月)	3・4	〃	自己分析	個人ワーク・グループワーク	看１
２月８日(月)	1・2	〃	看護職者が活躍する環境②	講義・個人ワーク・グループワーク	看４
２月８日(月)	3	〃	看護職の活躍の場と求められる能力	臨床で活躍する看護職者の講演	看４
２月８日(月)	4	〃	卒業後のキャリア形成を考える	グループワーク・発表	看４

5　授業形式・視聴覚機器の活用

看護学や看護実践等のエキスパートを講師に招き、講義・個人ワーク・グループワーク・討論を行う。

6　評価方法

授業への取り組み状況（出席・グループワークや発表会への参加度）、課題レポート

7　教科書・参考文献

教科書・参考書は各講師の指示による。

8　学生へのメッセージ

個々の学生は、主体的かつ能動的に学習し、積極的に討論に参加することが必要です。

外　国　文　献

1　担　当　教　員　名

教授・医師　　相　見　良　成（基礎看護学講座）

2　配　当　学　年　等

第４学年　前期　１単位

3　学　習　目　標

諸外国における看護学上の最新のトピックスを原文で読み通すことにより、医学英語の基礎的な能力および看護におけるセンスの向上を目指す。

4　授　業　概　要

看護研究担当の各教員の専門領域に関連した外国語文献を紹介してもらうなり、学生自らが興味のある資料を探索する。日本語に翻訳して、各自レジュメを作成し、他の学生の前でプレゼンテーションをおこなう。その後、内容について話し合うことによってさらに学びを深める。

5　授　業　内　容

具体的な授業内容や方法・期間については、各担当教員の指示に従うこと。

6　授業形式・視聴覚機器の活用

少人数制による話し合いが中心となる。

7　評　価　方　法

評価方法や評価基準については、各担当教員によって違いがあることを事前に了解しておくこと。

なお、第３学年後期に実施したTOEFL ITPテストの結果を、「外国文献」の評価に若干加味するが、その方法等は各担当教員の裁量であることも、併せて了解しておくこと。

8　教科書・参考文献

各担当教員から指示をもらうこと。

9　学生へのメッセージ

積極的に教員と関わり合うことで、是非とも学びを深めて欲しい。

日本語表現法

1　担当教員名

非常勤講師　　神　田　大　輔（立命館大学　非常勤講師）

2　配当学年等

第３学年・編入第３学年　後期後半　１単位

3　学習目標

１．分かりやすい日本語表現ができる力をつける。
２．説得力ある仕方で自分の意見を述べる力をつける。

4　授業概要

この授業では、自分の伝えたいことを正確に表現する方法と、論理的に考え、表現する方法を学習する。学生は授業時間中に作文を行い、担当者がそれを添削して次回に返却する。また、論理的な思考力を高めるための各種のトレーニングを行う。

5　授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和３年					
２月２日(火)	3	神　田	論理的な文章・論文とはどういうものか	論文についての概要	看１
２月２日(火)	4	〃	語について	正しい語の使い方	看１
２月３日(水)	1	〃	注と文献表／文について①	引用の仕方／文の基本形	看４
２月３日(水)	2	〃	文について②	文のよじれ、文末表現	看４
２月４日(木)	1	〃	文と文の関係①	接続表現（順接、逆接）	看１
２月４日(木)	2	〃	文と文の関係②／論文作成	論文作成	看１
２月５日(金)	1	〃	段落と論文全体の構成について	序論・本論・結論の三段構成	看１
２月５日(金)	2	〃	論文作成	レポート執筆作業	看１

6　授業形式・視聴覚機器の活用

個人の学習活動を基本とする。

7　評価方法

出席（30%）と学期末レポート（70%）の合計が60%以上を合格とする。
全回出席を前提とする。やむを得ず欠席する場合は担当教員に連絡すること。レポートの評価基準は授業内で説明する。

8　教科書・参考文献

松葉祥一『ナースのための実践論文講座』（人文書院、2007年）

9　学生へのメッセージ

文章を書くのが苦手だという人は多いですが、他のジャンルに比べると論理的な文章（論文）を書くことはそれほど難しいことではありません。作文と各種のトレーニングを繰り返し行うことで、分かりやすく、論理的な表現ができるようになるでしょう。

看護研究方法論

1　担　当　教　員　名

教授・看護師　桑　田　弘　美（臨床看護学講座）
教　　授　宮　松　直　美（臨床看護学講座）
教　　授　立　岡　弓　子（臨床看護学講座）
教　　授　河　村　奈美子（臨床看護学講座）
教　　授　伊　藤　美樹子（公衆衛生看護学講座）
准　教　授　荻　田　美穂子（臨床看護学講座）

非常勤講師
本　田　可奈子（滋賀県立大学　教授）

2　配　当　学　年　等

第３学年・編入第３学年　前期後半　１単位

3　学　習　目　標

看護専門職者は、患者様などケアをさせて頂く対象となる方々に、常に最高のケアができるよう日々研鑽を重ねている。ケアの質向上を図るために、様々な努力をしているが、特に日々の看護実践の中で生じる疑問を明確にし、解決していく能力が必要となる。看護研究は、この看護実践の基礎となる科学的知識体系を発展させていくために必要なものである。研究の必要性を理解して、卒業研究に取り組むために、看護研究についての基礎知識を習得することを目標としている。

4　授　業　概　要

卒業研究にスムーズに取り組めるよう、研究の導入部分を具体的に教授する。看護研究の特徴等を踏まえ、実際にどのような研究がなされており、どのように研究に取り組んでいくのかを解説し、最終的に研究計画書が書けることを目指す。

5　授　業　内　容

年月日（曜）	時限	担当教員	項　　目	教室
令和２年				
６月９日（火）	3	桑　田	看護研究とは	看１
６月16日（火）	3	伊　藤	看護研究の概観	看１
６月23日（火）	3	荻　田	研究における倫理・文献検討	看１
６月30日（火）	3	立　岡	概念枠組みと仮説	看１
７月７日（火）	3	河　村	質的研究	看１
７月14日（火）	3	宮　松	量的研究	看１
７月21日（火）	3	本　田	研究計画書の書き方	看１
７月28日（火）	3	桑　田	研究の責務	看１

6　授業形式・視聴覚機器の活用

パワーポイント等を使用して教授する。

7　評　価　方　法

看護研究は人に関わる研究が多く、どんな状況においても、研究をしようとする人の倫理性は重要である。学生であっても、倫理的配慮を無視して研究はできない。各講義には必ず倫理的課題を含んでいる。

基本的には３分の２以上の出席と、レポート課題の提出をもって評価するが、欠席した授業の内容によっては、看護研究を許可できない場合がある。その際には、他の講演等を受講するように連絡をするので、必ず看護研究担当教員に相談して、受講をすること。

レポート課題は、最終日に提示する。

8　教科書・参考文献

教科書：特に指定しない。
参考文献：南　裕子編集：看護における研究　日本看護協会出版会他

看　護　研　究

1　担　当　教　員　名

教授・医師　　相　見　良　成（基礎看護学講座）

2　配　当　学　年　等

第４学年　通年　３単位

3　学　習　目　標

目的：学部におけるこれまでの学習成果を基盤として、学生各自が看護学上の疑問・関心に基づいて積極的に先行文献を渉猟・検討し、研究課題を見出す。得られた課題に関連の深い専門分野の教員による指導のもとで看護研究を実施する。それらの一連の過程を通して研究方法の基礎について学び、看護学の発展に寄与する素養を身につけることを目的とする。

4　授　業　概　要

看護研究方法論で学んだことを基礎とし、配属された卒業研究担当教員のもとで、研究計画を洗練し、看護研究論文を作成する。

5　授　業　内　容

決定しているゼミにおいて、看護研究担当教員の直接指導により卒業論文を作成する。文献の探索から調査や実験を経て、卒業論文の作成に至るまでの一連のプロセスについて詳細に学ぶ。

6　授業形式・視聴覚機器の活用

それぞれのゼミおける看護研究担当教員の方針・方法に基づく。

7　評　価　方　法

論文作成過程および論文内容を総合的に評価する。
提出期限：2021年１月14日（木）

8　教科書・参考文献

教科書・参考書は各指導教員の指示を受けること。
なお、参考URLより「論文および抄録作成の手引き」を参照のうえ、規定の書式に基づいて卒業論文を作成し提出すること。

9　学生へのメッセージ

学生は受け身的な態度に終始することなく、積極的に教員と話し合いながら論文作成にあたって欲しい。

10　授業用URL

http://gakunai.shiga-med.ac.jp/hqgaku/soturon_tebiki.PDF

専門看護科目（実習）／
専門看護（実習）

人間発達実習

1 担当教員名

准教授　荻田美穂子（臨床看護学講座）
助教　片寄　亮（臨床看護学講座）
教授　室寺義仁（医療文化学講座　哲学）
教授　桑田弘美（臨床看護学講座）
教授　宮松直美（臨床看護学講座）
講師(学内)　白坂真紀（臨床看護学講座）
助教　東　さおり（臨床看護学講座）
助教　炭本佑佳（臨床看護学講座）
助教　市川瑞希（臨床看護学講座）

非常勤講師
埜田和史
（びわこリハビリテーション専門職大学　教授）

2 配当学年等

第１学年　前期　１単位

3 学習目標

医学・看護学の目的は「人」の「幸せ」に貢献することである。人は「生老病死」の言葉に象徴されるように、心身の発達段階や健康状態に応じて多様な生活を営み一生を終えていく。健康や生活を支える医療や福祉は、人の一生の様々な段階でその役割が求められており、諸君らは、将来、専門家としてそうした社会の要請に応えることになる。人の抱える困難は病苦だけで生じているのではない。心身に障害があるために抱えなければならない困難、年老いたことで生じる困難、孤独や貧困に由来する困難など、諸君らが対峙すべき課題は多様である。また、困難を抱える人を支えているのは医師や看護師など特定の専門家だけではない。家族や地域の人たちの努力や連携が支援の基盤をなしていることを理解しなければならない。

本科目の一部は、医学科（早期体験学習）との合同授業に位置付けており、地域で展開されている医療・保健・福祉の現場に参加体験し、そこで働く人々やその活動を通して、また支援を受けている人たちとの交流を通じて、医学・看護学を学んで行く自分の役割や課題について省察することを目的としている。

1．様々な発達段階にある人の生活や健康状態を捉える
2．病気や障がい、加齢に伴う機能低下をもつ人やその家族の心理、生活、闘病上の困難と工夫を知る
3．看護が対象とする人々の健康へのニード、医療への期待や看護の役割・課題について省察を深める
4．人間の尊厳を尊重した関わり方を学ぶ
5．保健・医療・福祉現場におけるチームケアの実際を知る
6．今後、医療者として成長するために必要な自己課題を明らかにする

4 授業概要

本授業は、学生諸君が病院・診療所や福祉施設、また地域で実施される関連行事において自身で体験的に関与し、医療や福祉支援を必要とする人たちやそういった人々を支える多くのスタッフと交流することにより成立する。また、自分の体験や発見した課題について、同級生や教員と交流しながら話し合い、お互いに共有することを通じて学びを深化させる。

詳細は実習要項を参照すること。

5 授業内容

人間発達実習（医学科の早期体験学習と合同）は、医療・保健・福祉の現場を実際に訪れ、そこで働く人々やそこでサービスを受ける人々と交わり、その体験を通じて医学・医療の役割や課題についての省察を一層深めることを目的に、夏季休暇中の３～４日間を利用して実施する。例年、受講した学生が高く評価している授業である。2020年度における体験型実習の実施内容を例示する。実習に応じていただける施設の数は年毎に増えており、多様な実習が可能となっている。

1．社会医療法人 誠光会 草津総合病院（@草津市）
　病院医療（診療、検査、看護）やリハビリテーションに参加する。
2．公立甲賀病院（@甲賀市）
　病院医療（診療、検査、看護）やリハビリテーションに参加する。
3．市立長浜病院（@長浜市）
　病院医療（診療、検査、看護）やリハビリテーションに参加する。
4．医療法人明和会 琵琶湖病院（@大津市）
　認知症治療病棟における高齢者医療の実際にふれ、認知症高齢者の日常生活や諸事に参加する。
5．滋賀医科大学医学部附属病院（@大津市）
　産婦人科病棟（６Ａ病棟）内で、大学病院における医療（診療、救急医療、検査）に参加する。
6．医療法人社団美松会 生田病院（@湖南市）
　病院医療（診療、検査、看護）やリハビリテーションに参加する。
7．医療法人総心会 長岡京病院（@京都府長岡京市）
　病院医療（診療、検査、看護）やリハビリテーションに参加する。

8．滋賀勤労者保健会 膳所診療所（@大津市）
診療所における地域医療・保健活動、住宅医療の実際にふれ、往診・訪問看護・デイケアに参加する。
9．滋賀勤労者保健会 坂本民主診療所（@大津市）
診療所における地域医療・保健活動、住宅医療の実際にふれ、往診・訪問看護・デイケアに参加する。
10. しが健康医療生活協同組合 こうせい駅前診療所（@湖南市）
診療所における地域医療・保健活動、住宅医療の実際にふれ、往診・訪問看護・デイケアに参加する。
11. 社会福祉法人 湖青福祉会 ケアタウンからさき（@大津市）
介護老人福祉施設、デイサービス・ショートステイといった要介護認定者の社会サービスの実際にふれ、施設内での医療・看護・介護や利用者の日常生活・諸事に参加する。
12. 滋賀県立むれやま荘（@草津市）
急性期を脱した障害者の社会復帰に向けた機能訓練に参加する。
13. 社会福祉法人 本願寺龍谷会 特別養護老人ホーム ビハーラ本願寺（@京都府城陽市）
施設やスタッフにおける宗教や理念・ケア方針を知り、施設内で生活を送る高齢者の日常生活や諸事に参加する。
14. 一般財団法人 本願寺ビハーラ医療福祉会 あそかビハーラ病院（@京都府城陽市）
緩和ケア施設や緩和ケア施設で働く専門職種の機能や実際に触れ、施設利用者やその家族の日常生活や諸事に参加する。
15. 地域包括ケアセンター いぶき（@米原市）
地域医療を展開する病院医療（診療、検査、看護）やリハビリテーションに参加する。
16. しがなんれん作業所（@栗東市）
障害を抱えて生活する者やその家族を支援することを目的とした就労訓練に参加する。
17. 滋賀県立障害者福祉センター（@草津市）
心身障害者の教養の向上・健康の増進・社会との交流促進等を目的としたリハビリテーションやレクレーションに参加する。
18. 滋賀県中央子ども家庭相談センター（@草津市）
非行や虐待相談といった様々な家庭背景を抱える子ども達と交流する。
19. 社会福祉法人 びわこ学園医療福祉センター草津（@草津市）
重度心身障害者（児）の医療（診療・看護・リハビリテーション）及び地域生活（通園・ショートステイ）の実態に触れ、利用者の施設内生活に参加する。
20. 社会福祉法人 びわこ学園医療福祉センター野洲（@野洲市）
重度心身障害者（児）の医療（診療・看護・リハビリテーション）及び地域生活（通園・ショートステイ）の実態に触れ、利用者の施設内生活に参加する。
21. 大津市障害児サマースクール（@大津市）
夏期休暇中の障害児サマースクールに参加し、障害児や障害児をとりまく親・教師と交流する。
22. 社会福祉法人 にぎやか会 放課後等ディサービス「きぼう」（@草津市）
在宅で生活する重度心身障害児における通所型の生活訓練・集団適応訓練・健康増進等の活動に参加する。
23. 栗東市サマーホリデー（@守山市）
夏期休暇中の障害児サマースクールに参加し、障害児や障害児をとりまく親・教師と交流する。
24. 滋賀県済生会訪問看護ステーション（@栗東市）
慢性疾患や難病を抱え在宅で療養生活を送っている者への訪問看護に同行する。
25. 滋賀県済生会訪問看護ステーション草津（@草津市）
慢性疾患や難病を抱え在宅で療養生活を送っている者への訪問看護に同行する。
26. 公益社団法人 滋賀県看護協会訪問看護ステーション（@東近江市）
慢性疾患や難病を抱え在宅で療養生活を送っている者への訪問看護に同行する。
27. 公益財団法人 近江兄弟社 訪問看護ステーションヴォーリズ（@近江八幡市）
慢性疾患や難病を抱え在宅で療養生活を送っている者への訪問看護に同行する。
28. 公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリズ記念病院（@近江八幡市）
地域に密着した病院医療（急性期医療・回復期医療／リハビリテーション・終末期医療）に参加する。
29. 社会福祉法人 おおつ福祉会 社会就労センター こだま（@大津市）
障害を抱えて生活する者やその家族を支援することを目的とした就労訓練に参加する。

年月日(曜)	時　限	担当教員	項　　目	教室
令和２年				
６月11日(木)	2	荻田・室寺・埜田	医学科看護学科合同説明会	臨３
７月３日(金)	5	荻　田	課題学習の説明	看２
７月６日(月)	4	桑　田	小児期の特徴	看２
７月６日(月)	5	宮　松	成人期の特徴	看２
７月13日(月)	5	荻　田	老年期の特徴	看３
９月23日(水)	1・2・3・4	荻田・室寺・埜田	小グループ「早期体験学習・人間発達実習」交流会（※多目的教室1～12）	
９月24日(木)	1・2・3・4	〃	小グループ「早期体験学習・人間発達実習」交流会（※多目的教室1～12）	
９月25日(金)	1・2・3・4	〃	小グループ「早期体験学習・人間発達実習」交流会（※多目的教室1～12）	
９月28日(月)	1・2・3・4	〃	小グループ「早期体験学習・人間発達実習」交流会（※多目的教室1～12）	
９月29日(火)	1・2・3・4	〃	人間発達実習まとめ（※看護学科のみ）	看４

6　授業形式・視聴覚機器の活用

期間：2019年６－９月

１．特別講義：

１年生前期科目「生涯発達論」の学びに、補完として小児・成人・老年の各発達段階の特徴についての講義を受け、各発達段階の特徴および実習中の観察点についてレポートにまとめる。計４コマ。

１．課題学習の説明
２．小児期の特徴
３．成人期の特徴
４．老年期の特徴

２．体験型実習：

８－９月の指定された期間（３～４日間）に配置された施設（医療施設・介護福祉施設・社会福祉施設）における活動の実際を見学し、施設利用者や患者とコミュニケーションを図ること及び施設における看護職の役割を観察する（医学科と合同）。

※参加する施設・行事によって体験内容は異なる。単なる見学や講義型の授業ではなく、受け入れ施設・行事の指導者の指示の下に、施設・行事の一員として「少しでも役に立ち、できること」に取り組む参加型の授業を基本とする。

※「医学概論」の授業内で、実習に関する説明や事前グループワークがあります。本科目と連動していますので、必ず出席するようにしてください。

３．体験交流会・発表会：

○体験交流会（医学科と合同）は、少人数による発表意見交換形式で行う。９月の第４～５週の１～４限目のいずれか１コマにそれぞれ割り当てられる。

○発表会（看護学科のみ）は、第５週のいずれか１日１－４限で行う。グループワークを通して、自分が配置された施設だけでなく他施設での体験や学びを共有し、まとめ、「人間発達実習」を発表する。

7　評　価　方　法

試験は行わない。特別講義、決められた日数の体験学習参加、体験交流会・発表会への参加、各レポートの提出と受理は単位認定の必須事項とし、出席状況、実習内容、実習記録、グループワークや発表会での参加状況、自己評価から総合的に評価する。

○医学科との共通課題；体験学習後にレポートの提出を求める。レポートでは、体験内容、体験を通じて発見した自分の課題等について記載し論考する。また、体験交流会終了後、交流会内容および交流会の成果についてレポート提出を求める。提出されたレポートについて、看護学生として真摯に課題に対峙する姿勢および記述の論理性について、4段階で評価する。受理に値しないと判断されたレポートは再提出を求める。

○看護学科単独課題；特別講義後のレポート、体験学習での課題レポートの提出を求める。

8　教科書・参考文献

滋賀医科大学：医学・保健・医療・看護と人権

その他は、医学概論および人間発達実習の授業の際に随時示す。

9　オフィスアワー（授業相談）

随時お受けします。個人研究室へお越しください。

事前に荻田宛（tan3434@belle.shiga-med.ac.jp）にメールをいただけると十分な相談時間を設けて対応できるので助かります。

10　学生へのメッセージ

学生の皆さんの体験学習を受け入れて下さる施設・行事は、心身の困難を抱えた人たちを支援する第一線の現場です。個人のプライバシーや人権に対して十分に配慮した責任ある行動を厳しく求めます。また、医学・看護学を学び始めた「１年生」にふさわしい「謙虚」な姿勢で、多くの人たちから学んでもらいたいと願っています。

地域で展開されている保健・医療・福祉の実践活動に触れ、看護が対象とする様々な発達段階にある人々への理解を深め、健康へのニードを体験できるよう自己課題を明確にして挑んでください。また、臨地実習では医学科との合同で行いますので、各専門領域の果たす役割や求められている立場を知り、将来共に働く医療チームメンバーとして今後どのように関わっていけるのか学んでください。

基礎看護学実習Ⅰ

1　担当教員名

准教授　中西京子（基礎看護学講座）
教　授　伊藤俊之（臨床教育講座）
准教授　向所賢一（病理学講座　人体病理学部門）
准教授　川崎　拓（医師臨床教育センター）
助　教　山下　敬（基礎看護学講座）
助　手　岡　美登里（基礎看護学講座）

2　配当学年等

第１学年　後期　１単位

3　学習目標

1．医療・看護が提供されている場としての附属病院において、病院の機能・構造や特徴を理解する。
2．附属病院においてどのような職種の人々が患者の療養生活を支えているか理解する。
3．看護師の患者との関わりの実際を見学することと、患者の受け持ち経験をもとに、看護師の役割と機能、ならびに患者との信頼関係の構築のあり方を考察する。
4．患者とのコミュニケーションを通して、附属病院における患者の生活の過ごしかた（療養生活）・療養環境を患者の立場から理解する。
5．患者の療養生活における医療者としての倫理的態度を理解し、学生としての自己の課題を明確にできる。
6．特定機能病院としての附属病院で行われている先端医療を理解する。

4　授業概要

滋賀医科大学医学部附属病院を見学することで、病院の理念、特定機能病院としての附属病院の機能や特徴を理解する。具体的には、附属病院で働く看護師の患者への看護活動（生活支援）、附属病院の各部署（薬剤部、放射線部、栄養治療部、リハビリテーション部、検査部、救急部（ヘリポートを含む）、防災倉庫、地下・電源装置）で働く方々の多様な活動を見学する。これらの体験を通して、療養生活を送る患者に対する環境の影響や、患者の療養生活上のニード、看護師患者関係について考察する。さらに、人間発達実習の学びをふまえ、療養生活と地域の暮らしとのつながりを考え、人々の健康と生活に対するニードと看護師の機能と役割について自己の考えを明らかにするとともに、医療者としての倫理的態度や自己の課題を省察し明確にする。

5　授業内容

詳細は、以下のとおりである。
なお、令和２年11月17日５限は、実習オリエンテーションを行う。

年月日（曜）	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
12月14日（月）	1	松末・西村・加賀・伊藤・向所・中西・山下・岡	実習オリエンテーション（講義）	実習に関する全体説明	臨3
12月14日（月）	2	中西・伊藤・向所・山下・岡	講義	グループワークを始めるための講義	臨3
12月14日（月）	3	〃	グループワーク（リップルテラス会議室１）	看護師同行実習Ⅰに関する １．自己目標 ２．グループ目標 を作成するためのグループワーク	臨3
12月14日（月）	4	川　崎	講義（リップルテラス会議室1）	医師同行実習について	臨3
12月15日（火）	1・2	各部署担当者	看護師同行実習Ⅰ（各部署） 各部署説明（臨３）	看護師同行実習Ⅰ、各部署説明・見学	臨3
12月15日（火）	3・4	〃	看護師同行実習Ⅰ（各部署） 各部署見学（各部署）	看護師同行実習Ⅰ、各部署見学実習	臨3
12月16日（水）	1・2	〃	看護師同行実習Ⅰ（各部署） 各部署説明（臨３）	看護師同行実習Ⅰ、各部署見学実習	臨3
12月16日（水）	3・4	〃	看護師同行実習Ⅰ（各部署） 各部署見学（各部署）	看護師同行実習Ⅰ、各部署見学実習	臨1
12月17日（木）	1	〃	実習（臨床講義室３に集合）	（医学科）医師に同行し、１日の仕事内容を見学・体験する。 （看護学科）看護師同行実習Ⅱ患者とのコミュニケーション実習	臨1・臨3

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年 12月17日(木)	2	各部署担当者	実習	(医学科) 医師に同行し、１日の仕事内容を見学・体験する。 (看護学科) 看護師同行実習Ⅱ患者とのコミュニケーション実習	臨1
12月17日(木)	3・4	(医学科) 各部署担当者 (看護学科) 中西・山下・岡	(医学科) 実習 (看護学科) グループワーク(臨１)	(医学科) 医師に同行し、１日の仕事内容を見学・体験する。 (看護学科) グループワーク	臨1
12月18日(金)	1・2	中西・伊藤・向所・西村・加賀・山下・岡	グループワーク	看護師同行実習Ⅰの振り返り	臨3
12月18日(金)	3・4	〃	発表会 (リップルテラス会議室1にて)	看護師同行実習Ⅰの振り返りに関する班別発表と全体討議	

6　授業形式・視聴覚機器の活用

医学科学生と合同で行う。ただし、看護師同行実習Ⅰについては、ＡとＢに分かれ、看護師動向実習Ⅱについては、看護学科は患者受け持ち実習とし、看護師とともに受け持ち患者のケアに参加し、患者とコミュニケーションをとる。

本実習では最終的に、療養生活と地域の暮らしとのつながりを考え、人々の健康と生活に対するニードと看護師の機能と役割について自己の考えを明らかにするため前提科目として人間発達実習を履修していることとする。

7　評　価　方　法

1．全日程の出席をもって評価の要件とする。無断早退・無断遅刻・無断欠席は認めない。
2．以下のグループ成果物、個人レポート・臨床指導者の評価を５段階で評価し、総合したものを成績評価とする。
- グループ成果物①：学びについてグループワークとプレゼンテーションを医看合同で行い、その成果物を提出する。
- グループ成果物②：コミュニケーション実習の学びの成果を個人記録、グループワークとプレゼンテーションで行い、提出する。
- 個人レポート：終了後、実習を通じて省察した自分の課題等について論考し、レポートとして提出する。
- 臨床指導者の評価：附属病院の臨床指導者の実習態度について評価を成績評価に含める。

3．受理に値しないと判断されたレポートは再提出を求める場合がある。

8　教科書・参考文献

必要時、随時提示する。

9　学生へのメッセージ

実習を受け入れて下さる施設・行事は、心身の困難を抱えた人たちを支援する第一線の現場である。個人のプライバシーや人権に対して十分に配慮した責任ある行動を厳しく求める。また、医学・看護学を学び始めた「１年生」にふさわしい「謙虚」な姿勢で、多くの人たちから学んでもらいたい。

基礎看護学実習Ⅱ

1　担当教員名

准教授　中西京子（基礎看護学講座）
助教　山下　敬（基礎看護学講座）
助手　岡　美登里（基礎看護学講座）

2　配当学年等

第２学年　前期　２単位

3　学習目標

1．受け持ち患者との援助的人間関係を形成できる。
2．受け持ち患者を通して看護過程の展開を実施できる。
3．保健・医療・福祉チームの一員として周囲の人々と連携できる。
4．看護の対象となる人々の人格を尊重した行動がとれる。

4　授業概要

看護の対象を身体・心理・社会面から統合的に理解し、看護過程を展開する基礎的能力を養う。

5　授業内容

詳細は実習要項に提示する。

6　授業形式・視聴覚機器の活用

期間：２週間（2020年９月）
1．一斉講義：実習目的・目標、内容、方法の説明、特別講義
2．１名の患者を受け持ち、看護過程を展開する。

7　評価方法

出席状況、実習内容、実習記録、レポートによる総合評価
なお、出席状況については、実習全体の2/3以上の出席が単位認定要件である。

8　教科書・参考文献

必要時参考文献を提示する。

9　学生へのメッセージ

実習を受け入れて下さる施設、および対象者の個人のプライバシーや人権に対して十分に配慮した責任ある行動を厳しく求める。また、自己の健康管理に十分に留意し、実習に臨むこと。

育成期母性看護学実習

1　担当教員名

教　　授　立岡弓子（臨床看護学講座）
教　　授　喜多伸幸（臨床看護学講座）
講　　師　土川　　祥（臨床看護学講座）
助　　教　中井抄子（臨床看護学講座）
助　　教　花原恭子（臨床看護学講座）
助　　教　吉川芙雪（臨床看護学講座）

2　配当学年等

第3学年　後期・第4学年　前期　2単位

3　学習目標

1．周産期における妊産褥婦と新生児の生理的変化が理解できる
2．周産期における母児とその家族の健康問題について、ウエルネスの看護診断をもとにアセスメントすることができる
3．総合的に対象の母児について理解し、看護ケアの立案をすることができる
4．周産期における母子のケアを実践し、評価することができる
5．母子への看護を通して、母子相互作用について理解することができる
6．ハイリスクの妊婦及び褥婦のケアについて理解することができる
7．母性看護学の特徴を整理し、自己の母性に関する考え方を明確にできる
8．母子保健チームの一員として、周産期に携わる助産師・看護師の役割と責任について理解することができる
9．大学病院、産科クリニック、助産施設における母子医療について、その特性を理解し、母子とその家族に果たす役割と地域連携を考えることができる

4　授業概要

妊娠・分娩・産褥期の女性及び胎児期を含む新生児とその家族における身体的・心理的・社会的特性を理解し、看護診断をもとに必要な母性看護を実践するための能力を養う。

5　授業形式・視聴覚機器の活用

臨地実習

6　評価方法

2/3以上の出席（10%）、記録（30%）、カンファレンスへの参加状況（20%）、態度（20%）、面接評価（20%）
面接評価は、各週の最終日に個人面接を行う。

7　教科書・参考文献

教科書：
横尾京子他編：母性看護実践の基本，メディカ出版，第3版，2016.
立岡弓子編著：「新訂版　周産期ケア・マニュアル　第2版」サイオ出版，2014　　テキストISBN番号　978-4-260-00530-2
参考文献：
立岡弓子編著：乳房ケアのエビデンス　日総研出版，2013

8　学生へのメッセージ

周産期看護において、ウエルネス理論、オレムのセルフケア理論に基づいた看護過程を展開し、必要な看護技術、保健指導を行います。

育成期小児看護学実習

1　担当教員名

教授•看護師　　桑　田　弘　美（臨床看護学講座）
講師(学内)　　白　坂　真　紀（臨床看護学講座）

2　配当学年等

第３学年　後期・第４学年　前期　２単位

3　学習目標

子どもは成長発達途上であること、個性のある人格であること、家族・地域社会の一員として生活していることを理解し、小児の健康の保持・増進・回復への援助を考え、看護実践する能力を養う。

1．小児の発達段階の特徴や健康障害による影響を理解し、援助の必要性を考える。
2．小児の健康レベルや発達段階に応じた看護を実践する。
3．小児の健康障害が家族に与える影響を理解し、援助を考える。
4．小児の地域での生活を想定し、継続看護と多職種との連携について考える。
5．NICUの特徴と看護について考えることができる。
6．小児と家族に人権を尊重したケアの必要性を理解する。

4　授業概要

子どもは成長発達途上であること、個性のある人格であること、家族・地域社会の一員として生活していることを理解し、小児の健康の保持・増進・回復への援助を考え、看護実践する能力を養う。

5　授業内容

実習場所：滋賀医科大学医学部附属病院、NICU/GCU病棟、小児科外来
実習方法：１名の患児を受け持ち、入院生活を送っている子どもとその家族への看護過程を展開する。小児への看護の実践から、地域で生活する小児と小児を取り巻く環境についての視点を持ち、必要な援助について考える。

1．受け持ち患児への看護…看護過程を展開する。
2．小児科外来実習…診察場面の見学、看護師の業務等を見学、検査・処置の介助。継続看護について考える。
3．NICU/GCU実習…診察場面の見学、看護師の業務等を見学、ケアの実践、検査・処置の見学。ファミリーセンタードケア、ディベロップメンタルケアなど、看護の特徴を学ぶ。

詳細は、実習要項。

6　授業形式・視聴覚機器の活用

1．１名の患児を受け持ち、入院生活を送っている子どもとその家族への看護過程を展開する。
2．子どもへの看護の実践から、地域で生活する子どもと子どもを取り巻く環境についての視点を持ち、必要な援助について考える。
3．NICU/GCU、小児科外来では、診察場面の見学、指導者と一緒にケアを実践する。継続看護、家族看護について学ぶ。

7　評価方法

出席状況、実習態度、実習記録を総合的に評価する。

8　教科書・参考文献

発達段階からみた小児看護過程　医学書院
小児看護学実習DVD　医学映像教育センター
第１巻　小児看護学実習の特徴と看護学生の心得
第２巻　小児病棟での実習の実際
第３巻　小児科外来とNICU・GCU実習の実際

9　学生へのメッセージ

1．学生自身の小児期感染症の罹患状況を把握しておく。
2．自分の健康管理を心がけ、感染症症状など異常がある場合は、速やかに受診し、担当教員・臨床指導者に連絡する（自己判断しない）。
3．子どもの安全を確保し、事故防止に留意する。
4．子どもたちは、受け持ちをする学生と遊んだり、勉強したりすることを、とても楽しみにしている。そのため、体調管理には十分に留意し、休まないこと、約束は必ず守ることを心がけてほしい。

成人保健看護学実習

1　担　当　教　員　名

教授・看護師　宮　松　直　美（臨床看護学講座）
助　　教　東　　さおり（臨床看護学講座）
助　　教　炭　本　佑　佳（臨床看護学講座）
助　　教　市　川　瑞　希（臨床看護学講座）

非常勤講師
呉　代　華　容

2　配　当　学　年　等

第３学年　後期・第４学年　前期　６単位

3　学　習　目　標

主として成人期の入院患者を受け持ち、慢性期・急性期などさまざまな健康レベルにある対象者を多面的に理解し、健康の回復および維持、向上のための看護実践に必要な基本的な知識・技術・態度を習得する。また、対象者の療養支援上必要な種々の専門的介入方法について学び、健康障害から回復にむけての過程における保健医療チームのかかわりと看護の役割を理解する。

4　授　業　概　要

以下、詳細は実習要項を参照

5　評　価　方　法

出席状況、実習中の行動、実習記録およびレポートによる総合評価

高齢者看護学実習Ⅰ

1　担当教員名

准教授　荻田　美穂子（臨床看護学講座）
助教　片寄　亮（臨床看護学講座）

2　配当学年等

第3学年　前期　2単位

3　学習目標

1．高齢者とコミュニケーションがとれる。
2．高齢者の身体的・精神的・社会的特徴が理解できる。
3．高齢者の特徴が日常生活に及ぼす影響を理解できる。
4．老年期にある人の発達課題が理解できる。
5．高齢者を取り巻く社会資源が理解できる。
6．高齢者を尊重した姿勢や態度で接することができる。

4　授業概要

詳細は実習要項を参照すること。

5　授業内容

1．特別講義（高齢者に対する医療・福祉・リハビリテーションに関する講義）
　講義の詳細は実習オリエンテーションで提示する。
2．滋賀医科大学医学部附属病院の外来（3日間）での実習
3．高齢者福祉施設（3日間）での実習
4．グループワークと発表会を通した「高齢者看護学実習Ⅰ」の振り返りと統合

6　授業形式・視聴覚機器の活用

期間：2020年9月7－18日（土日祝日は除く）

1．特別講義：
　高齢者における医療面、福祉面、リハビリテーション面に対してそれぞれの臨床現場の専門家からの講義を受け、これまで学んできた高齢者看護との知識を統合させる。また、得られた知識に対して考察を行い、レポートにまとめる。
2．臨地実習：
　配置された外来診療科・高齢者福祉施設（各1箇所）において、実習指導者の指導の基で高齢者やその家族との接触を図り、高齢者の身体的・精神的・社会的特徴を学ぶ。詳細は実習要項及びオリエンテーションにて説明する。
3．発表会：
　臨地実習グループメンバーで臨地実習での体験や学びを共有する。また、配置された外来診療科・高齢者福祉施設の特徴を踏まえて共有した体験・学びを考察し、まとめる。さらに、発表会を通して学年全体として学び・考察を共有することで「高齢者看護学実習Ⅰ」を統合する。

7　評価方法

出席状況、講義への参加状況、実習内容、実習記録、実習態度、自己評価から総合的に評価する。

8　教科書・参考文献

教科書：指定なし（特別講義では資料を配布する）
参考文献：なし

9　学生へのメッセージ

臨地・臨床実習で求められている学生としての本質を念頭に、どのような姿勢で実習に挑むべきであるのか十分に考えてください。また、高齢者と接するにあたって留意しなければならないことは何なのか、高齢者にとって受け入れやすい若輩者とはどのような姿であるのかについても十分に考えた上で実習に参加してください。

高齢者看護学実習Ⅱ

1　担当教員名

准教授　荻田　美穂子（臨床看護学講座）
助教　片寄　亮（臨床看護学講座）

2　配当学年等

第3学年　後期・第4学年　前期　2単位

3　学習目標

1．高齢者の身体的・精神的・社会的特性が説明できる。
2．高齢者に合わせたコミュニケーション法を用いて情報収集することができる。
3．対象の疾病や治療内容及び加齢が生活に及ぼす影響をアセスメントし、看護問題を抽出することができる。
4．対象の健康レベルや本人・家族の希望を踏まえた目標設定ができる。
5．対象の残存機能や強みを最大限に活かした看護を実践・評価できる。
6．対象およびその家族の思いや希望を把握し、在宅や施設での日常生活が送れるよう退院支援について考えることができる。
7．高齢者を「人生の先輩としての個人」として尊重する態度がとれる。
8．他職種との連携や協力について考えることで、医療チーム内での看護職の役割を理解することができる。
9．実習を通して高齢者看護観を語ることができる。

4　授業概要

詳細は実習要項を参照すること。

5　授業内容

実習場所：滋賀医科大学医学部附属病院2D病棟（整形外科）、もしくは6Ｃ病棟（糖尿病内分泌内科・腎臓内科・脳神経内科・放射線科）

実習内容：病棟に入院中の高齢者を受け持ち、個別性の大きい老年期における疾病管理や身体的・精神的・社会的特徴、さらには人生観が高齢者の日常生活や健康管理行動に及ぼす影響を考察し、疾患を抱えた高齢者が療養・在宅生活を送るための看護過程を展開する。

6　授業形式・視聴覚機器の活用

期間：2週間（土日祝日を除く）

実習期間中は、基本的に同一の入院中高齢者を1名受け持ち、看護過程を展開する。また、高齢者看護における疑問点や学びを共有し発展させるためのテーマカンファレンスと、受け持ち高齢者の看護問題及び看護計画を討議するためケースカンファレンスを行う。実習最終日には、教員との個別面談を通して実習での学びや課題を明確にする。詳細は実習要項に記載する。

7　評価方法

出席状況、実習内容・態度、実習記録、個人面談から総合的に評価する。

8　教科書・参考文献

教科書：指定なし

参考文献：「ライフステージと健康Ⅴ」及び「高齢者看護学」での講義資料を活用すること。

9　学生へのメッセージ

臨地・臨床実習で求められている学生の姿勢で実習に挑んでください。また、高齢者の全体像を捉えるための方法論や看護展開方法を事前に十分学習し、円滑な看護展開が行えるよう努めてください。

精神看護学実習

1　担　当　教　員　名

教授•看護師　　河　村　奈美子（臨床看護学講座）
講師(学内)　　藤　本　智　美（臨床看護学講座）

2　配　当　学　年　等

第３学年　後期・第４学年　前期　２単位

3　学　習　目　標

目的：精神を障害された個人およびその家族を理解し、精神の健康の回復に向けた治療的な関わりができる基礎的な能力を養う。
目標：
1．精神障がい者をありのままに理解することができる。
2．精神障がい者と治療的患者－看護師関係を構築することができる。
3．対象の個別性にあった看護過程を展開することができる。
4．精神医療における看護の役割・機能を理解することができる。
5．看護学生として、治療チームの一員として責任ある行動や主体的な学習態度をとることができる。

4　授　業　概　要

詳細については実習要項をよく読んでおくこと。

5　授　業　内　容

実習施設：滋賀医科大学医学部附属病院１Ｃ病棟／滋賀県立精神医療センター
実習方法：各施設において１名の入院患者を受け持ち、自我構造やオレム・アンダーウッドのセルフケアモデルを用いて、対象を理解し、必要な援助について学ぶ。
その他、詳細については実習要項を参照する。

6　授業形式・視聴覚機器の活用

受け持つ患者の疾患や重症度などについては、実習施設や病棟により異なることがある。

7　評　価　方　法

出席状況、実習記録、カンファレンスにおける発言、患者との関わりや実習に臨む際の態度を客観的に観察し、実習指導者と教員の評価に加え学生の自己評価も参考にして、これらを総合的に評価する。

8　教科書・参考文献

教科書：これまで使用したテキストを使用してください。
参考文献：参考文献：講義資料やこれまでの学習で用いた資料。その他、参考文献等は適宜提示します。

9　オフィスアワー（授業相談）

電話やメールによる事前連絡の上で、時間調整することを前提に随時対応します。

10　学生へのメッセージ

臨床における実践的な実習ではさまざまな不安や困難に遭遇すると思いますが、遠慮することなく教員や指導者に相談し、適宜アドバイスをもらうことが大切です。
また、精神科病棟は他の診療科の病棟と異なり「精神保健福祉法」に基づく多くの規制があるため、オリエンテーションの内容に留意し、それらを遵守することが重要です。

在宅看護学実習

1　担当教員名

教　　授　伊藤　美樹子（公衆衛生看護学講座）
講　　師　輿水　めぐみ（公衆衛生看護学講座）
助　　教　田渕　紗也香（公衆衛生看護学講座）

2　配当学年等

第３学年　後期・第４学年　前期　２単位

3　学習目標

1．地域の特性を踏まえ、地域ケアシステムの中で看護職の果たす役割と専門的知識・技能について説明できる。
2．保健・医療・福祉等の多職種と連携しながら、対象の特性を踏まえた看護計画を立案し、実践するための基本的能力と態度を養う。

4　授業概要

詳細は実習要項参照

5　授業内容

滋賀県一円の訪問看護ステーションにおいて実習する。

6　授業形式・視聴覚機器の活用

実習の前にオリエンテーションを行う。履修する学生は出席が必要である。

7　評価方法

出席状況、課題達成度、実習態度、実習記録より総合的に評価する。

8　教科書・参考文献

必要時に適宜提示する。

9　オフィスアワー（授業相談）

質問や相談は随時受け付けます。必ず事前にメールや電話でアポイントを取るようにしてください。

10　学生へのメッセージ

・自己の健康管理に充分に留意し、実習に臨むこと。
・在宅療養者とその家族が利用する社会資源と関連する法律や制度について、よく理解した上で実習に臨むこと。

統合看護学実習

1　担当教員名

教　　授　伊藤　美樹子（公衆衛生看護学講座）
准教授　中西　京子（基礎看護学講座）

2　配当学年等

第4学年　前期　2単位

3　学習目標

1．看護管理の基礎となる組織管理、リーダーシップ等の諸理論を理解する。
2．看護管理実践を見学し、組織とシステムを理解して、看護の質を維持・向上させる看護管理の意義と役割を学ぶ。
3．さらに、医療における危機管理や、看護倫理、他部門とのコーディネートの必要性を学ぶ。
4．複数の患者を受け持つ看護スタッフに同行し、ケアの優先性の判断、他の看護職や他職種との連携、ケアの継続性等、看護のメンバーシップと役割を理解する。
5．看護管理者や看護スタッフの看護観や言動の意味を理解し、自己の人間的成長と看護観の育成を図る。
6．看護学を学ぶ者として必要な今後の自己の学習課題を明確にする。

4　授業概要

看護管理、複数患者の看護、メンバーシップ等の見学実習を通して、看護サービスを効果的・効率的・継続的に提供する看護システムと機能を理解し、看護実践に参画する能力を育成することを実習目的とする。

5　授業内容

以下、『実習要項』中の『統合看護学実習』参照

6　評価方法

出席状況、実習態度、実習記録、レポートによる総合評価
なお、出席状況については、実習全体の2/3以上の出席が単位認定要件である。

7　教科書・参考文献

参考文献：必要時に適宜提示する。

保 健 師 課 程

家 族 看 護 学

1 担 当 教 員 名

講　　師　　輿　水　めぐみ（公衆衛生看護学講座）
助　　教　　田　渕　紗也香（公衆衛生看護学講座）

2 配 当 学 年 等

第３学年・編入第３学年　後期後半　２単位

3 学 習 目 標

1．保健師の援助方法するである保健指導を構成する技術について理解を深める。
2．援助対象としての家族のとらえ方と家族を含めた援助の基本を理解する。
3．家族を分析する理論やモデルをもとに家族のアセスメントができる。
4．地区活動の手段として健康相談、家庭訪問の基礎的技術を理解する。
5．家族に対する看護職の支援者としての役割を考えることができる。

4 授 業 概 要

地域に暮す人々について、個人およびその家族について家族看護理論の枠組みをもとにアセスメントし、健康問題や健康課題について支援を展開することは、地域集団の健康レベル向上を目指した看護活動の基礎となる。本講義では代表的な事例を通して、個人およびその家族の健康問題や健康課題を理解するとともに、支援の考え方および支援方法の基礎について学習する。

5 授 業 内 容

個人およびその家族の健康問題や健康課題について理論的枠組みを用いて検討する。
講義日程と場所は詳細が決まり次第通知する。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
12月15日(火)	3	輿　水	ガイダンス 総論	保健師が行う保健指導の特徴 保健指導の技術 健康相談･家庭訪問の展開	看２
12月18日(金)	3	〃	総論	家族相談援助論 家族を単位とした看護の展開	看２
12月18日(金)	4	〃	総論	家族アセスメントの基礎となる理論①	看２
12月25日(金)	3	〃	総論	家族アセスメントの基礎となる理論②	看２
12月25日(金)	4	〃	総論	援助者の役割・援助姿勢 保健師の活動記録と取扱い	看２
令和３年					
１月４日(月)	3	輿水・田渕	家族看護の実際（演習）： 健康相談の展開	妊娠の届け出･母子健康手帳の交付：援助計画 グループワーク	看２
１月４日(月)	4	〃	家族看護の実際（演習）： 健康相談の展開	妊娠の届け出･母子健康手帳の交付：ロールプレイによる実施・評価	看２
１月８日(金)	3	〃	家族看護の実際（演習）： 健康相談の展開	妊娠の届け出･母子健康手帳の交付：まとめ	看２
１月８日(金)	4	〃	家族看護の実際（演習）： 家庭訪問の展開	乳児の訪問指導：援助計画① グループワーク	看２
１月18日(月)	3	〃	家族看護の実際（演習）： 家庭訪問の展開	乳児の訪問指導：援助計画② 保健指導に用いる知識･技術（健康支援･子育て支援）	看２
１月18日(月)	4	〃	家族看護の実際（演習）： 家庭訪問の展開	乳児の訪問指導：ロールプレイによる実施・評価①	看２
１月22日(金)	3	〃	家族看護の実際（演習）： 家庭訪問の展開	乳児の訪問指導：ロールプレイによる実施・評価②	看２
１月22日(金)	4	〃	家族看護の実際（演習）： 家庭訪問の展開	ハイリスク家庭への支援①	看２
１月29日(金)	3	〃	家族看護の実際（演習）： 家庭訪問の展開	ハイリスク家庭への支援②	看２
１月29日(金)	4	〃	家族看護の実際（演習） まとめ	個々の援助ニーズの保健事業や施策への反映	看２

6　授業形式・視聴覚機器の活用

上記授業の順序などは、一部変更する場合がある。適宜、視聴覚教材や副読本を使用して家族看護のイメージをつける。またグループワークや体験学習を取り入れる。

7　評　価　方　法

講義や演習への参加状況40点、課題レポート60点を総合して評価する。

全講義の2/3以上（２回の遅刻および早退は１回の欠席とみなす）出席した者に対して成績判定を行う。

8　教科書・参考文献

教科書：

宮﨑美砂子：最新　公衆衛生看護学　第２版　総論　日本看護協会出版会

宮﨑美砂子：最新　公衆衛生看護学　第２版　各論１　日本看護協会出版会

宮﨑美砂子：最新　公衆衛生看護学　第２版　各論２　日本看護協会出版会

参考文献：

授業時に、適宜提示する。

9　オフィスアワー（授業相談）

質問や相談は随時受け付けます。時間の確保のため、必ず事前にメールや電話でアポイントを取るようにしてください。

10　学生へのメッセージ

授業内容に関連した文献、新聞記事等に関心を持ち、自ら学びを深める機会としてください。

公衆衛生看護学方法論Ⅰ

1　担当教員名

教　　授　伊藤　美樹子（公衆衛生看護学講座）

非常勤講師
尾ノ井　美由紀（宝塚大学　看護学部　教授）

2　配当学年等

第３学年・編入第３学年　前期前半　１単位

3　学習目標

公衆衛生看護活動を行う上での手法を理解し、基礎知識と考え方および各方法を身につけることを目標とする。

また、保健師活動の対象は、個人の相談や支援にとどまらず家族やグループなど集団まで広域的な地域住民となり、その特性を学ぶ。

4　授業概要

公衆衛生感度活動の各場面に対応して行う。より理解しやすい講義を展開するために、実践に近い設定に基づいて演習を実施する。また、グループダイナミクスをもとに、積極的な討論を必要とする。

5　授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	教室
令和２年				
４月７日(火)	4	尾ノ井	公衆衛生看護活動の支援技術の特性と保健指導 健康診査・健康相談の実際	看３
４月７日(火)	5	〃	保健行動に関する理論①	看３
４月14日(火)	4	〃	保健行動に関する理論②	看３
４月14日(火)	5	〃	保健行動に関する理論③	看３
４月21日(火)	4	〃	保健行動に関する理論④	看３
４月21日(火)	5	〃	演習に関する説明	看３
４月28日(火)	4	〃	演習の準備とグループワーク①	看３
４月28日(火)	5	〃	演習の準備とグループワーク②	看３
５月12日(火)	4	〃	演習の準備とグループワーク③	看３
５月12日(火)	5	〃	演習の準備とグループワーク④	看３
５月19日(火)	4	〃	演習の準備とグループワーク⑤	看３
５月19日(火)	5	〃	演習の発表①	看３
５月26日(火)	4	〃	演習の発表②	看３
５月26日(火)	5	〃	演習の評価	看３
６月２日(火)	4	〃	まとめ	看３
６月２日(火)	5	〃	まとめ	看３

6　評価方法

評価については講義にて説明を行います。

7　教科書・参考文献

日本看護協会　最新公衆衛生看護学　2018年版　総論
日本看護協会　最新公衆衛生看護学　2018年版　各論１
日本看護協会　最新公衆衛生看護学　2018年版　各論２

8　オフィスアワー（授業相談）

質問は随時受け付けますが、事前に予定を確認の上お願いします。

公衆衛生看護学方法論Ⅱ

1　担　当　教　員　名

教　　授　伊　藤　美樹子（公衆衛生看護学講座）
講　　師　輿　水　めぐみ（公衆衛生看護学講座）
助　　教　田　渕　紗也香（公衆衛生看護学講座）

2　配　当　学　年　等

第３学年・編入第３学年　後期前半　１単位

3　学　習　目　標

1．地域の健康課題の明確化するために必要な疫学統計、保健医療情報や住民の生活に深く関わる社会経済的な背景に関する情報、ならびにそれらの分析方法を理解し、地域診断のために用いることができる。
2．ヘルスニーズの分析のために必要な情報を選択し、適切な方法で分析結果を示すことができる。
3．得られた分析結果の評価方法がわかる。
4．地域の健康増進能力を高める個人・家族・集団・組織への継続的支援と協働・組織活動に関するニーズや公衆衛生活動の成果を資料にして表すことができる。
5．ヘルスニーズや公衆衛生看護活動の課題を根拠を用いて説明することができる。
6．公衆衛生看護活動における地域診断の意義とPDCAサイクルを説明できる。

4　授　業　概　要

公衆衛生看護活動展開論実習を行う地域をフィールドとして、実習グループ別に地域診断を行い、資料を作成し、ヘルスニーズを明らかにする。また発表に際しては、効果的な根拠資料を作成し、プレゼンテーションを行う。

5　授　業　内　容

実習地域のヘルスニーズについて、既存資料（統計資料・地図）を用いて分析する。
発表　１グループ 25分（発表15分・質疑10分）

年月日(曜)	時限	担当教員	内　　容	教室
令和２年				
12月14日(月)	3	伊藤・輿水・田渕	地域診断の進め方について	⑤
12月14日(月)	4	〃	地域のヘルスニーズのための情報取集１	⑤
12月17日(木)	3	〃	地域のヘルスニーズのための情報取集２	⑤
12月17日(木)	4	〃	地域のヘルスニーズのための情報取集３	⑤
12月23日(水)	2	〃	地域のヘルスニーズのための情報取集４	⑤
12月23日(水)	3	〃	地域のヘルスニーズの分析１	⑤
12月23日(水)	4	〃	地域のヘルスニーズの分析２	⑤
令和３年				
１月５日(火)	1	〃	地域のヘルスニーズの分析３	⑤
１月５日(火)	2	〃	地域のヘルスニーズの分析４ (中間報告)	⑤
１月12日(火)	1	〃	効果的な資料の作成１	⑤
１月12日(火)	2	〃	効果的な資料の作成２	⑤
１月20日(水)	1	〃	効果的な資料の作成３	⑤
１月20日(水)	2	〃	資料のプレゼンテーションの準備	⑤
１月27日(水)	3・4	〃	発表	⑤

6　評　価　方　法

グループプロジェクトの進捗状況と進捗管理状況、グループの取り組みとプレゼンテーション資料、プレゼンテーションを総合的に評価する。遅刻は欠席と同様に取り扱い、2/3以上の出席を評価の要件とする。

公衆衛生看護活動プロセス

1　担　当　教　員　名

教　　授　伊　藤　美樹子（公衆衛生看護学講座）
講　　師　輿　水　めぐみ（公衆衛生看護学講座）
助　　教　田　渕　紗也香（公衆衛生看護学講座）

非常勤講師
田　中　逸　郎（特定非営利活動法人　NPO政策研究所
理事（主任研究員））

2　配　当　学　年　等

第３学年・編入第３学年　後期後半　１単位

3　学　習　目　標

公衆衛生看護活動の目的は地域全体の健康レベルの向上である。

特定された地域（集団）の中でも特に困難かつハイリスクな健康課題について、課題の成立過程や、問題の分布、将来への影響をアセスメントした上で、公衆衛生看護として一般住民を含めて対応可能な保健事業を企画する。

また健康課題に対して、行政が行うという特徴を踏まえて、事業の成り立ちや活動の効果の捉え方、事業評価についての知識を深めるとともに、資料の分析や作成を通して公衆衛生看護活動を展開するための基本的能力を養う。

4　授　業　内　容

困難かつハイリスクな健康課題についての事例についてグループワークでの話し合い、発表、講評を行う。

個と集団の利益、効率性、優先度の判断など倫理的課題を含む活動の対応についてを理解する。

公衆衛生看護の基本的な知識や保健師の専門性の理解を深める。

年月日（曜）	時限	担当教員	内　　容	教室
令和２年				
12月16日（水）	２・３	伊藤・田渕	母子保健ハイリスク事例	看２
12月21日（月）	３・４	〃	結核集団感染の事例	看３
令和３年				
１月６日（水）	３・４	伊藤・田渕・ゲストスピーカー：有馬和代（太成学院大学）	超多剤耐性結核の事例	看２
１月12日（火）	３・４	伊藤・田渕・田中	地域課題の施策化１	看３
１月21日（木）	３・４	〃	地域課題の施策化２	看３
１月26日（火）	１～５	伊藤・輿水・田渕	産業保健領域における公衆衛生看護活動プロセス（＊学外（予定））	

5　授業形式・視聴覚機器の活用

講義と演習（グループワーク）

第５・６回と第11～15回の開講日時は変更の可能性があります。

6　評　価　方　法

演習（グループワーク）と個別課題レポートによって評価する。なお2/3の出席を評価の要件とし、最終評価には、授業時の意見や発言を加味する。

産　業　保　健

1　担　当　教　員　名

教　　授　　伊　藤　美樹子（公衆衛生看護学講座）
講師(学内)　　北　原　照　代（社会医学講座　衛生学部門）
非常勤講師
　　垰　田　和　史
　　（びわこリハビリテーション専門職大学　教授）

2　配　当　学　年　等

第３学年・編入第３学年　後期後半　１単位

3　学　習　目　標

（１）産業保健の理念・目標を理解し、産業保健を推進する組織や制度に関する基本的な知識を習得する。
（２）労働や労働環境が健康に与える影響に関する基本的な知識を習得し、必要な対策が説明できる。
（３）産業看護の実践に求められる看護職の専門的役割と職務が説明できる。

4　授　業　概　要

産業保健の理念・目標や、労働衛生関連の法規、日本の産業保健・産業看護の動向、並びに産業看護職の役割と職務、労働者の健康課題および労働に関連する健康影響について学習する。

5　授　業　内　容

年月日(曜)	時限	担当教員	内　　容	教室
令和２年				
12月18日(金)	2	伊　藤	働き世代の健康課題１：主要な健康問題	看３
12月25日(金)	2	〃	働き世代の健康課題２：高齢者、外国人労働者	看３
令和３年				
１月13日(水)	3	垰　田	産業保健総論・法制度	看３
１月13日(水)	4	〃	職業病各論・零細事業所の課題	看３
１月14日(木)	3	北　原	労働時間･交替制勤務・女性労働	看３
１月14日(木)	4	〃	医療･介護職場における腰痛問題	看３
１月19日(火)	3・4	伊藤・ゲストスピーカー：清水 政彦（ダイハツ工業株式会社管理本部　安全・健康推進室）	産業保健活動の実際（産業医から）	看３

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式

7　評　価　方　法

各回ごとにミニレポートを課す。最終評価には、授業時の意見や発言を加味する。

8　教科書・参考文献

テキストは指定しません。

9　オフィスアワー（授業相談）

第７回と第８回の開講日時は変更する可能性があります。

公衆衛生看護活動展開論Ⅰ

1 担当教員名

講　　師　　輿　水　めぐみ（公衆衛生看護学講座）

2 配当学年等

第３学年・編入第３学年　前期前半　２単位

3 学習目標

生涯にわたる発達段階、健康レベル別の健康課題から、地域で生活する個人や家族および集団を支援するための基礎知識を習得する。

4 授業概要

地域で生活する個人・家族および小集団が抱える健康課題について理解するとともに、地域保健活動の枠組みを基盤として発達段階別、健康レベル別に展開される保健活動の基礎的知識や技術を習得する。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月８日(水)	3	輿　水	ガイダンス 発達段階の特性に応じた保健活動：母子保健①	保健指導の定義 母子保健福祉活動の概念および歴史的変遷 母子保健施策と関係法規	看３
４月８日(水)	4	〃	発達段階の特性に応じた保健活動：母子保健②	生涯にわたる母性育成支援と保健活動 母性育成支援における地域体制づくり	看３
４月15日(水)	3	〃	発達段階の特性に応じた保健活動：母子保健③	乳幼児期の発育･発達と生活の特徴 ケーススタディー：保健指導の展開（新生児･妊産婦への訪問指導）①	看３
４月15日(水)	4	〃	発達段階の特性に応じた保健活動：母子保健④	ケーススタディー：保健指導の展開（新生児･妊産婦への訪問指導）②	看３
４月22日(水)	3	〃	発達段階の特性に応じた保健活動：母子保健⑤	今日的な課題と保健活動 （虐待、病気や障がいのある児 等）	看３
４月22日(水)	4	〃	発達段階の特性に応じた保健活動：成人保健①	成人保健の概念および歴史的変遷 成人保健施策と関係法規 成人期の特徴と健康課題	看３
５月７日(木)	3	〃	発達段階の特性に応じた保健活動：成人保健②	健康づくりと保健活動 生活習慣病予防と保健活動 （地域職域連携を含む） ケーススタディー：保健指導の展開（特定健診･保健指導）	看３
５月７日(木)	4	〃	発達段階の特性に応じた保健活動：成人保健③	今日的な課題と保健活動 （心の健康、健康格差 等）	看３
５月13日(水)	3	〃	発達段階の特性に応じた保健活動：高齢者保健①	高齢者保健の概念および歴史的変遷 高齢者保健施策と関係法規 高齢者の特徴と健康課題	看３
５月13日(水)	4	〃	発達段階の特性に応じた保健活動：高齢者保健②	介護予防と保健活動 ケーススタディー：保健指導の展開（介護予防教室）	看３
５月20日(水)	3	〃	発達段階の特性に応じた保健活動：高齢者保健③	今日的な課題と保健活動 （認知症、高齢者虐待 等）	看３
５月20日(水)	4	〃	健康課題の特性に応じた保健活動：障がい児者保健（精神保健を含む）①	障がい児者保健の概念および歴史的変遷 障がい児者保健施策と関係法規 障がい児者の特徴と健康課題	看３
５月27日(水)	3	〃	健康課題の特性に応じた保健活動：障がい児者保健（精神保健を含む）②	障がい児者を支える保健活動 心の健康づくり 地域体制づくり	看３
５月27日(水)	4	〃	健康課題の特性に応じた保健活動：難病保健	難病保健の概念および歴史的変遷 難病保健施策と関係法規 難病患者･家族の特性と健康課題	看３

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年 ６月３日(水)	3	輿　水	健康課題の特性に応じた保健活動：感染症 まとめ	感染症対策の概念および歴史的変遷 感染症施策と関係法規 感染症予防と保健師活動	看３

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義、演習のほか、DVD等の視聴覚教材を使用します。

7　評　価　方　法

授業への参加度、課題レポート、期末試験を総合して評価する。
全講義の2/3以上（２回の遅刻および早退は１回の欠席とみなす）の出席をもって評価の対象とする。

8　教科書・参考文献

『国民衛生の動向2019 ／ 2020年版』財団法人厚生統計協会，2019
日本看護協会出版会　最新公衆衛生看護学　総論
日本看護協会出版会　最新公衆衛生看護学　各論１

9　オフィスアワー（授業相談）

質問は随時受け付けますが、事前に予定を確認の上お願いします。

公衆衛生看護活動展開論Ⅱ

1 担当教員名

教　　授　伊　藤　美樹子（公衆衛生看護学講座）
講　　師　輿　水　めぐみ（公衆衛生看護学講座）
助　　教　田　渕　紗也香（公衆衛生看護学講座）

非常勤講師
角　野　文　彦（滋賀県　健康医療福祉部　次長）

2 配当学年等

第３学年・編入第３学年　前期後半　２単位

3 学習目標

保健医療福祉行政の概要を理解すると共に、それを具現化する活動としての「保健師活動による地域づくり」に焦点をあてながら、公衆衛生やヘルスプロモーションなどの基盤となる概念、政策立案過程、組織的取り組みプロセスを理解する。

4 授業概要

地域おける健康づくりのための、行政の仕組みと機能を理解し、それを推進するための保健医療福祉計画の実際を学ぶ。

5 授業内容

年月日（曜）	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
６月10日（水）	3	輿　水	地域の特性をふまえた活動	へき地における活動 都市部における活動へ	看３
６月10日（水）	4	〃	場の特性をふまえた活動	職域の活動	看３
６月17日（水）	3	角　野	地域保健医療福祉計画の実際 ヘルスプロモーションと公共政策	滋賀県における取り組みⅠ	看３
６月17日（水）	4	〃	地域保健医療福祉計画の実際 ヘルスプロモーションと公共政策	滋賀県における取り組みⅡ	看３
６月24日（水）	3	輿水・伊藤・田渕	場の特性をふまえた活動の実際①	フィールドワーク： パナソニック株式会社 アプライアンス社	看３
６月24日（水）	4	〃	場の特性をふまえた活動の実際②	フィールドワーク： パナソニック株式会社 アプライアンス社	看３
７月１日（水）	3	輿　水	健康危機管理①	健康危機の定義 保健師の機能、役割	看３
７月１日（水）	4	〃	健康危機管理②	健康危機の種類に応じた保健活動（自然災害、感染症、児童虐待、放射能災害）	看３
７月８日（水）	3	輿水・ 橋本美弥子 （枚方保健所・保健企画課）	地域特性をふまえた活動の実際①		看３
７月８日（水）	4	〃	地域特性をふまえた活動の実際②		看３
７月15日（水）	3	輿　水	まちづくりを推進する行政の仕組みと機能：演習①	まちづくりのアプローチ（課題解決型・目的設定型） 今日的な健康問題・課題の解決に向けたブレイクスルー思考	看３
７月15日（水）	4	〃	まちづくりを推進する行政の仕組みと機能：演習②	今日的な健康問題・課題（まちの理想の姿）	看３
７月22日（水）	3	〃	まちづくりを推進する行政の仕組みと機能：演習③	今日的な健康問題・課題（現状把握・問題・課題の明確化）	看３
７月22日（水）	4	〃	まちづくりを推進する行政の仕組みと機能：演習④	今日的な健康問題・課題（保健計画策定）	看３
７月29日（水）	3	〃	まちづくりを推進する行政の仕組みと機能：演習⑤	発表	看３

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義、演習のほか、DVD等の視聴覚教材を使用します。
上記の授業の順番は、一部変更する場合がある。

7　評　価　方　法

授業への参加度、学習態度、課題レポートを総合して評価する。
全講義の2/3以上（２回の遅刻および早退は１回の欠席とみなす）の出席をもって評価の対象とする。

8　教科書・参考文献

『国民衛生の動向2019/2020年版』財団法人厚生統計協会，2019
日本看護協会出版会　最新公衆衛生看護学　総論
日本看護協会出版会　最新公衆衛生看護学　各論２

9　オフィスアワー（授業相談）

随時受け付けますが、事前に予定を確認の上お願いします。

地域ケアシステム論（第3学年）

1　担　当　教　員　名

教　　授　　伊　藤　美樹子（公衆衛生看護学講座）

非常勤講師
尾ノ井　美由紀（宝塚大学　看護学部　教授）

2　配　当　学　年　等

第3学年・編入第3学年　前期後半　1単位

3　学　習　目　標

地域ケアシステムとは地域の人々の健康生活を支えるための多様な資源の秩序を持って組織化されたものである。

この講義では、地域活動を支えるケアシステムの違いがもたらす成果の効率性や公正性について具体例を通して学習し、システム構築の意義を理解するとともに、地域ケアシステムの構築に関わる知識・技術の基本的理解を深める。

4　授　業　概　要

公衆衛生看護活動を展開するための方法をシステムとして連動して位置付け、体系化できる能力を養う。

5　授　業　内　容

講義と演習を組み合わせて実施する。

年月日(曜)	時限	担当教員	内　　容	教室
令和2年				
6月9日(火)	4	尾ノ井	地域包括ケアシステムの構築1	看3
6月9日(火)	5	〃	地域包括ケアシステムの構築2	看3
6月16日(火)	4	〃	地域活動計画1	看3
6月16日(火)	5	〃	地域活動計画2	看3
6月23日(火)	4	伊藤・ゲストスピーカー：有馬和代（太成学院大学）	地域担当制と地区活動1	看3
6月30日(火)	4	〃	地域担当制と地区活動2	看3
7月28日(火)	4	伊藤・尾ノ井	効果的・効率的な事業について考える：糖尿病性腎症重症予防を例に	看3
7月28日(火)	5	〃		看3

6　授業形式・視聴覚機器の活用

1．講義
2．グループワークによる演習

7　評　価　方　法

グループワークと各回のレポート課題によって評価する。なお全講義の3分の2以上の出席を評価の要件とし、最終評価には授業時の意見や発言を加味する。

8　学生へのメッセージ

公衆衛生看護活動は多くの専門職や関連機関と連携して行います。

システムとして捉えることで、地域住民に対する保健医療福祉活動における保健師の役割や専門性の深い理解につながることを期待しています。

第5回と第6回の開講日時は変更する可能性があります。

公衆衛生看護活動展開論実習

1　担　当　教　員　名

教　　授　伊藤　美樹子（公衆衛生看護学講座）
講　　師　輿　水　めぐみ（公衆衛生看護学講座）
助　　教　田　渕　紗也香（公衆衛生看護学講座）

2　配　当　学　年　等

第４学年　前期　４単位

3　学　習　目　標

地域特性や地域住民の生活を理解し、地域住民の健康の維持・増進を目指した公衆衛生看護活動を実践する基礎的能力を養う。

4　授　業　概　要

1．保健所・市町・中核市で行われている地域保健活動を理解することができる。
2．公衆衛生看護過程を理解することができる。
3．個人・家族・集団の健康ニーズにそった公衆衛生看護活動の方法を理解することができる。
4．地域ケアシステムのあり方を理解することができる。
5．グループ実習においてグループダイナミックスの学びを深める。

5　授　業　内　容

詳細は実習要項を参照

6　評　価　方　法

出席状況・実習態度・実習記録・レポートをもとに評価する

地域ケアマネジメント実習

1　担　当　教　員　名

教　　授　伊　藤　美樹子（公衆衛生看護学講座）
講　　師　輿　水　めぐみ（公衆衛生看護学講座）
助　　教　田　渕　紗也香（公衆衛生看護学講座）

2　配　当　学　年　等

第４学年　前期　１単位

3　学　習　目　標

市町保健センターおよび保健所での実習を通して、公衆衛生看護活動における看護管理について理解する。

4　授　業　概　要

1．保健医療福祉計画策定および施策化の機能を理解できる。
2．各機関との連携・調整職の機能と必要性について理解できる。

5　授　業　内　容

詳細は、実習要項を参照。

6　評　価　方　法

出席状況・実習態度・実習記録・レポートをもとに評価する。

助 産 師 課 程

助 産 学 概 論

1 担 当 教 員 名

教　　授　立 岡 弓 子（臨床看護学講座）
教　　授　喜 多 伸 幸（臨床看護学講座）

2 配 当 学 年 等

第３学年・編入第３学年　前期前半　１単位

3 学 習 目 標

1．助産の歴史や教育の現状、分娩と助産実践の現状、助産師の自立性について助産学の概論を広い視野から学習し、現在における助産師の役割と課題が理解できる。
2．助産ケアを行う際の基盤となる考え方が理解できる。

4 授 業 概 要

1．助産とは何か、助産学とは何かについて理解するために、助産・助産師の定義について学習する
2．助産の対象の理解と基盤となる理論について学習する
3．助産における倫理・権利について学習する
4．助産師教育における歴史と文化について、学習する

5 授 業 内 容

1．助産師について、定義・業務独占・教育・研究の側面から理解する
2．助産師が行うケアの概念について理解する
3．助産業務について、法律・関連法規から理解する
4．助産実践の倫理、倫理原則、意思決定プロセスについて理解する

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月10日(金)	4	立　岡	助産とは　助産を支える理論	・助産行為 ・助産の基本概念 ・助産ケアモデル ・助産に用いる理論 （セルフケア理論、愛着理論、母親役割獲得理論）	看実
４月17日(金)	4	〃	助産の対象と倫理	・助産の対象の理解 ・リプロダクティブヘルス ・助産実践と倫理的意思決定 ・助産師の職業倫理	看実
４月24日(金)	4	〃	助産の歴史と文化 助産学教育の歴史	・産婆の職業化 ・産婆規則 ・産婆の活動 ・医制と産婆教育 ・お産と文化	看実
５月１日(金)	4	〃	助産師の業務と管理	・助産師免許 ・助産師の名称独占 ・助産師の業務独占	看実
５月８日(金)	4	喜　多	産科医療補償制度と助産業務	・助産実践の現状と医学的評価 ・産科医療補償制度	看実
５月22日(金)	4	立　岡	助産師の能力とキャリア開発	・専門職としての助産 ・キャリア形成と能力 ・周産期医療体制と助産師の能力 ・クリニカルラダー ・ポートフォリオ	看実
６月５日(金)	4	〃	助産師と社会	・母子保健の動向 ・健やか親子21 ・制度・政策への視点	看実
６月12日(金)	4	〃	国際的母子保健の理解と助産師の役割	・母子保健に関する指標と動向 ・母子保健施策 ・母子保健に関する国際的活動	看実

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義

7　評　価　方　法

出席（10%）、筆記試験（90%）

8　教科書・参考文献

日本看護協会出版会：助産師基礎教育テキスト第１巻　助産概論.
日本看護協会出版会：新版　助産師業務要覧　第３版　Ⅰ　基礎編　2018年版.

助産診断・技術学Ⅰ

1 担当教員名

教　　授　立岡弓子（臨床看護学講座）
教　　授　喜多伸幸（臨床看護学講座）
講　　師　土川　祥（臨床看護学講座）
助　　教　中井抄子（臨床看護学講座）
助　　教　花原恭子（臨床看護学講座）
特任助教　中原小百合（小児科）
助　　教　吉川芙雪（臨床看護学講座）

非常勤講師
髙橋　健太郎

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年　後期後半　3単位

3 学習目標

1．助産診断学の概念を理解できる。
2．妊娠期・分娩期・産褥期および新生児期にあり正常経過をたどる対象への助産診断・技術について理解できる。
3．妊娠期・分娩期・産褥期および新生児期の正常経過から逸脱する場合の対象への助産診断・技術について理解できる。

4 授業概要

・妊娠期から産褥期、新生児期の正常な経過を理解するために、助産診断及び技術の基本的な知識・技術や思考過程について学習する。
・具体的事例を通して、授業での学びが臨床での判断やケアと深く結びついていることを学習する。
・参加型演習を通して、対象の正常経過を維持・増進し、正常からの逸脱を予防するための具体的ケアについて学習する。

5 授業内容

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和2年					
12月14日(月)	2	立岡・喜多	助産診断とは。妊婦へのヘルスアセスメント	・助産診断の概念・定義・特徴 ・妊娠期助産診断の特徴 ・妊娠期の経過診断・健康生活診断	看実
12月14日(月)	3	立岡・喜多・花原・中井・吉川	妊娠高血圧症候群の助産診断とケア。妊娠糖尿病の助産診断とケア	・妊娠高血圧症候群の助産診断 ・子癇発作への緊急対応 ・妊娠糖尿病の助産診断と分娩への影響	看実
12月14日(月)	4	花原・中井・吉川	分娩期：正常分娩経過と助産診断	・分娩期の助産診断と特徴 ・正常分娩経過の経過診断と健康生活診断	看実
12月17日(木)	3	〃	分娩期：正常分娩における胎児の下降と回旋	・胎位、胎向　胎勢の助産診断技術 ・児頭の回旋の助産診断 ・骨盤の形態と解剖 ・児頭の下降の機序と評価	看実
12月17日(木)	4	〃	内診の実際	・内診の目的 ・内診のタイミング ・内診の助産技術 ・内診所見にもとづく正常分娩経過のアセスメント	看実
12月21日(月)	2	喜　多	胎児心拍モニタリングⅠ	・胎児心拍数陣痛図の判読 ・胎児機能不全の定義 ・胎児心拍数波形のレベル分類とその対応	看実
12月21日(月)	3	喜　多	胎児心拍モニタリングⅡ	・脳性麻痺事例からみた胎児心拍数陣痛図の判読演習	看実
12月21日(月)	4	立岡・喜多・花原・中井・吉川	アクティブラーニング（胎児心拍モニタリングの助産診断）	・常位胎盤早期剥離の早期助産診断と初期対応	看実
12月24日(木)	3	髙橋・喜多・中井	胎児発育と助産診断	・超音波診断について ・胎児の大きさと位置 ・羊水量・胎盤の位置 ・骨の形成状態 ・胎児奇形の診断	看実

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
12月24日(木)	4	髙橋・喜多・中井	分娩期：会陰切開・裂傷の縫合の実際	・会陰裂傷の分類と縫合 ・持針器の扱い方 ・縫合 マットレス縫合 連続縫合	看実
令和３年					
１月４日(月)	2	立　岡	分娩期：回旋異常の助産診断	・第１回旋　第２回旋の異常 ・定位異常 ・進入異常	看実
１月４日(月)	3	花原・中井・吉川	分娩期：パルトグラムを用いた分娩経過予測	・分娩経過曲線 ・パルトグラムについて ・パルトグラムの記入方法 ・パルトグラムを用いた分娩経過予測	看実
１月４日(月)	4	〃	分娩期：分娩経過と記録	・助産計画の立案と記録 ・分娩経過記録 ・助産記録	看実
１月７日(木)	3	〃	分娩期：正常分娩経過と助産診断	・事例演習：Paper patient / Role play	看実
１月７日(木)	4	立　岡	新生児期：新生児と助産診断	・新生児期の助産診断の特徴 ・新生児期の経過診断・健康生活診断 ・出生直後から生後24時間の新生児の助産診断 ・分娩外傷	看実
１月14日(木)	2	花原・中井・吉川	分娩期：正常経過からの逸脱と助産診断	・事例演習：Paper patient / Role play	看実
１月14日(木)	3	〃	分娩期：帝王切開時の助産診断	・帝王切開術の適応 ・緊急帝王切開術とその前後のアセスメント・ケア	看実
１月14日(木)	4	立　岡	産褥期：母乳哺育と助産診断１	・なぜ母乳が必要か ・乳房の解剖と生理 ・乳汁の産生・分泌・ホルモン ・乳房の生理的緊満 ・母乳と喫煙・アルコール・感染・薬・アレルギー ・母乳の保存・搾乳	看実
１月21日(木)	3	〃	産褥期：母乳哺育と助産診断２	・乳頭・乳房トラブルと授乳の実際	看実
１月21日(木)	4	喜多・立岡	分娩期：シミュレーターを用いた器械分娩の実際（医師臨床教育センターにて実施予定）	・急遂分娩の実際 ・吸引分娩 ・鉗子分娩 ・子宮底圧迫法	看実
１月25日(月)	3	立岡・喜多・花原・中井・吉川	産褥期：産褥経過と助産診断。アクティブラーニング	・分娩後24時間の産褥経過の助産診断 ・産科出血への助産ケア	看実
１月25日(月)	4	〃	多胎妊娠・羊水の異常の分娩管理と助産ケア	・多胎分娩の助産技術 ・羊水過多　羊水過小の分娩対応と助産技術	看実

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義、技術演習、事例演習、グループワーク、発表

7　評　価　方　法

出席（10%）、課題（10%）、筆記試験（80%）により評価する（定期試験で60%以上をとる必要がある）。
全回出席を前提とする。やむを得ず欠席する場合は担当教員に連絡すること。

8　教科書・参考文献

教科書：北川眞理子他；今日の助産（改訂第４版）；マタニティサイクルの助産診断・実践課程、南江堂，2019.
立岡弓子編著：周産期ケアマニュアル．新訂版第２版，サイオ出版，2014.
立岡弓子編著：乳房ケアのエビデンス．日総研出版，2013.
参考文献：医療情報科学研究所編：病気がみえるVol.10産科．第３版，メディックメディア，2013.

9　学生へのメッセージ

助産師の立場で行う臨床診断、そしてこれに基づく助産技術（助産ケアの実践）は、助産師の専門性を維持する上で最も重要な部分です。責任をもって正常範囲内にある母子のケアに当たることができるよう、また正常からの逸脱を的確に判断できるよう、臨床実習を前にしっかりと学んでください。講義以外の授業形式もありますので、積極的な参加を望みます。

助産診断・技術学Ⅱ

1 担当教員名

教　　授　立岡弓子（臨床看護学講座）
教　　授　喜多伸幸（臨床看護学講座）
講師(学内)　柳　貴英（小児科）
助　　教　中井抄子（臨床看護学講座）
助　　教　花原恭子（臨床看護学講座）
助　　教　吉川芙雪（臨床看護学講座）

2 配当学年等

第4学年　前期　2単位

3 学習目標

分娩期・新生児期における助産診断・技術を学ぶ。
分娩期・生児期に必要なアセスメントの視点と助産ケアを学ぶ。
分娩介助技術を習得する。
妊娠期に必要な健康教育を学ぶ。
妊娠期・産褥期に必要な保健指導を学ぶ。

4 授業概要

分娩介助と新生児ケアを通して分娩期・新生児期における助産診断・技術を教授する。
分娩期・新生児期における事例のアセスメントと診断を行い、助産ケアについて考える。
妊娠期の母親（両親）教室を企画し、ロールプレイを行う。
妊娠期・産褥期の事例をアセスメントし、必要な保健指導をロールプレイにて行う。

5 授業内容

1．分娩期・新生児期の助産診断と技術
2．保健指導・健康教育に関する援助技術

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和2年					
4月6日(月)	2	花原・中井・吉川	妊娠期・産褥期の保健指導	貧血、体重増加過多、産後の家族計画、母乳分泌不良・児の体重増加不良に対する保健指導の計画案作成・媒体作成	看実
4月6日(月)	3	立　岡	妊娠期の保健指導	GDMに対する保健指導ロールプレイ	看実
4月6日(月)	4	花原・中井・吉川	妊娠期の健康教育	母親教室・両親教室の意義、企画、助産師の役割	看実
4月7日(火)	2	〃	新生児訪問	新生児訪問の方法とロールプレイ	看実
4月7日(火)	3	〃	妊娠期・産褥期の保健指導 新生児訪問	保健指導のロールプレイ	看実
4月8日(水)	2	花　原	妊娠期の健康教育	母親教室の企画案作成	看実
4月8日(水)	3	花原・中井・吉川	分娩期のケア	分娩期に必要な産痛緩和・呼吸法のエビデンスと効果	看実
4月9日(木)	2	中井・立岡・喜多・花原・吉川	分娩介助	分娩介助デモンストレーション	看実
4月9日(木)	3	中井・花原・吉川	分娩介助	分娩室の整備・薬品の管理、清潔物品の準備	看実
4月9日(木)	4	〃	分娩介助	清潔野作成　肛門保護と会陰保護	看実
4月10日(金)	2	中井・花原・吉川・立岡・喜多	分娩介助	児頭・躯幹・胎盤の娩出 分娩後2時間までのケア	看実
4月13日(月)	2	〃	分娩介助	児頭・躯幹・胎盤の娩出 分娩後2時間までのケア （創部の観察、1・2時間値、帰室）	看実
4月13日(月)	3	〃	分娩介助	清潔野作成～分娩2時間までのケア（創部の観察、1・2時間値、帰室）　まとめ	看実
4月13日(月)	4	〃	出生直後の新生児ケア	出生直後の新生児ケア	看実

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年					
４月14日(火)	2	柳・立岡・花原・中井・吉川	新生児蘇生法	新生児蘇生法	看実
４月14日(火)	3	中井・花原・吉川・立岡・喜多	分娩介助	人工破膜、剃毛、導尿、胎盤計測	看実
４月15日(水)	2	〃	分娩介助	人工破膜、剃毛、導尿、胎盤計測	看実
４月15日(水)	3	立　岡	臍帯血の評価	臍帯血の採取・評価、早期母児接触	看実
４月16日(木)	2・3	中井・花原・吉川	分娩介助	清潔野作成～分娩２時間までのケア　まとめ	看実
４月16日(木)	4	立岡・喜多	骨盤位分娩 麻酔分娩	・ファイトスメリー法 ・Bracht法 ・硬膜外麻酔分娩 ・バランス麻酔	看実
４月17日(金)	2	立岡・喜多・中井・花原・吉川	分娩期の事例	事例の助産診断発表	看実
４月20日(月)	2	〃	分娩期の事例	事例の助産診断発表	看実
４月20日(月)	3	花原・中井・吉川	妊娠期の健康教育	母親教室の媒体作成・リハーサル	看実
４月20日(月)	4	喜多 (医師臨床教育センターにて実施予定)	胎児超音波画像の描出と判読(医師臨床教育センターにて実施予定)	・胎児構造異常 ・羊水異常 ・胎児発育 ・胎児血流	看実
４月21日(火)	2・3	花原・中井・吉川・立岡	妊娠期の健康教育	母親教室のロールプレイ	看実
４月22日(水)	2・3	立岡・喜多・中井・花原・吉川	技術試験	分娩介助技術試験	看実
４月23日(木)	2	〃	筆記試験	総合試験	看実

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式、演習形式、グループワークの形式を取る。
スライド・DVDなど適宜使用する。

7　評　価　方　法

演習終了後に分娩介助の技術試験を実施する。出席状況10%、ロールプレイ20%、筆記試験50%、技術試験20%により評価する。
全回出席を前提とする。
やむを得ず欠席する場合は担当教員に連絡すること。

8　教科書・参考文献

教科書：
仁志田博司著；新生児学入門　第５版，医学書院，2018.
立岡弓子編：周産期ケアマニュアル　第２版，サイオ出版，2014.
北川眞理子他編：今日の助産　改訂第３版，南江堂，2013.
参考文献：
細野茂春監修：新生児蘇生法テキスト　改訂第３版，メジカルビュー，2016.
これまで学習した助産師課程の講義資料

ウィメンズヘルス演習

1　担　当　教　員　名

教授・医師　喜　多　伸　幸（臨床看護学講座）
教　　授　村　上　　節（産科学婦人科学講座　母子）
教　　授　立　岡　弓　子（臨床看護学講座）
准　教　授　木　村　文　則（産科学婦人科学講座　女性）
准　教　授　梅　田　朋　子（地域医療教育研究拠点）
助　　教　中　井　抄　子（臨床看護学講座）
助　　教　花　原　恭　子（臨床看護学講座）
助　　教　吉　川　芙　雪（臨床看護学講座）

2　配　当　学　年　等

第３学年・編入第３学年　後期後半　１単位

3　学　習　目　標

Women's Healthの概念と助産師の役割を学ぶ。
女性への暴力、不妊症、尿失禁、女性のメンタルヘルスに対する助産師の役割・支援について学ぶ。
生殖医療に関する倫理と助産師の役割を学ぶ。
思春期を対象とした健康教育の企画・運営方法を学ぶ。

4　授　業　概　要

Women's Healthの概念について教授する。
各ライフステージにある女性の健康問題として暴力、不妊症、尿失禁、うつ病を取り上げ、助産師の役割・支援について演習を通じて教授する。
生殖補助医療の現状と課題、助産師としての役割についてグループワークを行い、討論する。
思春期を対象とした健康教育の企画・運営方法を教授し、実習に向けてロールプレイできる。

5　授　業　内　容

Women's Healthについての講義と演習
女性の健康問題についての講義、グループワーク、発表
生殖医療に関する講義、事例検討、グループワーク
思春期を対象とした健康教育についての講義、企画、ロールプレイ

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
12月15日(火)	1	立　岡	Women's Healthと助産師の役割	ウィメンズヘルスとは 助産師の役割とは	看実
12月15日(火)	2	喜多・吉川	フィジカルイグザミネーション	婦人科診察 細菌検査	看実
12月18日(金)	3	喜多・花原・吉川	ライフサイクル女性の身体１	骨盤腹膜炎事例	看実
12月18日(金)	4	〃	ライフサイクル女性の身体２	過多月経事例	看実
12月22日(火)	1	喜多・花原・中井・吉川	人工妊娠中絶・性交感染症	シミュレーターによる事例の演習	看実
12月22日(火)	2	立岡・中井・花原・吉川	性暴力被害女性のフィジカルアセスメントと助産師の役割	証拠採取 カウンセリング技法	看実
12月25日(金)	3	喜　多	子宮頸がん検診１	子宮がん検診 HPVワクチン	看実
12月25日(金)	4	喜多・花原・中井	子宮頸がん検診２	シミュレーターによる子宮がん検診の実際	看実
令和３年					
１月５日(火)	1	喜多・花原	産後うつとヘルスケア	事例の演習	看実
１月５日(火)	2	喜多・花原・中井	更年期障害とヘルスケア	尿失禁 骨粗鬆症 高絞血症	看実
１月８日(金)	3	村上・喜多	不妊症	不妊症、不育症、がん妊孕	看実

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和３年					
１月８日(金)	4	村上・喜多	婦人科疾患	月経異常、子宮筋腫、子宮内膜症、子宮内膜ポリープ 更年期障害	看実
１月12日(火)	1	木村・喜多・中井	不妊治療と倫理	不妊治療における倫理問題と支援	看実
１月12日(火)	2	〃	生殖補助医療	生殖補助医療の実際・倫理	看実
１月19日(火)	1	梅田・喜多・中井	乳腺の異常	乳腺の異常の診断・治療・セルフチェック	看実

6　評　価　方　法

出席状況10%、定期試験50%、プレゼンテーション20%、ロールプレイ20%

7　教科書・参考文献

教科書：

山本あい子他編：助産師基礎教育テキスト１～７，日本看護協会出版会

参考文献：

ライフステージと健康Ⅰの講義資料

立岡弓子編著；女性の健康と看護，サイオ出版，2017

北川眞理子他編：今日の助産，南江堂，第３版，2013.

日本産科婦人科学会／日本産婦人科医会編：産婦人科診療ガイドライン　産科編2017.

周産期病態学Ⅰ

1　担当教員名

教授・医師　　喜　多　伸　幸（臨床看護学講座）

2　配当学年等

第３学年・編入第３学年　前期前半　１単位

3　学習目標

周産期における正常妊娠から逸脱した疾患の要因および病態について理解を深める。

1．周産期におけるハイリスク妊娠の病態について理解できる。
2．周産期に発症する合併症への理解を深め、さらに薬理学的作用から母体や胎児への影響ならびに妊娠・分娩への影響について理解できる。

4　授業概要

1．妊娠期の異常に関して、病態と生理的機序について講義形式にて学習を展開する。
2．妊娠期の異常について、病態と生理的機序から妊産婦と新生児に及ぼす影響について考えられるように事例展開とシミュレーション形式にて教授し、必要な　　助産ケアについて学習できるようにする。
3．検討を取り入れながら、時系列ごとに助産診断が行えるように参加型形式にて学習を行う。

5　授業内容

1．ハイリスク妊娠の生理学・解剖学・組織学的側面を理解する。
2．ハイリスク妊娠経過における病態を根拠に、助産診断過程を立案し、助産目標・助産ケアについて学習する。
3．妊娠合併症に関する病態を理解し、妊娠・分娩・産褥経過への影響、胎児発育への影響について学習する。

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
４月７日(火)	3	喜　多	異常妊娠その１	異所性妊娠 流産 妊娠悪阻	看３
４月10日(金)	5	〃	異常妊娠その２	早産 切迫早産	看３
４月14日(火)	3	〃	異常妊娠その３	妊娠高血圧症候群	看３
４月17日(金)	5	〃	異常妊娠その４	妊娠糖尿病	看３
４月21日(火)	3	〃	異常妊娠その５	多胎妊娠 羊水の異常	看３
４月24日(金)	5	〃	異常妊娠その６	胎児発育異常	看３
４月28日(火)	3	〃	異常妊娠その７	胎児機能評価 心拍数モニタリング エコー	看３
５月１日(金)	5	〃	異常妊娠その８	胎盤の異常	看３

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義、演習

7　評価方法

出席（10%）、定期試験（90%）

8　教科書・参考文献

教科書：
荒木勉：最新産科学，正常編　異常編　文光堂，2008.
北川眞理子他編：今日の助産，南江堂
立岡弓子編：周産期ケアマニュアル、サイオ出版

参考文献
医療情報科学研究所編：病気が見えるVol.10産科，メディックメディア
日本産科婦人科学会／日本産婦人科医会編集・監修　産婦人科診療ガイドライン2017.

周産期病態学Ⅱ

1　担　当　教　員　名

教授・医師　　喜　多　伸　幸（臨床看護学講座）
特 任 講 師　　越　田　繁　樹（総合周産期母子医療センター）

2　配　当　学　年　等

第３学年・編入第３学年　前期前半　１単位

3　学　習　目　標

1．周産期における基礎的薬理学を理解しその助産ケアについて学ぶ。
2．胎児機能不全の要因・病態の理解と母児管理ならびに助産ケアについて学ぶ。
3．妊娠期・分娩期の合併症妊娠などの偶発事例を通して、助産ケアを学ぶ。
4．新生児期における異常の要因、病態、管理と助産ケアについて学ぶ。

4　授　業　概　要

1．周産期における基礎的薬理学を理解しその助産ケアを教授する。
2．胎児機能不全の要因・病態の理解と母児管理ならびに助産ケアを教授する。
3．妊娠期・分娩期の合併症妊娠などの偶発事例の助産ケアを教授する。
4．新生児期における異常の要因、病態、管理と助産ケアを教授する。

5　授　業　内　容

1．周産期における薬理学の講義、事例を用いたアセスメント
2．胎児機能不全に関する講義、事例を用いたアセスメント
3．娠期・分娩期のハイリスク事例のアセスメントと必要なケアのロールプレイ
4．ハイリスク新生児についての講義、胎児機能不全やハイリスクで出生した新生児の事例アセスメント

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和２年					
５月８日(金)	5	喜　多	合併症妊娠その１	心疾患 内分泌疾患 膠原病	看実
５月12日(火)	3	〃	合併症妊娠その２	感染症 TOACH症候群	看実
５月19日(火)	3	〃	産科出血	産科DIC	看実
５月22日(金)	5	越　田	新生児の異常	低出生体重児 呼吸障害 循環障害 黄疸	看実
５月26日(火)	3	喜　多	分娩誘発・促進	過期産 分娩誘発・促進の実際	看実
５月29日(金)	5	〃	産褥期の異常	子宮復古不全 産褥晩期出血 産褥熱 産褥血栓塞栓症 尿路系疾患	看実
６月２日(火)	3	〃	周産期のメンタルヘルスケア	産褥精神障害	看実
６月５日(金)	5	〃	周産期の薬理学	分娩誘発・促進剤 止血薬 降圧剤 抗菌薬	看実

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義形式

7　評　価　方　法

出席状況10%、定期試験90%により評価する（定期試験で60%以上をとる必要がある）。
全回出席を前提とする。やむを得ず欠席する場合は担当教員に連絡すること。

8　教科書・参考文献

教科書：
山本あい子他編：助産師基礎教育テキスト１～７．日本看護協会出版会，2015.
参考文献：
我部山キヨ子他編：助産学講座１～10．医学書院.
北川眞理子他編：今日の助産．第３版，南江堂，2013.
日本産科婦人科学会／日本産婦人科医会編：産婦人科診療ガイドライン産科編．2017.
荒木勤著：最新産科学　正常編・異常編　改定第22版，南江堂.

9　学生へのメッセージ

病態についての理解を深めた後、事例を通して助産ケアの実際について学びます。助産学実習が安全に行う事が出来る知識を習得します。

助産マネジメント学

1 担当教員名

教　　授　立岡弓子（臨床看護学講座）
教　　授　一杉正仁（社会医学講座　法医学部門）
助　　教　中井抄子（臨床看護学講座）

2 配当学年等

第3学年・編入第3学年　後期　1単位

3 学習目標

助産業務を遂行するために必要な法規やガイドラインについての理解を深める。
1．助産師が助産業務を遂行する活動場所の特性、責任、保護、役割、機能について理解できる。
2．助産師に必要なマネジメント機能について、情報管理、安全危機管理、労務管理機能から理解できる。
3．助産師の業務改善と課題について理解できる

4 授業概要

1．助産師の業務と義務について、法律に規定された義務と倫理綱領に基づく義務から学習する。
2．助産師が業務を遂行するうえで科せられる責務を整理し、関連法規と連動させたケーススタディから学習を深める。
3．助産師の業務について、助産行為に特化した妊娠・分娩・産褥期・新生児期の責務と対応について、助産業務ガイドラインから学習する。

5 授業内容

1．助産管理の概念・チーム医療の在り方
2．助産師の責任・業務に関連する法的義務・規則
3．助産師の情報管理、組織管理
4．産科病棟・助産所の管理・運営の基本
5．院内助産の管理・運営の基本

年月日(曜)	時限	担当教員	項　目	内　容	教室
令和2年					
12月17日(木)	2	立　岡	助産師の活動場所の特性と業務管理1	・助産管理とは ・助産業務とマネージメント能力 ・地域周産期医療センター ・総合周産期医療センター ・MFICU	看実
12月18日(金)	2	〃	助産師の活動場所の特性と業務管理2	・周産期医療と情報管理 ・安全管理 ・労務管理	看実
12月24日(木)	2	立岡・ 中野 育子 (附属病院 医療安全管理部 看護師長)	院内助産院の開業の実際	・妊娠リスクスコア ・院内助産の背景と開業 ・他職種協同 ・開院の実際と課題 ・助産師ラダー	看実
12月25日(金)	2	立　岡	助産師の活動場所の特性と業務管理3	・助産所の開設と法的義務・規則 ・助産業務とリスクマネジメント	看実
令和3年					
1月7日(木)	2	〃	助産業務ガイドライン1	・助産業務ガイドライン ・妊婦管理適応リスト ・医療安全リスト ・分娩経過正常逸脱症例に対する助産院の対応と役割	看実
1月8日(金)	2	中　井	助産業務と安全管理	・助産行為と医療安全 ・助産業務と安全危機管理 ・感染管理 ・災害と助産師の業務 ・災害時の分娩中の対応	看実

年月日(曜)	時限	担当教員	項　　目	内　　容	教室
令和２年 １月21日(木)	2	立　岡	助産業務ガイドライン２	・出生直後の新生児逸脱症例に対する助産師の対応と役割 ・分娩後２時間の異常出血症例への助産師の対応と役割 ・助産院での脳性麻痺症例の実際	看実
１月22日(金)	2	一杉・立岡	妊婦の外傷	・妊婦の交通外傷 ・死胎検案について ・妊婦の突然死	看実

6　授業形式・視聴覚機器の活用

講義、グループ発表

7　評　価　方　法

出席（10%）、グループ発表（10%）、筆記試験（80%）

8　教科書・参考文献

日本看護協会出版会；助産師業務要覧（基礎編）
日本看護協会出版会；助産師基礎教育テキスト第３巻，周産期における医療の質と安全.
日本助産師会；助産業務ガイドライン2017

助 産 学 実 習

1 担 当 教 員 名

教　　授　立 岡 弓 子（臨床看護学講座）
教　　授　喜 多 伸 幸（臨床看護学講座）
助　　教　中 井 抄 子（臨床看護学講座）
助　　教　花 原 恭 子（臨床看護学講座）
助　　教　吉 川 芙 雪（臨床看護学講座）

2 配 当 学 年 等

第 4 学年　前期　8 単位

3 学 習 目 標

1．妊産褥婦と胎児・新生児、及びその家族の生理的な変化と対象の特性を理解することができる。
2．分娩期にある対象のフィジカルアセスメントから分娩経過診断、健康生活診断を行い、統合的助産診断を展開した上で、助産ケアを実践することができる。
3．母体と胎児の生理的機能を促進しながら、安全、安寧な分娩介助を実践することができる。
4．分娩後の母体の生理的年化について、産褥早期を中心とした助産診断過程を展開し、必要な助産ケアを実施することができる。
5．新生児の特性を理解し、出生直後の新生児の胎外生活適応状態を診断しながら、健康状態を維持するためのケアが実践できる。
6．助産師の業務範囲と義務、法的責任を理解した上で、助産業務管理の実際について理解することができる。

4 授 業 概 要

助産ケアの主たる対象となる妊産褥婦と胎児・新生児、及びその家族の特性を理解し、助産診断に基づいた適切な助産ケアの提供と分娩介助を実践するための基本的な能力を養う。

5 授業形式・視聴覚機器の活用

臨地実習

6 評 価 方 法

1．妊産褥婦の理解　10%
2．助産過程の展開　30%
3．分娩介助技術　　40%
4．助産師の役割と業務・周産期医療現場への関心　10%
5．実習態度　10%

7 教科書・参考文献

講義にて使用した資料、教科書、参考書

8 学生へのメッセージ

助産学の理論に基づいて、周産期の助産技術を学びます。学内の演習において技術の確認をした上で、実習に臨みます。

マタニティサイクル支援実習

1　担　当　教　員　名

教　　授　立　岡　弓　子（臨床看護学講座）
講　　師　土　川　　祥（臨床看護学講座）
助　　教　中　井　抄　子（臨床看護学講座）
助　　教　花　原　恭　子（臨床看護学講座）
助　　教　吉　川　芙　雪（臨床看護学講座）

2　配　当　学　年　等

第４学年　通年　２単位

3　学　習　目　標

1．妊娠末期から産後１ヵ月にかけて１母子を受け持ち、経過に応じた継続的な助産診断とケアを実践することができる。
2．継続事例の経過や生活を総括的にアセスメントし、対象に必要な保健指導を実践できる。
3．妊婦とその家族を対象とした出産準備教育を実践できる。
4．地域で子育てをする母親とその家族のニーズを理解し、対象への支援と助産師としての役割を理解することができる。

4　授　業　概　要

1．継続事例実習：助産学実習を行う施設の産科外来でローリスクの初産婦を受け持ち、妊婦健診の見学・実施と保健指導、分娩介助、産褥・生後入院時ケア、退院後のフォローアップ、１ヶ月健診の実施と保健指導を行う。
2．出産準備教育の見学と実施：市町村で実施されている出産準備教育を見学した後、協力医療機関内で実施されている出産準備教室を見学し、同医療機関内での教室を企画立案、実施し、評価する。
3．子育て支援実習：乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）、および子育て支援団体（自助サークルやNPOなど）が行う事業を見学する。

5　授業形式・視聴覚機器の活用

臨地実習

6　評　価　方　法

継続事例の事例記録（50%）、継続事例以外の実習記録（20%）、妊娠期集団指導の展開（20%）、実習態度（10%）

7　教科書・参考文献

講義にて使用した資料、教科書、および参考書

8　学生へのメッセージ

継続事例実習では、妊娠期から産後・生後１ヶ月までの対象を継続的に受け持ち、深く関わらせて頂きます。対象が肯定的な出産体験をされ、母親として成長し育児を楽しまれるよう、個別性を十分に踏まえた助産ケアを提供していきましょう。

ウィメンズヘルス実習

1　担当教員名

教　　授　立岡弓子（臨床看護学講座）
教　　授　喜多伸幸（臨床看護学講座）
助　　教　中井抄子（臨床看護学講座）
助　　教　花原恭子（臨床看護学講座）
助　　教　吉川芙雪（臨床看護学講座）

2　配当学年等

第４学年　前期　１単位

3　学習目標

1．思春期の健康問題とニーズを把握し、健康教育の理論を用いて集団を対象とした健康教育を企画することができる。
2．思春期を対象としたプレコンセプショナルヘルス・ケアの概念を取り入れた健康教育を通して、効果的な健康教育の実践を理解することができる。
3．乳腺外来を受診する女性の診療を通して、対象の健康問題と必要なケアについて理解することができる。
4．妊孕外来において治療を受ける女性とその家族の身体的・精神的状態を把握し、助産師としての役割について理解することができる。
5．各ライフステージにある女性の健康問題を理解し、助産師としての支援について考えることができる。

4　授業概要

1．思春期の性に関する健康問題とニーズを把握し、健康教育の理論を用いて集団を対象とした健康教育を企画する。また、思春期を対象としたコンセプショナルヘルス・ケアの概念を取り入れた健康教育を通して、効果的な健康教育の実践を学ぶ。
2．乳腺外来を受診する女性の診療を通して、対象の健康問題と必要なケアについて考える。
3．生殖補助医療の実際を学び、治療を受ける女性とその家族の身体的・精神的状態を把握し、助産師としての役割について学ぶ。
4．各ライフステージにある女性の健康問題と助産師としての支援について学ぶ。
（詳細は実習要項参照）

5　授業内容

1．思春期を対象とした性教育の見学、企画、実施
2．乳腺外来、妊孕外来での実習

6　授業形式・視聴覚機器の活用

臨地実習

7　評価方法

評価方法は、本学規定のウィメンズヘルス実習評価表に基づき、学生の自己評価・教員評価から行う。評価用紙は別紙参照とする。

8　教科書・参考文献

教科書：助産師課程で指定しているテキスト
参考文献：助産師課程の講義資料